TOKYO MARATHON 2017

東京が
ひとつになる日。

MEDIA GUIDE

平成29年2月26日[日]

兼第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)男子マラソン代表選手選考競技会
兼第101回日本陸上競技選手権大会男子マラソン
兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズX

TOKYO MARATHON FOUNDATION
JAAF Japan Association of Athletics Federations
東京都
ABBOTT WORLD MARATHON MAJORS
AIMS Association of International Marathons and Distance Races
IAAF Road Race GOLD Label
JAAF Road Race

COURSE MAP

東京都庁 Tokyo Metropolitan Government ▶ 10km 日本橋 Nihombashi / マラソン Marathon 東京駅前・行幸通り Tokyo Station / Gyoko-dori

救護所 Medical Stations

A	スタート救護所 東京都庁第二本庁舎 2F入口 Start medical station Tokyo Metropolitan Gov. bldg. No.2, 2F entrance
B	5km救護所 飯田橋セントラルプラザ 5km medical station Iidabashi Central Plaza bldg.
C	10km救護所 日本橋西川ビル横道路上 10km medical station Next to Nihombashi Nishikawa bldg.
D	10kmフィニッシュ救護所 コングレスクエア日本橋 2F 10km Finish medical station Congres Square Nihonbashi 2F
E	15km救護所 駒形橋交差点 15km medical station The crossing of Komagatabashi
F	20km救護所 深川一丁目交差点 20km medical station The crossing of Fukagawa 1-chome
G	22km救護所 清澄庭園公園広場 22km medical station Kiyosumi Garden park area
H	24km救護所 同愛記念病院駐車場 24km medical station Doai Memorial Hospital Parking
I	26km救護所 浅草橋（京葉道路起点道路上） 26km medical station Keiyo road traffic orgin, Asakusabashi
J	28km救護所 花王本社ビル横 28km medical station Head Office of Kao Corporation
K	30km救護所 数寄屋橋交差点 30km medical station The crossing of Sukiyabashi
L	32km救護所 環二通り新橋側歩道上 32km medical station Kanni-dori Ave. (Sidewalk closer to Shimbashi Sta.)
M	34km救護所 バンダイナムコ未来研究所前（住友不動産三田ビル） 34km medical station BANDAI NAMCO Mirai-Kenkyusho (Sumitomo Mita Bldg.)
N	36km救護所 シティハイツ桂坂内 36km medical station Katsurazaka Public Apartment
O	38km救護所 東京都障害者福祉会館前 38km medical station Persons with Disabilities Welfare Center
P	40km救護所 環二通り虎ノ門側歩道上 40km medical station Kanni-dori Ave. (Sidewalk closer to Toranomon Sta.)
Q	フィニッシュ横救護所 フィニッシュ地点（和田倉門） Finish medical station Finish Area (Wadakura Gate)
R	馬場先門救護所 馬場先門 Babasaki Gate Medical Station Babasaki Gate
S	日比谷公園北救護所 日比谷公園北側 Hibiya Park North Area Medical Station Hibiya Park, North Area
T	日比谷公園南救護所 日比谷公園南側・地下駐車場 Hibiya Park South Area Medical Station Hibiya Park, South Area (Basement parking)
U	サンケイプラザ救護所 大手町サンケイプラザ 3F Sankei Plaza Medical Station Otemachi Sankei Plaza 3F
V	マイプラザ医務室 丸の内 MY PLAZA 4F MY PLAZA Medical Office Marunouchi MY PLAZA 4F

東京マラソン2017 沿道協力企業・団体一覧

東京マラソン2017は、コース沿道の各企業・団体様にご協力いただいております。

株式会社新宿アイランド／新宿三井ビルディング／西武新宿ペペ／大東京信用組合 新宿支店／コスモ石油 市ヶ谷SS／中央大学／株式会社ソニー・ミュージック アクシス／東京メトロ／東京理科大学／株式会社セントラルプラザ／公益財団法人特別区協議会／住友不動産株式会社／東短室町ビル／首都高速道路株式会社／首都高速道路サービス株式会社／株式会社バンダイ／宮沢模型株式会社／ミドリ安全株式会社／社会福祉法人 同愛記念病院財団 同愛記念病院／日本郵政株式会社／千歳精糖株式会社／花王株式会社・澁澤倉庫株式会社／八重洲地下街株式会社／森トラスト・ビルマネジメント株式会社／京浜急行バス株式会社／三菱商事株式会社／環境省自然環境局皇居外苑管理事務所／国土交通省東京国道事務所

〈沿道区〉新宿区／千代田区／中央区／台東区／墨田区／江東区／港区　2017年1月20日現在

2017大会より、コースが新しくなります。

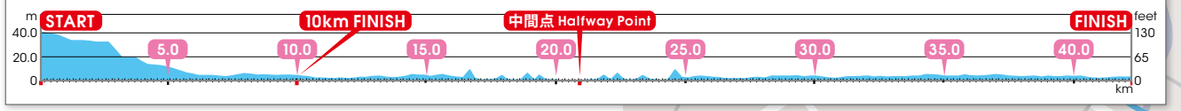
給水所 Aid Stations

1	5km… S W	6	17km… W	11	30km… S W
2	7km… W	7	20km… S W	12	32km… W F
3	10km… S W	8	22km… W F	13	35km… S W
4	12km… W	9	25km… S W	14	38km… W F
5	15km… S W	10	27km… W F	15	40km… S W

S スポーツドリンク Sports Drinks　W 水 Water　F 給食 Food

詳細 For details ▶ P136

コース高低図 Elevation Profile



New Way, New Tokyo.

TOKYO MARATHON 2017

THE DAY WE UNITE.

ふだん車で走る道を、自分の足で走ると、なんだか特別な感情が湧き上がってくる。とランナーは言う。自分がいることで、励まされる人がいることがうれしい。と、ボランティアは言う。ぜんぜん知らない人なのに、走っている姿を見るとつい、手を振りたくなる。と、沿道の人は笑う。たくさんの人が出会い、交差してきた道。さまざまな物語が生まれてきた道。2017 年、東京マラソンのコースが変わります。それはきっと、走る景色が変わるだけじゃない。道が新しくなることで、さらなる出会いや発見が生まれていく。東京マラソンが開かれるのは、一年でたった一日。でもその一日が、あなたの毎日を、街を、変えるきっかけになれば。走る人。支える人。応援する人とともに。新しい42.195kmがはじまります。

2017年、
東京マラソンのコースが
新しくなります。

OVERVIEW

www.marathon.tokyo/

2 コースマップ
Course Map

6 大会要項
Race Information

10 参加者概要
Participants Data

11 賞金
Prize Purse

12 公式日程
Official Schedule

14 経緯
History

16 大会データ年次推移
Statistics by Year

18 東京マラソン2017に関する数字
Facts and Figures

20 IAAFゴールドラベル
IAAF Gold Label

大会要項

大会名称	東京マラソン2017（英文名：Tokyo Marathon 2017） 兼第16回世界陸上競技選手権大会（2017/ロンドン）男子マラソン代表選手選考競技会 兼第101回日本陸上競技選手権大会男子マラソン 兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズX
主催	一般財団法人東京マラソン財団
共催	公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、読売新聞社、日本テレビ放送網、フジテレビジョン、 産経新聞社、東京新聞
後援	スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本体育協会、 公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、 東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、 東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、 公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、 東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、 報知新聞社、ラジオ日本、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、ニッポン放送、 フジサンケイビジネスアイ、扶桑社、東京中日スポーツ
主管	公益財団法人東京陸上競技協会
運営協力	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会
特別協賛	東京メトロ
協賛	スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、 ピー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、第一生命保険株式会社、 セイコーホールディングス株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、 株式会社セブン-イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、 アメリカン・エキスプレス・インターナショナル, Inc.、全日本空輸株式会社、カゴメ株式会社、 株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、コニカミノルタ株式会社、 セコム株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、 日本アイ・ビー・エム株式会社、日本光電工業株式会社、広友ホールディングス株式会社、 株式会社シミズオクト、株式会社ドール
協力	国士舘大学、首都高速道路株式会社、ヒビノ株式会社、田中貴金属ジュエリー株式会社、 一般社団法人築地市場協会、一般社団法人新宿淀橋市場協会、一般社団法人東京道路清掃協会、 京王プラザホテル、日本ボーイスカウト東京連盟、はとバス、 一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
種目	マラソン（男子・女子、車いす男子・女子） 10km　（ジュニア&ユース・視覚障害者・知的障害者・移植者・車いすの各男子・女子）
開催日時	2017年（平成29年）2月26日（日）　9時05分　車いすマラソン・10kmスタート 9時10分　マラソン・10kmスタート 10時50分　10km競技終了 16時10分　マラソン競技終了
テレビ放映	日本テレビ系全国ネット
コース	マラソン：東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～ 東京駅前・行幸通り（日本陸上競技連盟・IAAF ／ AIMS公認コース） 10km　：東京都庁～飯田橋～神田～日本橋（記録は公認されない・順位はネットタイムによる）
競技規則	国際陸上競技連盟（IAAF）並びに日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAFが認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations（IAAFロードレースラベリング規定）も適用される。また、IAAFの規則により、ドーピング検査を実施する。 車いすマラソンに関しては、World Para Athletics*（ワールドパラアスレティックス）競技規則及び本大会規定による。なお、World Para Athletics*の規則により、ドーピング検査を実施する。 *2016年11月30日より組織名称変更

制限時間	マラソン：7時間　車いすマラソン：2時間10分 10km　：1時間40分　車いす10km　：35分 ※1 制限時間は、号砲を基準とする。 ※2 交通・警備、競技運営上、関門閉鎖時刻を設ける。関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。
定員	マラソン：35, 500人 10km　：　500人
参加資格	1）マラソン　大会当日満19歳以上 1-1）一般：6時間40分以内に完走できる者 1-2）準エリート：「RUN as ONE － Tokyo Marathon 2017」に定める推薦基準に達する者 1-3）エリート：・2016年度日本陸上競技連盟登録競技者で、別途定める参加基準に達する者 ・招待選手（日本陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者） 1-4）車いす（一般）：レース仕様車で2時間10分以内に完走できる者 1-5）車いす（エリート）：・2016年度日本パラ陸上競技連盟登録者かつ2017年World Para Athletics登録予定者で、大会当日にWorld Para Athletics国際クラス（T53・T54）を所持している者。なおかつWorld Para Athletics公認大会で、男子１時間50分以内、女子2時間以内の記録を有する者 ・招待選手（日本パラ陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者） 2）10km　大会当日満16歳以上 2-1）ジュニア&ユース：大会当日満16歳から満18歳までの1時間30分以内に完走できる者（1998年2月27日以降、2001年2月26日までに生まれた者） ※東京都が東日本大震災復興支援を目的として企画する事業に参加する者を含む 2-2）視覚障害者：大会当日満16歳以上 １時間30分以内に完走できる者 2-3）知的障害者：大会当日満16歳以上 １時間30分以内に完走できる者 2-4）移植者：大会当日満16歳以上 １時間30分以内に完走できる者 2-5）車いす：大会当日満16歳以上 レース仕様車で35分以内に完走できる者 ※車いすのレース仕様車とはWorld Para AthleticsのAthletics Rules and Regulation 2016-2017に定められた規格の車いすのことを指す。
賞金	マラソン・車いすマラソンの競技成績により賞金を別途定める。
参加料	マラソン：国内10, 800円、海外12, 800円 10km　：国内 5, 600円、海外 6, 700円　※事務手数料・消費税込み
参加申込み	1）方法：公式ウェブサイトhttp://www.marathon.tokyo/から申込み 2）期間：2016年（平成28年）8月1日(月)から8月31日(水)まで 3）参加者の決定：申込者多数の場合は抽選を行う。 4）入金：当選者は指定期日までに指定口座に入金のこと。 ※チャリティランナーの申込みは7月1日(金)から行う。先着順3, 000人。 ※東京マラソン財団公式クラブONE TOKYOプレミアムメンバーを対象とした先行申込みを7月1日（金）から7月31日（日）まで行う。3, 000人。 ※「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017」の概要は公式ウェブサイトを参照のこと。 ※マラソンのエリート・マラソンの車いす(エリート)の申込みは12月から行う。
ランナー受付	2017年（平成29年）2月23日（木）・24日（金）・25日（土） 東京マラソンEXPO 2017会場（東京ビッグサイト）にて行う。 ※大会当日には、受付を行わない。
その他	1）主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。 2）本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

Race Information

Race Name	Tokyo Marathon 2017 also serves as Selection Race of Japan Men's Marathon Representatives for the 16th IAAF World Championships 101st Japan National Championships – Men's Marathon Abbott World Marathon Majors Series X
Organizer	Tokyo Marathon Foundation
Co-organizers	JAAF (Japan Association of Athletics Federations); Tokyo Metropolitan Government; The Yomiuri Shimbun; Nippon Television Network Corporation; Fuji Television Network, Inc.; Sankei Shimbun Co., Ltd.; Tokyo Shimbun
Supporting Organizations (Provisional)	JAPAN SPORTS AGENCY; Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism; Metropolitan Tokyo Mayors' Council; Japan Sports Association; Japanese Olympic Committee; Japan Sports Association for the Disabled; JPA (Japan Para Athletics) ; Nippon Keidanren (Japan Business Federation); Keizai Doyukai (Japan Association of Corporate Executives); Tokyo Chamber of Commerce and Industry; Tokyo Medical Association; Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association; Tokyo Private Ambulance Call Center Registrants' Liaison Council; Tokyo Nursing Association; Tokyo Convention & Visitors Bureau; Tokyo Federation of Neighborhood Associations; Tokyo Federation of Shopping Center Promotion Associations & Tokyo Federation of Shopping Centers; Tokyo Amateur Athletic Association; Community Sports Commissioners Tokyo; Hochi Shimbun; Radio Nippon Co., Ltd.; Sankei Sports; Yukan Fuji; SANKEI LIVING SHIMBUN Inc.; Nippon Broadcasting System, Inc.; Fuji Sankei Business I; FUSOSHA Publishing Inc.; Tokyo Chunichi Sports
Managing Organization	Tokyo Athletics Association
Operation Supporter	Tokyo Sports Association for the Disabled; KPA (Kanto Para Athletics)
Presenting Partner	Tokyo Metro Co., Ltd.
Official Partners	STARTS CORPORATION INC.; Yamazaki Baking Co., Ltd.; ASICS Japan Corp.; Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.; BMW Japan Corp.; KINTETSU INTERNATIONAL; The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited; SEIKO HOLDINGS CORPORATION; Toray Industries, Inc.;McDonald's Company (Japan), Ltd.; Mizuho Bank, Ltd.; Seven-Eleven Japan Co.,Ltd.; ASAHI BREWERIES, LTD.; American Express International, Inc.; ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD; KAGOME Co., Ltd.; Photocreate Co.,Ltd; ZENROSAI（National Federation of Workers and Consumers Insurance Cooperatives）; KONICA MINOLTA, INC.; SECOM CO.,LTD.; Hisamitsu Pharmaceutical Co.,Inc.; Daiwa Securities Group; Shiseido Japan Co.,Ltd; IBM Japan,Ltd.; NIHON KOHDEN CORPORATION; KOYOU HOLDINGS Co., Ltd.; Shimizu Octo,Inc.; Dole Japan, Inc.;
Official Suppliers	Kokushikan University; Metropolitan Expressway Company Limited; Hibino Corporation; Tanaka Kikinzoku Jewelry K.K.; TSUKIJI MARKET ASSOCIATION ; YODOBASHI WHOLESALE MARKET ASSOCIATION; Tokyo Road Management Association; Keio Plaza Hotel Tokyo; Scout Association of Tokyo; HATO BUS CO.,LTD; The Council for Area Development and Management of Otemachi, Marunouchi, and Yurakucho
Events	1) Marathon (Men, Women, Wheelchair Men, Wheelchair Women) 2) 10km Race (Men and Women for Junior & Youth, Visually Impaired, Intellectually Challenged, Organ Transplant Recipients and Wheelchair categories)
Date & Time	Sunday, February 26, 2017 9:05 a.m. – Wheelchair Marathon and 10km Start 9:10 a.m. – Marathon and 10 km Start 10:50 a.m. – 10km Finish 4:10 p.m. – Marathon Finish
Broadcaster	Nippon Television Network Corporation
Course	Marathon: Tokyo Metropolitan Government Building — Iidabashi — Kanda — Nihombashi — Asakusa Kaminari-Mon — Ryogoku — Monzen-nakacho — Ginza — Takanawa — Hibiya —Tokyo Station/Gyoko-dori (This course is certified by the JAAF and AIMS/IAAF.) 10km Race: Tokyo Metropolitan Government Building — Iidabashi — Kanda — Nihombashi (Results are considered unofficial. Finishing place is determined by net time.)
Competition Rules	The races will be conducted in accordance with the rules and regulations of the IAAF, the JAAF and the Race Organizer. IAAF Road Race Label Regulations also apply to the Tokyo Marathon 2017, which has been certified by the IAAF as a Gold Label road race. Doping control is conducted under IAAF Anti-Doping Regulations and/or Japan Anti-Doping Regulations. IPC ATHLETICS Rules and Regulations and the competition rules of the Tokyo Marathon apply to the wheelchair marathon. Doping control is conducted under IPC ATHLETICS Anti-Doping Regulations and/or Japan Anti-Doping Regulations.
Time Limits	Marathon: 7 hours; Wheelchair Marathon: 2 hours and 10 minutes 10km Race: 1 hour and 40 minutes; Wheelchair 10km race: 35minutes (ⅰ) The time limits are based on the gun time (not on the net time). (ii) The cut-off time will be enforced at each checkpoint due to limited duration of traffic control, security operation and event operation. The runners, who fail to pass through the checkpoint before the cut-off time, will be disqualified from the race. Furthermore, trailing runners who lag excessively behind the cut-off time pace may be asked to leave the course at anytime.

Maximum Number of Entrants	Marathon: 35,500 runners 10km Race: 500 runners	
Eligibility	1) Marathon: Must be at least 19 years of age on the race day	
	1-1) General participants	General participants capable of completing the race within 6 hours and 40 minutes
	1-2) Semi-Elite Athletes	- Athletes who satisfy the requirements set forth by the RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017.
	1-3) Elite Athletes	- Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2016 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF - Invited Athletes: National and international runners recommended by the JAAF
	1-4) Wheelchair (General participants)	- Athletes capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using the racing wheelchair.
	1-5) Wheelchair (Elite)	- Athletes who have the following record in the tournament of the World Para Athletics certified races: 1 hour and 50 minutes or under (Men) 2 hours or under (Women) Athletes registerd with the JPA in fiscal 2016, and the World Para Athletics in fiscal 2017 Athletes who have the T53 or T54 class of World Para Athletics Classification. -Invited Athletes: National and international athletes recommended by the JPA.
	2) 10km Race: Must be at least 16 years of age on the race day	
	2-1) Junior & Youth	Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1.5 hours. (Runners born between February 27, 1998 and February 26, 2001 are eligible) *Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support.
	2-2) Visually Impaired	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours
	2-3) Intellectually Challenged	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours
	2-4) Organ Transplant Recipients	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours
	2-5) Wheelchair	Athletes aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 35 minutes on the racing wheelchair Racing wheelchair reguirements are specified in the " Athletics Rules and Regulations 2016-2017" set by the World Para Athletics.
Prize Money	For both the marathon, and wheelchair marathon races, the prize money based on the results will be awarded in accordance with separate rules.	
Entry Fee	Marathon: Japan residents- 10,800 Yen (from overseas- 12,800 Yen) 10km Race: Japan residents- 5,600 Yen (from overseas- 6,700 Yen)	
Application	1) Procedure Online entry 2) Application Period Applications must be received between Monday, August 1,2016 and Wednesday, August 31, 2016 (inclusive). 3) Screening Entrants will be selected by the lottery if applications exceed the maximum number. 4) Payment Accepted applicants must pay the entry fee by money transfer to the designated account before the deadline. * Applications from charity runners will be accepted from Friday, July 1, on a first-come, first-served basis (up to 3,000 charity runners). * Priority applications from the premium members of ONE TOKYO, the official club of Tokyo Marathon Foundation, can be submitted from Friday, July 1 to Sunday, July 31 (3,000 places) * For the Semi-Elite runners information, please refer to the following Tokyo Marathon 2017 official website. * Applications from elite runners and Wheelchair Marathon runners will be accepted from December.	
Number Card Pick-Up	February 23, 24 and 25, 2017 (Thursday through Saturday) Venue: Tokyo Marathon EXPO 2017 at Tokyo Big Sight * Please note that no number card will be distributed on the race day.	
Others	1) Entry fee will not be refunded in the event of the cancellation of the race if such cancellation is not attributable to the organizer. 2) The event will be operated in compliance with all domestic laws and regulations.	

参加者概要

Participants Data

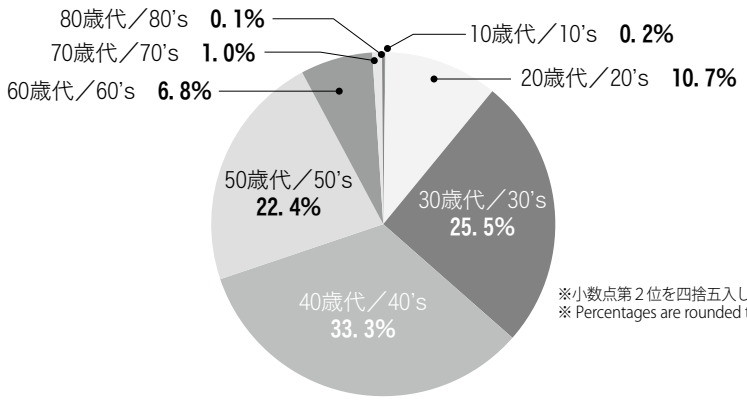
■ 申込人数 2016. 9. 1 ／ Applicants (As of September 1, 2016)

単位:人／ The number of person

種目 Events	マラソン Marathon			10km					
	マラソン全体 Marathon	種目別内訳 Data of the Register		10km Race	種目別内訳 Data of the Register				
		一般 General participants	車いす Wheelchair		ジュニア&ユース Junior & Youth	車いす Wheelchair	視覚障害者 Visually Impaired	知的障害者 Intellectually Challenged	移植者 Organ Transplant Recipients
定員 Quota	35, 500	35, 490	10	500	290	10	50	100	50
うち抽選対象 Random drawing	26, 370 ※1	26, 360	10	400 ※2	190	10	50	100	50
申込者数詳細 Applicants	**321, 459**	321, 418	41	**1, 244**	281	12	159	526	266
申込者合計 Total	**322, 703 人**								

※1 抽選対象26, 370人（エリート・準エリート・車いすエリート・ONE TOKYOプレミアムメンバー・チャリティランナー除く）
26, 370 runners chosen by lottery (excluding Elite, Elite Wheelchair, RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
※2 抽選対象400人（復興支援ジュニア＆ユース除く）
400 runners chosen by lottery (excluding the runners invited through the educational program under the Great East Japan Earthquake recovery efforts)

■ マラソン参加者・年代別集計 ／ Participants by Age Group−Marathon



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※ Percentages are rounded to one decimal place.

■ 種目別最高年齢 ／ Oldest Participants

国内 Japan

男子 MAN

マラソン Marathon
Age **84**
（大阪府 OSAKA）

10km
Age **73**
（茨城県 IBARAKI）

女子 WOMAN

マラソン Marathon
Age **81**
（東京都 TOKYO）

10km
Age **77**
（東京都 TOKYO）

海外 Overseas

男子 MAN

マラソン Marathon
Age **81**
（イタリア ITALY）

10km
Age **54**
（イギリス GREAT BRITAIN & N.I.）

女子 WOMAN

マラソン Marathon
Age **74**
（イギリス GREAT BRITAIN & N.I.）

10km
Age **69**
（タイ THAILAND）

賞 金

Prize Purse

東京マラソン2017における賞金を定めましたのでお知らせします。なお、賞金はオフィシャルパートナーのご協力により実施いたします。

Tokyo Marathon 2017 has announced the prize purse as described below. Please note that all prize purses will be provided by the official partners.

1 マラソン Marathon

(1) 賞金 Prize Purse （単位/Unit：円/JPY）

順位 Place		賞金 Prize Purse 男子 Men	賞金 Prize Purse 女子 Women
1位	1st	11,000,000	11,000,000
2位	2nd	4,000,000	4,000,000
3位	3rd	2,000,000	2,000,000
4位	4th	1,000,000	1,000,000
5位	5th	750,000	750,000
6位	6th	500,000	500,000
7位	7th	400,000	400,000
8位	8th	300,000	300,000
9位	9th	200,000	200,000
10位	10th	100,000	100,000
計	Total	20,250,000	20,250,000

世界記録 (WR)			
男子 Men			
デニス・キメット (ケニア)	KIMETTO, Dennis (KEN)	2:02:57 (2014年ベルリン・Berlin)
女子 Women			
ポーラ・ラドクリフ (イギリス)	RADCLIFFE, Paula (GBR)	2:15:25 (2003年ロンドン・London)
日本記録 (NR)			
男子 Men			
高岡　寿成	TAKAOKA, Toshinari	2:06:16 (2002年シカゴ・Chicago)
女子 Women			
野口　みずき	NOGUCHI, Mizuki	2:19:12 (2005年ベルリン・Berlin)
大会記録 (CR)			
男子 Men			
ディクソン・チュンバ (ケニア)	CHUMBA, Dickson (KEN)	2:05:42 (2014年)
女子 Women			
ヘラー・キプロプ (ケニア)	KIPROP, Helah (KEN)	2:21:27 (2016年)

(2)記録ボーナス Record Bonuses （単位/Unit：円/JPY）

項目 Term		記録ボーナス Record Bonuses 男子 Men	記録ボーナス Record Bonuses 女子 Women	備考 Remarks	
世界記録	World Record (WR)	30,000,000	30,000,000	男女1位のみ	1st place only
日本記録	Japanese National Record (NR)	5,000,000	5,000,000	男女1位のみ	1st place only
大会記録	Course Record (CR)	3,000,000	3,000,000	男女1位のみ	1st place only
計	Total	38,000,000	38,000,000		

2 車いすマラソン Wheelchair Marathon

(1) 賞金 Prize Purse （単位/Unit：円/JPY）

順位 Place		賞金 Prize Purse 男子 Men	賞金 Prize Purse 女子 Women
1位	1st	1,000,000	1,000,000
2位	2nd	500,000	500,000
3位	3rd	300,000	300,000
4位	4th	100,000	100,000
5位	5th	80,000	80,000
6位	6th	60,000	60,000
7位	7th	40,000	40,000
8位	8th	20,000	20,000
計	Total	2,100,000	2,100,000

世界記録 (WR)			
男子 Men			
ハインツ・フライ (スイス)	FREI, Heinz (SUI)	1:20:14 (1999年大分国際・Oita)
女子 Women			
マニュエラ・シャー (スイス)	SCHÄR, Manuela (SUI)	1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
土田　和歌子 (日本)	TSUCHIDA, Wakako (JPN)	1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
日本記録 (NR)			
男子 Men			
洞ノ上　浩太	HOKINOUE, Kota	1:20:52 (2013年ソウル国際・Seoul)
女子 Women			
土田　和歌子	TSUCHIDA, Wakako	1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
大会記録 (CR)			
男子 Men			
クート・フェンリー (オーストラリア)	FEARNLEY, Kurt (AUS)	1:26:00 (2016年)
女子 Women			
土田　和歌子(日本)	TSUCHIDA, Wakako (JPN)	1:41:04 (2016年)

(2)記録ボーナス Record Bonuses （単位/Unit：円/JPY）

項目 Term		記録ボーナス Record Bonuses 男子 Men	記録ボーナス Record Bonuses 女子 Women	備考 Remarks	
世界記録	World Record (WR)	1,000,000	1,000,000	男女1位のみ	1st place only
日本記録	Japanese National Record (NR)	500,000	500,000	男女1位のみ	1st place only
大会記録	Course Record (CR)	200,000	200,000	男女1位のみ	1st place only
計	Total	1,700,000	1,700,000		

3 総 額 Grand Total （単位/Unit：円/JPY）

項目 Term		賞金 Prize Purse
賞金合計	Total Prize Purse	44,700,000
ボーナス合計	Total Time Bonuses	79,400,000
総額	Grand Total	124,100,000

※金額はいずれも税込みです。
※賞金は協賛企業各社からのご協力により実施いたします。
※日本人マラソン男子のトップ選手には、別途協賛社より副賞が贈呈されます。

Tax included on all prize purse.
All prize purses come from the sponsor's cooperation.
The official sponsor presents extra prize to Japanese men's top finisher.

Project EXCEEDの施策である日本記録「突破」褒賞制度が適用されます。
詳細はhttp/projectexceed.com 施策（褒賞制度・奨励制度）

公式日程

1月20日	金		マラソンエリート・車いすエリート選手発表	
1月30日	月	14:30	主催者会議	コンファレンススクエア エムプラス
2月1日-28日	水〜火		東京マラソンウィーク2017	東京都内
2月21日	火	14:00	選手村開村	京王プラザホテル本館47F
2月23日	木	9:00 ー 10:30	東京マラソンEXPO 2017 プレスツアー	東京ビッグサイト西展示棟
		10:45 ー 11:00	東京マラソンEXPO 2017 オープニング	
		11:00 ー 20:30	東京マラソンEXPO 2017 一般ランナー受付	
2月24日	金	11:00 ー 20:30	東京マラソンEXPO 2017 一般ランナー受付	東京ビッグサイト西展示棟
		10:30 ー 15:00	プレスカンファレンス （主催者会見、車いすエリート・マラソンエリート出場選手会見）	京王プラザホテル南館5F エミネンスホール
		15:00 ー 17:00	2017ジャパンレースディレクターズミーティング （主催：日本陸上競技連盟）	ベルサール新宿セントラルパーク ホールA
2月25日	土	9:30 ー 10:15	東京マラソンファミリーラン2017	臨海副都心シンボルプロムナード公園
		10:30 - 16:30	東京マラソン財団ボランティアフォーラム（関係者向け）	東京ビッグサイト会議棟
		10:45 ー 13:00	東京マラソンフレンドシップラン2017	臨海副都心シンボルプロムナード公園
		11:30 ー 17:00	東京マラソンウィーク2017　オフィシャルイベント フィニッシュエリアを見に行こう！丸の内仲通りイベント	丸の内仲通り 丸ビル1F　マルキューブ
		11:00 ー 19:30	東京マラソンEXPO 2017 一般ランナー受付	東京ビッグサイト西展示棟
		13:00 ー 16:00	車いす選手受付	京王プラザホテル南館3F
		13:00 ー 17:00	エリート選手受付	京王プラザホテル本館3F
		16:00 ー 17:00	テクニカルミーティング　（マラソン）	京王プラザホテル本館44F
		17:00 ー 18:00	テクニカルミーティング　（車いす）	
		20:00	開催決定会議（前日）	AP東京丸の内
2月26日	日	4:00	開催決定会議（当日）	スタート本部/ 都庁第二本庁舎二庁ホール
		6:00 ー 7:00	招待選手・エリート選手スペシャルドリンク受付	京王プラザホテル本館3F
		6:30 ー 7:00	車いす選手受付	京王プラザホテル南館B1F駐車場
		8:54	スタートセレモニー開始	都庁第一本庁舎前
		8:55	大会会長挨拶・開会宣言	
		8:58	国歌斉唱	
		9:05	車いすマラソン・10km 車いす スタート	
		9:10	マラソン・10km スタート	
		10:50	10km競技終了	コングレスクエア日本橋前
		10:30	車いすマラソン男子 フィニッシュ /簡易表彰	フィニッシュエリア表彰ステージ
		10:45	車いすマラソン女子 フィニッシュ /簡易表彰	
		11:10 ー 12:10	10km　表彰式	コングレスクエア日本橋前 表彰ステージ
		11:15	マラソン男子 フィニッシュ /簡易表彰	フィニッシュエリア表彰ステージ
		11:35	マラソン女子 フィニッシュ /簡易表彰	
		12:00 ー 12:30(予定)	選手会見 車いす男女優勝・日本人男女トップ マラソン男女優勝・日本人男女トップ	丸ビル7F　丸ビルホール
		13:00 ー 15:30(予定)	RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017 "Wild Card Award"	丸ビル1F　マルキューブ
			車いす男女・マラソン男女　表彰式	
			Next Generation Athlete Award 2017	
			日本選手権男子表彰式	
		16:10	マラソン競技終了	東京駅前・行幸通り
2月27日	月	11:00	選手村閉村	京王プラザホテル本館47F

Official Schedule

January 20	Fri		Elite athletes and elite wheelchair athletes announced	
January 30	Mon	2:30 pm	Tokyo Marathon organizer's meeting	Conference Square M+
February 1– 28	Wed-Tue		Tokyo Marathon Week 2017	Tokyo metropolitan area
February 21	Tue	2:00 pm	Opening of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel, 47F
February 23	Thu	9:00 am - 10:30 am	Tokyo Marathon EXPO 2017 press tour	Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall
		10:45 am - 11:00 am	Tokyo Marathon EXPO 2017 opening ceremony	
		11:00 am - 8:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2017	
February 24	Fri	11:00 am - 8:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2017	Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall
		10:30 am - 3:00 pm	Press conference (Organizer's and elite athletes' press conferences)	Keio Plaza Hotel, 5F Eminence Hall
		3:00 pm - 5:00 pm	2017 Japan Race Directors Meeting (Organizer: JAAF)	Belle Salle Shinjuku Central Park Hall A
February 25	Sat	9:30 am - 10:15 am	Tokyo Marahon Family Run 2017	Symbol Promenade Park
		10:30 am - 4:30 pm	Tokyo Marathon Foundation Volunteer Forum	Tokyo Big Sight, Conference Tower
		10:45 am - 1:00 pm	Tokyo Marathon Friendship Run 2017	Symbol Promenade Park
		11:30 am - 5:00 pm	Tokyo Marathon Week 2017 Official Event Marunouchi Naka-Dori Event "Let's go see the Finish area!"	Marunouchi Naka-Dori Avenue, Marunouchi Building, 1F MARUCUBE
		11:00 am - 7:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2017	Tokyo Big Sight West Exhibition Hall
		1:00 pm - 4:00 pm	Wheelchair athlete registration	Keio Plaza Hotel, South Tower 3F
		1:00 pm - 5:00 pm	Elite runner registration	Keio Plaza Hotel, 3F
		4:00 pm - 5:00 pm	Technical meeting (Marathon)	Keio Plaza Hotel, 44F
		5:00 pm - 6:00 pm	Technical meeting (Wheelchair)	
		8:00 pm	Decision making on whether to go on with the race	AP TOKYO Marunouchi
February 26	Sun	4:00 am	Final decision making on whether to go on with the race	Start headquarters/ Metropolitan Gov. building No.2
		6:00 am - 7:00 am	Registration for invited and elite runners' special drink	Keio Plaza Hotel, 3F
		6:30 am - 7:00 am	Wheelchair athlete registration	Keio Plaza Hotel, South Tower B1 Parking
		8:54 am	Start ceremony	Front of Metropolitan Gov. building No.1
		8:55 am	Opening speech by chairperson of Tokyo Marathon	
		8:58 am	Singing of the national anthem	
		9:05 am	Wheelchair and 10km Wheelchair start	
		9:10 am	Marathon and 10km start	
		10:50 am	10km finish	Front of the CongresSquare Nihonbashi
		10:30 am	Wheelchair Men/Winners' awards ceremony	Award stage at Finish area
		10:45 am	Wheelchair Women/Winners' awards ceremony	
		11:10 am - 12:10 pm	10km awards ceremony	CongresSquare Nihonbashi, Award stage at Finish area
		11:15 am	Marathon Men/Winners' awards ceremony	Award stage at Finish area
		11:35 am	Marathon Women/Winners' awards ceremony	
		12:00 pm - 12:30 pm	Press conference of wheelchair and marathon top athletes, top Japanese athletes (Men & Women)	Marunouchi Building, 7F MARUBIRU HALL Media Center
		1:00 pm - 3:30 pm (TBC)	RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017 "Wild Card Award"	Marunouchi Building, 1F MARUCUBE
			Award Ceremony for Wheelchair and Marathon (Men & Women)	
			Next Generation Athlete Award 2017	
			Japan National Championships - Men's Marathon Awards Ceremony	
		4:10 pm	Marathon finish	Tokyo Station/ Gyoko-Dori Avennue
February 27	Mon	11:00 am	Closing of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel, 47F

経 緯

平成16年	4月		東京都と日本陸連で17 年度に大都市マラソンを開催することを目標に協議を開始
平成17年	2月	23日	「東京大都市マラソン開催準備委員会」を設置・開催
	10月	20日	東京都と日本陸連で「東京マラソンに関する基本合意」締結
	11月	21日	東京マラソン組織委員会を設立
平成19年	2月	18日	東京マラソン2007
平成20年	2月	17日	東京マラソン2008
	9月		IAAF ロードレースラベリング「シルバーラベル」取得
平成21年	3月	22日	東京マラソン2009
	9月	16日	IAAFロードレースラベリング「ゴールドラベル」取得
平成22年	2月	28日	東京マラソン2010
			東京マラソンファミリーラン初開催
	6月	30日	一般財団法人東京マラソン財団設立
	12月	15日	チャリティ事業開始
平成23年	2月		東京マラソンウィーク初実施
	2月	23日	東京マラソン財団公式クラブONE TOKYO 開設
	2月	27日	東京マラソン2011
	4月	1日	東京マラソン財団事務所移転
平成24年	2月	25日	東京マラソンフレンドシップラン初開催
	2月	26日	東京マラソン2012
	10月	1日	ワールドマラソンメジャーズ (WMM)に加入 ※現アボット･ワールドマラソンメジャーズ（AbbottWMM）
平成25年	2月	24日	東京マラソン2013
	5月	12日	ランナーサポート施設『ジョグポート有明』開設
	6月		警備救護強化プロジェクト発足
平成26年	2月	23日	東京マラソン2014
	6月	27日	スポーツレガシー事業開始
			RUN as ONE – Tokyo Marathon プログラム導入
平成27年	2月	22日	東京マラソン2015
	6月	30日	大会ロゴリニューアル
			車いすマラソン国際化
平成28年	2月	28日	東京マラソン2016 （10回記念大会）
	5月	14日	財団オフィシャルイベント シンボルプロムナード公園ランニングコース開設3周年記念 「3時間リレー in有明・お台場」開催
	10月	6日	東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ「VOLUNTAINER」登録開始
	10月	29日	財団オフィシャルイベント　東京トライアルハーフマラソン開催
平成29年	1月	15日	1,000人参加の普通救命救急講習会開催
		29日	テロ対処訓練開催
	2月	26日	東京マラソン2017

History

2004	April		Tokyo Metropolitan Government, together with JAAF（Japan Association Of Athletics Federations）, started discussions toward holding a big-city marathon in 2005
2005	February	23	Tokyo Marathon Preparatory Committee established and first meeting held
	October	20	Tokyo Metropolitan Government and JAAF signed the Basic Agreement on the Tokyo Marathon
	November	21	Tokyo Marathon Organizing Committee established
2007	February	18	Tokyo Marathon 2007
2008	February	17	Tokyo Marathon 2008
	September		Tokyo Marathon receives "Silver Label" from IAAF Road Race Labeling
2009	March	22	Tokyo Marathon 2009
	September	16	Tokyo Marathon receives "Gold Label" from IAAF Road Race Labeling
2010	February	28	Tokyo Marathon 2010
			Tokyo Marathon Family Run 2010 inaugurated
	June	30	Tokyo Marathon Foundation established
	December	15	Tokyo Marathon Charity started
2011	February		Tokyo Marathon Week started
		23	Official Tokyo Marathon Foundation "ONE TOKYO" club established
		27	Tokyo Marathon 2011
	April	1	Tokyo Marathon Foundation Office relocated
2012	February	25	Tokyo Marathon 2012 Friendship Run inaugurated
		26	Tokyo Marathon 2012
	October	1	Tokyo Marathon joined the World Marathon Majors (WMM) ※Current:Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM)
2013	February	24	Tokyo Marathon 2013
	May	12	JOGPORT ARIAKE (runner supports facility) opened
	June		SAFE & SECURE Project inaugurated
2014	February	23	Tokyo Marathon 2014
	June	27	Sports Legacy Program started
			RUN as ONE – Tokyo Marathon program introduced
2015	February	22	Tokyo Marathon 2015
	June	30	New logo introduced
			Internationalization of the wheelchair marathon announced
2016	February	28	Tokyo Marathon 2016 (tenth anniversary)
	May	14	Official event "3-hour Relay race in ARIAKE/ODAIBA"
	October	6	Tokyo Marathon Foundation Official Volunteer Club “VOLUNTAINER” established
		29	Official event “Tokyo Trial Half Marathon”
2017	January	15	“First Aid Seminar”(about 1,000 participants)
		29	“Anti-Terrorism Training”
	February	26	Tokyo Marathon 2017

大会データ年次推移

Statistics by Year

			2016 2/28 (Sun.)	2015 2/22 (Sun.)	2014 2/23 (Sun.)	2013 2/24 (Sun.)	2012 2/26 (Sun.)	2011 2/27 (Sun.)	2010 2/28 (Sun.)	2009 3/22 (Sun.)	2008 2/17 (Sun.)	2007 2/18 (Sun.)
定員 Capacity	マラソン Marathon		36, 500 ※1	35, 500 ※2	35, 500 ※3	35, 500 ※3	35, 500 ※3	33, 000 ※5	32, 000	30, 000	25, 000	25, 000
	10km		500 ※4	500 ※4	500 ※4	500 ※4	500 ※4	3, 000	3, 000	5, 000	5, 000	5, 000
	定員合計 Total		37, 000	36, 000	36, 000	36, 000	36, 000	36, 000	35, 000	35, 000	30, 000	30, 000
申込者 Applicants	マラソン Marathon		308, 810	304, 825	302, 442	303, 450	282, 824	294, 496	272, 134	226, 378	130, 062	77, 521
	10km		1, 014	909	944	1, 058	1, 164	40, 678	39, 307	35, 603	25, 950	17, 523
	申込者合計 Total		309, 824	305, 734	303, 386	304, 508	283, 988	335, 147	311, 441	261, 981	156, 012	95, 044
出走者 Starters	マラソン Marathon		36, 173	35, 310	35, 556	36, 228	35, 954	33, 353	32, 080	30, 164	27, 386	26, 058
	10km		475	487	474	448	453	3, 096	2, 948	4, 808	5, 040	4, 812
	出走者合計 Total		36, 648	35, 797	36, 030	36, 676	36, 407	36, 449	35, 028	34, 972	32, 426	30, 870
完走者 Finishers	マラソン Marathon		34, 697	34, 049	34, 126	34, 819	34, 678	32, 415	30, 182	29, 128	26, 665	25, 102
	10km		468	478	458	432	451	3, 086	2, 919	4, 635	4, 898	4, 720
	完走者合計 Total		35, 165	34, 527	34, 584	35, 251	35, 129	35, 501	33, 101	33, 763	31, 563	29, 822
	マラソン完走率 Marathon ratio %		95. 9	96. 4	96. 0	96. 1	96. 5	97. 2	94. 1	96. 6	97. 4	96. 3
	マラソン男女比率 Marathon M/W ratio %	Men	78. 1	78. 8	79. 7	79. 9	78. 9	76. 1	78. 9	78. 3	77. 8	77. 7
		Women	21. 9	21. 2	20. 3	20. 1	21. 1	23. 9	21. 1	21. 7	22. 2	22. 3
	10km完走率 10km Race ratio %		98. 5	99. 2	96. 6	96. 4	99. 6	99. 7	99. 0	96. 4	97. 2	98. 1
	10km男女比率 10km M/W ratio %	Men	72. 0	64. 0	68. 3	65. 3	69. 4	71. 0	52. 2	55. 4	72. 9	72. 5
		Women	28. 0	36. 0	31. 7	34. 7	30. 6	29. 0	47. 8	44. 6	27. 1	27. 5
気象 Weather (℃) (Time) かっこ内は時刻	スタート Start	(9:10)	13. 3 ℃	8. 0 ℃	4. 0 ℃	4. 6 ℃	6. 0 ℃	11. 0 ℃	5. 0 ℃	15. 5 ℃	2. 5 ℃	5. 0 ℃
	トップフィニッシュ Top Finish		16. 7 ℃ (11:15)	8. 0 ℃ (11:20)	9. 0 ℃ (11:16)	9. 0 ℃ (11:17)	7. 5 ℃ (11:22)	14. 5 ℃ (11:22)	3. 0 ℃ (11:20)	23. 0 ℃ (11:20)	8. 0 ℃ (11:17)	6. 5 ℃ (11:19)
	競技打ち切り Race Completion	(16:00)	12. 1 ℃	9. 3 ℃	9. 0 ℃	5. 0 ℃	8. 0 ℃	18. 0 ℃	9. 5 ℃	16. 5 ℃	7. 0 ℃	10. 0 ℃
マラソン完走記録 Marathon finish time	3時間未満 Less than 3hours	人数 Number of finishers	1, 139	1, 103	824	802	852	720	499	648	742	495
		Men	1, 077	1, 036	778	748	806	669	472	601	721	479
		Women	62	67	46	54	46	51	27	47	21	16
		全体比率 Component ratio %	3. 3	3. 2	2. 4	2. 3	2. 5	2. 2	1. 7	2. 2	2. 7	2. 0
	3時間以上4時間未満 3hours-less than 4hours	人数 Number of finishers	6, 740	7, 456	7, 115	7, 287	7, 328	6, 069	5, 816	5, 625	6, 197	5, 926
		Men	5, 797	6, 515	6, 402	6, 622	6, 573	5, 279	5, 210	4, 991	5, 515	5, 274
		Women	943	941	713	665	755	790	606	634	682	652
		全体比率 Component ratio %	19. 4	21. 9	20. 8	20. 9	21. 1	18. 7	19. 3	19. 3	23. 2	23. 6
	4時間以上5時間未満 4hours-less than 5hours	人数 Number of finishers	10, 362	10, 840	10, 732	11, 266	11, 245	10, 589	9, 535	9, 725	9, 540	9, 136
		Men	8, 498	8, 773	8, 860	9, 305	9, 099	8, 422	7, 817	7, 821	7, 529	7, 208
		Women	1, 864	2, 067	1, 872	1, 961	2, 146	2, 167	1, 718	1, 904	2, 011	1, 928
		全体比率 Component ratio %	29. 9	31. 8	31. 4	32. 4	32. 4	32. 7	31. 6	33. 4	35. 7	36. 4
	5時間以上6時間未満 5hours-less than 6hours	人数 Number of finishers	10, 055	9, 493	9, 813	9, 958	9, 998	9, 697	9, 074	8, 603	7, 029	6, 992
		Men	7, 418	7, 003	7, 314	7, 420	7, 285	6, 789	6, 686	6, 316	4, 921	4, 908
		Women	2, 637	2, 490	2, 499	2, 538	2, 713	2, 908	2, 388	2, 287	2, 108	2, 084
		全体比率 Component ratio %	29. 0	27. 9	28. 8	28. 6	28. 8	29. 9	30. 1	29. 5	26. 6	27. 9
	6時間以上7時間未満 6hours-less than 7hours	人数 Number of finishers	6, 401	5, 157	5, 642	5, 506	5, 255	5, 340	5, 258	4, 527	3, 157	2, 553
		Men	4, 331	3, 500	3, 849	3, 724	3, 592	3, 519	3, 638	3, 078	2, 052	1, 636
		Women	2, 070	1, 657	1, 793	1, 782	1, 663	1, 821	1, 620	1, 449	1, 105	917
		全体比率 Component ratio %	18. 4	15. 1	16. 5	15. 8	15. 2	16. 5	17. 4	15. 5	11. 8	10. 2
マラソン年代別集計 Participants by age group (Marathon) %※7	10 歳代 10s		0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 30	0. 30	0. 20	0. 10
	20 歳代 20s		10. 40	11. 30	11. 30	12. 00	12. 50	15. 10	17. 60	16. 50	14. 50	10. 90
	30 歳代 30s		26. 40	29. 60	29. 60	29. 60	29. 70	34. 40	33. 80	32. 70	32. 00	29. 40
	40 歳代 40s		33. 40	33. 40	33. 40	33. 10	33. 10	30. 00	28. 10	27. 70	28. 10	28. 70
	50 歳代 50s		22. 00	18. 30	18. 30	17. 80	17. 20	15. 20	13. 90	15. 40	16. 90	21. 20
	60 歳代 60s		6. 50	6. 20	6. 20	6. 00	6. 20	5. 90	5. 70	6. 30	7. 20	8. 70
	70 歳代 70s		1. 10	1. 10	1. 10	1. 10	1. 00	0. 80	0. 70	1. 00	1. 00	1. 00
	80 歳代 80s		0. 03	0. 10	0. 10	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 03	0. 03	0. 03
ボランティア参加人数 Volunteers			11. 469	11, 611	11. 003	10, 888	10, 726 (1, 453 ※6)	10, 450 (1, 585 ※6)	9, 208 (1, 591 ※6)	13, 046 (3, 100 ※6)	11, 915 (3, 618 ※6)	12, 670 (2, 621 ※6)
EXPO 来場者数 Tokyo Marathon EXPO	来場者数 Visitors		111, 742	103, 330	96, 273	81, 082	83, 160	85, 920	80, 849	83, 493	74, 188	51, 970
	出展ブース数 Exhibitors		123	114	108	106	102	95	96	76	69	47
外国人出走者数 International Starters (海外居住の日本、国内居住の外国など含む)			6, 456	5, 317	5, 067	2, 980	2, 619	2, 880	2, 639	2, 730	1, 977	1, 066

※1 抽選対象 27,370人（エリート、車いすマラソンエリート、RUN as ONE Tokyo Marathon（準エリート・一般）、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く）
※2 抽選対象 28,400人（エリート、準エリート、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く）
※3 抽選対象 29,400人（エリート、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く）
※4 抽選対象 400人（復興支援事業除く）
※5 抽選対象 32,000人（チャリティランナー1,000人除く）
※6 都立高校生
※7 小数点第二位を四捨五入しているため100%にならない場合あり

*1 27,370 runners chosen by lottery (excluding Elite, Elite Wheelchair, RUN as ONE – Tokyo Marathon Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
*2 28,400 runners chosen by lottery (excluding Elite, Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
*3 29,400 runners chosen by lottery (excluding Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
*4 400 runners chosen by lottery (excluding the runners invited through the educational program under the Great East Japan Earthquake recovery efforts)
*5 32,000 runners chosen by lottery (excluding 1,000 Charity runners)
*6 Number of the student volunteers from public high schools in Tokyo
*7 Percentages are rounded to one decimal place.

東京マラソンに関する数字

★ご提供元　オフィシャルパートナー：詳細　➡ P165　　☆ご提供元　協力：詳細　➡ P6

給水等	給水所	18 ヵ所　[コース約2. 5kmごと計15 ヵ所他スタート、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ※給食は5 ヵ所　[17km以降約5kmごと]
	スポーツドリンク	約197, 870杯分　ポカリスエット ※1杯120ml ★大塚製薬
	水	約338, 000杯分　クリスタルガイザー※1杯120ml ★大塚製薬 ※緊急時対応として11 ヵ所　[15km以降各給水所]のバックアップ水源
	紙コップ	約828, 400個　（水、スポーツドリンク用）
	バナナ	約52, 000本　[スタート、27km、32km、38km、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★ドール
	ランチパック	約36, 180個　[10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★山崎製パン
	一口アンパン	約10, 000個　[32km]
	一口チョコパン	約18, 000個　[22km]
	トマト	約80, 000個　[スタート、22km、27km、32km、38km、マラソンフィニッシュブース] ★カゴメ
	ぶどう糖	約27, 000粒　[27km、32km]
	梅干	約24, 000個　[27km、38km]
	チョコレート	約40, 000粒　[32km、38km]
	栄養食品	約97, 456本　[ポカリスエットゼリー &アミノバリュー顆粒-スタート、カロリーメイトゼリー -22km、 カロリーメイト-10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★大塚製薬
	みかん	約30, 000個　[27km、32km、38km] ☆築地市場協会/淀橋市場協会
	塩飴	約22, 000個　[17km、38km]
設備・物品	仮設トイレ	62 ヵ所 997基　[スタート485基、コース上453基、マラソンフィニッシュ 59基]
	特設スタンド	1, 296席　[スタート360席、マラソンフィニッシュ 936席]
	足湯	8台　[マラソンフィニッシュのみ] 128人程度の対応が可能 ★スターツ
救護	救護所	24ヵ所　[スタート、コース上16ヵ所《20kmまで5kmごと、以降約2kmごと》、フィニッシュエリア《医務室含む》8ヵ所]
	AED	90台　[各救護所11台、フィニッシュ救護所《フィニッシュライン含む》10台、 モバイル隊24台、BLS隊40台【定点配備】] ★日本光電
	BLS 隊	40隊　80人　[救護所、コース上約1km間隔に37隊配置、フィニッシュエリア3隊《AED対応メディカルスタッフ》]
	BLS サポート隊	31隊　63人　[救護所、BLS隊の間約500m付近を2人以上でサポート]
	モバイル隊	24隊　48人　[コース上を自転車で走行するAED対応のメディカルスタッフ]
	ドクター等	医師64人、看護師94人、トレーナー 103人、その他（東陸、ボランティア）約350人、ランドクター 50人
	救護車	39台　[スタート、各救護所1-2台、《サポートキャブ含む》]
車両	手荷物トラック	40台　[マラソン39台 (10トン37台、4トン1台、エリート用4トン1台)、10km 1台（4トン 1 台）《予備車輌1台含む》] ※1台あたり約400 ～ 1, 100個積載
	収容バス/ ワゴン	51台　収容バス他（☆はとバス ）、収容ワゴン15台、車いす収容ワゴン30台
沿道対策	交通規制	銀座　5時間05分、芝高輪　6時間20分、丸の内仲通り　6時間50分（長時間の所） テレビCM 、新聞出稿2回、交通規制チラシ約50万枚、交通規制チラシDM約30万戸、 ポスター約4万枚《電車・バス中刷り含む》、ラジオ告知約1, 000回
ボランティア	ボランティア参加者数	13, 369人　（延べ人数）　詳細➡P138
EXPO	出展ブース数	135ブース　137社（団体）
マラソン祭り	会場数	26会場
	出演者	約4, 000人　（総出演団体数　約130団体）
競技	ペースメーカー	10人　【エリート対象】大会で定めたレースペースで選手を引っ張る役目の走者： 男子レースペースメーカー 7人、女子レースペースメーカー 3人
	ペースセッター	34人　【一般ランナー対象】ランナーのレース記録を目安に走る走者： 3時間〈5人〉、3時間30分〈5人〉、4時間〈8人〉、4時間30分〈6人〉、5時間〈5人〉、5時間30分〈5人〉
	完走サポートランナー	5人　【一般ランナー対象】参加ランナーを完走させるペースでサポートする走者
警備／誘導	警備員／誘導員数	約6, 000人
	金属探知機台数	59台 [スタート53台、フィニッシュ 6台]
その他	スタッフウェア	約18, 000着（ボランティア及び大会関係者）★アシックス/東レ

2017年2月7日現在

Facts and Figures

Supported by ★Official Partners/ For detail ➡P165, ☆Official Suppliers/ For detail ➡P7

Fluid & Foods	Aid Stations	18 stations (every 2.5km, Start, 10km Finish, Marathon Finish); Foods are available at (every 5km after 17km)
	Sports drinks	Approx. 197,870cups (POCARI SWEAT) ※1 cup = 120 ml ★Otsuka
	Water	Approx. 338,000 cups (Crystal Geyser) ※1 cup = 120 ml ★Otsuka ※11 spots of backup water sources
	Paper cups	Approx. 828,400 cups
	Bananas	Approx. 52,000 ★Dole
	Lunch Pack	Approx. 36,180 ★Yamazaki Baking
	Anpan (Bread)	Approx. 10,000 - 32km
	Chocopan (Bread)	Approx. 18,000 - 22km
	Tomatos	Approx. 80,000 - Start, 22km, 27km, 32km, 38km, Marthon Finish booth ★KAGOME
	Glucose sugar drops	Approx. 27,000 (27km, 32km)
	Umeboshi (Pickled plum)	Approx. 24,000 (27km, 38km)
	Chocolate	Approx. 40,000 (32km, 38km)
	Nutrition Foods	Approx. 97,456 (POCARI SWEAT JERRY & AMINO VALUE GLANULE - Start, Calorie Mate JERRY-22km, Calorie Mate - 10km Finish, Marathon Finish) ★Otsuka
	Mikan (Mandarin orange)	Approx. 30,000 - 27km, 32km, 38km ☆TSUKIJI MARKET/YODOBASHI WHOLESALE MARKET
	Salt candies	Approx. 22,000 (17km, 38km)
Facilities	Portable toilets	62 Locations 997 (485 - Start, 453 - Course, 59 - Marathon Finish)
	Temporary stands	1,296 seats (360 seats - Start, 936 seats - Marathon Finish)
	Foot baths	8 (Only at the Marathon Finish area) *Capacity of 128 people ★STARTS
Medical	Medical Stations	24 stations on the course (16 at Start, every 5km till 20km, every 2km after 20km, and 8 at Marathon Finish Medical offices area)
	AEDs	90 *AED = Automated External Defibrillator ★NIHON KOHDEN
	BLS teams	40 two - persons teams (37 teams along the course every 1km, 3 teams at Marathon Finish area) *BLS = Basic Life Support
	BLS support teams	63 staffs (31 teams of at least 2 staffs support for BLS teams deployed in between BLS teams)
	AED bike teams	48 staffs (24 teams of medical staffs on bikes, equipped with AED)
	Doctors, etc.	64 doctors, 94 nurses, 103 trainers, 50 Running doctors and approx. 350 other staffs (including Medical Station's volunteers)
	Emergency vehicles	39 (1-2 at Start and each medical station)
Vehicles	Baggage trucks	40 trucks ≪including 1 backup trucks≫ *39 trucks (10t x 37, 4t x 1, 4t for elite x1) for Marathon, 1 trucks (4t x 1) for 10km (400-1,100 baggages per truck)
	Buses & Wagons	51 buses [by ☆Hato bus], 15 wagons for runner pickup, 30 wagons for wheelchair
Traffic Control	Road closure	Primary closures: Ginza 5h 05min, Shiba Takanawa 6h 20min, Marunouchi Naka Do-ri 6h 50min TV commercials, 2 times newspaper advertising, Approx. 500,000 fliers , 300,000 flieres for direct mail Approx.40,000 posters (including ads on train/bus), 1,000 radio announces
Volunteers		13,369 For detail ➡P138
EXPO	Exhibiter booths	135 booths 137 exhibitors
MARATHON FESTA	Venues	26 venues
	Performers	Approx. 4,0000 (130 groups)
Race	Pacemakers [Elite]	10 *The runners who runs with the designated lap time for elite runners. 7 for Men's race; 3 for Women's race
	Pace-setters [General]	34 *The runners who set the runnning pace for the following finishing time (wearing orange cap and bib): 3hrs:5, 3hrs 30mins:5, 4hrs:8, 4hrs 30mins:6, 5hrs:5, 5hrs 30mins:5
	FINISH Support Runners	5 *The runners who support the participants to finish the race in time.
Security & Guard	Security guards	Approx. 6,000
	Metal Detectors	59 (Start area : 53 ; Finish area 6)
Others	Staff wears	Approx. 18,000 for volunteers and staffs ★ASICS/Toray

As of Feb 5, 2017

IAAFゴールドラベル

IAAF Gold Label

2017大会も国際陸連ロードレースラベリングで「ゴールドラベル」を取得！

東京マラソンは、国際陸上競技連盟（IAAF）が世界の主要ロードレースを格付けするラベリング制度において、2010大会から引き続き最高位のゴールドラベルを取得しております。

IAAF の定めるラベリングに関する主な要件

	ゴールドラベル
競技者	過去３年間に、以下の記録を満たした競技者を少なくとも男女各５名招待 男子　２時間10分00秒 女子　２時間28分00秒
テレビ放映	全容を最低5カ国で放映
公平性	賞金、ボーナスに関しては国籍や性別で差があってはならない
その他	上記の他に、技術的要件（計測・道路の閉鎖等）、ドーピング要件等がある

Tokyo Marathon again obtained “GOLD LABEL” from IAAF Road Race Labeling.

We are very proud of announcing that Tokyo Marathon obtained the “Gold Label”, which ranks the highest at the IAAF labeling system for world’s major road races, for the 2017 race.

Requirements about the Labeling of IAAF

	Gold Label
Athletes	To invite minimum of 5 athletes（both men and women）that have the following qualified record within the last 3 years. Men　: 2hrs 10min 00sec Women : 2hrs 28min 00sec
TV	To televise full contents in at least 5 countries
Equity	There should not be any differential of the prize money or the bonus by his or her nationality or gender.
Other	Other than the above, there are some technical requirements on measurement, road closure, doping e.t.c.

TOKYO MARATHON 2017

ナンバーカード / セキュリティリストバンド
Number Cards / Security Wristbands

スタートブロック
START Block **B**

ナンバーの色　Colors of characters
黒　Black ⇒　男子　Men
赤　Red　⇒　女子　Women

ナンバーカードとリストバンドの色は
フィニッシュエリア別
Different colors of the Wristbands and the Number Cards indicate respective finish areas.

スタートエリア入場ゲート
Entrance gate at the start area

手荷物を預ける
カゴ台車番号
Baggage Car Number
20-⑳

CHARITY Runners

AbbottWMM
Six Star Finishers

■マラソン　Marathon

招待選手 Invited Athletes

ペースメーカー Pacemakers

エリート競技者 Invited Athletes

RUN as ONE - Tokyo Marathon 準エリート
Semi-Elite Athletes

ONE TOKYO プレミアムメンバー
ONE TOKYO Premium Members

チャリティ
CHARITY

一般 General Participants

■10km

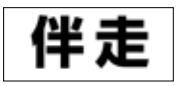
ジュニア&ユース Junior & Youth

視覚障害者 Visually Impaired

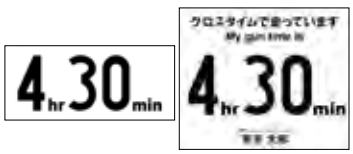
知的障害者　Intellectually Challenged

移植者　Organ Transplant Recipients

伴走者
Guide Runners



ペースセッター
Pace-Setters



完走サポートランナー
FINISH Support Runners

ATHLETES

www.marathon.tokyo/

24 エリートレース展望
Preview of Elite Race

26 エリート選手リスト
Elite Athletes List

29 エリート募集要項
Elite Race Information

30 アボット・ワールドマラソンメジャーズ
Abbott World Marathon Majors

39 IAAF世界選手権選考会関連データ
Data of IAAF World Championships in Athletics Trial

40 海外招待選手　男子
International Invited Athletes MEN

55 国内招待選手　男子
National Invited Athletes MEN

66 海外招待選手　女子
International Invited Athletes WOMEN

74 ペースメーカー
Pacemakers

75 RUN as ONE - Tokyo Marathon 準エリート・一般
RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite & General

78 チャリティランナー
Charity Runners

エリートレース展望

東京マラソンレースディレクター **早野忠昭**
Tokyo Marathon Race Director **Tadaaki Hayano**

東京マラソンは、昨年の10回記念大会を経て、今年は次の10年に向けて、新たな幕開けとなります。それにふさわしく、新しいコースを設定しました。臨海部における橋、坂、風を避けて、「高速コース」になるようなデザインです。特徴としては、終盤部分がフラットになり、アイコニックな東京駅前の行幸通りがフィニッシュということで、ランナーに向けての応援も大いに盛り上がることでしょう。

11回大会としてはコースがリニューアルし、次の10年という観点では、「世界一のレース」を目指していきます。何をもって世界一と言えるのか様々な見方がありますが、具体的には「世界で一番エキサイティングなレースをしていこう」と考えています。そういう意味で、今回は「世界記録」に近いところにいる選手を招聘することができました。

男子では現在〝世界最速ランナー〟の1人と言えるウィルソン・キプサング（ケニア）が初参戦します。世界歴代4位タイの2時間3分13秒というタイムを持つキプサングは、自己トップ5のタイム平均（2時間3分54秒）が世界最高で、過去に2時間4分を3回、2時間5分を7回も破っている選手です。34歳のベテランながら昨年9月のベルリンマラソンで自己記録を更新しており、今回は高速コースになった東京マラソンで「世界記録（2時間2分57秒）の更新を狙う」と公言しています。

彼の実力を考えると、世界新記録の可能性はゼロではないでしょう。選手の体調、気象条件にも左右されるので、どのようなペースで行くかは当日まで調整しますが、レースディレクターとしては、ペースメーカーに世界新記録を狙えるようなペースで30kmまで引っ張らせたい。いずれにしても、〝グローバルスタンダード〟なレース展開にしたいと思っています。

キプサングの対抗馬となるのが、4年連続で東京に出場するディクソン・チュンバ（ケニア）でしょう。2時間4分32秒の自己ベストを持ち、東京マラソンの大会記録保持者（2時間5分42秒）でもあります。また、北京五輪男子マラソンの銅メダリストで、日本国内最高記録（2時間5分18秒／2009年福岡国際）保持者であるツェガエ・ケベデ（エチオピア）にも注目です。

円熟期を迎えているキプサング、勢いのあるチュンバ、復調してきたケベデ。2時間4分台のタイムを持つタデセ・トラ（エチオピア）、バーナード・コエチ（ケニア）。他にも2時間5分台が1人、2時間6分台が4人いて、エキサイティングなレースにふさわしい選手がそろいました。

世界トップクラスの走りを間近に観れば必ずドキドキしますし、コース変更により、従来コースから1分ほどのタイム短縮は十分可能でしょう。ペースメーカーは2～3段階に分けて考えており、第1ターゲットが「世界記録」だとしたら、第2ターゲットは「日本国内最高記録」にしたいと思っています。

そして、第3ターゲットとしては、日本人選手に2時間6分台を出してほしいと考えています。なかでも注目したいのがキャリア十分の今井正人（トヨタ自動車九州）と、期待の社会人ルーキー・服部勇馬（トヨタ自動車）です。2時間7分39秒の現役日本人最高タイムを持つ今井は、ニューイヤー駅伝でも好調ぶりを発揮しています。30kmで1時間28分台のスピードを持つ服部も社会人になり、「マラソンで戦うんだ」というマインドに切り替わっている印象です。

今井だけでなく、藤原新（ミキハウス）、前田和浩（九電工）と現役日本人としてトップ3のベスト記録を持つ選手が集結し、2時間9分台の佐野広明（Honda）、五ヶ谷宏司（JR東日本）、深津卓也（旭化成）も出場します。他にも前回の日本人トップの高宮祐樹（ヤクルト）、同2位で箱根駅伝でも活躍した下田裕太（青山学院大学）、初マラソンとなる設楽悠太（Honda）、市田孝（旭化成）、2度目のマラソンとなる井上大仁（MHPS）らの参戦はレースを熱くするでしょう。

日本の歴代記録としては3人が2時間6分台を出していますが、2002年10月に高岡寿成（カネボウ）が現在の日本記録である2時間6分16秒を樹立して以降、もう14年4ヵ月も2時間6分台が出ていません。しかし、箱根駅伝を見ていても、学生ランナーがキロ3分を切るペースで20kmまで行くわけですから、本気でオリンピックを目指す日本のトップ選手がキロ3分切るペースで30kmまで行けないはずがありません。

日本の男子にとって、今回の東京マラソンは今夏のロンドン世界選手権の選考レースにもなっています。世界で戦うためにも、日本人選手にも〝グローバルスタンダード〟の高速レースを体感していただきたい。1時間30分を切って30kmを通過すれば、今回からは30km以降に坂もありませんから「2時間6分台が出るぞ」という気持ちが高まるのではないでしょうか。日本実業団陸上競技連合が2015年からスタートした2020年東京五輪に向けたマラソン特別強化策「Project EXCEED（プロジェクトエクシード）」では、2時間6分59秒以内の記録を出した実業団登録選手には1,000万円、日本新記録を出した選手には1億円の褒賞金が贈られるわけですから、それも大きなモチベーションになることでしょう。

一方の女子は、2時間19分34秒のタイムを持つルーシー・カブー（ケニア）を筆頭に、2時間20分台のアマネ・ベリソ（エチオピア）、2時間21分台で前回大会2位のアマネ・ゴベナ（エチオピア）、2時間22分台で2015大会優勝のベルハネ・ディババ（エチオピア）と、2時間25分以下の選手が5人そろいました。選手たちの実力を考えても、2時間20～21分台のレースを展開していきたい。大会記録（2時間21分27秒）は塗り替えたいと思っています。

レース展開は運営側としても未知の世界ですが、佃大橋に代表される臨海部の橋を2つ通らなくなったフラットな新コースは好記録が生まれる条件を満たしています。見どころの多いエキサイティングな東京マラソン2017をお楽しみください。

With the tenth memorial edition of the Tokyo Marathon concluded last year, this is the beginning of the next decade. To commemorate the new beginning, the race will be contested over the new course. Bridges, hills and head-wind approaching the Tokyo Bay are eliminated to make the course faster. The special characteristic of the new course is that the closing stage of the race is flat and the finish is on the Gyoko-dori avenue in front of the Tokyo Station. Thus unlike previous ten years, thousands of spectators will be able to cheer the runners approaching the finish line.

To aim for the “world's best race” in the next ten years, the new course is inaugurated this year, at the eleventh edition of the Tokyo Marathon. What is considered to be the “world's best race” may vary depending on the criteria but what we are aiming for is the “world's most exciting race.” With that thought in mind, the runners with the possibility of breaking the world record are invited.

The men’s field includes Wilson Kipsang (KEN), currently one of the fastest runners in the world. Kipsang, who is tied with Emmanuel Mutai as the fourth fastest marathon runner in history over the standard course with 2:03:13, has top five performance average of 2:03:54, the fastest in the World. He has run record three sub-2:04 marathons as well as seven sub-2:05 marathons. Although he was already 34 years old, Kipsang improved his marathon personal best in the last September’s Berlin Marathon, and he has spoken of breaking the world record (2:02:57) over the new and faster Tokyo Marathon course.

Considering Kipsang’s exceptional ability the possibility of the world record is not negligible. The final decision on the initial pace of the race will be made on the race day, because the appropriate initial pace depends on the conditions of athletes as well as the day’s weather. As the race director I want the pacemakers to push at the world record pace until 30km. Either way, I want to see the world class race.

Kipsang’s main competition will be Dickson Chumba (KEN), who will be running fourth straight Tokyo Marathon this year. The Tokyo Marathon record holder at 2:05:42, Chumba has a personal best of 2:04:32. The runner to watch may be Tsegaye Kebede (ETH), the 2008 Olympic marathon bronze medalist who holds the Japanese all-comers record of 2:05:18 recorded in the 2009 Fukuoka Marathon.

Thus three main contenders are Kipsang, who is currently at the top of his game, Chumba, who is on the roll now, and Kebede, who is on the coming back trail. Two other runners – Tadese Tola (ETH) and Bernard Koech (KEN) – have 2:04 marathon personal best. In addition, one 2:05 runner and four 2:06 runners have entered the race and thus we can anticipate an exciting race.

Everyone gets excited by watching the world class runners up close. The new Tokyo Marathon course may be faster than the old course by about a minute. Two to three different levels of pacemakers will be provided. The first target will be the “world record,” while the second target will be the “Japanese all-comers record.”

And the third targeted pace is set up to help the Japanese runners to record a 2:06 marathon. Two runners to watch are Masato Imai (Toyota Kyushu) and new college graduate Yuma Hattori (Toyota). Imai’s personal best, 2:07:39, is the fastest time by active Japanese runner. He showed his fitness in the recent New Year’s Ekiden. Hattori, who recorded the collegiate record of 1:28:52 for the 30km has graduated from college and now looks to be ready to challenge the marathon.

Along with Imai, Arata Fujiwara (Mikihouse) and Kazuhiro Maeda (Kyudenko) compose three fastest active Japanese runners currently. Hiroaki Sano (Honda), Koji Gokaya (JR East JPN) and Takuya Fukatsu (Asahi Kasei) have 2:09 marathon best. In addition, Yuki Takamiya (Yakult), the fastest Japanese in the last year’s Tokyo Marathon, Yuta Shimoda (Aoyama Gakuin University), who was the second Japanese in the last year’s race, along with marathon debutantes Yuta Shitara (Honda) and Takashi Ichida (Asahi Kasei) as well as Hiroto Inoue (MHPS) who will be running his second marathon, will make an exciting race.

Three Japanese has recorded 2:06 marathon in history, but after Toshinari Takaoka (Kanebo) recorded the current national record of 2:06:16 in October of 2002, for more than 14 years and 4 months, no Japanese has recorded 2:06 marathon. However, since the collegiate runners can run up to 20km in 3 minutes per km pace, it is hard to imagine that the top professional runners cannot run 3 minutes per km pace up to 30km.

For the Japanese male runners, this year’s Tokyo Marathon is one of the qualifying races for the marathon team for this summer’s World Championships in London. In order for the Japanese runners to compete with the best runners in the world, I want the Japanese runners to experience the fast world class race. If the runners pass through 30km checkpoint under 1:30, one might feel that “I can run 2:06” since there is no hills after the 30km point this year. The “Project EXCEED,” the project to strengthen the Japanese marathon runners with 2020 Tokyo Olympics in mind, was inaugurated by the Japan Industrial Track and Field Association in 2015. For the runner who recorded a time under 2:07, “Project EXCEED” awards 10 million Japanese Yen while the runner who bettered the national record will be awarded 100 million Japanese Yen. Such an award will provide great motivation.

On the other hand, women’s field includes Lucy Kabuu (KEN) with the personal best of 2:19:34, Amane Beriso (ETH) with 2:20 best, Amane Gobena (ETH) with 2:21 best and second place finish in the last year’s Tokyo Marathon, and Berhane Dibaba (ETH) with 2:22 best and the winner of the 2015 edition of the race. Total of five sub-2:25 runners are in the field. Considering the true ability of the female runners in the field, we wish for 2:20 to 2:21 marathon. We are looking to improve the Tokyo Marathon record of 2:21:27.

How the race unfolds is not certain, even for the organizer. However, with the elimination two bridges approaching the Tokyo bay including Tsukuda Bridge from the course, all the ingredients to make the course fast are satisfied. Enjoy watching this year’s Tokyo Marathon which is loaded with highlights and excitements.

エリート選手リスト──男子

Elite Athletes List──MEN

※年齢は大会当日（2017年2月26日）のものとなります。

No.	氏名	Name	国／登録陸協名 Nation	国／チーム・クラブ名 Nation／Team	年齢 Age	身長 cm	体重 kg	出場資格記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
1	ウィルソン・キプサング	KIPSANG, Wilson	KEN	ケニア	34	182	61	2:03:13	2016 ベルリン	2:03:13
2	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	30	167	57	2:04:32	2014 シカゴ	2:04:32
3	ツェガエ・ケベデ	KEBEDE, Tsegaye	ETH	エチオピア	30	158	50	2:06:30	2014 ロンドン	2:04:38
4	タデセ・トラ	TOLA, Tadese	ETH	エチオピア	29	180	60	2:05:57	2014 東京	2:04:49
5	バーナード・コエチ	KOECH, Bernard	KEN	ケニア	29	170	49	2:06:08	2014 ロッテルダム	2:04:53
6	エバンス・チェベト	CHEBET, Evans	KEN	ケニア	28	172	55	2:05:31	2016 ベルリン	2:05:31
7	マリウス・キプセレム	KIPSEREM, Marius	KEN	ケニア	28	173	55	2:06:11	2016 ロッテルダム	2:06:11
8	バーナード・キピエゴ	KIPYEGO, Bernard	KEN	ケニア	30	172	52	2:06:19	2015 アムステルダム	2:06:19
9	シュミ・デチャサ	DECHASA, Shumi	BRN	バーレーン	27	172	54	2:06:43	2014 ハンブルク	2:06:43
10	アルフェルス・ラガト	LAGAT, Alfers	KEN	ケニア	30	168	55	2:06:48	2015 フランクフルト	2:06:48
11	スティーブン・モコカ	MOKOKA, Stephen	RSA	南アフリカ	32	170	55	2:07:40	2015 上海	2:07:40
12	ギデオン・キプケテル	KIPKETER, Gideon	KEN	ケニア	24	179	61	2:08:35	2016 ムンバイ	2:08:14
13	ジョフリー・ロノ	RONOH, Geoffrey	KEN	ケニア	34	180	59	2:09:29	2016 ベルリン	2:09:29
14	ヨハネス・ゲブレゲルギシュ	GHEBREGERGISH, Yohanes	ERI	エリトリア	28	166	55	2:09:48	2016 ベルリン	2:09:48
15	ソロモン・デクシサ	DEKSISA, Solomon	ETH	エチオピア	23	174	56	2:06:22	2016 ロッテルダム	2:06:22
21	今井　正人	IMAI, Masato	福岡	トヨタ自動車九州	32	169	56	2:07:39	2015 東京	2:07:39
22	佐野　広明	SANO, Hiroaki	埼玉	Honda	28	175	52	2:09:12	2015 東京	2:09:12
23	五ヶ谷　宏司	GOKAYA, Koji	東京	JR東日本	29	161	46	2:09:21	2015 東京	2:09:21
24	深津　卓也	FUKATSU, Takuya	宮崎	旭化成	29	169	54	2:09:31	2016 びわ湖	2:09:31
25	高宮　祐樹	TAKAMIYA, Yuki	東京	ヤクルト	29	173	56	2:10:57	2016 東京	2:10:57
26	橋本　崚	HASHIMOTO, Ryo	東京	GMO	23	172	56	2:11:20	2016 防府	2:11:20
27	下田　裕太	SHIMODA, Yuta	静岡	青山学院大学	20	169	54	2:11:34	2016 東京	2:11:34
28	前田　和浩	MAEDA, Kazuhiro	福岡	九電工	35	167	56	2:11:46	2015 びわ湖	2:08:00
29	服部　勇馬	HATTORI, Yuma	愛知	トヨタ自動車	23	176	63	2:11:46	2016 東京	2:11:46
30	山本　浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	東京	コニカミノルタ	30	172	54	2:11:48	2015 別府大分	2:11:48
31	藤原　新	FUJIWARA, Arata	東京	ミキハウス	35	167	54	2:11:50	2015 防府	2:07:48
101	ガンドゥ・ベンジャミン	NGANDU, Benjamin	KEN/東京	モンテローザ	25	168	54	2:09:18	2015 東京	2:09:18
102	高田　千春	TAKADA, Chiharu	東京	JR東日本	35	175	59	2:10:03	2014 福岡	2:10:03
103	濱崎　達規	HAMASAKI, Tatsunori	茨城	小森コーポレーション	28	171	55	2:12:12	2015 東京	2:12:12
104	岩永　暁如	IWANAGA, Akiyuki	福岡	九電工	36	170	54	2:12:24	2016 東京	2:12:24
105	野口　拓也	NOGUCHI, Takuya	東京	コニカミノルタ	28	173	56	2:12:29	2015 びわ湖	2:12:29
106	岡本　直己	OKAMOTO, Naoki	広島	中国電力	32	176	57	2:12:55	2015 別府大分	2:12:31
107	井上　大仁	INOUE, Hiroto	長崎	MHPS	24	165	51	2:12:56	2016 びわ湖	2:12:56
108	阿久津　圭司	AKUTSU, Keiji	群馬	SUBARU	29	175	60	2:13:26	2015 東京	2:13:26
109	池田　宗司	IKEDA, Soji	東京	ヤクルト	30	163	53	2:13:27	2016 びわ湖	2:10:59
110	中村　泰之	NAKAMURA, Yasuyuki	静岡	スズキ浜松AC	32	168	58	2:13:46	2016 東京	2:13:46
111	坂本　智史	SAKAMOTO, Tomonori	神奈川	プレス工業	30	166	52	2:13:49	2015 長野	2:13:49
112	棟方　雄己	MUNAKATA, Yuki	東京	カネボウ	27	174	57	2:13:53	2016 別府大分	2:13:53
113	清水　和朗	SHIMIZU, Kazuaki	東京	ヤクルト	29	170	54	2:14:16	2016 東京	2:12:49
114	井上　直紀	INOUE, Naoki	東京	東京陸協	29	161	46	2:15:05	2016 勝田	2:15:05
115	牧野　冴希	MAKINO, Saeki	埼玉	DNPL駅伝部	29	183	58	2:15:22	2015 ソウル	2:15:22
116	治郎丸　健一	JIROMARU, Kenichi	東京	桜美林大学AC	32	182	64	2:15:24	2014 びわ湖	2:15:24
117	松本　翔	MATSUMOTO, Sho	東京	日税ビジネス	31	167	51	2:15:50	2016 大阪	2:13:38
118	山川　雄大	YAMAKAWA, Yudai	徳島	大塚製薬	26	164	55	2:16:11	2015 東京	2:14:28
119	児玉　雄介	KODAMA, Yusuke	東京	コモディイイダ	30	168	54	2:16:16	2015 東京	2:16:16
120	山下　伸一	YAMASHITA, Shinichi	静岡	滝ヶ原自衛隊	31	170	54	2:16:22	2016 防府	2:16:22
121	高田　翔二	TAKADA, Syoji	静岡	スズキ浜松AC	26	172	60	2:17:05	2015 静岡	2:17:05
122	松井　将器	MATSUI, Masaki	長野	東京工業大学	23	169	55	2:17:16	2015 びわ湖	2:17:16
123	風見　尚	KAZAMI, Nao	愛知	愛知陸協	33	170	55	2:17:29	2016 防府	2:17:29
124	牧　良輔	MAKI, Ryosuke	群馬	SUBARU	30	177	59	2:17:42	2016 延岡	2:17:42
125	森橋　完介	MORIHASHI, Kansuke	東京	ラフィネ	23	182	61	2:17:42	2016 北海道	2:17:42
126	トーマス・フレーザー	FRAZER, Thomas	IRL	アイルランド	35			2:17:45	2015 ロッテルダム	2:17:45
127	上條　記男	KAMIJO, Norio	新潟	重川材木店	32	171	53	2:17:47	2016 東京	2:13:37
128	五十嵐　祐太	IGARASHI, Yuuta	東京	東京陸協	28	173	58	2:17:59	2016 びわ湖	2:17:15
129	大下　浩平	OSHITA, Kohei	広島	広島経済大学	22	169	53	2:18:07	2016 静岡	2:18:07
130	小山　司	KOYAMA, Tsukasa	群馬	SUBARU	25	169	52	2:18:13	2015 延岡	2:18:13
131	土田　純	TSUCHIDA, Jun	東京	コモディイイダ	27	177	60	2:18:18	2016 東京	2:18:18
132	福田　将治	FUKUDA, Masaharu	山口	東ソー	29	175	58	2:18:32	2014 東京	2:18:32
133	平田　治	HIRATA, Osamu	奈良	TEAM奈良	39	164	54	2:18:37	2015 東京	2:18:37
134	濱崎　武雅	HAMAZAKI, Muga	山梨	山梨陸協	31	182	64	2:18:37	2016 東京	2:18:37
135	塩川　雄也	SHIOKAWA, Yuya	群馬	SUBARU	34	175	58	2:18:39	2016 つくば	2:14:49
136	柱　欽也	HASHIRA, Kinya	東京	警視庁	29	171	58	2:18:42	2016 長野	2:18:42
137	利根川　裕雄	TONEGAWA, Hiroo	長野	アルプスツール	45	174	58	2:18:55	2014 東京	2:18:55
138	笹沼　悠司	SASANUMA, Yuji	愛知	愛三工業	32	171	56	2:18:57	2015 びわ湖	2:18:57
139	紺野　勇樹	KONNO, Yuki	東京	コモディイイダ	24	172	53	2:19:20	2015 いわき	2:19:20
140	森　貴樹	MORI, Takaki	千葉	モントプラン	35	172	57	2:19:23	2014 東京	2:18:17
141	狩野　良太	KANO, Ryouta	東京	ミウラSC	25	175	54	2:19:28	2014 びわ湖	2:19:28
142	松岡　直希	MATSUOKA, Naoki	三重	三重陸協	36	169	53	2:19:29	2016 東京	2:19:29
143	平田　繁聡	HIRATA, Shigeaki	静岡	滝ヶ原自衛隊	38	179	62	2:19:30	2015 東京	2:19:30
144	齋藤　真也	SAITO, Shinya	山形	天童市陸協	24	169	54	2:19:43	2016 東京	2:19:43
145	佐藤　和彦	SATO, Kazuhiko	新潟	高田自衛隊	35	174	55	2:19:44	2014 別府大分	2:19:44
146	依田　崇弘	YODA, Takahiro	山梨	山梨学院	33	173	54	2:20:01	2014 東京	2:17:17
147	岩山　海渡	IWAYAMA, Kaito	東京	東京陸協	34	167	52	2:20:17	2014 びわ湖	2:20:16
148	早坂　光司	HAYASAKA, Koji	宮城	石巻RC	33	166	59	2:20:19	2015 かすみがうら	2:20:19
149	杉本　芳規	SUGIMOTO, Yoshinori	愛知	アスカムRC	33	170	55	2:20:24	2014 新潟シティ	2:14:11
150	内藤　寛人	NAITO, Hiroto	埼玉	埼玉陸協	26	171	57	2:20:24	2016 びわ湖	2:20:24
151	難波　祐樹	NANBA, Yuki	京都	亀岡AC	33	168	54	2:20:37	2015 別府大分	2:20:37
152	糟谷　悟	KASUYA, Satoru	愛知	トヨタ紡織	33	179	58	2:20:38	2016 東京	2:11:17
153	小川　智寛	OGAWA, Tomohiro	山形	南陽東置賜陸協	28	176	58	2:20:42	2015 福岡	2:20:42
154	菊地　賢人	KIKUCHI, Masato	東京	コニカミノルタ	26	173	57	1:00:32	2015 ハーフ/実業団ハーフ	1:00:32
155	設楽　悠太	SHITARA, Yuta	埼玉	Honda	25	170	48	27:42:71	2015 10000m/のべおか	27:42:71
156	市田　孝	ICHIDA, Takashi	宮崎	旭化成	24	165	50	27:53:59	2016 10000m/網走	27:53:59
157	圓井　彰彦	TSUMURAI, Akihiko	広島	マツダ	32	168	51	1:03:39	2016 ハーフ/陸連推薦	1:01:58
158	アンドルー・バンバロー	BUMBALOUGH, Andrew	USA	アメリカ	29	183	63	1:02:04	2015 ハーフ/陸連推薦	1:02:04
159	中村　祐紀	NAKAMURA, Yuki	大阪	青山学院大学	21	165	56	1:02:35	2016 ハーフ/陸連推薦	1:02:35
160	内田　直斗	UCHIDA, Naoto	千葉	帝京大学	22	177	60	1:02:20	2015 ハーフ/陸連推薦	1:02:20
161	セルナルド　祐慈	SERUNARUDO, Yuji	静岡	創価大学	21	172	60	1:02:48	2016 ハーフ/陸連推薦	1:02:48

エリート選手（男子）出場者数 Total Number of Elite Athletes **87名**

海外招待選手含む 15名 15 International Invited Athletes included

国内招待選手含む 11名 11 National Invited Athletes included

※2017年2月3日現在／As of Febrary 3, 2017

エリート選手リスト──女子

Elite Athletes List──WOMEN

No.	氏名	Name	国／登録陸協名 Nation	国／チーム・クラブ名 Nation／Team	年齢 Age	身長 cm	体重 kg	出場資格記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
51	ルーシー・カブー	KABUU, Lucy	KEN	ケニア	32	155	42	2:20:21	2015 ドバイ	2:19:34
52	アマネ・ベリソ	BERISO, Amane	ETH	エチオピア	25	162	52	2:20:48	2016 ドバイ	2:20:48
53	アマネ・ゴベナ	GOBENA, Amane	ETH	エチオピア	34	165	49	2:21:51	2016 東京	2:21:51
54	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	23	163	43	2:22:30	2014 東京	2:22:30
55	サラ・チェプチルチル	CHEPCHIRCHIR, Sarah	KEN	ケニア	32	165	43	2:24:13	2016 リスボン	2:24:13
56	ベッツィ・サイナ	SAINA, Betsy	KEN	ケニア	28	160	47	1:07:22	2016 ハーフ/グラスゴー	1:07:22
57	サラ・ホール	HALL, Sara	USA	アメリカ	33	163	50	1:10:07	2016 ハーフ/ヒューストン	2:30:06
58	マルタ・レマ	LEMA, Marta	ETH	エチオピア	26	160	45	2:24:32	2016 アモイ	2:24:32
201	吉田　香織	YOSHIDA, Kaori	埼玉	TEAM R×L	35	156	42	2:28:43	2015 さいたま	2:28:43
202	永尾　薫	NAGAO, Kaoru	千葉	浦安陸協	27	160	46	2:30:54	2016 名古屋ウィメンズ	2:26:58
203	吉冨　博子	YOSHITOMI, Hiroko	佐賀	メモリード	33	155	45	2:33:04	2016 名古屋ウィメンズ	2:31:28
204	中村　仁美	NAKAMURA, Hitomi	神奈川	パナソニック	29	157	45	2:33:23	2016 大阪国際女子	2:33:23
205	中野　円花	NAKANO, Madoka	兵庫	ノーリツ	25	156	42	2:33:39	2016 東京	2:33:39
206	西尾　美耶	NISHIO, Miya	北海道	札幌陸協	28	165	50	2:34:18	2016 東京	2:34:18
207	田端　沙紀	TABATA, Saki	徳島	大塚製薬	25	157	50	2:34:20	2016 名古屋ウィメンズ	2:34:20
208	木下　裕美子	KINOSHITA, Yumiko	東京	SWAC	30	153	42	2:35:49	2015 東京	2:35:49
209	海野　佳那	UNNO, Kana	兵庫	ノーリツ	25	159	44	2:36:46	2015 パリ	2:36:46
210	加納　由理	KANO.Yuri	東京	ウィルフォワード	38	152	42	2:39:37	2016 東京	2:24:27
211	内山　真由美	UCHIYAMA, Mayumi	東京	ニトリ女子RT	24	149	44	2:39:54	2015 東京	2:39:54
212	鈴木　莉紗	SUZUKI, Risa	東京	アートスポーツ	32	165	54	2:39:57	2016 東京	2:39:57
213	廣瀬　光子	HIROSE, Mitsuko	東京	東京WINGS	42	158	48	2:40:35	2015 東京	2:30:27
214	井野　光子	INO, Mitsuko	大阪	CR2西日本	33	165	50	2:41:09	2016 大阪国際女子	2:41:09
215	石橋　早希江	ISHIBASHI, Sakie	埼玉	熊谷市陸協	29	161	48	2:41:27	2015 かすみがうら	2:41:27
216	綾部　しのぶ	AYABE, Shinobu	東京	Dream AC	37	166	48	2:43:37	2016 東京	2:43:37
217	里中　志帆	SATONAKA, Shiho	東京	CR2東日本	27	153	43	2:44:27	2016 つくば	2:44:27
218	丹野　久美子	TANNO, Kumiko	東京	ニトリ女子RT	28	161	47	2:45:08	2016 つくば	2:45:08
219	横田　知佳	YOKOTA, Chika	山口	広島大学	23	161	48	2:45:37	2016 下関海響	2:45:37
220	酒井　優実	SAKAI, Yuumi	長崎	メモリード	24	167	53	2:46:19	2015 大阪国際女子	2:46:19
221	下村　紫織	SHIMOMURA, Shiori	東京	コモディイイダ	23	165	49	2:46:29	2016 大田原	2:46:29
222	山口　遥	YAMAGUCHI, Haruka	東京	AC･KITA	29	167	51	2:46:59	2015 さいたま	2:41:56
223	相羽　里咲	AIBA, Risa	静岡	SMILEY	24	162	45	2:47:00	2014 名古屋ウィメンズ	2:47:00
224	高浜　香澄	TAKAHAMA, Kasumi	北海道	道央陸協	31	160	49	2:47:08	2016 東京	2:47:08
225	恒川　涼	TSUNEKAWA, Ryo	埼玉	埼玉陸協	32	163	50	2:47:15	2015 東京	2:44:24
226	駒　あや香	KOMA, Ayaka	大阪	武庫女大クラブ	31	154	44	2:47:21	2015 東京	2:47:21
227	吉川　俊子	YOSHIKAWA, Toshiko	奈良	NRF	37	160	45	2:47:29	2015 東京	2:46:48
228	藤本　彩夏	FUJIMOTO, Ayaka	鹿児島	京セラ	19	163	47	2:47:31	2016 おきなわ	2:47:31
229	鈴木　遥	SUZUKI, Haruka	東京	ランビッツ	34	157	41	2:47:32	2016 東京	2:47:32
230	鈴木　絵里	SUZUKI, Eri	秋田	能代山本陸協	32	161	45	2:47:34	2015 勝田	2:47:00
231	吉住　友里	YOSHIZUMI, Yuri	大阪	YND	30	143	35	2:47:49	2016 大阪国際女子	2:37:56
232	松本　恭子	MATSUMOTO, Kyoko	千葉	千葉陸協	46	158	43	2:47:57	2016 東京	2:47:57
233	青山　由佳	AOYAMA, Yuka	神奈川	クレスト	30	155	43	2:47:58	2015 東京	2:47:22
234	山内　美根子	YAMANOUCHI, Mineko	東京	東京陸協	44	162	47	2:48:04	2014 東京	2:28:51
235	上谷　聡子	UETANI, Satoko	兵庫	神戸学院大学AC	35	159	47	2:48:15	2014 神戸	2:33:55
236	小林　玲子	KOBAYASHI, Reiko	大阪	グンゼスポーツ	44	161	44	2:48:15	2015 大阪国際女子	2:43:30
237	土屋　直子	TSUCHIYA, Naoko	静岡	静岡陸協	41	154	46	2:48:32	2014 静岡	2:35:12
238	菅生　晶子	SUGO, Akiko	千葉	聖徳大学	22	163	51	2:48:32	2016 東京	2:46:15
239	吉良　晴菜	KIRA, Haruna	高知	井上スポーツ	29	160	49	2:48:34	2015 東京	2:45:06
240	五味　寿美子	GOMI, Sumiko	長野	塩尻市陸協	53	153	44	2:49:15	2015 さいたま	2:47:05
241	名取　紅美	NATORI, Kumi	東京	ラフィネ	19	160	47	2:49:15	2016 富士山	2:49:15
242	佐藤　麻衣子	SATO, Maiko	東京	AC･KITA	41	150	41	2:49:27	2015 つくば	2:49:27
243	ドーン・グラナグル	GRUNNAGLE, Dawn	USA	アメリカ	39	160	42	2:49:36	2016 ニューヨーク	2:49:36
244	大場　美加	OBA, Mika	秋田	鹿角陸協	29	156	43	2:49:45	2016 大阪国際女子	2:49:45
245	河口　恵	KAWAGUCHI, Megumi	福岡	福岡陸協	21	160	48	2:49:53	2016 愛媛	2:49:53
246	大谷　潤子	OTANI, Junko	兵庫	西宮市陸協	41	160	50	2:50:04	2016 東京	2:50:04
247	藤澤　舞	FUJISAWA, Mai	北海道	札幌エクセルAC	42	159	46	2:50:22	2016 東京	2:50:22
248	安川　沙弥香	YASUKAWA, Sayaka	大阪	ランバディ	34	157	48	2:50:23	2016 金沢	2:50:22
249	三浦　可奈美	MIURA, Kanami	東京	TKD－BRC	45	152	40	2:50:36	2016 つくば	2:50:36
250	馬渕　裕子	MABUCHI, Yuko	岐阜	関体協	34	152	46	2:50:57	2016 名古屋ウィメンズ	2:50:57
251	田中　百子	TANAKA, Momoko	東京	ドコモ	30	155	42	2:51:09	2016 東京	2:51:09
252	佐藤　美雪	SATO, Miyuki	東京	AC･KITA	39	158	47	2:51:20	2014 防府	2:51:20
253	吉村　美香	YOSHIMURA, Mika	山口	下関市陸技協	35	158	48	2:51:34	2015 東京	2:51:34
254	中澤　翔湖	NAKAZAWA, Syoko	石川	金沢AC	26	165	50	2:51:41	2015 東京	2:51:41
255	大庭　知子	OBA, Tomoko	東京	霞ケ丘AC	43	154	41	2:51:53	2015 大阪	2:51:53
256	花田　まり	HANADA, Mari	福岡	大濠ランナーズ	37	152	42	2:51:55	2015 大阪国際女子	2:51:55
257	高山　琴海	TAKAYAMA, Kotomi	兵庫	シスメックス	24	154	42	1:10:47	2015 ハーフ/まつえしティース	1:10:47

エリート選手（女子）出場者数 Total Number of Elite Athletes 65名

海外招待選手含む 8名 8 International Invited Athletes included

※2017年2月3日現在／As of Febrary 3, 2017

東京マラソン2017エリート募集要項

Elite Race Information

特別協賛	東京メトロ
参加資格	⑴次の①・②・③の条件を満たす競技者 ①2016年度日本陸上競技連盟登録競技者 ②2017年2月26日現在満19歳以上の者 ③国内外の公認競技会で2014年2月1日以降申込期日までに下記の公認記録を出した者 男子マラソン2時間21分以内、ハーフマラソン1時間01分00秒以内、10km(ロード)28分00秒以内 女子マラソン2時間52分以内、ハーフマラソン1時間11分00秒以内、10km(ロード)32分00秒以内 ⑵日本陸上競技連盟が推薦する男女競技者 ⑶日本陸上競技連盟が招待する外国・国内男女競技者
競技規則	2016年度国際陸上競技連盟（IAAF）並びに日本陸上競技連盟規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAFが認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations（IAAFロードレースラベリング規定）も適用される。
定員	男女計100人
参加料	10, 800円※申し込み後の参加取り消しについては返金しない。
参加申込	⑴期間　2016年12月12日(月)から2017年1月10日(火)17:00必着 ⑵方法　氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2017@tokyo42195.orgへ「エリート参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。
出場者決定	1月26日(木)以降、参加案内、ナンバーカード引換証とともに出場決定通知を送付する。
表彰	「東京マラソン2017」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
賞金	1位11,000,000円、2位4,000,000円、3位2,000,000円、4位1,000,000円、5位750,000円、 6位500,000円、7位400,000円、8位300,000円、9位200,000円、10位100,000円 世界記録30,000,000円（男女１位のみ） 日本記録 5,000,000円（男女国内1位のみ） 大会記録 3,000,000円（男女1位のみ） ※1位賞金については、賞金と副賞を一本化。 ※金額はいずれも税込み。
選手受付	2月25日(土)13:00 ～ 16:00　京王プラザホテル※大会当日は受付を行わない。
テクニカルミーティング	※希望者のみ　2月25日(土)16：00 ～京王プラザホテル
スペシャルドリンク受付	※希望者のみ　2月26日(日) 6:00 ～ 7:00 京王プラザホテル ※容器は各自で準備のこと（装飾物を含めたサイズ:直径8cm、高さ35cmまで） ※スペシャルドリンクテーブルは、一定時間経過後撤去する。
個人情報の取り扱いについて	主催者及び日本陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者及び日本陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
その他	⑴主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加料の返金は一切行わない。 ⑵主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。 ⑶競技中に発生した事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。 ⑷ドーピングコントロール 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。 ⑸ＴＵＥ申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例（TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ（http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ（http://www.playtruejapan.org/）を確認すること。 ⑹未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得 2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年（20歳未満）競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。 ①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書はhttp://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdfからダウンロード出来る。 ②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR（大会医事代表）に提出すること。提出は未成年時に１回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。 ⑺大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。 ⑻賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。 ⑼本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。

※大会名称などその他の情報は P.6 の大会要項を参照

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

東京マラソンは、世界6大マラソンのひとつです。

The Tokyo Marathon is One of the World's Greatest Six Marathons

■アボット・ワールドマラソンメジャーズについて

世界中のランナーにとってアボット・ワールドマラソンメジャーズ（AbbottWMM）で競うことは、非常に名誉あることです。世界最大規模の主要6大会ー東京・ボストン・ロンドン・ベルリン・シカゴ・ニューヨークシティーで構成されるAbbottWMMはランナーに恩恵をもたらす独自の取り組みを行っています。

- 他では出来ない経験ー各大会の素晴らしい運営は、ランナーに最高のレース体験を保証します。
- シリーズ覇者決定-エリート選手は毎年、AbbottWMMシリーズ大会において、優勝賞金をかけて競います。
- マラソン競技の発展-AbbottWMMは競技としてのマラソンの発展に向け、アンチ・ドーピング規定の推進をはじめとした様々な活動に積極的に取り組んでいます。

■歴史

ボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティマラソンの各主催者が、エリートランナー及び一般ランナーが参加するマラソン大会におけるグローバルなリーダーシップを提供するという使命のもと、2006年にAbbottWMMを創設し、東京マラソンは2013年に加入しました。ランニング業界を主導する組織が一致団結し、マラソン競技の発展とエリート選手の意識向上を目指すと同時に、ランニングファンの間におけるエリートレースへの関心を高めるべく活動しています。

2014年10月、世界的ヘルスケア関連企業のアボットとワールドマラソンメジャーズ（WMM）は、新たなパートナシップを結んだことを発表しました。アボットは東京マラソン2015から、シリーズの初タイトルスポンサーとなりました。Tim Hadzimaが2014年12月にAbbottWMMのゼネラルマネージャーに就任しました。

シリーズの新形式ー東京マラソン2015から、それまでの2年周期シリーズに代わり、1年周期における対象レースでのポイントを競う新シリーズとなることが、2015年2月に発表されました。さらに2015年4月には、2016年ボストンマラソンからシリーズを拡大し、車いすレースも加えてスタートさせることを発表しました。

■About the Abbott World Marathon Majors

For runners across the globe, competing in an Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM) race is a significant accomplishment. Six of the largest and most renowned road races in the world the Tokyo, Boston, Virgin Money London, BMW BERLIN, Bank of America Chicago and TCS New York City Marathons make up AbbottWMM. The organization delivers several unique benefits to runners:

- Unparalleled experiences - operational excellence at each race ensures a premium race - day journey for runners
- Championship Series - professional runners competing in AbbottWMM qualifying events compete for a prize purse every year
- Advancement of marathoning - AbbottWMM organizers aggressively champion anti-doping protocols and other efforts to move the sport forward

■History

Organizers of the Boston, London, Berlin, Chicago and New York city marathons joined together in 2006 to create AbbottWMM with a mission of providing global leadership in elite and mass participation marathons. The Tokyo Marathon entered the collective in 2013. These industry leading organizations are now united in their effort to advance the sport, raise awareness of marathons' elite athletes, and increase the level of interest in elite racing among running enthusiasts.

In October 2014, Abbott, a global healthcare company, and the World Marathon Majors announced a new partnership. Abbott became the race series' first-ever title sponsor, effective at the Tokyo Marathon 2015. Tim Hadzima was appointed as the general manager of the Abbott World Marathon Majors in December of 2014.

A new series format-a one-year cycle of qualifying races-was announced in February 2015, beginning at the Tokyo Marathon 2015, replacing the previous two-year series format. In April of 2015, it was also announced that the series would expand to include wheelchair athletes, starting at the 2016 Boston Marathon.

PAST SERIES CHAMPIONS
過去シリーズチャンピオン

Series		Men	Women
Series I	(2006–07)	Robert K. Cheruiyot, Kenya	Gete Wami, Ethiopia
Series II	(2007–08)	Martin Lel, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series III	(2008–09)	Samuel Wanjiru, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series IV	(2009–10)	Samuel Wanjiru, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series V	(2010–11)	Emmanuel Mutai, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya
Series VI	(2011–12)	Geoffrey Mutai, Kenya	Mary Keitany, Kenya
Series VII	(2012–13)	Tsegaye Kebede, Ethiopia	Priscah Jeptoo, Kenya
Series VIII	(2013–14)	Wilson Kipsang, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya
Series IX	(2015–16)	Eliud Kipchoge, Kenya	Mary Keitany, Kenya

Abbott World Marathon Majors

■シリーズ形式

AbbottWMMチャンピオンは、1年のシリーズ期間中に開催されるポイント対象大会を通して決定され、シリーズには、かつてないほどの厳しいアンチ・ドーピング規定も導入されています。AbbottWMMシリーズは1年周期で開催され、以下の大会が対象レースとなります：東京マラソン、ボストンマラソン、ロンドンマラソン、ベルリンマラソン、シカゴマラソン、ニューヨークシティマラソン、オリンピック/パラリンピックマラソン、IAAF/World Para Athletics世界選手権マラソン。

■Series Format

The champions of the Abbott World Marathon Majors are determined through a one-year cycle of Qualifying Races featuring unprecedented anti-doping protocols. The Abbott World Marathon Majors Series cycles through one year of competition and consist of the following Qualifying Races: Tokyo Marathon, Boston Marathon, Virgin Money London Marathon, BMW BERLIN MARATHON, Bank of America Chicago Marathon, TCS New York City Marathon, Olympic/Paralympic Marathon and IAAF/World Para Athletics World Championships Marathon.

Series/シリーズ

Series X	2016 Boston Marathon to 2017 Boston Marathon
Series XI	2017 Virgin Money London Marathon to 2018 Virgin Money London Marathon
Series XII	2018 BMW BERLIN MARATHON to 2019 BMW BERLIN MARATHON
Series XIII	2019 Bank of America Chicago Marathon to 2020 Bank of America Chicago Marathon
Series XIV	2020 TCS New York City Marathon to 2021 TCS New York City Marathon

ポイントシステム：1年間のスコアリング期間中、対象レースで最も多くポイントを獲得した男女選手がAbbottWMMシリーズチャンピオンとなります。スコアリング期間中、最大2つの対象大会でのポイントが加算されます。シリーズタイトルを獲得するには、少なくとも2つの対象大会に出場する必要があります。3つ以上の大会でポイントを得た場合は、より良い成績を残した2大会分のみのポイントが加算されます。車いすマラソンの場合には、最大4大会分/5大会分（5大会以上出場の場合、より成績の良い4大会。パラリンピックまたは世界選手権が含まれるシリーズでは、より成績の良い5大会分）のポイントが加算されます。

各大会において、下記ポイントが与えられます。

1st place / 1位	2nd place / 2位	3rd place / 3位	4th place / 4位	5th place / 5位
25 points	16 points	9 points	4 points	1 point

同点決勝：シリーズ終了時の獲得ポイントが同点の場合、下記ルールに従い優勝者が決定されます。

1. シリーズ期間中の対象大会における直接対決の記録が良い方の選手。順位がどれだけ良かったかではなく、より上位でフィニッシュしたという事実のみが考慮されます。この直接対決に関しては、シリーズにおけるポイントを獲得したか否かは考慮しないものとします。
2. シリーズ期間中、最も多くの対象大会で優勝した選手。
3. AbbottWMM6大会のレースディレクターのうち、過半数に優勝者にふさわしいと見なされた選手。場合によっては、同点の複数の選手にシリーズタイトルを授与する場合があり、その場合は賞金も該当者間で等分されます。

ドーピング違反：AbbottWMM規定のもと、IAAF（国際陸上競技連盟）、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）、各国の陸上連盟および各AbbottWMM大会により定められたアンチ・ドーピング規定に違反した選手には、AbbottWMMシリーズタイトルを獲得する資格が無いものと見なします。選手はAbbottWMM行動規範を遵守するものとします。

優勝賞金：AbbottWMMは男女の総合優勝者に各50万ドル、車いすの男女総合優勝者に各5万ドルを贈呈します。

シリーズ：各シリーズは1年周期で開催され、シリーズの開始と終了は同じAbbottWMM大会となります。

Point System: The champions of the AbbottWMM Series are the male and female athletes who score the greatest number of points from Qualifying Races during the one-year scoring period.

During each scoring period, points from a maximum of two Qualifying Races will be scored. An athlete must start in two Qualifying Races over the Series cycle to be eligible for the championship. If an athlete earns points in more than two events, the athlete's highest two finishes will be scored.

The Wheelchair Series will follow the same rules, with the only difference being the number of races that count for the title. In Series without World Championships or Paralympic Games it will be the best four of seven races to score. In years with either of those events, it will be the best five of eight races to score.

Points are allocated following each race as follows:

Tiebreaker: In the event of a tie in points earned at the conclusion of a Series cycle, the winner shall be determined using the following rules (addressed in descending order).

1. The athlete with the best head-to-head record in Qualifying Races during the Series period will be declared the winner. Only the fact that one athlete finished ahead of the other will be taken into account and not by how many places. For purposes of clarity, it shall not matter whether or not the athletes scored points towards their Series total when considering head-to-head competition.
2. The athlete who has won the most Qualifying Races during the period.
3. The athlete whom the majority of the Race Directors of the six Abbott World Marathon Majors determines to be the champion. In such circumstances, the Race Directors may decide to award the title jointly.

Doping Violations: Under AbbottWMM rules, no athlete who has been found guilty of any anti-doping rules enforced by the IAAF, World Anti-Doping Association (WADA), National Federations, or any of the individual AbbottWMM races is eligible to win the AbbottWMM championship title. Athletes must comply with the AbbottWMM Code of Conduct.

Prize Purse: AbbottWMM will award a $1 million prize to be split equally by the top men's and women's runner champions, and $100,000 to be split equally by the top men's and women's wheelchair champions.

Series: Each series starts and ends at the same Qualifying race over a one-year period.

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ABBOTT WORLD MARATHON MAJORS | X SERIES

Abbott World Marathon Majors Races - Series X

アボット・ワールドマラソンメジャーズ大会 - シリーズX

Race	Date
Boston Marathon	Monday, April 18, 2016
Virgin Money London Marathon	Sunday, April 24, 2016
Olympic Marathon/Paralympic Marathon	Sunday, August 14 (women); Sunday, August 21 (men)/ Sunday, September 18, 2016
BMW Berlin Marathon	Sunday, September 25, 2016
Bank of America Chicago Marathon	Sunday, October 9, 2016
TCS New York City Marathon	Sunday, November 6, 2016
Tokyo Marathon	Sunday, February 26, 2017
Boston Marathon	Monday, April 17, 2017

Abbott World Marathon Majors Series X Leaderboards (as of January 2017)

AbbottWMMシリーズX リーダーボード（2017年1月時点）

Men's Runners—Top 10

1 .	Eliud Kipchoge (KEN)	50 pts.
2 .	Kenenisa Bekele (ETH)	34 pts.
3 .	Ghirmay Ghebreslassie (ERI)	29 pts.
4 .	Lemi Berhanu Hayle (ETH)	25 pts.
4 .	Abel Kirui (KEN)	25 pts.
6 .	Wilson Kipsang (KEN)	17 pts.
7 .	Stanley Biwott (KEN)	16 pts.
7 .	Dickson Chumba (KEN)	16 pts.
7 .	Lelisa Desisa (ETH)	16 pts.
7 .	Feyisa Lilesa (ETH)	16 pts.
7 .	Lucas Rotich (KEN)	16 pts.

Women's Runners—Top 10

1 .	Jemima Jelagat Sumgong (KEN)	50 pts.
2 .	Florence Kiplagat (KEN)	34 pts.
3 .	Aberu Kebede (ETH)	25 pts.
3 .	Mary Keitany (KEN)	25 pts.
3 .	Atsede Baysa (ETH)	25 pts.
6 .	Tirfi Tsegaye (ETH)	20 pts.
7 .	Birhane Dibaba (ETH)	16 pts.
7 .	Eunice Kirwa (BRN)	16 pts.
7 .	Sally Kipyego (KEN)	16 pts.
7 .	Tigist Tufa (ETH)	16 pts.
7 .	Edna Kiplagat (KEN)	16 pts.

Men's Wheelchair Racers—Top 10

1 .	Marcel Hug (SUI)	125 pts.
2 .	Kurt Fearnley (AUS)	73 pts.
3 .	Ernst van Dyk (RSA)	40 pts.
4 .	Joshua George (USA)	18 pts.
5 .	David Weir (GBR)	13 pts.
6 .	Gyu Dae Kim (KOR)	10 pts.
7 .	Hiroki Nishida (JPN)	9 pts.
8 .	Ryota Yoshida (JPN)	4 pts.
8 .	Aaron Pike (USA)	4 pts.
8 .	Chengming Liu (CHN)	4 pts.

Women's Wheelchair Racers—Top 10

1 .	Tatyana McFadden (USA)	116 pts.
2 .	Manuela Schar (SUI)	89 pts.
3 .	Amanda McGrory (USA)	32 pts.
4 .	Lihong Zou (CHN)	26 pts.
5 .	Wakako Tsuchida (JPN)	22 pts.
6 .	Sandra Graf (SUI)	20 pts.
7 .	Margriet van den Broek (NED)	9 pts.
7 .	Susannah Scaroni (USA)	9 pts.
9 .	Shirley Reilly (USA)	1 pts.
9 .	Katrina Gerhard (USA)	1 pts.

東京マラソン Tokyo Marathon

東京マラソンについて

東京マラソン財団主催の東京マラソンは、第1回大会を2007年2月18日に開催し、申込者は95, 044人、参加者は30, 870人となりました。優勝者は男子がケニアのダニエル・ジェンガ（2:09:45）と女子が日本の新谷仁美（2:31:01）。今では30万人を超える申込者と参加者3万6000人近くを集める大会にまで成長しました。「東京がひとつになる日。」というコンセプトのもと、東京マラソンはランナー、ボランティア、観客をひとつにします。2011年からは独自のチャリティプログラム「Run with Heart」を導入し、寄付者は様々な事業に貢献することができます。東京マラソン2016のチャリティランナー出走登録者の数は、初めて定員の3000人に達し、寄付金も3億円を超えました。

10回記念大会からロゴを一新。ランナー、ボランティア、応援する人を象徴するデザインで「東京がひとつになる日。」を表現しています。また、2017大会（平成29年2月26日）は、東京駅前・行幸通りでフィニッシュする新コースで開催されます。2020年のオリンピック開催地として東京が選ばれたことにより、国内外から更なる注目と人気を集めています。

ABOUT THE TOKYO MARATHON

Organized by the Tokyo Marathon Foundation, the inaugural Tokyo Marathon was held on February 18, 2007, and drew 95,044 applicants and 30,870 participants. Kenya's Daniel Njenga (2:09:45) and Japan's Hitomi Niiya (2:31:01) were the first champions. Since then, the Tokyo Marathon has grown to over 300,000 applicants and nearly 36,000 participants. Through its theme, "The Day We Unite.", the Tokyo Marathon brings together runners, volunteers and spectators. In 2011, the Tokyo Marathon implemented its own charity program, "Run with Heart", through which donors can contribute to various charitable activities. In 2016, the number of charity runner entrants has reached its capacity of 3,000 for the first time and more than $3 million was raised.

From its 10th anniversary event, Tokyo Marathon 2016, the official race logo has been renewed to present the portrayed images of the runners, volunteers and cheering crowds along the course, which symbolizes the race theme "The Day We Unite." In addition, Tokyo Marathon 2017, which will be held on February 26, 2017, will have a new course that finishes in front of the Tokyo station / Gyoko-dori area for the first time. As Tokyo was chosen to host the 2020 Olympic Games, the Tokyo Marathon is also gaining more attention and popularity from home and abroad.

初回開催年 / Inaugural Running 2007

最多完走者数 / Largest Field (total finishers) 34,819 – 2013

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2007	25, 102	19, 505	5, 597
2008	26, 665	20, 738	5, 927
2009	29, 128	22, 807	6, 321
2010	30, 182	23, 823	6, 359
2011	32, 415	24, 678	7, 737
2012	34, 678	27, 355	7, 323
2013	34, 819	27, 819	7, 000
2014	34, 126	27, 203	6, 923
2015	34, 049	26, 827	7, 222
2016	34, 697	27, 121	7, 576

観衆人数 / Estimated Number of Spectators 1. 600, 000

賞金総額

男子・女子それぞれ合計20, 250,000円
（男子･女子優勝はそれぞれ11, 000,000円）

Prize Purse

JPY 20,250,000 for both men and women
(JPY 11,000,000 for male and female champions)

公式チャリティ

東京マラソン2017チャリティ "Run with Heart"
（東京マラソンによるスポーツレガシープログラム他、15の寄付先事業）

Official Charities

Tokyo Marathon 2017 Charity "Run with Heart"
(Sports Legacy Program by Tokyo Marathon Foundation, and 15 other recipient programs)

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:05:42	Dickson Chumba (KEN), 2014
Women's Runners:	2:21:27	Helah Kiprop (KEN), 2016
Men's Wheelchair Racers:	1:26:00	Kurt Fearnley (AUS), 2016
Women's Wheelchair Racers:	1:41:04	Wakako Tsuchida (JPN), 2016

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ボストンマラソン Boston Marathon

ボストンマラソンについて

1896年アテネで初開催されたオリンピックに触発され、翌1897年、Boston Athletic Association (B.A.A.,ボストン体育協会) のメンバーによってマラソン大会が創設されました。ボストンマラソンは創設以来毎年開催され、(1918年度は個人レースよりも軍隊のリレーを主体に開催されましたが) 今日では世界で最も歴史のあるマラソン大会です。過去何度かスタートとフィニッシュの位置は変更されましたが、当初設定されたコースのほとんどは現在も変わらず使用されています。

1924年から、ホプキントンをスタートとして、アシュランド、フレーミングハム、ナティック、そしてウェルズリーへと下るコースとなりました。ニュートンに差し掛かると、有名な“心臓破りの丘”へと徐々に上りコースとなります。ランナーは丘の頂上に到達して初めてそこから4マイル離れたボストンの街を目にすることができます。ブルックラインを走り抜けると、コースはフィニッシュとなる歴史あるボイルストンストリートに入ります。そのコースと長い歴史に加え、ランナーの、性別・年代別参加基準タイムが設けられていることも、ボストンマラソンの特徴となっています。

ABOUT THE BOSTON MARATHON

Inspired by their experience at the 1896 Olympic Games, several members of the Boston Athletic
Association founded their own marathon in 1897. The race has been run every year since (though the 1918 edition featured a military relay rather than an individual race) and is now the world's oldest annual marathon. Both the start and finish lines have been moved over the years, but much of the original course remains exactly as it was originally designed.

Since 1924, the race has begun in the town of Hopkinton, and from there the point-to-point course descends through Ashland, Framingham, Natick and Wellesley. Upon entering Newton, the course gradually rises to the famous Heartbreak Hill. As runners reach the top, they can see downtown Boston for the first time, four miles in the distance. After running through Brookline, the course enters Boston where it finishes on historic Boylston Street. Runners must qualify for entry by meeting time standards corresponding to gender and age, which is another aspect—besides its course and longevity—unique to the Boston Marathon.

初回開催年 / Inaugural Running 1897

最多完走者数 / Largest Field (total finishers) 35,868 – 1996

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2006	19,682	12,061	7,621
2007	20,338	12,364	7,974
2008	21,948	13,019	8,929
2009	22,843	13,545	9,298
2010	22,540	13,072	9,468
2011	23,913	13,839	10,074
2012	21,616	12,621	8,995
2013	17,600	10,649	6,951
2014	31,925	17,582	14,343
2015	26,598	14,580	12,018
2016	26,629	14,463	12,166

観衆人数 / Estimated Number of Spectators 500,000

賞金総額
$830,500ドル
(男子・女子優勝はそれぞれ150,000ドル)

Prize Purse
$830,500
($150,000 apiece for the male and female champions)

公式チャリティ
32団体

Official Charities
32

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:03:02	Geoffrey Mutai (KEN), 2011
Women's Runners:	2:19:59	Buzunesh Deba (ETH), 2014
Men's Wheelchair Racers:	1:18:25	Josh Cassidy (CAN), 2012
Women's Wheelchair Racers:	1:34:06	Wakako Tsuchida (JPN), 2011

ロンドンマラソン Virgin Money London Marathon

Virgin Moneyロンドンマラソンについて

1979年にJohn Disleyと今は亡きChris Brasherはニューヨークシティマラソンを走ったことをきっかけに、「ニューヨークのような大会をロンドンでできないだろうか？」と考えました。「ロンドンにもコースはある……。しかし、世界中のランナーを受け入れるためのホスピタリティはあるだろうか？」。翌年Brasherは、1970年代後半のランニングブームが到来したばかりのアメリカを訪れ、ボストンマラソンを目の当たりにし、再びニューヨークシティマラソンにも訪れました。そこで大会の組織運営や資金調達などを学び、帰国後すぐに、BrasherとDisleyはGillette（ジレット）と75,000ポンド（約1,000万円）で3年間のスポンサー契約を締結し、チャリティの仕組みも創設、そして大会における6つの指針を定めました。

第1回大会は1981年3月29日に開催され、20,000人以上の申込みがあり、7,747人が参加しました。完走者6,255人の先頭に立って優勝したのは、男子が、手をつなぎながら同着フィニッシュしたアメリカのDick BeardsleyとノルウェーのInge Simonsen、女子はイギリス記録も更新したJoyce Smithでした。翌1982年の大会は世界中から90,000人以上の申込みがあり、18,059人が参加しました。

以降もロンドンマラソンはさらなる発展を続け、2016大会では39,000人以上が完走し、エリート選手は賞金総額313,000ドル（約3,300万円）をめぐって競い合う大会にまで成長しました。エリートレースでは男子・女子共にロンドンで世界記録が樹立されています。2003年にイギリスの女子選手ポーラ・ラドクリフが記録した2:15:25という世界記録は現在も破られていません。レースは196ヶ国以上で視聴され、イギリスではBBC放送で400～500万人が視聴しています。

ABOUT THE VIRGIN MONEY LONDON MARATHON

In 1979, after running the New York City Marathon with John Disley, the late Chris Brasher questioned whether London could stage such a festival: “We have the course . . . but do we have the heart and hospitality to welcome the world?” Later that year, Brasher travelled to America, where the running boom of the late 1970s had started. He witnessed the Boston Marathon and revisited the New York City race. He studied both races’ organizations and finances. On his return, Brasher and Disley secured a three-year contract with Gillette for £75,000, established the organization’s charitable status, and set down six main aims for the event. The first London Marathon was held on March 29, 1981. More than 20,000 people wanted to run; 7,747 were accepted. There were 6,255 finishers, led home by American Dick Beardsley and Norwegian Inge Simonsen who crossed the finish line hand in hand. Joyce Smith broke the British record to win the women’s race. The 1982 race received more than 90,000 applicants from around the world. The entry was limited to 18,059.

Since then, the London Marathon has grown to more than 39,000 starters and finishers, and elite runners compete for $313,000 in prize money. Both the men’s and women’s pro runner world records have been set in the race, including the current women’s mark of 2:15:25, set by Paula Radcliffe of Great Britain in 2003. The race is viewed in more than 196 countries worldwide and watched by between four and five million viewers in the UK via the BBC.

初回開催年 / Inaugural Running 1981

最多完走者数 / Largest Field (total finishers) 39,140 – 2016

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2005	35,105	24,641	10,464
2006	33,222	24,825	10,875
2007	34,497	23,576	10,921
2008	34,497	23,576	10,921
2009	35,268	24,231	11,037
2010	36,550	24,423	12,127
2011	34,838	22,525	12,313
2012	36,748	23,684	13,064
2013	34,280	22,031	12,249
2014	35,800	22,608	13,272
2015	37,671	23,281	14,390
2016	39,140	24,020	15,120

観衆人数 / Estimated Number of Spectators 759,000

賞金総額

313,000ドル(男子・女子優勝はそれぞれ55,000ドル)、タイムボーナス・記録ボーナス有

Prize Purse

$313,000 ($55,000 apiece for the male and female champions) + time and record bonuses

公式チャリティ

NSPCC（英国児童虐待防止協会）(2016)

Official Charities

NSPCC – National Society for the Prevention of Cruelty to Children (2016)

大会記録 / Course Records

Men’s Runners:	2:03:05	Eliud Kipchoge, (KEN), 2016
Women’s Runners:	2:17:42	Paula Radcliffe, (GBR), 2005 (women only)
	2:15:25	Paula Radcliffe, (GBR), 2003 (mixed)
Men’s Wheelchair Racers:	1:28:57	Kurt Fearnley, (AUS), 2009
Women’s Wheelchair Racers:	1:41:14	Tatyana McFadden, (USA), 2015

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ベルリンマラソン BMW Berlin Marathon

BMWベルリンマラソンについて

ドイツで最も有名な陸上クラブの一つであるSC Charlottenburgのランナーたちが、1974年にベルリンマラソンを初開催しました。大会コースは、1981年にグルーネヴァルト（大きな森）から西ベルリンの中心街へと変更。西ベルリンを占領していたイギリス、フランス、アメリカ軍の支援もあり急速な発展を遂げた大会は、ドイツで最も大きく質の高いマラソン大会へと成長しました。1989年11月にベルリンの壁が崩壊し、新たな時代が幕を開け、ドイツ再統一3日前の1990年9月30日のベルリンマラソンから、ベルリン東西を通りブランデンブルク門をくぐり抜けるコースへと変更されました。2001年大会で高橋尚子が女子選手として初めて2時間20分（2:19:46）の壁を破りました。

BMWベルリンマラソンは世界の中でも素晴らしいロードレースの一つとして成長してきました。2003年には平坦で高速な周回コースが大幅変更。ケニアのポール・テルガトはその新コースで、ベルリン統一の象徴であるブランデンブルク門を通ってフィニッシュした最初の選手となり、また2:04:55で世界記録を更新しました。エチオピアのハイレ・ゲブレシラシエは2007年に2:04:26、さらに翌年2:03:59と2度にわたり世界記録を更新しました。2011年大会ではケニアのパトリック・マカウが2:03:38で世界記録を更新しましたが、2013年に同じくケニアのウィルソン・キプサングが2:03:23を記録、更に2014年にはケニアのデニス・キメットが2:02:57で現世界記録を樹立しました。

ABOUT THE BMW BERLIN MARATHON

A group of runners from one of Germany's most prestigious athletics clubs, SC Charlottenburg, organized the first Berlin Marathon in 1974. In 1981, the race moved from the Grunewald (a large forest) into the city center of West Berlin. Supported by the three Western forces of Great Britain, France, and the United States, the race quickly developed into Germany's biggest and highest-quality marathon. After the Berlin Wall collapsed in November of 1989, a new era began. On September 30, 1990, three days before reunification, the course of the Berlin Marathon was redirected through the Brandenburg Gate and hence both parts of Berlin. In the 2001 race, Naoko Takahashi became the first woman to break the 2:20 barrier. The flat and fast loop course was then changed significantly for the 2003 race.

The BMW Berlin Marathon has developed into one of the world's finest road races. Paul Tergat of Kenya became the first man to cross the new finish line, passing through the Brandenburg Gate—the symbol for reunification—and setting a world record of 2:04:55. Haile Gebrselassie of Ethiopia further lowered the men's world mark twice in Berlin—to 2:04:26 in 2007 and then to 2:03:59 a year later. In the 2011 race, Patrick Makau of Kenya set another new men's world record of 2:03:38; in 2013, his countryman Wilson Kipsang lowered it again, to 2:03:23, and the current world mark of 2:02:57 was set in 2014 by Dennis Kimetto, also of Kenya.

初回開催年 / Inaugural Running 1974

最多完走者数 / Largest Field (total finishers) 36,549 – 2013

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2005	30,382	24,511	5,871
2006	30,190	24,103	6,087
2007	32,530	26,032	6,498
2008	35,746	28,340	7,406
2009	35,034	27,962	7,072
2010	34,056	26,626	7,430
2011	32,991	25,577	7,414
2012	34,350	26,452	7,898
2013	36,549	27,557	8,992
2014	28,946	22,178	6,768
2015	36,767	27,857	8,910
2016	35,999	26,771	9,228

観衆人数 / Estimated Number of Spectators 1,500,000

賞金総額
340,000ドル（男子・女子優勝はそれぞれ64,000ドル）

Prize Purse
$340,000 ($64,000 apiece for the male and female champions)

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:02:57	Dennis Kimetto, (KEN), 2014
Women's Runners:	2:19:12	Mizuki Noguchi, (JPN), 2005
Men's Wheelchair Racers:	1:21:39	Heinz Frei, (SUI), 1997
Women's Wheelchair Racers:	1:42:07	Janette Janson, (NED), 1992

シカゴマラソン Bank of America Chicago Marathon

Bank of America シカゴマラソンについて

1976年、ランニング愛好家の小さなグループがラサールストリートのメトロポリタンYMCAに集まり、シカゴでのマラソンを計画しました。新シカゴ市長Michael Bilandicのスポーツへの情熱と、Lee Flahertyのリーダーシップに後押しされ、団体は1977年9月25日に構想を実現させ第1回目のシカゴマラソンを開催、地元から4,200人が参加しました。シカゴマラソンは、今では45,000人の参加者と約170万人の観衆を集めるまでに成長しました。平坦な高速コースは、歴史あるグラントパークでスタート・フィニッシュし、レイクビューやグリークタウン、リトルイタリー、ピルセン、チャイナタウンそしてブロンズビルを含む、29の文化的に多様な地区を通過します。周回コースであること、そして豊富な公共交通機関が利用可能であることによって、コース沿いの多くの場所で友人や家族がランナーを応援することができます。シカゴマラソンには昔から世界最速のランナーたちが集い、2度の男子世界記録（Steve Jones, 2:08:05, 1984; and Khalid Khannouchi, 2:05:42, 1999）、そして2度の女子世界記録（Catherine Ndereba, 2:18:47, 2001; and Paula Radcliffe, 2:17:18, 2002）更新の舞台となっています。

ABOUT THE BANK OF AMERICA CHICAGO MARATHON

In 1976, a small band of running enthusiasts met at the Metropolitan YMCA on LaSalle Street to discuss and plan a marathon in Chicago. Backed by the athletic enthusiasm of the new Chicago Mayor, Michael Bilandic, and the leadership of Lee Flaherty, this founding group realized their vision on September 25, 1977, when they hosted 4,200 local participants in the first Chicago Marathon. The Bank of America Chicago Marathon has since expanded to 45,000 registered runners and an estimated 1.7 million on-course spectators. The flat and fast course begins and ends in historic Grant Park, sweeping through 29 diverse and colorful neighborhoods including Lakeview, Greektown, Little Italy, Pilsen, Chinatown, and Bronzeville. The loop course and abundance of public transportation options enables friends and family to cheer their runners on at many locations along the course. The Bank of America Chicago Marathon has a long history of hosting the world's fastest runners and has been the site of two men's world records (Steve Jones, 2:08:05, 1984; and Khalid Khannouchi, 2:05:42, 1999) and two women's world records (Catherine Ndereba, 2:18:47, 2001; and Paula Radcliffe, 2:17:18, 2002).

初回開催年 / Inaugural Running 1977

最多完走者数 / Largest Field (total finishers) 40,659 – 2014

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2005	32,868	18,602	14,266
2006	33,633	18,910	14,723
2007	25,534	15,348	10,186
2008	31,343	17,678	13,665
2009	33,703	19,077	14,626
2010	36,088	19,946	16,142
2011	35,775	20,284	15,471
2012	37,475	20,681	16,794
2013	39,122	21,595	17,527
2014	40,659	22,242	18,417
2015	37,459	20,207	17,252
2016	39,313	21,638	17,675

観衆人数 / Estimated Number of Spectators 1,700,000

賞金総額
753,000ドル（男子・女子優勝はそれぞれ100,000ドル）、タイムボーナス・記録ボーナス有

Prize Purse
$753,000 ($100,000 apiece for the male and female champions) + time and record bonuses

公式チャリティ
181団体

Official Charities
181

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:03:45	Dennis Kimetto, (KEN), 2013
Women's Runners:	2:17:18	Paula Radcliffe, (GBR), 2002
Men's Wheelchair Racers:	1:26:56	Heinz Frei, (SUI), 2010
Women's Wheelchair Racers:	1:41:10	Tatyana McFadden, (USA), 2015

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

Abbott World Marathon Majors

ニューヨークシティマラソン TCS New York City Marathon

TCSニューヨークシティマラソンについて

NYRRを代表とするイベントのひとつ、TCSニューヨークシティマラソンは、世界で最も愛され、誰しもを受け入れる大会であり、生涯またとない挑戦やスリルを求めるエリートランナーや一般ランナーを魅了するマラソン大会です。1970年にわずか127人がセントラルパークを４周走って始まったニューヨークシティマラソンは、目覚ましい成長を遂げてきました。今では毎年、世界中から約50,000人の参加者が、スタテンアイランドのヴェラザノ・ナローズ・ブリッジの袂からスタートし、ニューヨーク５区全てを通過しながらセントラルパークでフィニッシュする、刺激と興奮に満ちたコースを走るため11月のニューヨークシティを訪れます。ランナーの目的は様々で、賞金のため、自慢になる思い出作りのため、チャリティあるいは自己ベスト更新のために走ります。ランナーは沿道の100万人以上の観衆から声援を受けます、そして大会は約８億５千万世帯で視聴されています。

ABOUT THE TCS NEW YORK CITY MARATHON

NYRR's premier event, the TCS New York City Marathon is the most loved and most inclusive marathon in the world, attracting elite athletes and recreational runners alike for the challenge and thrill of a lifetime. The race has grown tremendously since it began in 1970 with just 127 runners racing four laps of Central Park. Now, approximately 50,000 participants from all over the globe flock to New York City every November for an adrenaline-filled road tour of all five boroughs, starting on Staten Island at the foot of the Verrazano-Narrows Bridge and ending in Central Park. Some run for prize money or bragging rights, others for charity or their personal best. All are cheered on by more than one million live spectators, and the race has a broadcast reach of over 850 million households.

初回開催年 / Inaugural Running 1970

最多完走者数 / Largest Field (total finishers) 51,394 – 2016

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2005	36,856	24,794	12,062
2006	37,869	25,548	12,321
2007	38,607	26,072	12,535
2008	38,096	25,216	12,880
2009	43,660	28,485	15,369
2010	45,103	28,948	16,155
2011	47,340	30,068	17,272
2013	50,266	36,699	19,567
2014	50,530	30,108	20,422
2015	49,595	28,899	20,696
2016	51,394	29,930	21,464

観衆人数 / Estimated Number of Spectators 1,000,000

賞金総額
803,000ドル（男子・女子優勝はそれぞれ100,000ドル）

Prize Purse
$803,000

公式チャリティ
340団体

Official Charities
340

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:05:06	Geoffrey Mutai, (KEN), 2011
Women's Runners:	2:22:31	Margaret Okayo, (KEN), 2003
Men's Wheelchair Racers:	1:29:22	Kurt Fearnley, (AUS), 2006
Women's Wheelchair Racers:	1:43:04	Tatyana McFadden, (USA), 2015

IAAF世界選手権選考会関連データ

Data of IAAF World Championships in Athletics Trial

第16回世界陸上競技選手権大会(2017／ロンドン)
マラソン代表選手選考要項

※東京マラソン2017が対象となっている男子に関する項目のみ抜粋

1.編成方針

本大会でのメダル獲得を含めた複数入賞を目指す選手団編成とする。

2.選考競技会

(1) 男子
①第70回福岡国際マラソン選手権大会 (2016年12月4日)
②東京マラソン2017 (2017年2月26日)
③第72回びわ湖毎日マラソン大会 (2017年3月5日)
④第66回別府大分毎日マラソン大会 (2017年2月5日)

3.選考基準

編成方針に基づき、国際陸上競技連盟 (以下、IAAF) が定める参加標準記録を有効期間中に満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。
内定条件と、選考条件を下記の通り定める。
(1) 内定条件
各選考競技会①～③で日本人1位の成績を収め、2016年1月1日から全ての選考競技会が終了するまでに、派遣設定記録を満たした競技者。 【派遣設定記録】 男子2:07:00
(2) 選考条件
各選考競技会①～③で日本人3位以内、又は④で日本人1位の競技者の中で、各選考競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者。

4.選考方法

(1) 選考基準 (1) による選考は、即時内定とする。
(2) 選考基準 (2) による選考は、選考基準 (1) 内定条件で、IAAFが定めるエントリー数の上限の枠を満たしてない場合、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

5.その他

(1) 参加標準記録及び派遣設定記録の有効期間は、2016年1月1日から全ての選考競技会が終了するまで。
(2) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はIAAFが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
(3) 選考基準 (2) からの選考は、選考競技会に複数回出場した場合は、定められた期日での調整能力を重視するため、初回の選考競技会の成績と競技内容を評価する。
(4) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合、代表を取消すことがある。
(5) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、男女各1名の補欠を選考し、ファイナルエントリーまでに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する。
(6) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
(7) 本大会は、2017年8月4日～8月13日までロンドン (イギリス) で開催される。

以上

終了した選考競技会の日本人選手成績 (2017年2月3日現在)

❶70回福岡国際マラソン選手権大会 (2016／福岡)
3位　川内　優輝 (埼玉県庁)　2時間09分11秒
4位　園田　隼　(黒崎播磨)　2時間10分40秒
10位　前田　和浩 (九電工)　2時間12分19秒

東京マラソン招待選手―海外男子

No.01 ウィルソン・キプサング（ケニア）

KIPSANG, Wilson (KEN)

DOB ：15 Mar. 1982
AGE ：34
Height：182cm
Weight：61kg

▶Personal Bests

Half Marathon	58:59	–2009
Marathon	2:03:13	–2016

▶International Championships Highlights

Half marathon
4th in 2009 World Half Marathon Championships

Marathon
3rd in 2012 Olympic Games
DNF at 2015 World Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016		/ 27:59	1:02:16	2:03:13
2015			1:02:09	2:04:47
2014			1:00:25	2:04:29
2013		/ 27:53	1:01:02	2:03:23
2012		28:41.3	59:06	2:04:44
2011			1:00:49	2:03:42
2010				2:04:57
2009			58:59	
2008			59:16	
2007		28:37.0A		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:03:13	Berlin	2nd	25-Sep-16
	2:07:52	London	5th	26-Apr-16
	2:12:45	New York	4th	1-Nov-15
	DNF	World Championships –Beijing	DNF	22-Aug-15
	2:04:47	London	2nd	26-Apr-15
	2:10:59	New York	1st	2-Nov-14
	2:04:29	London	1st	13-Apr-14
	2:03:23	Berlin	1st	29-Sep-13
	2:07:47	London	5th	21-Apr-13
	2:12:31	Honolulu	1st	9-Dec-12
	2:09:37	London - OG	3rd	12-Aug-12
	2:04:44	London	1st	22-Apr-12
	2:03:42	Frankfurt	1st	30-Oct-11
	2:06:13	Otsu (Lake Biwa)	1st	6-Mar-11
	2:04:57	Frankfurt	1st	31-Oct-10
	2:07:13	Paris	3rd	11-Apr-10

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sep	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:03:13
26 Apr	London Marathon	Marathon	5th	2:07:52
12 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	11th	1:02:16

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Nov	New York City Marathon	Marathon	4th	2:12:45
22 Aug	World Championships – Beijing	Marathon	DNF	DNF
20 Jun	Mattoni Olomouc Half Marathon	Half marathon	5th	1:02:09
13 Jun	Zwolse Half marathon – Zwolle	Half marathon	2nd	1:01:23
26 Apr	London Marathon	Marathon	2nd	2:04:47
1 Feb	Mitja Marato de Granollers	Half marathon	1st	1:02:39

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Nov	New York City Marathon	Marathon	1st	2:10:59
21 Jun	Mattoni Olomouc Half marathon	Half marathon	2nd	1:00:25
13 Apr	London Marathon	Marathon	1st	2:04:29
2 Feb	Mitja Marato de Granollers	Half marathon	1st	1:01:18

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Sep	Berlin Marathon	Marathon	1st	2:03:23
27 Jul	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	4th	1:05:26
21 Apr	London Marathon	Marathon	5th	2:07:47
17 Mar	NYC Half Marathon	Half marathon	1st	1:01:02

Former world record holder with 2:03:23, recorded in the 2013 Berlin Marathon, Wilson Kipsang was superb marathon runner from late 2010 to early 2015. However, from mid-2015 to early 2016, Kipsang could only manage three mediocre marathons and thus his day at the top seemed to be over.

But then Kipsang came back with a vengeance. In the 2016 Berlin Marathon, after a titanic battle with Kenenisa Bekele, multiple Olympic and World Championships gold medalist at track events, Kipsang finished second with the new personal best of 2:03:13. he tied fourth fastest time on the standard course.

His top five performances average is 2:03:54, fastest in history. Furthermore he has broken 2:04 three times and 2:05 seven times, both highest in history. In his 16 marathons, except for one DNF at the 2015 World Championships Marathon, he never finished worse than fifth. Furthermore, Kipsang failed to crack 2:10 only three times, twice at hilly New York City Marathon course and once at warm and humid Honolulu Marathon. Kipsang ran the marathon once in Japan, at Lake Biwa Marathon in 2011 and won with the course record of 2:06:13. The time is still the course record.

This year's Tokyo Marathon will be contested over the flatter new course, and thus the Tokyo Marathon record of 2:05:42 is likely to be broken, and Kipsang, fastest runner in this year's Tokyo Marathon, is the runner who most likely will break the record. If he records a sub-2:05 clocking, Kipsang will extend consecutive sub-2:05 season to eight from 2010 to 2017.

2013年のベルリン・マラソンで２時間３分23秒の当時世界記録を樹立したウィルソン・キプサングは、2010年秋から2015年春までマラソンで好記録を連発していた。ところが、2015年半ばからは３回連続期待はずれの結果で、彼の時代は終わりを迎えるかに思われた。

しかし、キプサングは復活を果たした。2016年のベルリン・マラソンでは、5000ｍと10000ｍの五輪、世界選手権金メダリストであるケネニサ・ベケレとの大接戦の末２位に終わったが、34歳にして世界歴代４位タイの２時間３分13秒を叩き出したのだ。

キプサングのマラソンにおける自己記録トップ５の平均値は、歴代最速となる２時間３分54秒だ。彼は２時間４分を３回、そして２時間５分を７回切っている。いずれも世界最高である。今回で17回目のマラソンとなるが、これまで16回のマラソンでは、北京世界選手権での途中棄権を除けば６位以下は１度もない。そして、２時間10分以上を要したのは起伏が激しい難コースのニューヨークシティ（２回）、高温多湿のホノルルの３回だけである。日本では2011年にびわ湖マラソンを走り、２時間６分13秒の大会記録をマークしているが、それは今でも大会記録だ。

今年から東京マラソンは平坦なコースに変更となり、大会記録更新が期待される。２時間５分42秒の大会記録を破る第一候補は今回の出場者中最も速い自己記録を持つキプサングだ。もし２時間４分台で走れば、キプサングの「サブ２時間５分」の連続シーズン記録は2010年から2017年まで８年連続となる。

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Dec	Honolulu Marathon	Marathon	1st	2:12:31
18 Sep	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half marathon	1st	59:06
12 Aug	Olympic Games – London	Marathon	3rd	2:09:37
17 May	Kenyan Police Championships – Nairobi ?	10000m	4th	28:41.3
22 Apr	London Marathon	Marathon	1st	2:04:44
17 Feb	RAK Half Marathon – Ras Al Khaimah	Half Marathon	3rd	1:01:01

No. 02 ディクソン・チュンバ (ケニア)

CHUMBA, Dickson (KEN)

DOB ：27 Oct. 1986
AGE ：30
Height：167cm
Weight：57kg

▶Personal Bests

Half marathon	1:00:39	–2014
Marathon	2:04:32	–2014

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:02:12	2:07:34
2015		/ 28:53		2:06:34
2014		/ 28:47	1:00:39	2:04:32
2013			1:02:07	2:10:15
2012			1:01:34	2:05:46
2011				2:07:23
2010		/ 28:56	1:02:08	2:09:20

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:11:26	Chicago	2nd	9-Oct-16
	2:07:34	Tokyo	3rd	28-Feb-16
	2:09:25	Chicago	1st	11-Oct-15
	2:06:34	Tokyo	3rd	22-Feb-15
Personal Best	2:04:32	Chicago	3rd	12-Oct-14
	2:05:42	Tokyo	1st	23-Feb-14
	2:10:15	Amsterdam	8th	20-Oct-13
	2:14:08	Boston	7th	15-Apr-13
	DNF	Xiamen	DNF	5-Jan-13
	2:05:46	Eindhoven	1st	14-Oct-12
	DNF	Boston	DNF	16-Apr-12
	2:08:21	Xiamen	2nd	8-Jan-12
	2:07:23	Frankfurt	7th	30-Oct-11
	DNF	Chicago	DNF	9-Oct-11
	2:08:45	Roma	1st	20-Mar-11
	DNF (pace)	Xiamen	DNF(pace)	2-Jan-11
	2:09:20	Maranello to Carpi	2nd	10-Oct-10
	2:11:54	Madrid	2nd	25-Apr-10

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	2nd	2:11:26
24 Apr	Yangzhou Jianzhen International Half marathon	Half marathon	10th	1:02:12
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:07:34

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	1st	2:09:25
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:06:34

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:04:32
27 Jul	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	2nd	1:04:10
1 Jun	Rock n Roll San Diego Half Marathon	Half marathon	3rd	1:00:39
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:05:42

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	8th	2:10:15
7Jul	Nairobi	Half marathon	3rd	1:02:07
15 Apr	Boston Marathon	Marathon	7th	2:14:08
5 Jan	Xiamen International Marathon	Marathon	DNF	DNF

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Oct	Marathon Eindhoven	Marathon	1st	2:05:46
16 Apr	Boston Marathon	Marathon	DNF	DNF
11 Mar	City Pier City Half Marathon	Half marathon	9th	1:01:34
8 Jan	Xiamen International Marathon	Marathon	2nd	2:08:21

Dickson Chumba, Tokyo Marathon record holder, ran both Tokyo and Chicago Marathons for the last three years and never finished worse than third. Chumba won the Tokyo Marathon 2014 and 2015 Chicago Marathon; he recorded the personal best of 2:04:32 in the 2014 Chicago Marathon. He thus became 12th fastest marathon runner over the standard course.

Chumba made his marathon debut in 2010 at the Madrid Marathon and finished second in 2:11:54. He promptly cracked 2:10 in his next marathon in the fall of 2010 at Carpi when he recorded a personal best of 2:09:20. However, he was again second. After serving as a pacemaker in Xiamen marathon in January of 2011, he finally won the marathon in March of 2011 in Roma when he recorded a personal best of 2:08:45.

Chumba ran three marathons in 2012. He won the Eindhoven Marathon in October with a huge personal best of 2:05:46. However, 2013 was a dismal season for Chumba. In contrast, Chumba's 2014 season was superb, for he improved his personal best twice in 2014. Chumba's time from the Tokyo Marathon two years ago, 2:05:42, is the second fastest time on the Japanese soil behind the Japanese all-comers record of 2:05:18 by Tsegaye Kebede in 2009 Fukuoka.

In its ten years history of the Tokyo Marathon, no man or woman has won this event more than once. So if Chumba wins at Tokyo, he becomes the first two-time winner in the Tokyo Marathon.

東京マラソンの大会記録保持者であるディクソン・チュンバは過去３年、東京とシカゴの両マラソンを毎年走り、その間はすべて３位以内に入っている。2014年は東京、2015年はシカゴで優勝。2014年のシカゴでは自己ベストの２時間４分32秒を叩き出した。当時の世界歴代では12位にあたる（標準コース）。

2010年のマドリードで初マラソンに挑んだチュンバは、２時間11分54秒で２位とまずまずの成績を残した。その半年後の秋、カルピ・マラソンで初の２時間10分切りとなる２時間９分20秒をマークしたが、順位は再び２位だった。2011年１月のアモイ・マラソンでペースメーカーを務めた後、３月にはローマで自己ベストの２時間８分45秒を記録し、マラソン初優勝を飾った。

2012年には３回マラソンを走り、10月のアイントホーフェンは大幅に自己ベストを更新する２時間５分46秒で制している。2013年はチュンバにとって良いシーズンではなかったが、対照的に自己ベストを２度更新した2014年は彼のキャリアにとって最高の年となった。特に、東京で記録した２時間５分42秒は、ツェガエ・ケベデが2009年の福岡で記録した２時間５分18秒に次ぐ日本国内歴代２位の記録である。

過去10回の東京マラソンでは、男女ともに複数回優勝した選手はいない。チュンバが勝てば初の選手となる。

東京マラソン招待選手―海外男子

No. 03 ツェガエ・ケベデ (エチオピア)

KEBEDE, Tsegaye (ETH)

DOB ：15 Jan 1987
AGE ：30
Height：158cm
Weight：50kg

▶Personal Bests

Half marathon	59:35	–2008
Marathon	2:04:38	–2012

▶International Championships Highlights

Marathon
4th in 2013 World Championships
3rd in 2009 World Championships
3rd in 2008 Olympic Games

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016				2:10:56
2015			1:03:44	2:07:58
2014				2:06:30
2013				2:06:04
2012		/ 27:56	1:02:34	2:04:38
2011				2:07:14
2010				2:05:19
2009				2:05:18
2008		/ 28:10	59:35	2:06:10
2007		/ 28:33		2:08:16

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:10:56	Rotterdam	5th	10-Apr-16
	2:07:58	Tokyo	8th	22-Feb-15
	2:10:27	Berlin	9th	28-Sep-14
	2:06:30	London	3rd	13-Apr-14
	2:09:16	New York	2nd	3-Nov-13
	2:10:47	WC – Moskva	4th	17-Aug-13
	2:06:04	London	1st	21-Apr-13
Personal Best	2:04:38	Chicago	1st	7-Oct-12
	2:06:52	London	3rd	22-Apr-12
	2:07:14	New York	3rd	6-Nov-11
	2:07:48	London	5th	17-Apr-11
	2:06:43	Chicago	2nd	10-Oct-10
	2:05:19	London	1st	25-Apr-10
	2:05:18	Fukuoka	1st	6-Dec-09
	2:08:35	WC – Berlin	3rd	22-Aug-09
	2:05:20	London	2nd	26-Apr-09
	2:06:10	Fukuoka	1st	7-Dec-08
	2:10:00	OG - Beijing	3rd	24-Aug-08
	2:06:40	Paris	1st	6-Apr-08
	2:08:16	Amsterdam	8th	21-Oct-07
	2:15:53	Addis Ababa (Abebe Bikila)	1st	10-Jun-07

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 Apr	Marathon Rotterdam	Marathon	5th	2:10:56

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Delhi Half Marathon	Half marathon	16th	1:03:44
17 May	Gifu Seiryu Half Marathon	Half marathon	DNF	DNF
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	8th	2:07:58

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Sep	Berlin Marathon	Marathon	9th	2:10:27
13 Apr	London Marathon	Marathon	3rd	2:06:30

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	New York City Marathon	Marathon	2nd	2:09:16
17 Aug	World Championships – Moskva	Marathon	4th	2:10:47
21 Apr	London Marathon	Marathon	1st	2:06:04

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago marathon	Marathon	1st	2:04:38
22 Apr	London Marathon	Marathon	3rd	2:06:52
17 Feb	RAK Half Marathon – Ras Al Khaimah	Half marathon	10th	1:02:34

Tsegaye Kebede is a two-time bronze medalist in the global championships, having finished third in both the 2008 Olympic Games and the 2009 World Championships. A popular marathon runner in Japan, Kebede won the 2008 and 2009 Fukuoka Marathon, setting Japanese all-comers record each time. His time from 2009, 2:05:18, is still the Japanese all-comers record. He is undefeated at the Fukuoka Marathon, but was only eighth in the Tokyo Marathon 2015.

Except for his marathon debut at Abebe Bikila Marathon in Addis Ababa, Kebede has always broken 2:11 in all his sub-sequent marathons. Furthermore, he never finished worse than ninth. Only six-times in twenty-one marathon starts Kebede failed to finish in top three; furthermore only five-times in twenty-one starts he failed to crack 2:10 for the marathon, which indicates that he is by far the most consistent and reliable marathon runner in the world in recent history.

Kebede is also a prolific high level marathon runner. He has 16 sub-2:10 marathons, 15 sub-2:09 marathons, 13 sub-2:08 marathons and 10 sub-2:07 marathons. Each of these numbers is highest in respective category. Note Haile Gebrselassie also has 10 sub-2:07 marathons. If Kebede ran sub-2:07 in Tokyo, he will be alone at the top in number of sub-2:07 category as well. His personal best was recorded in the 2012 Chicago Marathon when he won with 2:04:38, but his most memorable race took place two years before also in Chicago. The race was an epic battle with the late Olympic champion Samuel Wanjiru.

Kebede has not finished in top four or cracked 2:07 in his last three marathons. However, he is only 30 years old, and thus should have another personal best in him.

2008年の北京五輪、2009年のベルリン世界選手権と2度銅メダリストとなったツェガエ・ケベデ。日本でもお馴染みのマラソンランナーで、2008年と2009年に福岡国際で連勝。2009年には日本国内最速記録の2時間5分18秒をマークした。しかし、2年前の東京マラソンでは8位に沈んでいる。

彼にとって初マラソンだった高地アディスアベバでのアベベ・ビキラ・マラソンを除けば、必ず2時間11分を切っている。順位も9位以下が一度もない。それだけではない。21回走ったマラソンで3位以内に入れなかったのは6回だけ、そして2時間10分を切れなかったのも5回だけ。ケベデは、近年では最も安定した成績を残しているマラソンランナーと言える。

同時に、彼はハイレベルのレースを最も多く走っているマラソンランナーでもある。2時間10分を破ったのは16回、2時間9分を切ったのは15回、2時間8分を切ったのは13回、そして2時間7分を切ったのは10回。これは、いずれも世界最高である。皇帝ハイレ・ゲブレシラシエも2時間7分を10回切っているが、ケベデが東京で2時間7分を切れば、この部門でも単独で世界一となる。彼の自己ベストは2012年のシカゴ・マラソンで記録した2時間4分38秒だが、最も記憶に残るケベデのマラソンは、その2年前の同じシカゴで繰り広げた、今は亡き北京五輪金メダリストのサムエル・ワンジルとの死闘だろう。

直近の3回のマラソンでは4位以内、そして2時間7分以内がなく最近は少し精彩を欠くが、未だ30歳。老け込むような年ではない。もう一度、自己ベストが狙えるはずだ。

No. 04 タデセ・トラ (エチオピア)

TOLA, Tadese (ETH)

DOB ：31 Oct. 1987
AGE ：29
Height：180cm
Weight：60kg

▶Personal Bests

5000m	13:18.82	–2007
10000m	27:04.89	–2007
Half marathon	59:49	–2010
Marathon	2:04:49	–2013

▶International Championships Highlights

10000m
13th in 2007 World Championships
20km
7th in 2006 World Road Running Championships
Cross Country
World Cross Country Championships 17th in 2009, 7th in 2007
Marathon
3rd in 2013 World Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016				2:11:52
2015			1:04:49	2:10:30
2014				2:05:57
2013				2:04:49
2012		/ 29:00.4		2:05:10
2011				2:07:13
2010		/ 28:12	59:49	2:06:31
2009		/ 27:48	1:01:06	2:15:48
2008	13:33.19	27:15.17	1:00.45	
2007	13:18.82	27:04.89	1:01:37	
2006	13:19.47	28:15.16		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:11:52	Frankfurt	5th	30-Oct-16
	DNF	Dubai	DNF	22-Jan-16
	2:13:35	Boston	9th	20-Apr-15
	2:10:30	Xiamen	5th	3-Jan-15
	DNF	Chicago	DNF	12-Oct-14
	2:06:55	Warszawa	1st	13-Apr-14
	2:05:57	Tokyo	2nd	23-Feb-14
	2:07:16	Beijing Marathon	1st	20-Oct-13
	2:10:23	Moskva – World Championships	3rd	17-Aug-13
	2:06:33	Paris	2nd	7-Apr-13
Personal Best	2:04:49	Dubai	3rd	25-Jan-13
	2:08:01	Eindhoven	4th	14-Oct-12
	2:05:10	Dubai	5th	27-Jan-12
	2:07:13	Eindhoven	4th	9-Oct-11
	DNF	Boston	DNF	18-Apr-11
	2:06:31	Frankfurt	2nd	31-Oct-10
	2:06:41	Paris	1st	11-Apr-10
	2:15:48	Chicago	9th	11-Oct-09

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
30 Oct	Frankfurt Maraton	Marathon	5th	2:11:52
31 Jul	Media Maraton International Bogota	Half marathon	1st	1:05:16
22 Jan	Dubai Marathon	Marathon	DNF	DNF

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Jul	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	2nd	1:04:49
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	9th	2:13:35
3 Jan	Xiamen Marathon	Marathon	5th	2:10:30

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
13 Apr	Warszawa Marathon	Marathon	1st	2:06:55
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:05:57

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Oct	Beijing Marathon	Marathon	1st	2:07:16
17 Aug	World Championships – Moskva	Marathon	3rd	2:10:23
7 Apr	Paris Marathon	Marathon	2nd	2:06:33
25 Jan	Dubai Marathon	Marathon	3rd	2:04:49

A bronze medalist at the marathon in the 2013 World Championships in Moskva, Tadese Tola, who has the personal best of 2:04:49 from the 2013 Dubai Marathon, is the fourth fastest man in this year's Tokyo Marathon field.
From 2010 to early 2014, his consistency at the marathon has been unparalleled. Tola has run four marathons in 2013 and never finished worse than third. In his career, Tola has run ten marathons under 2:10 and furthermore, has run nine consecutive marathons under 2:10:30. Of the thirteen marathons Tola ran until early 2014, only two 2:15:48 in 2009 Chicago marathon at his debut and DNF at 2011 Boston marathon may be considered as a failure.
Before he ventured into the marathon in 2009 Chicago Marathon, Tola has excelled in shorter distances. He was 7th at 20km in the 2006 World Road Running Championships and 13th at 10000m in the 2007 World Championships in Osaka. He recorded 10000m personal best of 27:04:89 in 2007. And although it was after his marathon debut, Tola recorded 59:49 at the half marathon in 2010.
However, in his last five marathon starts, Tola has not broken 2:10 or finished in top four. Can 29 years old Tola recapture his old form in Tokyo, where his time from 2014, 2:05:57, is still the second fastest in the Tokyo Marathon?

2013年のモスクワ世界選手権のマラソンで銅メダルを獲得したタデセ・トラは、今大会のエントリー選手中４番目に速い自己ベスト（2013年ドバイ・マラソンで記録した２時間４分49秒）を持つ選手である。
2010年から2014年春まで、彼の成績は極めて安定していた。2013年には４回マラソンを走ったが、すべて３位以内だった。現在までマラソンで10回も２時間10分の壁を破り、かつては９回連続で２時間10分30秒以内をマークしている。トラが2014年春までに走った13回のマラソンで、失敗と言えるのは、途中棄権に終わった2011年ボストンと、２時間15分48秒に終わった初マラソンの2009年シカゴだけ。
その初マラソン以前には、短い距離でその才能を発揮していた。2006年世界ロード・ランニング選手権の20kmで７位、そして2007年の大阪世界選手権10000ｍで13位に入っている。同年には10000ｍで27分04秒89の自己ベストをマークした。初マラソンの後になるが、2010年にはハーフマラソンで59分49秒の自己ベストを記録している。
しかしながら、直近の５レースでは２時間10分を切ったことも、４位以内に入ったこともない。2014年には現在も大会歴代２位の２時間５分57秒を出しているトラは、未だ29歳だ。ピークは過ぎていないはずで、今回再びその実力を見せつけることができるだろうか？

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Oct	Eindhoven Marathon	Marathon	4th	2:08:01
27 Jan	Dubai Marathon	Marathon	5th	2:05:10

東京マラソン招待選手―海外男子

No. 05 バーナード・コエチ (ケニア)

KOECH, Bernard (KEN)

DOB ：31 Jan. 1988
AGE ：29
Height：170cm
Weight：49kg

▶Personal Bests

Half marathon	58:41	–2013
Marathon	2:04:53	–2013

▶International Championships Highlights

Marathon
DNF 2013 World Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016				2:11:31
2015			1:00:09	2:08:02
2014			59:46	2:06:08
2013			58:41	2:04:53
2012			59:10	
2011				
2010	13:41.34			

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:11:31	Paris	9th	3-Apr-16
	2:09:43	Fukuoka	4th	6-Dec-15
	2:08:02	Rotterdam	3rd	12-Apr-15
	2:08:30	Chicago	5th	12-Oct-14
	2:06:08	Rotterdam	2nd	13-Apr-14
	2:06:29	Amsterdam	3rd	20-Oct-13
	DNF	WC – Moskva	DNF	17-Aug-13
Personal Best	2:04:53	Dubai	5th	25-Jan-13

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Apr	Paris Marathon	Marathon	9th	2:11:31

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	4th	2:09:43
12 Apr	Marathon Rotterdam	Marathon	3rd	2:08:02
1 Feb	Marugame half Marathon	Half Marathon	3rd	1:00:09

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	5th	2:08:30
13 Apr	Marathon Rotterdam	Marathon	2nd	2:06:08
14 Feb	RAK Half marathon	Half Marathon	4th	59:46

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	3rd	2:06:29
17 Aug	World Championships – Moskva	Marathon	DNF	DNF
2 Jun	Rock n Roll San Diego Half Marathon	Half Marathon	1st	58:41
24 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half Marathon	1st	59:54
25 Jan	Dubai Marathon	Marathon	5th	2:04:53

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Sep	Semi-Marathon International de Lille Metropole	Half Marathon	2nd	59:10
29 Apr	Semi Marathon de Nice	Half Marathon	1st	59:57
11 Mar	Pier City Half Marathon – Den Haag	Half Marathon	7th	1:00:17
6 Mar	Semi-Marathon de Paris	Half Marathon	2nd	1:00:06
29 Jan	Discovery Kenya Half marathon – Eldoret	Half Marathon	8th	1:03:03

Bernard Koech, who was born in Kenya in 1988, started competing in cross country from 2009. Three years later in 2012, he started to compete in European Half Marathon races. In April, at Nice, Koech broke the magical 60minutes barrier for the half marathon with 59:57.
Then in January of 2013, Koech moved up to the marathon in Dubai. The race closed with a furious sprint among five runners and for the first time in history, record five runners cracked 2:05 at the marathon. Koech finished fifth, eight seconds behind the winner Lelisa Desisa, another debutante. With his time of 2:04:53, Koech became fourth fastest (currently fifth fastest) debutante in history over the standard course. Koech ran the 2013 World Championships, but failed to finish the race. However, he bounced back and promptly cracked 2:07 for the marathon in his next two marathons -- 2:06:29 in the 2013 Amsterdam Marathon and then 2:06:08 in the 2014 Rotterdam Marathon.
Although Koech ran eight marathons -- including one 2:04, two 2:06 and two 2:08 marathons -- he never won the marathon. Koech is the second fastest marathon runner without the marathon victory. In Tokyo, can Koech reverse the trend of steadily declining marathon season best? Can he win his first marathon?

1988年にケニアで生まれたバーナード・コエチは、2009年からクロスカントリーのレースに出場し始め、3年後の2012年には欧州でハーフマラソンに出場。その年の4月にはフランス・ニースで初めて60分の壁を破る59分57秒の好タイムを叩き出している。

そして、2013年の1月にドバイで初マラソンに挑んだ。最後は5人によるラストスパート合戦となり、史上初めて上位5人が2時間5分を切ったのだ。5位だったコエチは、優勝したレリサ・デシサから8秒遅れだったが、当時初マラソン世界歴代4位（現在でも歴代5位）の2時間4分53秒という素晴らしい記録だった。2013年のモスクワ世界選手権は途中棄権に終わってしまったが、すぐに立ち直り、2013年のアムステルダムが2時間6分29秒、2014年のロッテルダムが2時間6分08秒と、2時間6分台を連発した。

今まで8回のマラソンを走っているコエチは、2時間4分台の自己ベストを筆頭に、2時間6分台を2回、2時間8分台を2回記録しているが、マラソンで1度も優勝がない彼はマラソン優勝経験がない2番目に速いマラソンランナーなのである。初マラソンの年から3年連続でシーズンベストが悪くなっているが、東京マラソンではその傾向にストップをかけることができるか？ そして、マラソンで初優勝を成し遂げられるか？

No. 06 エバンス・チェベト (ケニア)

CHEBET, Evans (KEN)

DOB ：10 Nov. 1988
AGE ：28
Height：172cm
Weight：55kg

▶Personal Bests

Half Marathon	1:00:13	–2015
Marathon	2:05:31	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016				2:05:31
2015			1:00:13	2:08:50
2014				2:07:46
2013				2:11:26

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:05:31	Berlin	3rd	24-Sep-16
	2:05:33	Seoul	2nd	20-Mar-16
	2:15:42	Iten (uncertain distance)	1st	5-July-15
	2:08:50	Praha	2nd	3-May-15
	2:07:46	Seoul	2nd	9-Nov-14
	2:08:17	Praha	2nd	11-May-14
	2:11:26	Seoul	6th	3-Nov-13

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Sep	Berlin Marathon	Marathon	3rd	2:05:31
20 Mar	Seoul Marathon	Marathon	2nd	2:05:33

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Jul	Iten Marathon (uncertain distance)	Marathon	1st	2:15:42
3 May	Prague Marathon - Praha	Marathon	2nd	2:08:50
26 Apr	Istanbul Half Marathon	Half marathon	1st	1:00:13
8 Feb	San Blas Half Marathon – Coamo	Half marathon	7th	1:05:51

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Nov	Joon Ang Seoul Marathon	Marathon	2nd	2:07:46
11 May	Prague Marathon – Praha	Marathon	2nd	2:08:17

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	Joon Ang Seoul Marathon	Marathon	6th	2:11:26

In his debut marathon at the 2013 Joon Ang Seoul Marathon, Evans Chebet finished sixth with 2:11:26. Then Chebet improved his personal best by more than 3 minutes to 2:08:17 in his next marathon in Praha. To summarize his recent marathon performances, in his last six consecutive marathons except for high altitude marathon in Iten Chebet always finished better than 2:09 and in top two positions except in the 2016 Berlin Marathon, where he was third. However, note that the field for the Berlin Marathon was loaded with fast runners. That is not all. For his last two consecutive marathons, Chebet cracked 2:06.
In the 2016 Berlin Marathon in September, Chebet stayed with Kenenisa Bekele and Wilson Kipsang until 30km. At 35km, he was running third only 10 seconds behind Bekele, who eventually won with near world record time. Although Chebet slowed down after 35km, he finished third with 2:05:31, behind Bekele and Kipsang.
Among the runners running this year's Tokyo Marathon, Chebet is the only one who recorded a sub-2:06 marathon in his last two marathons. Furthermore, he is the only runner who recorded sub-2:09 and finished in top three in his last five marathons excluding high altitude Iten Marathon. In short, Chebet may be the most consistent marathon runner in this year's Tokyo Marathon field.

初マラソンの2013年ソウル・マラソンでは２時間11分26秒の６位に終わってしまったエバンス・チェベトだが、２回目のマラソンとなったプラハ・マラソンでは２時間８分17秒と、３分以上自己ベストを更新した。２回目以降の６回のマラソンは高地・イテンでのレースを除いてすべて２時間９分以内、そして、強豪が勢ぞろいした2016年ベルリン・マラソンを除けばすべて２位以内でフィニッシュしている。それだけでない。直近の２レースはともに２時間５分台を記録しているのだ。

昨年秋のベルリンでは、30kmまではウィルソン・キプサングやケネニサ・ベケレとともに驚異的なハイ・ペースで先頭争いを繰り広げ、35kmでも優勝したベケレに10秒遅れの３位につけていた。さすがに35kmからは失速したが、２時間５分31秒で世界記録に迫ったベケレ、キプサングに次いで３位に入っている。

今回の東京マラソンに出場する選手の中で、直近の２レースを２時間５分台で走った選手はチェベト以外にいない。高地・イテンのレースを除外すれば５大会連続で２時間９分以内で走った選手も、そして６大会連続３位以内を確保した選手もチェベト以外にはいない。総括すれば、チェベトは今大会の出場者中で、最も安定した成績を残しているマラソンランナーなのだ。

東京マラソン招待選手―海外男子

No. 07 マリウス・キプセレム（ケニア）

KIPSEREM, Marius (KEN)

DOB ：17 Mar. 1988
AGE ：28
Height：173cm
Weight：55kg

▶Personal Bests

Half Marathon	1:02:17	–2013
Marathon	2:06:11	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:02:20	2:06:11
2015				2:09:21
2014				2:10:56
2013			1:02:17	2:09:50
2012				2:13:02
2011				2:18:51

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:08:00	Eindhoven	2nd	9-Oct-16
Personal Best	2:06:11	Rotterdam	1st	10-Apr-16
	2:09:21	Hefei	1st	25-Oct-15
	2:10:02	Guiyang	1st	5-Jul-15
	2:10:56	Nice-Cannes	4th	9-Nov-14
	2:10:56	Cancale to Mont St Michel	1st	25-May-14
	2:10:09	Chunchon	4th	27-Oct-13
	2:09:50	Milano	3rd	7-Apr-13
	2:13:49	Chunchon	5th	28-Oct-12
	2:13:02	Brescia	1st	11-Mar-12
	2:18:51	Kapsabet to Eldoret	10th	20-Nov-11

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	De Lage Landen Marathon Eindhoven	Marathon	2nd	2:08:00
31 Jul	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	2nd	1:05:31
10 Apr	NM Marathon Rotterdam	Marathon	1st	2:06:11
14 Feb	Marathon Eiffage de l'Autoroute de Dakar	Half Marathon	1st	1:02:20

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Oct	Hefei Marathon	Marathon	1st	2:09:21
5 Jul	Guiyang Marathon	Marathon	1st	2:10:02

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Nov	Marathon des Alpes Maritimes Nice-Cannes	Marathon	4th	2:10:56
25 May	Marathon du Mont St. Michel – Cancale to Mont St Michel	Marathon	1st	2:10:56

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Chusunibo Chunchon Marathon – Chunchon	Marathon	4th	2:10:09
7 Jul	Nairobi	Half marathon	6th	1:02:17
7 Apr	SuisseGas Milano City Marathon	Marathon	3rd	2:09:50

Marius Kipserem ran his first marathon in 2011 in Eldoret Kenya. Tenth place with 2:18:51, three minutes behind the winner was not an impressive debut marathon, even if you consider that Eldoret is more than 2000m in altitude. Following year in 2012 Kipserem ran two marathons, one in Asia and one in Europe, both at sea level but he was unable to crack 2:14 in either race. He finally recorded a respectable time in the Milano Marathon in April of 2013, where he cracked 2:10 for the first time with 2:09:50 and finished third.

He finally ran the truly world class time in the 2016 Rotterdam Marathon when he won the race with 2:06:11, after leaving Solomon Diksisa behind at the closing stage of the race. It was more than three minutes improvement of his personal best. Next in the October's Eindhoven Marathon, although Festus Talom, the pacemaker, got away from him Kipserem finished second with 2:08:00, second best time of his career.

Obviously, Kipserem is a higher caliber runner now. Can he move up to a higher level yet, perhaps to a 2:05 marathon runner, in Tokyo?

マリウス・キプセレムは、2011年に初マラソンをケニアのエルドレットで走った。標高2000mの高地だったことを考慮しても、先頭から3分以上遅れた2時間18分51秒の10位という成績は、まったく注目に値しない初マラソンであった。2012年にはアジアと欧州の平地でマラソンを走ったが、いずれも2時間13分台の平凡なタイムに終わっている。ようやくマラソンランナーと言えるタイムを出したのは、2013年4月のミラノ・マラソンだった。初めて2時間10分の壁を破る2時間9分50秒で3位に入ったのだ。

キプセレムが世界的なランナーとして注目されるようになったのが、2016年のロッテルダム・マラソンだ。終盤に初マラソンのソロモン・デクシサを振り切り、自己ベストを3分更新する2時間6分11秒で優勝したのである。10月のアイントフォーヘン・マラソンでは、完走したペースメーカーのフェスタス・タラムに逃げられてしまったが、自己2番目の記録となる2時間8分00秒で2位に入った。

明らかに2015年までとは異なるレベルのランナーになっているキプサレムだが、東京マラソンではもう一段階上のランナー、例えば2時間5分ランナーになれるだろうか？

No. 08 バーナード・キピエゴ (ケニア)

KIPYEGO, Bernard (KEN)

DOB ：16 July. 1986
AGE ：30
Height：172cm
Weight：52kg

▶Personal Bests

5000m	13:09.96	–2005
10000m	26:59.61	–2007
Half marathon	59:10	–2009
Marathon	2:06:19	–2015

▶International Championships Highlights

10000m
5th in 2009 World Championships
Half Marathon
2nd in 2009 World Half Marathon Championships
Cross Country
World Cross Country Championships
3rd in 2007 and 10th in 2008
2nd in junior in 2005
Marathon
12th in 2013 World Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:03:27	2:06:45
2015			1:04:17	2:06:19
2014			59:47	2:06:22
2013			1:02:54	2:07:19
2012			1:01:25	2:06:40
2011		28:35.1	59:45	2:06:29
2010			59:40	2:07:01
2009		27:18.47	59:10	
2008	13:30.40	27:08.06		
2007	13:13.40	26:59.61		
2006	13:20.78	27:19.45		
2005	13:09.96	27:04.45		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:06:45	Amsterdam	8th	16-Oct-16
	2:07:33	Tokyo	2nd	28-Feb-16
Personal Best	2:06:19	Amsterdam	1st	18-Oct-15
	2:10:47	Boston	4th	20-Apr-15
	2:06:22	Amsterdam	1st	19-Oct-14
	2:07:58	Rotterdam	3rd	13-Apr-14
	2:07:19	Beijing	2nd	20-Oct-13
	2:14:01	WC – Moskva	12th	17-Aug-13
	2:07:53	Tokyo	3rd	24-Feb-13
	2:06:40	Chicago	6th	7-Oct-12
	2:13:13	Boston	3rd	16-Apr-12
	2:06:29	Chicago	3rd	9-Oct-11
	2:07:16	Paris	2nd	10-Apr-11
	2:08:50	Berlin	6th	26-Sep-10
	2:07:01	Rotterdam	5th	11-Apr-10

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	8th	2:06:45
11 Jun	Zwolse Half Marathon	Half marathon	5th	1:03:27
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:07:33
10 Jan	Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	2nd	1:08:33

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	1st	2:06:19
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	4th	2:10:47
11 Jan	PWE Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	6th	1:04:17

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Cochin International Half Marathon	Half marathon	1st	1:02:38
19 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	1st	2:06:22
14 Sep	Meia Maratona SporZone – Porto&Gaia	Half marathon	1st	1:00:38
13 Apr	Marathon Rotterdam	Marathon	3rd	2:07:58
14 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	5th	59:47

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Dec	Cochin International Half Marathon – Kochi	Half marathon	1st	1:02:54
20 Oct	Beijing Marathon	Marathon	2nd	2:07:19
17 Aug	World Championships - Moskva	Marathon	12th	2:14:01
24 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:07:53

Bernard Kipyego finished third in the 2007 World Cross Country Championships, fifth at 10000m in the 2009 World Championships and second in the 2009 World Half Marathon Championships. He has 10000m personal best of 26:59.61, and half marathon best of 59:10. Thus his marathon debut was awaited with much anticipation. In his marathon debut, at the 2010 Rotterdam Marathon, where top four finishers cracked 2:06 for the first time, Kipyego finished fifth with 2:07:01.

Kipyego was superb in the two marathons in 2011. He was second in the 2011 Paris with 2:07:16 and third in the 2011 Chicago with his personal best of 2:06:29. In the Tokyo Marathon 2013, his first marathon in Asia, Kipyego was third with 2:07:53.

In the 2013 World Championships in Moskva, Kipyego was 12th in 2:14:01, slowest time of his career as well as the lowest finishing position of his career. However, he improved his marathon best two years in a row at Amsterdam Marathon, 2:06:22 in the 2014 and 2:06:19 in the 2015.

In short, his marathon performances are quite consistent. Kipyego never dropped out of the marathon after fifteen starts. Furthermore, out of fifteen marathons he started, Kipyego cracked 2:09 twelve times, and 2:07 five times; he finished better than nineth in all marathons except for the World Championships in Moskva. Three runners - Paul Tergat, Haile Gebrselassie and Eliud Kipchoge - have run sub-27 minutes 10000m, sub-60 minutes half marathon and sub-2:05 marathon (on the standard course). If Kipyego, who finished third in 2014 and second in 2016 at Tokyo Marathon, ran 2:04 marathon, then he will be the fourth to join the exclusive club.

2007年の世界クロスカントリー選手権で３位、2009年の世界選手権では10000ｍで５位、そして同年の世界ハーフマラソン選手権では２位に入っているバーナード・キピエゴ。10000ｍで26分59秒61、ハーフマラソンで59分10秒の自己ベストを持つキピエゴの初マラソンには大きな期待がかかった。その初マラソンは2010年のロッテルダム。上位４人が初めて２時間６分を切ったレースで、２時間７分01秒で５位に入った。

2011年に走った２回のマラソンでは、好タイムで上位入賞を果した。パリは２時間７分16秒で２位、シカゴでは当時の自己ベストとなる２時間６分29秒で３位に入っている。彼にとってアジアで初めてのマラソンとなった2013年の東京では２時間７分53秒で３位に入った。

2013年のモスクワ世界選手権こそ２時間14分01秒の12位と、自身のワーストタイムで初めてのふたケタ順位に終わったが、2014年と2015年のアムステルダムでは２時間６分22秒、２時間６分19秒と連続で自己ベストを更新している。

総括すれば、キピエゴのマラソン成績は極めて安定していることになる。15回中12回で２時間９分以内のタイムを記録しただけでなく、２時間７分以内のタイムも５回記録。そして９位以下はモスクワ世界選手権の一度だけ。10000ｍで27分を、ハーフマラソンで１時間を、そして標準コースのマラソンで２時間５分を切ったランナーは、ポール・テルガト、ハイレ・ゲブレシラシエ、エリウド・キプチョゲの３人だけ。キピエゴがもし２時間４分台を記録すれば、伝説のランナー達と肩を並べることになる。

東京マラソン招待選手―海外男子

No. 09 シュミ・デチャサ(バーレーン)

DECHASA, Shumi (BRN)

DOB ：28 May. 1989
AGE ：27
Height：172cm
Weight：54kg

▶Personal Bests

Half marathon	59:51	–2012
Marathon	2:06:43	–2014

▶International Championships Highlights

Marathon
5th in 2015 World Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016				
2015			1:02:50	2:07:20
2014				2:06:43
2013				2:07:11
2012			59:51	2:07:56
2011			1:01:52	
2010			1:01:38	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:14:36	World Championships – Beijing	5th	22-Aug-15
	2:07:20	Tokyo	4th	22-Feb-15
Personal Best	2:06:43	Hamburg	1st	4-May-14
	2:07:13	Dubai	6th	24-Jan-14
	2:07:11	Seoul	2nd	17-Mar-13
	2:13:50	Amsterdam	13th	21-Oct-12
	2:07:56	Hamburg	4th	29-Apr-12

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
22 Aug	World Championships – Beijing	Marathon	5th	2:14:36
27 Apr	Arab Championships – Manama	Half marathon	1st	1:02:50
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	4th	2:07:20

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
4 May	Haspa Marathon Hamburg	Marathon	1st	2:06:43
24 Jan	Dubai Marathon	Marathon	6th	2:07:13

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Mar	Seoul International Marathon	Marathon	2nd	2:07:11

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	13th	2:13:50
29 Apr	Haspa Marathon Hamburg	Marathon	4th	2:07:56
26 Feb	Maratonina Roma-Ostia	Half marathon	2nd	59:51

▶2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	AirTel Delhi Half marathon	Half Marathon	15th	1:03:10
27 Mar	Stramilano Agonistica Internazionale - Milano	Half Marathon	6th	1:01:52

▶2010 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Nov	AirTel Delhi Half marathon – New Delhi	Half marathon	10th	1:01:38

One of the more consistent marathon runners of an era, former Ethiopian Shumi Dechasa has run seven marathons since April of 2012, and six of them should be considered as excellent performances. He has cracked 2:08 for the marathon every year from 2012 to 2015. Except for the 2012 Amsterdam Marathon where he was only 13th with 2:13:50, and 2015 World Championships where he was fifth, Dechasa always run the marathon under 2:08 and never finished higher than sixth place.

Dechasa ventured into the marathon at Hamburg in April of 2012 and finished fourth with quite a respectable time of 2:07:56. After dismal performance in Amsterdam in October, Shumi finished second in the 2013 Seoul Marathon with 2:07:11, and then sixth in the 2014 Dubai Marathon with 2:07:13, both quite respectable.

His next marathon was at the 2014 Hamburg Marathon where he won with 2:06:43. It was his first marathon victory as well as personal best. After winning the Hamburg Marathon in 2014, Dechasa indicated that he will be shooting for faster marathon, perhaps in 2:04 or 2:05 range. Unfortunately, in the Tokyo Marathon 2015, Shumi was only fourth with 2:07:20. Later in the year, Dechasa finished fifth in the World Championships.

His Bahrain national marathon record is currently 13th fastest in the world, but if he records sub-2:06 clocking, Bahranian record will be in top five in the world.

2012年４月から７回のマラソンを走っているエチオピア生まれ（現在はバーレーン国籍）のシュミ・デチャサは、２時間13分50秒の13位に終わった2012年アムステルダムと2015年の世界選手権以外のマラソンでは、すべて２時間８分以内、そして６位以内という好成績の残してきた確実性を誇るマラソンランナーである。

2012年４月にハンブルグで初マラソンに挑んだデチャサは、２時間７分56秒で４位に入っている。10月のアムステルダム・マラソンでの成績は今一つだったが、2013年のソウル・マラソンでは２時間７分11秒で２位。そして、2014年ドバイ・マラソンでは２時間７分13秒で６位と好レースが続いた。

2014年のハンブルグ・マラソンでは２時間６分43秒で優勝。彼にとってマラソン初優勝であり、自己ベストでもあった。次のレースでは２時間４分か５分台を狙うと断言していた。しかし、2015年の東京マラソンでは２時間７分20秒で４位に終わった。その年の夏には北京世界選手権に出場し、５位入賞を果した。

彼が保持するバーレーン記録は世界で13番目に速いナショナル記録だが、もし東京で２時間５分台を記録すればバーレーン記録はベスト５に入る。

No. 10 アルフェルス・ラガト (ケニア)

LAGAT, Alfers (KEN)

DOB ：7 Aug. 1986
AGE ：30
Height：168cm
Weight：55kg

▶Personal Bests

Half Marathon	60:33	–2015
Marathon	2:06:48	–2015

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:02:32	2:08:29
2015			1:00:33	2:06:48
2014				2:07:11
2013			1:01:34	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:09:46	Berlin	7th	25-Sep-16
	2:08:29	Paris	6th	3-Apr-16
Personal Best	2:06:48	Frankfurt	3rd	25-Oct-15
	2:11:28	Ottawa	6th	24-May-15
	2:07:11	Eindhoven	3rd	12-Oct-14

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Nanning Half Marathon	Half marathon	3rd	1:02:32
25 Sep	Berlin Marathon	Marathon	7th	2:09:46
3 Apr	Marathon de Paris	Marathon	6th	2:08:28

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	3rd	2:06:48
24 May	Ottawa Marathon	Marathon	6th	2:11:28
22 Mar	Wehr Minerals Venloop Half marathon – Venlo	Half marathon	1st	1:00:33

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	De Lage Landen Marathon Eindhoven	Marathon	3rd	2:07:11

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Jun	Zilveren Kruis Achmea Half marathon – Zwolle	Half marathon	2nd	1:01:35
26 May	Leiden Half marathon	Half marathon	1st	1:04:08
10 Mar	City Pier City Half Marathon – Den Haag	Half marathon	7th	1:01:34

Although his debut marathon does not even rank in the top 30 in the list of fastest marathon debut, at the 2014 Eindhoven Marathon Alfers Lagat recorded quite respectable 2:07:11,
Although his second marathon at Ottawa in May of 2015 was quite mediocre 2:11:28, in the Frankfurt Marathon in October, Lagat finished third with a personal best of 2:06:48. In 2016, he was sixth with 2:08:28 in the Paris Marathon and then in the Berlin Marathon Lagat was seventh with 2:09:46. In the Berlin Marathon, Lagat was in the lead pack with Kenenisa Bekele and Wilson Kipsang at half way (61:11, fastest half marathon clocking during the marathon) but took over 18 minutes from 35 to 40km.
Considering Dickson Chumba, who has the half marathon best of 60:39, recorded 2:04:32 for the marathon, Lagat, who has the half marathon best of 60:33, has a distinct possibility of running similar time at the marathon.

初マラソン世界歴代30位以内に入るわけではないが、アルフェルス・ラガトが2014年のアイントホーフェン・マラソンで記録した2時間7分11秒は、素晴らしいマラソンデビューである。

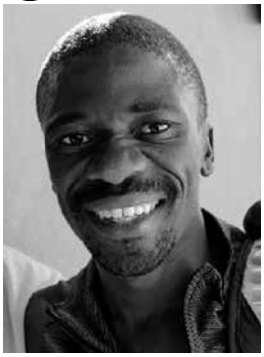
2回目のマラソンとなった2015年5月のオタワ・マラソンでは2時間11分28秒と今ひとつの結果だったが、10月のフランクフルト・マラソンでは自己ベストとなる2時間6分48秒で3位に入っている。2016年はパリ・マラソンで2時間8分29秒で6位、9月のベルリン・マラソンでは2時間9分46秒で7位に入った。ベルリンでは、ケネニサ・ベケレ、ウィルソン・キプサング等とともにハーフを61分11秒（マラソンの途中計時としては歴代最速）で通過したが、35kmからの5kmは18分以上要してしまった。

ハーフマラソンの自己ベストが60分39秒のディクソン・チュンバがマラソンで2時間4分32秒を記録していることを考慮すれば、ハーフマラソンの自己ベストが60分33秒のラガトも、同レベルの記録を出すことが可能のはずだ。

東京マラソン招待選手―海外男子

No. 11 スティーブン・モコカ (南アフリカ)

MOKOKA, Stephen (RSA)



DOB ：31 Jan. 1985
AGE ：32
Height：170cm
Weight：55kg

▶Personal Bests

10000m	27:40.73	–2012
Half Marathon	1:00:40	–2015
Marathon	2:07:40	–2015

▶International Championships Highlights

Marathon
49th in 2012 Olympics

Half Marathon
10th in 2016, 12th in 2014, 8th in 2012 and 8th in 2009 World Half Marathon Championships

10000m
18th in 2016 Olympics
20th in 2015, 20th in 2013 and 13th in 2011 World Championships

Cross Coutry
World Cross Country Championships
29th in 2015, 15th in 2011, 22nd in 2010, 32nd in 2009

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	13:23.66	27:48.84	1:01:26	2:10:18
2015	13:11.44	27:43:73/ 27:38	1:00:40	2:07:40
2014	14:29.26	29:44.46	1:00:47	2:08:43
2013	13:25.94	28:09.70	1:02:45	2:09:30

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:10:18	Shanghai	1st	30-Oct-16
Personal Best	2:07:40	Shanghai	2nd	8-Nov-15
	2:08:43	Shanghai	1st	2-Nov-14
	2:09:29	Shanghai	1st	1-Dec-13
	2:09:43	Shanghai	4th	2-Dec-12
	2:19:52	Olympic Games - London	49th	12-Aug-12
	2:10:29	Shanghai	2nd	4-Dec-11
	2:32:18	Pretoria	3rd	22-Oct-11
	DNF	Beijing	DNF	16-Oct-11
	2:08:33	Joon Ang Seoul	4th	7-Nov-10
	DNF (pace)	Lake Biwa – Otsu	DNF (pace)	7-Mar-10

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Jan	George Claassen 10K - Pretoria	10km	3rd	30:36

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
30 Oct	Shanghai Marathon	Marathon	1st	2:10:18
13 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	10000m	18th	27:54.57
30 Jul	Nelson Mandela Bay Half Marathon – Port Elizabeth	Half Marathon	2nd	1:01:26
23 Jul	London Anniversary Games	5000m	9th	13:23.66
22 Jun	African Athletics Championships – Durban	10000m	1st	28:02.97
27 May	Prefontaine Classic – Eugene	10000m	17th	27:48.84
30 Apr	Univ Champ – Pietersburg	5000m	1st	14:15.46
29 Apr	Univ Champ – Pietersburg	10000m	1st	30:06.25
16 Apr	South African Athletics Champ – Stellenbosch	10000m	1st	27:57.50
15 Apr	South African Athletics Champ – Stellenbosch	5000m	1st	13:40.81
26 Mar	World Half Marathon Championships – Cardiff	Half Marathon	10th	1:01:27

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Dec	Eastern Limb Mines Executive Mayor's Half Burgersfort	Half marathon	1st	1:03:43
8 Nov	Shanghai International Marathon	Marathon	2nd	2:07:40
17 Sep	All-Africa Games – Brazzaville	5000m	6th	13:25.03
13 Sep	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half marathon	4th	1:00:40
22 Aug	World Championships – Beijing	10000m	20th	28:47.40
25 Jul	South African Half Marathon Champ – Port Elizabeth	Half marathon	7th	1:02:41
7 Jun	Birmingham Grand Prix	5000m	3rd	13:20.22
29 May	Prefontaine Classic – Eugene	10000m	14th	27:43.73
25 Apr	Univ Champ – Stellenbosch	Half marathon	1st	1:03:23
25 Apr	Univ Champ – Stellenbosch	10000m	1st	27:56.7
18 Apr	South African T&F Champ – Stellenbosch	5000m	1st	13:11.44
17 Apr	South African T&F Champ – Stellenbosch	10000m	1st	28:15.56
4 Apr	Old Mutual Two Oceans half marathon	Half marathon	1st	1:04:03
15 Feb	dDumbe Half Marathon – Paulpietersburg	Half marathon	1st	1:04:52

Although he never medaled in the Olympics or World Championships, Stephen Mokoka has represented South Africa many times in various events - 10000m, Half Marathon, Marathon and cross country. Only world-wide championships Mokoka ever medaled was in the World University Games, where he competed in four occasions. In 2007 he won a bronze medal, while in 2011 he won a silver medal, both at 10000m. Incidentally, in 2011 Suguru Osako (JPN) won the gold medal ahead of Mokoka. Finally in 2013 Mokoka won the gold medal at 10000m in the World University Games. Also in 2013, Mokoka won silver medal at the half marathon.
In 2010, Mokoka improved his 5000m best to low 13 minutes and in November he made his real marathon debut. Mokoka recorded quite an impressive marathon debut time of 2:08:33. Later in 2011, Mokoka cracked 28 minutes for the 10000m and then in his second marathon in Shanghai he finished respectable second, although he could not improve his marathon best. After finishing dismal 49th in the 2012 Olympic Games marathon, from the 2012 Shanghai Marathon onward Mokoka ran string of quite impressive marathons. Although he was only 4th in 2012, Mokoka recorded the personal best of 2:07:40 in 2015.
Can he extend his marathon winning streak to five at the Tokyo Marathon 2017? Although he has run over 20 races in the year since 2013, Mokoka has run only one race since Shanghai Marathon in last October. Perhaps he is really focusing on the Tokyo Marathon.

メダルを獲得しているわけではないが、スティーブン・モコカは南アフリカの代表として、マラソン、ハーフマラソン、10000ｍなどで五輪や世界選手権に何度も出場している。世界クロスカントリー選手権にも何度も出場しているモコカが、唯一メダルを獲得した大会は４回出場したユニバーシアードの10000ｍ。2007年には銅メダル、2011年には銀メダルを獲得した。ちなみに、その時に金メダルを獲得したのが大迫傑（日本）である。そして2013年には遂に金メダルを獲得した。同大会ではハーフマラソンでも銀メダルを獲得している。

2010年には5000ｍで13分台前半まで記録を伸ばした後、11月にはソウルで初マラソンに挑戦。２時間８分33秒の好タイムをマークした。2011年には10000ｍで27分台に突入、上海マラソンでは自己ベストは更新出来なかったが、２位に入った。2012年のロンドン五輪はマラソンに出場したが、49位に沈んだ。

2012年以降も上海マラソンを走り続けたモコカ。2012年こそ４位に終わったが、その後も良い結果を出し続け、2015年には自己新の２時間７分40秒をマークしている。

東京マラソンは、マラソンでの連勝記録を５に伸ばせるだろうか？ 2013年以降、毎年20回以上のレースを走っているモコカだが、昨年10月30日の上海マラソン以来レースは１回しか走っていない。それだけ、このレースに懸ける思いが強いのかもしれない。

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Dec	Eastern Limb Mines Half Marathon	Half marathon	1st	1:02:14
2 Nov	Shanghai Marathon	Marathon	1st	2:08:43
5 Oct	Great Scottish Run Half Marathon – Glasgow	Half marathon	1st	1:01:25
7 Sep	Gauteng Half marathon – Johannesburg	Half marathon	1st	1:04:38
26 Apr	Univ Champ – Pretoria	Half marathon	2nd	1:03:30
19 Apr	Two Ocean Half marathon – Cape Town	Half marathon	1st	1:04:16
29 Mar	World Half Marathon Champ – Kobenhavn	Half marathon	12th	1:00:47

No. 12 ギデオン・キプケテル (ケニア)

KIPKETER, Gideon (KEN)

DOB ：10 Nov. 1992
AGE ：24
Height：179cm
Weight：61kg

▶Personal Bests

Half marathon	59:53	–2012
Marathon	2:08:14	–2012

▶International Championships Highlights

World Cross Country Championships
8th in junior division in 2010

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016		/ 29:09		2:08:35
2015		28:25.31		2:09:01
2014			1:02:56	2:10:36
2013		/ 28:56		2:10:41
2012			59:53	2:08:14
2011		/ 29:21		
2010	13:15.77			

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:12:20	Chicago	3rd	9-Oct-16
	DNF (pace)	London	DNF (pace)	24-Apr-16
	2:08:35	Mumbai	1st	17-Jan-16
	2:09:01	Seoul (Joon Ang)	2nd	1-Nov-15
	2:09:34	Hamburg	5th	26-Apr-15
	2:18:59	Amsterdam	11th	18-Oct-14
	2:10:36	Paris	6th	6-Apr-14
	2:10:41	Tokyo	12th	24-Feb-13
Personal Best	2:08:14	Amsterdam	7th	21-Oct-12

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:12:20
24 Apr	London Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
17 Jan	Mumbai Marathon	Marathon	1st	2:08:35

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Nov	Joon Ang Seoul Marathon	Marathon	2nd	2:09:01
17 Jun	ETH 10000m Trials – Hengelo	10000m	DNF (pace)	DNF (pace)
13 Jun	Golden Spike Leiden	10000m	4rA	28:25.31
22 May	5th Athletics Kenya Meeting – Eldoret	10000m	1r2	29:09.9
26 Apr	Marathon Hamburg	Marathon	5th	2:09:34

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
19 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	11th	2:18:59
6 Apr	Marathon de Paris	Marathon	6th	2:10:36
12 Jan	PWE Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	2nd	1:02:56

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	12th	2:10:41

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	7th	2:08:14
30 Sep	Delhi Half Marathon – New Delhi	Half marathon	8th	1:03:33
1 Sep	Semi-Marathon International de Lille Metropole	Half marathon	4th	59:53
1 Apr	Berliner Halbmarathon	Half marathon	9th	1:00:34
8 Jan	Halve Marathon von Egmond	Half marathon	2nd	1:01:03

Started the 2012 Amsterdam Marathon as a pace maker, Gideon Kipketer finished the race in 2:08:14.
Although Kipketer ran seven more marathons, in addition to the pacing duty at the 2016 London Marathon, like Bernard Koech, Kipketer failed to improve his marathon best. However, Kipketer came close to his marathon personal best once, in the 2016 Mumbai Marathon, when he won the race with 2:08:35. Furthermore Kipketer cracked 2:10 for the marathon two more times, 2:09:01 at the 2015 Seoul Marathon and 2:09:34 at the 2015 Hamburg Marathon. His time from the 2016 Chicago marathon may seem slow, but he was less than a minute behind the winner. It was a good performance. In short, Kipketer has run four consecutive good marathons.
Kipketer has a good credential at shorter distances, having finished eighth in the junior division of the 2010 World Cross Country Championships, and ran 5000m best of 13:15.77 also in 2010. In September of 2012, in Lille, Kipketer improved half marathon personal best to very respectable 59:53. From the last four marathon performances, Kipketer seemed to be on the verge of marathon breakthrough. Will he run such a time in Tokyo?

2012年のアムステルダム・マラソンでは、ペースメーカーとしてスタートしたギデオン・キプケテルだが、そのレースを２時間８分14秒で完走している。

その後７回、ペースメーカー役を含めれば８回マラソンを走ったキプケテルだが、バーナード・コエチのように自己ベストを更新できないでいる。しかしながら、2016年のムンバイ・マラソンでは２時間８分35秒で優勝と、自己ベストに近いタイムをマークした。それだけではない。2015年のソウル・マラソンでは２時間９分01秒、同年のハンブルグ・マラソンでは２時間９分34秒と、２度２時間10分の壁を破った。2016年のシカゴ・マラソンは、タイムは平凡ながら、優勝タイムから１分も離れていない好成績だった。総括すれば、彼は４回連続でマラソンで好成績を上げてきたのだ。

キプケテルは、短い距離で確実に実績を積み上げてきた。2010年の世界クロスカントリー選手権のジュニアの部で８位に入り、同じ年には5000ｍで13分15分77秒を出している。2012年９月にはリールのハーフマラソンで59分53秒の自己新をマークしている。過去２年のマラソンの記録を見れば、キプケテルの飛躍はすぐそこのようだ。東京では自己ベストが更新できるだろうか？

東京マラソン招待選手―海外男子

No. 13 ジョフリー・ロノ(ケニア)

RONOH, Geoffrey (KEN)

DOB ：29 Nov. 1982
AGE ：34
Height：180cm
Weight：59kg

▶Personal Bests

Half Marathon	59:45	–2014
Marathon	2:09:29	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:07:34	2:09:29
2015		/ 28:09	1:00:28	2:10:09
2014		/ 27:28	59:45	
2013				2:15:51

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:09:29	Berlin	6th	25-Sep-16
	2:10:09	Valencia	8th	15-Nov-15
	2:10:52	Praha	5th	3-May-15
	DNF (pace)	Berlin	DNF (pace)	28-Sep-14
	2:15:51	Ahmadbad	6th	6-Jan-13

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sep	Berlin Marathon	Marathon	6th	2:09:29
25 Jun	Mattoni Olomouc Half Marathon	half marathon	6th	1:07:34

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Nov	Maraton Valencia Trinidad Alfonso – Valencia	Marathon	8th	2:10:09
23 Aug	Karnten Lauft Halbmarathon – Klagenfurt	Half marathon	5th	1:02:49
3 May	Prague International Marathon – Praha	Marathon	5th	2:10:52
28 Mar	Sportisimo Prague Half Marathon – Praha	Half marathon	8th	1:00:28

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Oct	Bredase Singegloop Half Marathon – Breda	Half marathon	2nd	1:00:16
28 Sep	Berlin Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
24 Aug	Karnten Lauft Halbmarathon	Half marathon	1st	59:45
21 Jun	Mattoni Olomouc Half Marathon	Half marathon	1st	1:00:17

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Jan	Sabarmati International Marathon – Ahmadabad	Marathon	6th	2:15:51

Although Geoffrey Ronoh is already 34 years old, he has only run four (plus one pacemaker duty) marathons so far in his career. After making his marathon debut with 2:15:51, a mediocre performance, in January of 2013, in June of 2014 Ronoh won the Olomouc half marathon with the personal best of 60:17. In this race, Wilson Kipsang, who is a 58 minutes half marathon runner, was second eight seconds behind Ronoh. Incidentally, Dennis Kimetto, the current world marathon record holder, was third more than a minute behind in the same race.
Two months later in August, Ronoh improved his half marathon best further to 59:45. Next, in the 2015 Praha Marathon, Ronoh improved his best to 2:10:52, and then in the Valencia Marathon, he ran 2:10:09, and finally in the 2016 Berlin Marathon, Ronoh improved his marathon best to 2:09:29. In short, Ronoh recorded three consecutive marathon bests. In Berlin, where he recorded his current personal best, Ronoh was with Kenenisa Bekele and Wilson Kipsang, both 2:03 runners, until 25km. However, Ronoh took over 17 minutes for 5km between 35 to 40km. Had he started out the race little more cautiously, or had he improved his endurance, 2:07 marathon is certainly a possibility.

すでに34歳のジョフリー・ロノだが、まだ４回（そしてペースメーカーを１回）しかマラソンを走っていない。2013年の１月に２時間15分51秒のまったく注目に値しない記録でマラソンデビューした後、2014年６月にはオロモウク・ハーフマラソンを60分17秒の好タイムで優勝。その時に８秒差で２位だったのが、58分台のハーフマラソン自己ベストを誇るウィルソン・キプサングである。ちなみにそのレースで１分以上遅れの３位がマラソン世界記録保持者のデニス・キメットである。

そのレースから２ヵ月後の８月にハーフマラソンのベスト記録を59分45秒まで伸ばしたロノは、2015年のプラハ・マラソンで２時間10分52秒、同年のバレンシア・マラソンで２時間10分09秒、2016年のベルリン・マラソンで２時間９分29秒と、３大会連続で自己ベストを更新した。自己ベストを記録したベルリンでは、25kmまでは２時間３分台を記録したケネニサ・ベケレやウィルソン・キプサングの集団でレースを進めていたが、35kmからの5kmで17分以上を要する大失速をした。しかし、もし前半を少し自重していれば、そしてもし持久力が少し向上すれば２時間７分台の可能性を示唆するレースだった。

No. 14 ヨハネス・ゲブレゲルギシュ (エリトリア)

GHEBREGERGISH, Yohanes (ERI)

DOB ：1 Jan. 1989
AGE ：28
Height：166cm
Weight：55kg

▶Personal Bests

Half Marathon	1:00:21	–2016
Marathon	2:09:48	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:00:21	2:09:48
2015		/ 28:22	1:01:42	
2014	14:46.71		1:03:44	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:09:48	Berlin	8th	25-Sep-16
	2:10:44	Praha	7th	8-May-16

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sep	Berlin Marathon	Marathon	8th	2:09:48
8 May	Prague Marathon – Praha	Marathon	7th	2:10:44
2 Apr	Sportisimo Prague Half Marathon – Praha	Half marathon	8th	1:00:21

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
13 Sep	Kobenhavn Half Marathon	Half Marathon	14th	1:02:37
7 Feb	East Africa Half Marathon Champ – Massawa	Half Marathon	5th	1:01:42

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Oct	Eritrea Half Marathon Championships – Keren	Half Marathon	2nd	1:03:44
27 Apr	Eritrean Athletics Championships – Asmara	5000m	9th	14:46.71

Yohanes Ghebregergish of Eritrea has run two marathons so far in his running career. His debut marathon was at the Praha Marathon in May of 2016. He was seventh with 2:10:44. His second marathon was at the 2016 Berlin Marathon, where he improved his marathon best by a minute to finish eighth with 2:09:48.
Since his half marathon best is 1:00:21 recorded in Praha in April of 2016, 28 years old Ghebregergish who is not an experienced marathon runner could possibly run much faster marathon than his personal best indicates. Among the runners entered in this year's Tokyo Marathon, Dickson Chumba and Alfers Lagat have a low 60 minutes half marathon best. Since Chumba has 2:04 marathon best, while Lagat has 2:06 marathon best, it will not be a surprise if Ghebregergish record the marathon time in this range.
Incidentally, the Eritrean marathon record is 2:07:27 recorded by Yared Asmerom in the 2011 Chunchon marathon; this is not an unrealistic goal for Ghebregergish. If Eritrean marathon record improves to under 2:07, then it will be at least 15th fastest in the world.

エリトリアのヨハネス・ゲブレゲルギシュは、今までマラソンを２回走っている。初マラソンは2016年５月のプラハで、２時間10分44秒で７位。２回目のマラソンは同年９月のベルリンで自己新の２時間９分48秒で８位に入った。

ハーフマラソンの自己ベストは2016年４月にプラハで記録した１時間０分21秒なので、マラソン歴の浅い28歳の彼は、これからまだまだ自己ベストを伸ばせるはずだ。今回の東京マラソンに出場する選手でハーフで１時間０分前半の自己ベストを持つ選手は、例えばディクソン・チュンバやアルフェルス・ラガトなのだが、ラガトのマラソンの自己ベストは２時間６分台、チュンバにいたっては２時間４分台。ゲブレゲルギシュがこのレベルの記録が出しても、不思議ではないのである。

ちなみに、エリトリアのマラソン最高記録はヤレド・アスメロンが2011年に韓国の春川で記録した２時間７分27秒なのだが、ゲブレゲルギシュに届かない記録ではないはずだ。そして、もしエリトリア記録が２時間６分台に突入すれば、世界で15番以内に入ることになる。

東京マラソン招待選手―海外男子

Tokyo Marathon Invited Athletes – International MEN

No. 15 ソロモン・デクシサ (エチオピア)

DEKSISA, Solomon (ETH)

DOB ：11 Mar. 1994
AGE ：22
Height：174cm
Weight：56kg

▶Personal Bests

10000m	29:02:5	–2011
Half Marathon	1:00:12	–2014
Marathon	2:06:22	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016		/ 29:59	1:02:24	2:06:22
2015		/ 29:21	1:04:30	
2014		/ 29:22	1:00:12	
2013				
2012		/ 28:14		
2011		29:02:5 / 28:21		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	DNF (fell)	Dubai (fell at start)	DNF (fell)	20-Jan-17
Personal Best	2:06:22	Rotterdam	2nd	10-Apr-16
	2:17:32	Lagos	6th	6-Feb-16
	DNF (pace)	Frankfurt	DNF (pace)	26-Oct-14
	DNF (pace)	Chicago	DNF (pace)	7-Oct-12

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Jan	Dubai Marathon (fell at start)	Marathon	DNF (fell)	DNF (fell)

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 Apr	Rotterdam Marathon	Marathon	2nd	2:06:22
6 Feb	Lagos City Marathon	Marathon	6th	2:17:32

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Apr	Hy-Vee road Race – Des Moines	Half marathon	2nd	1:04:30

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Cocin International Half Marathon	Half marathon	5th	1:03:58
26 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
1 Jun	Rock n Roll San Diego Half Marathon	Half marathon	1st	1:00:12
26 May	Bolder Boulder	10Km	3rd	29:22

After serving as a pacemaker in the Chicago, Frankfurt and other Marathons, Solomon Deksisa made his marathon debut at the first edition of Lagos Marathon in Nigeria in February of 2016. Two months later, Deksisa ran his first world class marathon at Rotterdam. Deksisa finished second, 11 seconds behind Marius Kipserem, who will be running Tokyo Marathon this year, with 2:06:22. Deksisa covered the final 2.195km in 6:41.
Since Deksisa has run only one serious marathon, his true ability at the marathon distance is not clear. However, he might have a potential to run a 2:04 marathon, for at the 2014 San Diego Half Marathon, Deksisa finished 27 seconds ahead of Dickson Chumba, who four months later ran 2:04 marathon best. Can Deksisa, who fell at the start of the Dubai Marathon, run with Chumba at the marathon distance also? And Tokyo Marathon will be the race for redemption for Deksisa, who lost against Kipserem in the Rotterdam Marathon.

シカゴ、フランクフルトなどのマラソンでペースメーカーを務めたソロモン・デクシサは、アフリカ、ナイジェリアでの第１回ラゴス・マラソンで初マラソンを完走した。その２ヵ月後の2016年４月に、彼にとって初めて世界レベルのマラソンになるロッテルダム・マラソンに挑み、優勝したマリウス・キプセレムから11秒遅れの２時間６分22秒で２位に入っている。最後の2.195kmは６分41秒でカバーした。

まだ１回しか本格的なマラソンを走っていないデクシサの実力は不明だが、潜在的には２時間４分台も可能かと思われる。なぜならば、2014年６月のサンディエゴ・ハーフマラソンで、デクシサは、その４ヵ月後に２時間４分台の自己ベストをマークしたディクソン・チュンバに27秒差で勝っているからだ。マラソンでも、チュンバと先頭争いを演じられるだろうか？　そして東京マラソンは、ドバイ・マラソンのスタートで転倒したデクシサにとって、ロッテルダムで敗れたキプセレムに対する雪辱戦ともなる。

東京マラソン招待選手―国内男子

Tokyo Marathon Invited Athletes – National MEN

No. 21 今井　正人（福岡・トヨタ自動車九州）

IMAI, Masato (JPN･Toyota Kyushu)

DOB　：2 Apr. 1984
AGE　：32
Height：169cm
Weight：56kg

▶Personal Bests

5000m	13:47.15	–2014
10000m	28:18.15	–2010
Half marathon	1:02:37	–2005
Marathon	2:07:39	–2015

▶International Championships Highlights

World Half Marathon Championships
21st in 2010
3000m
15th in 2001 World Youth Championships
World Cross Country Championships
25th in junior division in 2002, 63rd in 2006

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	14:07.83		1:03:06	2:12:18
2015	14:04.42	28:52.84		2:07:39
2014	13:47.15	28:32.75	1:03:55	2:09:30
2013	13:51.14	28:27.69	1:03:24	2:10:29
2012	14:05.31	28:29.29		2:17:50
2011	13:58.76	28:48.09	1:04:21	2:10:32
2010	14:12.31	28:18.15	1:03:28	2:13:23
2009	13:55.65	28:57.36	1:03:33	
2008	14:24.64	29:14.41		2:18:34
2007	14:05.70	28:44.27		
2006	14:03.88	28:57.93		
2005			1:02:37	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:12:18	Tokyo	13th	28-Feb-16
Personal Best	2:07:39	Tokyo	7th	22-Feb-15
	2:14:36	New York	7th	2-Nov-14
	2:09:30	Beppu-Oita	2nd	2-Feb-14
	2:10:45	New York City	6th	3-Nov-13
	2:10:29	Tokyo	11th	24-Feb-13
	2:17:50	Lake Biwa Marathon	42nd	4-Mar-12
	2:10:32	Fukuoka Marathon	4th	4-Dec-11
	2:10:41	Lake Biwa Marathon	6th	6-Mar-11
	2:13:23	Fukuoka Marathon	5th	5-Dec-10
	2:18:34	Hokkaido marathon - Sapporo	10th	31-Aug-08

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	2nd	1:03:07

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Kosa 10 Milers	10 Miles	4th	46:46
3 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage3 – 13Km	2nd	37:45
22 Oct	Sayagatani	5000m	4th	14:07:83
8 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	1st	1:03:06
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	13th	2:12:18
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 – 15.8km	2nd	47:09

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	3r1	46:36
16 May	Kyushu Corporate team T&F	10000m	17r3	28:52.84
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	7th	2:07:39
1 Jan	New Year Ekiden	Stage - 22Km	2nd	1:03:01

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Kosa 10 Miler	10 Miles	5th	46:37
2 Nov	New York City Marathon	Marathon	7th	2:14:36
20 July	Shibetsu Half marathon	Half marathon	1st	1:04:07
7 June	JPN Athletics Championships – Fukushima	10000m	17th	28:52.04
17 May	Kyushu Corporate team T&F Champ – KitaKyushu	10000m	5th	28:34.75
20 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	12th	28:32.75
2 Feb	Beppu-Oita marathon	Marathon	2nd	2:09:30
19 Jan	Okukuma Road race	Half marathon	5th	1:03:55
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	2nd	1:03:44

A superstar of famed Hakone Ekiden, having set three stage bests including two new stage records over the tough uphill fifth stage, Masato Imai was expected to be a next great marathon runner. He fulfilled that expectation in the Tokyo Marathon 2015 when he ran 2:07:39 It was sixth fastest time in Japan.
After graduating from Juntendo university, Imai joined Toyota Kyushu led by the 1992 Olympic marathon silver medalist, Koichi Morishita. Imai's marathon debut at the 2008 Hokkaido Marathon was disappointing one, for he was tenth with 2:18:34. However, slowly but surely he improved his marathon. Imai finally cracked 2:10 for the marathon with 2:09:30. However, his marathon potential calls for faster marathon, which he finally fulfilled in the Tokyo Marathon 2015.
With the performance in the Tokyo Marathon 2015, Imai was selected to run in the World Championships in Beijing. Unfortunately, he came down with an illness a month before the championships, and thus forced to miss the best opportunity to show his potential. He slowly came back, but perhaps because of missed training, Imai was only 13th with 2:12:18 in the last year's Tokyo Marathon.
In New Year Ekiden, All-Japan Industrial Men's Ekiden team championships of this year, Imai was second over the longest 22km stage, one second behind the stage winner. Running his fourth Tokyo Marathon, can Imai set third personal best in Tokyo?

箱根駅伝では山上りの５区で２回の区間新を含む３回連続の区間賞を獲得した今井正人は、日本マラソン界を背負うランナーへ成長するとの期待が集まっていた。それが現実のものとなったのは、2015年の東京マラソンで日本歴代６位となる２時間７分39秒の大幅な自己ベストを記録した時である。

順大を卒業後に、バルセロナ五輪マラソンの銀メダリストの森下広一監督が率いるトヨタ自動車九州に入社。初マラソンだった2008年の北海道マラソンは２時間18分34秒で10位に終わったが、その後は着実に自己ベストを短縮。2014年の別府大分毎日マラソンで、自身初のサブ10となる２時間９分30秒をマークした。しかし、まだまだ彼に期待されるタイムには程遠かった。彼がその才能に見合うタイムをようやく出したのが一昨年の東京マラソンだった。

東京での成績によって2015年の北京世界選手権のマラソン代表を射止めた今井だったが、大会１ヵ月前に髄膜炎で緊急入院、代表辞退に追い込まれた。カムバックには時間を要した。昨年の東京マラソンでは２時間12分18秒で13位に沈んだ。

今年の全日本実業団対抗駅伝で、エース区間の４区で区間賞から１秒遅れのタイムで２位。４回目の東京マラソンで、３回目の自己ベストを出し、復活を果たすことができるだろうか？

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Kosa 10 miler	10 Miles	12th	47:23
3 Nov	New York City marathon	Marathon	6th	2:10:45
22 July	Shibetsu Half marathon	Half marathon	1st	1:03:24
8 June	JPN National Championships – Chofu	10000m	4th	28:27.69
18 May	Kyushu Corporate team T&F Champ – Kita-Kyushu	10000m	5th	28:45.24
21 Apr	Hyogo Relay - Kobe	10000m	11th	28:28.48
24 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	11th	2:10:29
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	1st	1:02:50

東京マラソン招待選手―国内男子

No. 22 佐野　広明 (埼玉・Honda)

SANO, Hiroaki (JPN・Honda)

DOB　：28 Feb. 1988
AGE　：28
Height：175
Weight：52

▶Personal Bests

5000m	13:45.32	–2014
10000m	28:43.61	–2014
Half marathon	1:02:40	–2014
Marathon	2:09:12	–2015

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	14:05.22		1:03:35	2:13:10
2015	14:04.57		1:03:41	2:09:12
2014	13:45.32	28:43.61	1:02:40	2:13:07
2013	14:17.18		1:03:24	2:10:29
2012		29:25.15		
2011		29:03.97	1:05:48	
2010		28:55.38		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:13:10	Tokyo	18th	28-Feb-16
Personal Best	2:09:12	Tokyo	9th	22-Feb-15
	2:13:07	Lake Biwa – Otsu	11th	2-Mar-14
	2:10:29	Chicago	7th	13-Oct-13
	2:12:14	Nobeoka	1st	10-Feb-13

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Ageo City Half Marathon	Half marathon	37th	1:03:35
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage7 – 13.5km	2nd	40:34
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	18th	2:13:10
31 Jan	Osaka Half Marathon	Half marathon	5th	1:04:18
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 – 15.5km	6th	47:38

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	4th	1:03:41
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	9th	2:09:12
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 – 13.6km	1rth	39:34

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage7 – 13.5km	4th	40:45
7 Sep	Great North Run Newcstle	Half Marathon	7th	1:03:01
25 Jun	Hokuren Distance Challenge	10000m	13rA	28:43.61
15 Jun	Nittai University Distance – Yokohama	5000m	3r34	13:45.32
11 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	2nd	1:02:40
2 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	11th	2:13:07
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	19th	1:05:37

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
13 Oct	Chicago Marathon	Marathon	7th	2:10:29
12 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	8th	1:03:24
10 Feb	Nobeoka Marathon	Marathon	1st	2:12:14

Hiroaki Sano was aiming to crack 2:10 for the marathon at minimum in the Tokyo Marathon two years ago, and he did succeed when Sano ran 2:09:12. It was a personal best and his first sub-2:10 clocking of his career. After graduating from the University, Sano joined the Honda track team, but could not produce good results in the first three years with the team. Then in February of 2013, Sano ran his debut marathon in the Nobeoka West Japan Marathon, and won with 2:12:14. The following October, Sano ran the Chicago Marathon and finished seventh with 2:10:29. He almost cracked 2:10 for the marathon, the hallmark of elite marathon runners. “Marathon gave me a reason to run” said Sano, whose marathon career was a smooth ride until that point.

However, in his third marathon, the 2014 Lake Biwa Marathon, Sano was only 11th, lowest finish of his career, with 2:13:07, slowest time of his career. In attempt to amend the problem, Sano started to work on the speed on the track. Sano improved personal bests at every distance except for the marathon: 5000m best to 13:45.32, 10000m best to 28:43.61 and half marathon best to 1:02:40. Then in his fourth marathon, the Tokyo Marathon 2015, although he lost contact with the leader at 33km, Sano was second Japanese in the race behind Imai.

In the last year's Tokyo Marathon, Sano recorded worst performance (18th with 2:13:10). Thus, this year's Tokyo Marathon will be the race of redemption for Sano.

「最低でもサブ10」と臨んだ一昨年の東京マラソンで、大幅の自己ベストとなる２時間９分12秒を記録し、初めて２時間10分の壁を破った佐野広明。大学卒業後にホンダ陸上競技部に入部したが、３年経っても結果が出なかった佐野は、2013年の２月に延岡西日本マラソンで初マラソンに挑戦、２時間12分14秒でいきなり優勝している。その年の10月にはシカゴ・マラソンを走り、２時間10分29秒で一流ランナーの証でもある10分切りまであと一歩に迫ったのである。「自分が陸上を続けられるきっかけを作ってくれたのがマラソン」と言う佐野のマラソン人生はここまでは順調だった。

しかし、2014年のびわ湖マラソンでは、２時間13分07秒で11位と自己ワーストの結果に終わってしまった。その後苦手だったトラック練習も積極的に取り入れ、5000ｍで13分45秒32、10000ｍで28分43秒61、ハーフマラソンで１時間２分40秒と、マラソン以外のすべての種目で自己ベストを更新した。そして、４度目のマラソンだった一昨年の東京マラソンで、33kmで力尽き集団から遅れてしまったが、今井に次いで日本選手２位となっている。

昨年の東京マラソンでは自己ワーストタイム（２時間13分10秒）でワースト順位（18位）に終わってしまった佐野。リベンジに懸ける想いは強いだろう。

No. 23 五ヶ谷　宏司 (東京・JR東日本)

GOKAYA, Koji (JPN・JR East)

DOB　：22 Feb. 1988
AGE　：29
Height：161cm
Weight：46kg

▶Personal Bests

10000m	28:58.84	–2008
Half marathon	1:02:52	–2009
Marathon	2:09:21	–2015

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016				2:14:34
2015				2:09:21
2014		29:39.26	1:06:38	2:11:43
2013		29:57.30		2:14:26
2012		29:46.11		2:16:09

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:14:34	Chicago	9th	9-Oct-16
	2:21:05	Tokyo	40th	28-Feb-16
	2:10:58	Berlin	9th	27-Sep-15
Personal Best	2:09:21	Tokyo	11th	22-Feb-15
	2:11:43	Frankfurt	12th	27-Oct-14
	2:23:00	Fukuoka	25th	1-Dec-13
	2:14:26	Hokkaido – Sapporo	1st	25-Aug-13
	2:16:09	Tokyo	26th	26-Feb-12
	2:12:15	Chicago	7th	9-Oct-11
	2:12:07	Lake Biwa – Otsu	10th	6-Mar-11

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	20th	1:05:18

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	9th	2:14:34
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	40th	2:21:05

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Sep	Berlin Marathon	Marathon	9th	2:10:58
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	11th	2:09:21
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	12th	1:04:20

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	12th	2:11:43
28 Sep	Hakodate Half Marathon	Half marathon	6th	1:06:38
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 – 15.8km	18th	48:21

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	25th	2:23:00
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 2 – 15.3Km	10th	46:23
25 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	1st	2:14:26
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 7 – 15.5km	12th	48:13

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 6 – 10.6Km	4th	30:23
20 May	East JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	5000m	19r2	14:30.44
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	26th	2:16:09
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	20th	1:05:27

In the Tokyo Marathon two years ago, his seventh marathon of his career, Koji Gokaya cracked 2:10 for the first time with 2:09:21. After graduating from Senshu University, Gokaya joined JR East Japan and promptly run the 2011 Lake Biwa Marathon. It was his debut marathon and he finished tenth with 2:12:07.
Following fall, he ran the Chicago Marathon. Although he placed seventh, better than tenth place finish at his debut, his time, 2:12:15, was not an improvement of his personal best. His next marathon, his third marathon, the Tokyo Marathon 2012, was a failure for he was only 26th with 2:16:09. However, Gokaya won the 2013 Hokkaido Marathon in Sapporo. His next marathon in Fukuoka was also a failure, for he was 25th with 2:23. However, in the 2014 Frankfurt Marathon, Gokaya finally improved his personal best with 2:11:43.
Endowed with a sturdy body Gokaya can train hard without worrying about getting injured. Before the Tokyo Marathon 2015, Gokaya ran more than a dozen 40km long run. He also ran a half marathon time trials with the pace under 3 minutes for each km. Furthermore Gokaya did speed-work such as 5x1km either day before or day after his 40km long run. In the last year's Tokyo Marathon, Gokaya lost contact with the leaders at 6km and finished dismal 40th with 2:21. With his goal of securing the position of first Japanese in the Tokyo Marathon in mind, Gokaya will be running fourth Tokyo Marathon.

一昨年の東京マラソンでは２時間９分21秒と、７回目のマラソンで初めて２時間10分の壁を破った五ヶ谷宏司。専大を卒業後、2010年にＪＲ東日本に入社。その初年度の2011年３月にびわ湖毎日マラソンを走り、２時間12分07秒で10位と、まずまずのデビューを果たした。

その年の秋にはシカゴ・マラソンを走り、順位は７位と初マラソンより上だったが、タイムは２時間12分15秒で自己ベストは更新できなかった。2012年の東京マラソンは２時間16分09秒で26位に沈んだが、2013年の北海道でマラソン初優勝。同年暮れの福岡国際マラソンでは再び失敗したが、2014年のフランクフルト・マラソンで２時間11分43秒と、ようやく初マラソンのタイムを超えることができた。

故障しない頑強な身体に恵まれた五ヶ谷は、2015年の東京マラソン前には年間で40km走を12回以上こなした。また、1km3分を切るペースでハーフマラソンのタイムトライアルを行ったり、40km走の前日や翌日に1km×５本などのスピード練習を行ったりしたという。昨年の東京マラソンでは6km過ぎで先頭から遅れて２時間21分台で40位に終わってしまった。今年の目標である東京マラソン日本人１位を目指し、４回目の東京マラソンに挑む。

東京マラソン招待選手―国内男子

No. 24 深津　卓也（宮崎・旭化成）

FUKATSU, Takuya (JPN・Asahi Kasei)

DOB　：10 Nov. 1987
AGE　：29
Height：169cm
Weight：54kg

▶Personal Bests

5000m	13:33.34	–2012
10000m	27:56.29	–2010
Half marathon	1:01:25	–2012
Marathon	2:09:31	–2016

▶International Championships Highlights

World Cross Country Championships
80th in 2007

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016				2:09:31
2015	13:50.34		1:02:36	2:11:48
2014	13:57.80	28:58.17	1:01:55	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:13:53	Chicago	7	9-Oct-16
Personal Best	2:09:31	Lake Biwa – Otsu	5	6-Mar-16
	2:11:48	Nagano	4	19-Apr-15

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	7th	2:13:53
6 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	5th	2:09:31

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
19 Apr	Nagano Marathon	Marathon	4th	2:11:48
15 Feb	All JPN Corporate team Half Marathon - Yamaguchi	Half Marathon	16th	1:02:36
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 6 – 12.5km	5th	38:17

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 Oct	JPN Corporate team T&F Champ - Yamaguchi	10000m	20r3	29:10.45
21 Sep	Rock n Roll Philadelphia Running Festival	Half marathon	19	1:06:20
8 Jun	JPN National Championships - Fukushima	5000m	22	13:57.80
17 May	Kyushu Corporate team T&F Champ - Kitakyushu	10000m	12r3	28:58.17
16 Feb	All JPN Corporate team Half Marathon - Yamaguchi	Half marathon	7th	1:01:55
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 – 15.8km	12th	47:41

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage 6 – 9.1Km	1st	26:31
9 Jun	JPN National Championships - Tokyo	10000m	9th	28:36.89
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 3 – 13.6km	1st	38:15

Ever since his high school days Takuya Fukatsu has attracted a lot of attention for he cracked 14 minutes for 5000m in high school. In his college freshman year, Fukatsu was fastest in the seventh stage of the All-JPN Collegiate Ekiden Championships, and in his second year of college Fukatsu was the fastest in the eighth stage of Hakone Ekiden (Kanto district College Ekiden). In his third year of college, He was fourth at 5000m in the 2008 JPN National Championships. In 2010, Fukatsu joined marathon/ekiden powerhouse Asahi Kasei. he recorded the 10000m best of 27:56.29 in 2010 and finished seventh in the 2011 JPN National Championships. In 2013 he recorded the fastest third stage in the New Year Ekiden, All-Japan Industrial Men's Ekiden team championships.

In 2015, he moved up to the marathon. He was fourth in the Nagano Marathon with 2:11:48, respectable, but not a fantastic marathon debut. His second marathon was at the 2016 Lake Biwa Marathon, the Olympic qualifying race. Late in the race, Fukatsu was in the position of second Japanese, but at the end he was third Japanese, fifth overall. However, he easily cracked 2:10 marathon barrier with 2:09:31, which was a huge confidence builder.

In his third marathon, the 2016 Chicago Marathon, Fukatsu was only seventh with 2:13:53. It should be noted that Chicago marathon does not have pacemakers, and thus fast time is not expected. Furthermore, the elite field of Chicago Marathon is much better than other two marathons Fukatsu ran in the past, so seventh place finish is not a failure. In fact he was the first non-African in the race. Fukatsu will be running his fourth marathon in Tokyo.

高校時代に5000ｍで13分57秒60を記録して以来注目されていた深津卓也は、大学１年の時に全日本大学駅伝の７区で区間賞、そして２年の時には箱根駅伝の８区で区間賞に輝いた。３年の日本選手権5000ｍでは４位に入賞している。2010年に名門・旭化成に入社。同年の10000ｍで27分56秒29の自己ベストを出し、2011年の日本選手権では７位に入賞している。2013年には全日本実業団対抗駅伝の３区で区間賞を獲得した。

2015年にはマラソンに進出。４月の長野で初マラソンに挑み、２時間11分48秒で４位と、まずまずの成績を収めた。２度目のマラソンとして五輪選考会である2016年のびわ湖毎日マラソンに挑んだ。レース後半には日本人２位にまで順位を上げたが、最後は日本人３位、総合５位だった。しかし、２時間９分31秒と２時間10分の壁を破り、マラソンへの自信を得たレースでもあった。

３度目のマラソンとなった昨年秋のシカゴでは２時間13分53秒で７位だった。ペースメーカーが不在で速いタイムが期待できないレースであり、招待選手のレベルも今まで深津が走ったマラソンをはるかに越えている。その中でアフリカ勢以外では１位となったのだ。決して失敗レースではない。その深津が、東京で４度目のマラソンに挑む。

No. 25 高宮　祐樹 (東京・ヤクルト)

TAKAMIYA, Yuki (JPN・Yakult)

DOB　：2 Dec. 1987
AGE　：29
Height：173cm
Weight：56kg

▶Personal Bests

10000m	28:29.64	–2015
Half marathon	1:02:31	–2013
Marathon	2:10:57	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	14:06.17	28:50.58		2:10:57
2015	13:51.33	28:29.64		2:18:38
2014	14:01.34	29:06.71		2:15:38

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:10:57	Tokyo	8th	28-Feb-16
	2:18:38	Beppu-Oita	19th	1-Feb-15
	2:15:38	Lake Biwa – Otsu	23rd	2-Mar-14

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage1 - 12.3Km	6th	35:18

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Nov	Hachioji Long Distance - Machida	10000m	16r5	28:57.16
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 2-15.3Km	4th	45:15
24 Sep	All JPN Corporate team T&F Champ	5000m	25th	29:05.98
7 Aug	Towada Hachimantai Ekiden	Stage 1 - 13.6km	3rd	40:27
11 Jul	Hokuren Distance challenge - Abashiri	10000m	19rA	28:50.58
5 Jun	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	16r28	14:08.14
21 May	East JPN Corporate team T&F Champ - Kumagaya	10000m	8th	28:57.79
7 May	Golden Games Nobeoka	5000m	11rA	14:06.17
23 Apr	Hyogo Relays - Asics Challenge - Kobe	10000m	19r2	29:20.28
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	8th	2:10:57
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 1 - 12.3km	11th	35:32

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance - Machida	10000m	15r6	28:29.64
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 2 - 15.3Km	8th	45:24
27 Sep	JPN Corporate team T&F Champ - Gifu	5000m	4r3	13:51.33
7 Aug	Towada Hachimantai Ekiden	Stage 1 - 13.6Km	2nd	40:52
24 May	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	9r15	13:54.70
17 May	East JPN Corporate team T&F Champ - Kumagaya	5000m	24r4	14:28.71
9 May	Golden Games Nobeoka	5000m	8rB	14:00.81
26 Apr	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	12r27	14:11.29
1 Feb	Beppu-Oita Marathon	Marathon	19th	2:18:38
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 - 13.6Km	21	39:44

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage2 - 15.3km	8th	46:35
7 Aug	Towada Hachimantai Ekiden	Stage1 - 13.6km	8th	41:57
25 Jun	Hokuren Distance Challenge - Fukagawa	10000m	10rB	29:06.71
15 Jun	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	10r34	14:01.34
18 May	East JPN Corporate team T&F Champ	5000m	7r4	13:57.03
26 Apr	Nittai University Distance - Yokohama	10000m	2r6	29:08.59
13 Apr	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	10r21	14:06.73
2 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	23rd	2:15:38
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 3 - 13.6km	11th	39:26

Yuki Takamiya was the first Japanese (eighth overall) in the last year's Tokyo Marathon. In his third marathon of his career, Takamiya improved his personal best by nearly five minutes. Furthermore, it was his first top ten finish in his three marathons.

In high school, Takamiya was a relative unknown with 5000m best above 15 minutes. In the Josai University days he improved his 5000m best to low 14 minutes, and his 10000m best to low 29 minutes, and also recorded a half marathon best of 1:03:31. His performance at the famed Hakone Ekiden (Kanto district Collegiate Ekiden) was not impressive - 14th in nineth stage and 21st in fifth stage.

Takamiya moved up to another level after college graduation when he joined Yakult track team. In 2014, he made his marathon debut at the Lake Biwa Marathon. In 2015 he cracked 14 minutes for the 5000m and 29 minutes for the 10000m, thus improving his track personal best at both distances.

Recently, the top Japanese finisher in the Tokyo Marathon has not run well the following year. Can Takamiya break this bad streak for the top Japanese in Tokyo Marathon? It should be noted that Takamiya was 11th fastest in the first stage of the 2016 New Year Ekiden, All-Japan Industrial Men's Ekiden team championships with 35:32, but was sixth fastest on the same stage with faster time of 35:18 in the 2017 edition of the race. He is getting faster, and thus faster time at Tokyo Marathon is expected for Takamiya.

昨年の東京マラソンで日本人１位、総合で８位となったのが高宮祐樹である。３度目のマラソンで、自己ベストを５分近く更新。初めてひとケタ順位でフィニッシュしたのだ。

高校時代の5000ｍのベストは15分台とまったく無名の選手だった。城西大では5000ｍ14分台前半、10000ｍで29分台前半までタイムを伸ばし、ハーフマラソンでも１時間３分31秒を記録しているが、２回の箱根駅伝では９区区間14位、５区21位と注目されるような成績は残していない。

しかし、2010年にヤクルトに入社した後に大きく成長。2014年にはびわ湖毎日で初マラソンに挑戦し、2015年には5000ｍで13分台、10000ｍで28分台に突入と、トラックの自己ベストを伸ばした。

東京マラソンでは最近、日本人で１位になった選手が、その翌年に好記録を残していない。昨年日本人トップだった高宮が、今年も東京マラソンに挑む。彼は自己ベストを更新できるだろうか？　昨年の全日本実業団駅伝では１区を35分32秒で11位だった高宮は、今年の同大会では同じ１区を35分18秒で６位と、昨年を上回った。東京マラソンでの好走が期待される。

東京マラソン招待選手―国内男子

No. 26 橋本　峻 (東京・GMOアスリーツ)

HASHIMOTO, Ryo (JPN・GMO ATHLETES)

DOB　：26 Sep. 1993
AGE　：23
Height：172cm
Weight：56kg

▶Personal Bests

10000m	28:41.02	–2016
Half marathon	1:03:33	–2016
Marathon	2:11:20	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	13:57.91	28:41.02	1:03:33	2:11:20
2015	14:10.90	29:10.18	1:04:38	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:11:20	Hofu	1st	18-Dec-16
	2:14:38	Tokyo	23rd	28-Feb-16

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Dec	Hofu Marathon	Marathon	1st	2:11:20
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	23rd	2:14:38
7 Feb	Kanagawa Half Marathon – Yokohama	Half Marathon	2nd	1:03:33
10 Jan	Takanezawa	Half Marathon	5th	1:04:15

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Nov	JPN Collegiate Ekiden Champ	Stage 7 – 11.9Km	3rd	35:27
7 Aug	Towada Hachimantai	Stage 1 – 13.6km	3rd	40:56
13 Jun	Collegiate champ - Hiratsuka	5000m	4r1	14:14.58
17 May	Gifu Seiryu Half marathon	Half Marathon	19th	1:05:25
1 Mar	JPN Collegiate Half Marathon – Tachikawa	Half Marathon	118th	1:04:38
1 Feb	Kanagawa Half Marathon – Yokohama	Half Marathon	16th	1:05:08

In the last year's Tokyo Marathon, Ryo Hashimoto, a senior at Aoyama Gakuin University, made his marathon debut and finished 23rd with 2:14:38. He was 14th fastest Japanese in the Tokyo Marathon, but he also became 20th fastest collegiate runner in Japan.
During his college career, Hashimoto never recorded best ekiden stage, but with his performance in the Tokyo Marathon, his aptitude for the longer distance was apparent. After graduation from college, Hashimoto joined GMO ATHLETES coached by Katsuhiko Hanada, 15th at the 10000m in the 2000 Olympics. His former college coach Susumu Hara serves as a team advisor for GMO ATHLETES.
GMO ATHLETES emphasizes autonomy of the members and thus does not participate in ekiden races. Thus GMO ATHLETES may be the right team for a runner like Hashimoto. After the Tokyo Marathon, in October, he recorded the 5000m best of 13:57.91. The following month, in November, Hashimoto recorded the 10000m best of 28:41.02 and then in December he ran the Hofu Marathon. In Hofu, when Yuki Kawauchi surged at 26km, Hashimoto did not respond immediately. Instead, he gradually close the gap and passed Kawauchi after 31km and won the race with more than three minutes personal best of 2:11:20.
After defeating Kawauchi, Hashimoto suddenly started to attract attention. In his third marathon in Tokyo, can Hashimoto record a sub-2:10 marathon, the time his coach Katsuhiko Hanada was unable to realize during his career.

昨年の東京で初マラソンに挑み、2時間14分38秒で23位に入ったのが、当時・青学大4年生だった橋本峻である。日本選手中では14位だったが、学生歴代20位となるパーフォーマンスでもあった。

大学時代に駅伝の区間賞などの目立った成績は残せなかったが、東京マラソンで長い距離の適正が注目されたことで、大学卒業後は青学大の原晋監督がアドバイザーを務め、シドニー五輪10000ｍ15位の花田勝彦氏が率いるＧＭＯアスリーツに入部することになった。

駅伝には参加せず、個人を重んじるチームであるＧＭＯアスリーツは、橋本にとって自身の能力をフルに発揮できるチームかもしれない。10月に5000ｍの自己ベストを13分57秒91まで、そして11月に10000ｍの自己ベストを28分41秒02まで短縮し、2回目のマラソンとなる12月の防府マラソンに挑戦。26kmでスパートした川内優輝を無理には追わず、31km過ぎで逆転。自己ベストを3分以上も更新する2時間11分20秒で優勝を果たした。

橋本は、川内に勝ったことでも注目を集めることになった。東京で3度目のマラソンに挑む橋本は、花田監督がついに実現できなかった2時間9分台に、突入することができるだろうか？

No. 27 下田　裕太 (静岡・青山学院大学)

SHIMODA, Yuta (JPN・Aoyama Gakuin University)

DOB　：31 Mar. 1996
AGE　：20
Height：169cm
Weight：54kg

▶Personal Bests

10000m	28:33.77	–2015
Half marathon	1:02:22	–2015
Marathon	2:11:34	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	13:53.96	28:42.88	1:03:41	2:11:34
2015	14:06.85	28:33.77	1:02:22	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:11:34	Tokyo	10th	28-Feb-16

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
22 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 7 – 13km	9th	38:21
3 Jan	Hakone Ekiden	Stage 8 – 21.4km	1st	1:04:21

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
13 Nov	Setagaya 246 Half Marathon – Tokyo	Half marathon	39th	1:07:41
6 Nov	JPN National Collegiate Ekiden Champ	Stage 1 – 14.6km	8th	44:04
10 Oct	Izumo Ekiden	Stage 3 – 8.5km	4th	25:16
11 Jun	Collegiate T&F Champ - Hiratsuka	5000m	10r2	14:16.67
19 May	Kanto district Collegiate T&F Champ – Yokohama	10000m	8th	29:14.04
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	10th	2:11:34
7 Feb	Kanagawa Half Marathon	Half marathon	4th	1:03:41
3 Jan	Hakone Ekiden	Stage 8 – 21.4km	1st	1:04:21

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Nov	Setagaya 246 Half Marathon – Tokyo	Half marathon	17th	1:05:59
1 Nov	All JPN National Collegiate Ekiden	Stage 5 – 11.6km	1st	33:46
12 Oct	Izumo Ekiden	Stage 4 – 6.2km	6th	18:10
13 Jun	Collegiate T&F Champ - Hiratsuka	5000m	5r2	14:10.81
17 May	Kanto Regional Collegiate T&F Champ - Yokohama	Half marathon	4th	1:04:50
12 Apr	Yaizu Half Marathon	Half marathon	4th	1:04:32
1 Mar	JPN Collegiate Half Marathon Champ – Tachikawa	Half marathon	9th	1:02:22
11 Jan	Takanezawa Half Marathon	Half marathon	1st	1:03:16

In the last year's Tokyo Marathon, a 19 years old college sophomore Yuta Shimoda was second Japanese (tenth overall) with 2:11:34. After recording stage bests at the 2015 All JPN Collegiate Ekiden in November and 2016 Hakone Ekiden (Kanto district College Ekiden) in January, Shimoda made his marathon debut in Tokyo. He recorded eighth fastest collegiate marathon time as well as the fastest marathon by a Japanese teenager (not a national junior record, for Shimoda turned 20 years old in March of 2016).
In his high school days, Shimoda's 5000m best was only mid-14 minutes and he never run well in the national high school ekiden championships. He only excelled in the sports after he joined Aoyama Gakuin University track team. He recorded his personal bests at both 10000m and half marathon. Since Shimoda ran so well in the last year's Tokyo Marathon without proper marathon training, his next marathon at Tokyo, after a year of proper marathon training, is awaited with much anticipation.
However, most of seven collegiate marathon runners faster than Shimoda have not run well in their subsequent marathons. Masakazu Fujiwara, Atsushi Sato, and Takehiro Deki, first, second, and third fastest collegiate marathon debutante, respectively, did not improve their debut marathon time in their second marathon. Only Atsushi Fujita, fourth fastest collegiate marathon debutante, finished sixth in the World Championships marathon, and thus ran a successful second marathon. Can Shimoda surpass them?

昨年の東京マラソンで19歳ながら２時間11分34秒で日本人２位（総合10位）に入った下田裕太。2015年全日本大学駅伝の５区と2016年箱根駅伝の８区で区間賞を輝いた後、東京で初マラソンに挑み、学生歴代８位、10代の日本人最高記録（３月に20歳になるのでジュニア日本記録ではない）を叩き出したのである。

高校時代は5000ｍのベストが14分半ばで、高校駅伝でも区間上位には入っていない下田は、青学大に入学してからその活躍が注目されるようになった。10000ｍとハーフマラソンの自己ベストは2015年に記録している。昨年、本格的なマラソン練習も行わずにこれだけの結果を出した下田。１年の準備期間を経た今回の東京マラソンでの期待は大きい。

しかし、学生歴代で下田より速いタイムを出した７人の中で、次のマラソンでも結果を出した選手は少ない。初マラソンで学生歴代１位から３位の記録をマークした藤原正和、佐藤敦之、出岐雄大は、次のマラソンで自己ベストを記録していない。学生歴代４位の藤田敦史だけが日本学生記録から世界選手権マラソン６位につなげ、２度目のマラソンで一応の結果を出したと言えるだろう。下田は彼らを越えられるか？

東京マラソン招待選手―国内男子

No.28 前田　和浩 (福岡・九電工)

MAEDA, Kazuhiro (JPN・Kyudenko)

DOB　：19 Apr. 1981
AGE　：35
Height：167cm
Weight：56kg

▶Personal Bests

5000m	13:25.24	–2008
10000m	27:55.17	–2007
Half marathon	1:02:08	–2007
Marathon	2:08:00	–2013

▶International Championships Highlights

5000m
4th in 2006 Asian Games
10000m
17th in 2007 World Championships
Half Marathon
30th in 2007 World Road Running Championships
World Cross Country Championships
60th in 2006
Marathon
39th in 2009 & 17th in 2013 & 40th in 2015 World Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	14:35.83	29:57.85	1:04:42	2:12:19
2015	13:58.31	29:39.45		2:11:46
2014	13:59.80	28:42.88	1:04:19	2:14:28
2013	13:52.66	28:32.23		2:08:00
2012	14:08.56	28:24.17		2:08:38
2011	13:52.24	28:28.65	1:03:45	2:10:29
2010	13:57.60	28:31.19	1:02:55	
2009	13:49.81	28:35.59	1:03:00	2:11:01
2008	13:25.24	28:00.29		
2007	13:28.84	27:55.17	1:02:08	
2006	13:39.42	28:15.21		
2005	13:45.91	28:20.87		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:12:19	Fukuoka	10th	4-Dec-16
	2:17:56	Lake Biwa – Otsu	26th	6-Mar-16
	2:32:49	World Championships – Beijing	40th	22-Aug-15
	2:11:46	Lake Biwa - Otsu	4th	1-Mar-15
	2:14:35	Berlin	15th	28-Sep-14
	2:14:28	Beppu-Oita	11th	2-Feb-14
	2:15:25	World Championships – Moskva	17th	17-Aug-13
Personal Best	2:08:00	Tokyo	4th	24-Feb-13
	2:14:37	Amsterdam	15th	21-Oct-12
	2:08:38	Tokyo	6th	26-Feb-12
	2:11:46	Fukuoka	6th	4-Dec-11
	2:10:29	Beppu-Oita	3rd	6-Feb-11
	2:19:59	World Championships – Berlin	39th	22-Aug-09
	2:11:01	Tokyo	2nd	22-Mar-09

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
4 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	10th	2:12:19
11 Sep	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half marathon	13th	1:06:20
26 Jun	Hakodate Half marathon	Half marathon	22nd	1:06:15
15 May	Gifu Seiryu half marathon	Half marathon	21st	1:04:42
6 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	26th	2:17:56

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden – Fukuoka to Kita-Kyushu	Stage 4 – 12.2Km	4th	36:18
22 Aug	World Championships – Beijing	Marathon	40th	2:32:49
1 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	4th	2:11:46
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4- 22k	9th	1:04:00

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Sep	Berlin Marathon	Marathon	15th	2:14:35
11 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	8th	1:04:19
2 Feb	Beppu-Oita Marathon	Marathon	11th	2:14:28
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	8th	1:04:47

Kazuhiro Maeda ran the Tokyo Marathon three times, in 2009, 2012, and 2013 and excelled each time. After recording 2:11 in his debut marathon in 2009, Maeda recorded two consecutive personal bests, both under 2:09. Maeda was second in 2009, his debut race, with 2:11:01 and because he was the first Japanese in the race, Maeda made the World Championships team. However, Maeda was only 39th in Berlin. In the Tokyo Marathon 2012, Maeda cracked 2:10 Marathon barrier for the first time with 2:08:38, but because he was only second Japanese in the race, Maeda failed to make the Olympic team. In 2013, Maeda was fourth with his current personal best of 2:08:00 and thus selected for the World Championships marathon team. However, he was only 17th in Moskva.
Maeda ran 5000m in the 2000 World Junior Championships, 10000m in the 2007 World Championships in Osaka, the 2007 World Road Running Championships and the marathon at 2009, 2013 and 2015 World Championships. He is an experienced championships runner. In his last championships appearance in Beijing, he was only 40th, however. Maeda runs well in the championships qualifying races, but not in the championships races. In Tokyo, he has improved the personal best in two consecutive races after his debut. Can he make it three consecutive personal best in Tokyo and run on the street of London?

2009年、2012年、2013年と東京マラソンを３回走っている前田和浩。東京では失敗のレースがない。しかも、初マラソンでいきなり２時間11分台を記録した後、次の２回は連続で２時間８分台の自己ベストを記録している。

初マラソンだった2009年のレースでは、２時間11分01秒で日本人１位となり、ベルリン世界選手権代表の座を射止めた。しかし、世界選手権本番では39位に沈んでしまった。2012年のレースでは初めて２時間10分を破る２時間８分38秒を記録したが、日本人２位だったためにロンドン五輪代表には選ばれなかった。2013年には現在も自己ベストである２時間８分00秒で４位となり、マラソンで２度目の世界選手権代表入りを果たしたが、モスクワ世界選手権では17位に沈んだ。

前田は、2000年の世界ジュニア選手権5000m、2007年の大阪世界選手権10000m、同年の世界ロード・ランニング選手権、そして2009年、2013年、2015年の世界選手権マラソンに出場と実績豊富。ただ、2015年の北京世界選手権で40位にとどまるなど、世界大会の成績は芳しくない。東京マラソンでは初マラソンの後、２回連続で自己ベストを更新中。それを３回連続に伸ばし、ロンドンで雪辱の舞台に立つことができるだろうか。

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage 4 – 12.2Km	1st	34:46
17 Aug	World Championships – Moskva	Marathon	17th	2:15:25
18 May	Kyushu Corporate team T&F Champ- KitaKyushu	10000m	6th	28:45.37
24 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	4th	2:08:00
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	14th	1:04:55

No. 29 服部　勇馬 (愛知・トヨタ自動車)

HATTORI, Yuma (JPN・Toyota)

DOB　：13 Nov. 1993
AGE　：23
Height：176cm
Weight：63kg

▶Personal Bests

5000m	13:36.76	–2015
10000m	28:09.02	–2015
Half marathon	1:03:37	–2014
Marathon	2:11:46	–2016

▶International Championships Highlights

World Cross Country Championships
42nd in junior division in 2011

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	13:47.33	28:09.74		2:11:46
2015	13:36.76	28:09.02		
2014	13:53.33	29:05.21	1:03:37	
2013		28:22.43		
2012	13:58.92	28:52.55		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:11:46	Tokyo	12th	28-Feb-16

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	5th	1:03:18

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Chubu Corporate team Ekiden	Stage 4 – 16.8km	1st	50:32
15 Oct	Chubu Corporate team T&F Champ – Tajimi	10000m	7r2	28:09.74
25 Sep	JPN Corporate team T&F Champ – Osaka	5000m	3r3	13:47.33
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	12th	2:11:46
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 – 23.1Km	1st	1:07:04

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Nov	ALL JPN Collegiate Ekiden Champ	Stage 1 – 14.6km	1st	43:11
12 Oct	Izumo Ekiden	Stage 2 – 5.8km	3rd	16:03
16 May	Kanto district College T&F Champ - Yokohama	5000m	4th	13:52.85
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 – 23.1Km	1st	1:07:32

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
30 Nov	Kawagoe Half Marathon	Half marathon	1st	1:03:37
2 Nov	ALL JPN Collegiate Ekiden Champ	Stage 2 – 13.2Km	1st	38:12
7 Jun	JPN National Championships – Fukushima	10000m	25th	29:05.21
25 May	Kanto distric Collegiate T&F champ	5000m	7	13:53.33
16 May	Kanto district Collegiate T&F Champ	10000m	6	29:09.65
16 Feb	Kumanichi road race – Kumamoto	30Km	1st	1:28:52
19 Jan	Inter-Prefecture Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 3 – 8.5Km	2nd	23:54
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 – 23.2Km	3rd	1:08:43

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Nov	Chiba Ekiden	Stage 5 – 10Km	4th	29:20
3 Nov	ALL JPN Collegiate Ekiden Champ	Stage 2 – 13.2Km	4th	38:23
14 Oct	Izumo Ekiden	Stage 5 – 6.4Km	1st	17:54
19 May	Kanto district Collegiate Champ	10000m	10r1	29:03.45
3 Jan	Hakone Ekiden	Stage 9 – 23.2Km	3rd	1:11:02

Yuma Hattori was planning to make his marathon debut in the Tokyo Marathon 2015, but because of the last minute injury, his marathon debut was postponed for a year until 2016. In his debut marathon, Hattori was 12th with 2:11:46.
Hattori's possible talent for the marathon was made apparent at the 2014 Kumanichi 30Km road race in February of 2014. Hattori broke the Japanese Collegiate best for the 30km road race with 1:28:52. It is also the third fastest 30km time by Japanese, tying the 30km personal best of legendary marathon runner Toshihiko Seko.
Hattori will be running his second marathon in Tokyo. People use to say that second marathon is actually harder than the first, but that may not be the case for the younger generation of runners. Hattori recorded two consecutive stage-best in the second stage (where the team's big guns run) of the 2015 and 2016 Hakone Ekiden. In January of 2017, Hattori ran 22km stage (where the team's big guns run) and was only 12 seconds behind the stage winner in his first New Year Ekiden, All-Japan Industrial Men's Ekiden team championships. Hattori seemed to be in shape. Can he improve his marathon best ? Can he crack 2:10 for the marathon?

2015年の東京で初マラソンに挑むはずだった服部勇馬だが、故障で直前にキャンセルとなり、デビューは1年遅れた。2016年の東京マラソンで念願の初マラソンに挑戦し、2時間11分46秒で12位だった。

服部のマラソンへの適正の片鱗は2014年2月の熊日30キロ・ロードレースで1時間28分52秒の大幅な日本学生最高記録を樹立した時に示された。このタイムは日本歴代3位タイで、伝説の瀬古利彦（現・DeNA総監督）が1987年に打ち立てたタイムに並んだのだ。

今回の東京で2度目のマラソンに挑む服部。以前は初マラソンよりも2度目のマラソンの方が難しいと言われたが、最近は2度目で自己ベストを更新する若手選手が多い。2015年から箱根駅伝の花の2区で2年連続区間賞を獲得。初めての全日本実業団対抗駅伝では最長区間の4区で区間賞から12秒遅れの5位と、今年も好調だ。2度目のマラソンで自己ベストを更新できるか？　そして2時間9分台に突入できるだろうか？

東京マラソン招待選手―国内男子

No. 30 山本　浩之 (東京・コニカミノルタ)

YAMAMOTO, Hiroyuki (JPN・Konica Minolta)

DOB　：30 Apr. 1986
AGE　：30
Height：172cm
Weight：54kg

▶Personal Bests

5000m	13:45.43	–2010
10000m	27:55.40	–2015
Half marathon	1:02:43	–2013
Marathon	2:11:48	–2015

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	13:52.68	28:07.53		2:11:49
2015	13:45.75	27:55.40		2:11:48
2014	13:54.29	28:24.93		2:21:54
2013	13:55.80	28:40.35	1:02:43	
2012	13:55.76	28:55.75		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:11:49	New York	4th	6-Nov-16
Personal Best	2:11:48	Beppu-Oita	3rd	1-Feb-15
	2:21:54	Hokkaido – Sapporo	17th	31-Aug-14

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 – 15.8Km	3rd	47:00

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Nov	New York City Marathon	Marathon	4th	2:11:49
24 Jun	JPN National Championships – Nagoya	10000m	7th	28:26.92
22 May	East JPN Corporate T&F Champ - Kumagaya	5000m	9r4	13:56.58
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 – 15.8km	1st	46:58

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	16r7	27:55.40
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage1	3rd	33:21
16 May	East JPN Corporate team T&F Champ	10000m	3r2	28:36.25
1 Feb	Beppu-Oita Marathon	Marathon	3rd	2:11:48
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 – 15.5km	2nd	47:50

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 5 – 7.4km	1st	23:22
31 Aug	Hokkaido Marathon	Marathon	17th	2:21:54

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 1	2nd	34:08
20 Sep	JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	5000m	10h1	14:16.35
17 Feb	OHME Road Race	30Km	4th	1:32:20
3 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	28th	1:02:43

Perhaps because Hiroyuki Yamamoto, who made his marathon debut in the 2014 Hokkaido Marathon in Sapporo, collided with the aid station table, he finished dismal 17th with slow 2:21:54. It was far from noteworthy marathon debut. However, 2:11:48 Yamamoto recorded at his second marathon, 2015 Beppu-Oita Marathon, was respectable time.

His half marathon best, 1:02:43, is relatively modest but that may be because Yamamoto has not run any half marathon in the last three years. His 5000m best is 13:45.43 from 2010, but in the 2015 Golden Games in Nobeoka, Yamamoto ran 13:45.75, close to his personal best. In the 2015 Hachioji Long Distance meet in November, Yamamoto improved his 10000m best from 28:24.93 to 27:55.40. In the last three New Year Ekiden, All-Japan Industrial Men's Ekiden team championships, Yamamoto always finished in top three in approximately 15km stage.

In November of 2016, he came within one second of his marathon personal best at the 2016 New York City Marathon. His fourth place finish in New York City Marathon, the best Japanese finish in the history of New York City Marathon, is quite respectable. Note that since the New York City Marathon course is hilly and thus much tougher course than Beppu-Oita Marathon course, where he recorded his personal best, Yamamoto's performance in New York is much better. Furthermore, the level of elite field in the New York City Marathon is much better than any of the Japanese marathons save Tokyo Marathon. Since this year's Tokyo Marathon course is expected to be much faster, Yamamoto, who ran 2:11 in much tougher New York course, may be ready to crack 2:10 in Tokyo.

2014年北海道マラソンで初マラソンに挑んだ山本は、給水テーブルにぶつかって転倒したこともあり、2時間21分54秒で17位に終わった。だが、2回目のマラソンとなった一昨年の別府大分毎日で2時間11分48秒と、マラソンランナーと言えるタイムを出した。

ハーフマラソンのベストは2013年の丸亀で記録した1時間2分43秒と平凡なタイムだが、山本はその後ハーフマラソンを走っていない。5000mの自己ベストは2010年に記録した13分45秒43で、2015年のゴールデンゲームズinのべおかでは13分45秒75とその記録に迫った。2015年の11月末に行われた八王子ロングディスタンスの10000mでは27分55秒40と、自己ベストを大幅に更新した。2015年以降の全日本実業団駅伝では7区、5区、5区を走り、必ず区間3位以内を確保している。

2016年11月、ニューヨークシティ・マラソンでは自己ベストにあと1秒と迫る2時間11分49秒をマークし、同大会日本人最高順位となる4位入賞を果たした。このレースは山本にとって実質的には大幅な自己ベストと言っていい。第1にニューヨークシティのコースは山本が自己ベストを記録した別大のコースより起伏に富んだ、はるかに難しいコースであること。第2にニューヨークシティの出場選手のレベルは、東京以外の日本のマラソンのレベルをはるかに超えていること。東京は今年から高速コースに変更となった。ニューヨークシティで2時間11分台を記録した山本なら、2時間10分を切ることも可能だろう。

No. 31 藤原　新 (東京・ミキハウス)

FUJIWARA, Arata (JPN・Mikihouse)

DOB　：12 Sep. 1981
AGE　：35
Height：167cm
Weight：54kg

▶Personal Bests

5000m	13:41.35	–2006
10000m	28:41.05	–2009
Half marathon	1:01:34	–2012
Marathon	2:07:48	–2012

▶International Championships Highlights

Marathon
60th in 2009 World Championships
45th in 2012 Olympic Games

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	15:01.53		1:02:57	2:20:23
2015	14:08.40		1:03:46	2:11:50
2014			1:05:42	2:25:11
2013			1:02:44	
2012	13:54.83	29:00.98	1:01:34	2:07:48
2011	14:04.38			2:29:21
2010	14:10.80			2:09:34
2009		28:41.05	1:07:00	2:31:06
2008			1:03:44 (en route to marathon)	2:08:40
2007	13:49.70	28:52.84	1:02:29	2:38:37
2006	13:41.35	28:56.70	1:02:17	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:20:23	Tokyo	44th	28-Feb-16
	2:11:50	Hofu	1st	20-Dec-15
	2:17:05	Toyama	1st	1-Nov-15
	2:16:49	Hokkaido – Sapporo	1st	30-Aug-15
	2:19:40	Tokyo	37th	22-Feb-15
	2:25:11	Brisbane	15th	6-Jul-14
	2:30:58	Tokyo	76th	23-Feb-14
	DNF	Fukuoka	DNF	1-Dec-13
	2:09:21	Fukuoka	4th	2-Dec-12
	2:19:11	Olympic Games – London	45th	12-Aug-12
Personal Best	2:07:48	Tokyo	2nd	26-Feb-12
	2:29:21	Tokyo	57th	27-Feb-11
	DNF	New York	DNF	7-Nov-10
	2:09:34	Ottawa	1st	30-May-10
	2:12:34	Tokyo	2nd	28-Feb-10
	2:31:06	WC – Berlin	60th	22-Aug-09
	2:09:47	Fukuoka	3rd	7-Dec-08
	2:23:10	Chicago	16th	12-Oct-08
	2:08:40	Tokyo	2nd	17-Feb-08
	2:38:37	Otsu (Lake Biwa)	85th	4-Mar-07

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	44th	2:20:23
7 Feb	Marugame half Marathon	Half Marathon	36th	1:02:57

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Dec	Hofu Marathon	Marathon	1st	2:11:50
1 Nov	Toyama Marathon	Marathon	1st	2:17:05
30 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	1st	2:16:49
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	37th	2:19:40
1 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	57th	1:03:46

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 July	Gold Coast Marathon – Brisbane	Marathon	15th	2:25:11
18 May	Gifu Seiryu half marathon	Half marathon	53rd	1:10:42
11 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	19th	1:05:42
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	76th	2:30:58
2 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	140th	1:09:09

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Fukuoka marathon	Marathon	DNF	DNF
29 Sept	Hakodate Half Marathon	Half marathon	1st	1:04:19
15 Sept	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half marathon	4th	1:02:44

For Arata Fujiwara, Tokyo Marathon was often a turning point of his marathon career. Fujiwara ran Tokyo Marathon seven times and finished second three times. Furthermore, Fujiwara set his marathon personal best twice, in Tokyo Marathon 2008 and 2012. However, Fujiwara's performances in the last three Tokyo Marathons were quite dismal.

Virtual unknown before his second marathon, the Tokyo Marathon 2008, which was his first Tokyo Marathon appearance, Fujiwara shocked everyone when he finished second with a huge personal best of 2:08:40. On the strength of this race, Fujiwara was selected as an alternate for the Olympic marathon team, but he did not get a chance to run in the Olympics. He had to wait four long years for another chance.

In the Tokyo Marathon 2012, Fujiwara was superb. He set another marathon personal best, 2:07:48. It was first sub-2:08 marathon by Japanese in five years. This time, Fujiwara was selected for the Olympic Marathon team. However, he was dismal 45th in the London Olympic Games. He also ran poorly in the 2009 World Championships in Berlin, where he was 60th. In short, Fujiwara ran six marathons oversea but ran well only once, in the 2010 Ottawa marathon. However, in 2013, Fujiwara ran the Great North Run (half marathon) and finished fourth behind three legends - Kenenisa Bekele, Mohamed Farah and Haile Gebrselassie.

After Fujiwara failed to finish the 2013 Fukuoka Marathon, he ran series of dismal marathons until August of 2015, when he won the Hokkaido Marathon. He then won two more marathons- Toyama Marathon in November and Hofu Marathon in December. However, he was dismal 44th in Tokyo Marathon 2016. Although Fujiwara is 35 years old, it should be noted that Wilson Kipsang, who is half year younger than Fujiwara set a personal best in the last year's Berlin Marathon. Fujiwara could set another personal best.

藤原新にとって、東京マラソンは転機のレースになることが多かった。彼は東京マラソンを７回走り、３回２位に入っている。それだけではない。2008年と2012年には自己ベストをマークしているのだ。しかし、気がかりなのは、2014年から３年連続で下位に沈んでいることだ。

学生時代はほとんど無名だった藤原。２度目のマラソンだった2008年の東京で２時間８分40秒をマークして２位に入り、周囲を驚かせた。だが、北京五輪は補欠となったため、五輪を走るには４年間待たなければならなかった。

そして迎えた2012年の東京マラソン。藤原は２時間７分48秒と、４年ぶりに自己ベストを更新したのである。日本人では５年ぶりの７分台で、文句なしの五輪代表となった。念願の五輪の舞台に立った藤原だったが、ロンドンでは45位に沈んだ。2009年のベルリン世界選手権でも60位と、海外のレースでは振るわないことが多い。６回走った海外マラソンで、満足のいく結果は優勝した2010年のオタワだけだった。しかし、2013年９月のグレート・ノース・ラン（ハーフマラソン）では３人の伝説のランナー、ケネニサ・ベケレ、モハメド・ファラー、そしてハイレ・ゲブルセラシェに次いで４位に入っている。

2013年12月の福岡国際マラソンで途中棄権して以降は失敗レースが続いていたが、2015年８月の北海道マラソン、同年11月の富山マラソン、同年12月の防府マラソンと３連勝と復活。ただ、昨年の東京マラソンは44位に沈んだ。現在35歳の藤原だが、彼より半年若いキプサングは昨年のベルリンで自己ベストを更新した。藤原もまだベストを更新できるはず。

東京マラソン招待選手―海外女子

No. 51 ルーシー・カブー（ケニア）

KABUU, Lucy (KEN)

DOB ：24 Mar. 1984
AGE ：32
Height：155cm
Weight：42kg

▶Personal Bests

5000m	14:33.49	–2008
10000m	30:39.96	–2008
Half marathon	1:06:09	–2013
Marathon	2:19:34	–2012)

▶International Championships Highlights

5000m
3rd in 2006 CWG (Commonwealth Games)
10000m
1st in 2006 CWG 9th in 2004, 6th in 2008 Olympics
Cross Country
5th in 2005 World Cross Country Championships
Half Marathon
4th in 2014 World Half Marathon Championships
Marathon
24th in 2013 World Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:16:30	
2015			1:08:51	2:20:21
2014		32:50:37	1:08:37	2:24:16
2013		32:44.1	1:06:09	2:44:06
2012	15:40.0		1:09:42	2:19:34
2011			1:07:04	
2010				
2009				
2008	14:33.49	30:39.96		
2007	14:57.55	31:32.52	1:12:01	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:20:21	Dubai	3rd	23-Jan-15
	2:24:16	Tokyo	3rd	23-Feb-14
	2:44:06	WC – Moskva	24th	10-Aug-13
	2:22:41	Chicago	3rd	7-Oct-12
	2:23:12	London	5th	22-Apr-12
Personal Best	2:19:34	Dubai	2nd	27-Jan-12
	DNF (pace)	Osaka	DNF (pace)	28-Jan-07

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Oct	Rock n Roll Sandander Totta Half Marathon - Lisboa	Half marathon	8th	1:16:30

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
13 Sep	Copenhagen Half Marathon – Kobenhavn	Half marathon	3rd	1:08:51
28 Mar	Sportisimo Prague Half Marathon – Praha	Half marathon	6th	1:10:25
23 Jan	Dubai Marathon	Marathon	3rd	2:20:21

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Delhi Half marathon	Half marathon	6th	1:10:10
29 Mar	World Half Marathon Championships – Kobenhavn	Half marathon	4th	1:08:37
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:24:16

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Dec	Air Tel Delhi Half Marathon – New Delhi	Half marathon	3rd	1:08:10
10 Aug	World Championships - Moskva	Marathon	24th	2:44:06
21 Jun	Kenyan Athletics Championships – Nairobi	10000m	1st	32:44.1
15 Feb	RAK Half marathon	Half marathon	1st	1:06:09

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago marathon	Marathon	3rd	2:22:41
22 Apr	London marathon	Marathon	5th	2:23:12
27 Jan	Dubai Marathon	Marathon	2nd	2:19:34

▶2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Delhi Half Marathon – New Delhi	Half Marathon	1st	1:07:04
18 Sep	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half Marathon	1st	1:07:06

Lucy Wangui Kabuu is the ninth fastest marathon runner with the personal best of 2:19:34 recorded in 2012 Dubai Marathon. Dubai was her first official marathon and she cracked the magical 2:20 marathon barrier on her first attempt Her time of 2:19:34 is the second fastest marathon debut time in history, behind Paula Radcliffe's 2:18:56 recorded in the 2002 London Marathon.

Kabuu ran for Aomori Yamada High School and Suzuki track team in Japan. She has run ten half marathon in her career and cracked 69 minutes sixth times; she is the sixth fastest half marathon runner with the best of 1:06:09 recorded in the 2013 RAK half marathon (she was the second fastest then). Furthermore, Kabuu was fourth in the 2014 World Half Marathon Championships.

She ran 10000m in the 2008 Olympic Games and finished sixth with 30:39.96, personal best. She also won the gold medal at 10000m in the 2006 Commonwealth Games. She recorded the 5000m personal best of 14:33.49 in 2008.

Among this year's entrants, Kabuu is one of the runners who is endowed with best speed. Kabuu ran five more marathons since her debut but have not broken 2:20 again. Furthermore, she has yet to win the marathon in the six marathon career. Thus Kabuu is the fastest marathon runner without a marathon victory. If she ran sub-2:20 in Tokyo, she will join Paula Radcliffe, Catherine Nderba, Mary Keitany and Mare Dibaba as only the fifth runners who recorded sub-2:20 marathon multiple times.

2012年のドバイ・マラソンでは世界歴代9位となる2時間19分34秒を記録したルーシー・カブー。これが初マラソンで、いきなり2時間20分の壁を破った。このタイムは、ポーラ・ラドクリフが2002年のロンドン・マラソンで記録した2時間18分56秒に次いで、初マラソン歴代2位のタイムだった。

日本の青森山田高、スズキで活躍したカブーは、今までハーフマラソンを10回走っているが、6回で69分を切り、2013年のラス・アルハイマーでは当時世界歴代2位（現・6位）となる1時間6分09秒をマークしている。それだけではない。2014年の世界ハーフマラソン選手権では4位入賞を果した。

10000mでは、2008年の北京五輪で30分39秒96の自己ベストを記録して6位、2006年の英連邦大会では金メダルを獲得している。一方、5000mでは2008年にマークした14分33秒49が自己ベストだ。

今回の東京マラソンで、最もスピードがある選手の1人と言える。マラソンで素晴らしいデビューをしたカブーだが、その後走った5回のマラソンでは、1度も2時間20分を切れずにいる。それだけではない。まだマラソンでの優勝経験がないのだ。ゆえに、カブーは優勝経験がない最も速いマラソンランナーということになる。もし、彼女が東京で2時間20分を切れば、ラドクリフ、キャサリン・ヌデレバ、メアリー・ケイタニー、そしてマレ・ディババに次いで、2時間20分を複数回切った5人目の選手となる。

No. 52 アマネ・ベリソ (エチオピア)

BERISO, Amane (ETH)

DOB ：13 Oct. 1991
AGE ：25
Height：162cm
Weight：52kg

▶Personal Bests

Half Marathon	1:08:43	–2015
Marathon	2:20:48	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:10:17	2:20:48
2015		/ 32:06	1:08:43	
2014			1:11:51	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:39:38	Boston	13th	18-Apr-16
Personal Best	2:20:48	Dubai	2nd	22-Jan-16

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Apr	Boston Marathon	Marathon	13th	2:39:38
22 Jan	Dubai Marathon	Marathon	2nd	2:20:48

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Sep	Mattoni Usti Half marathon	Half marathon	11th	1:17:35
29 Mar	Warsaw Half Marathon	Half marathon	1st	1:10:54
1 Mar	Maratonina Roma-Ostia	Half marathon	1st	1:08:43

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Sep	Remich to Wormeldange to Remich	Half marathon	6th	1:17:27
14 Sep	Kobenhavn Half Marathon	Half marathon	1st	1:11:51

Encouraged by her father, who was a professional athlete, Amane Beriso became a runner. Her first race outside of Africa was at the Copenhagen half marathon in 2014. She won this race with a respectable time of 1:11:51. Following year in the Roma to Ostia Half Marathon, Beriso improved her personal best to a world class time of 1:08:43.
However, at this point she was not on anybody's radar screen. Case in point, Beriso's profile was not included in the Media Guide for the 2016 Dubai Marathon, where she was making her marathon debut. In Dubai, Beriso battled from 30 to 34km with the eventual winner Tirfi Tsegaye and finished second with 2:20:48, the fifth fastest marathon debut time in history.
After her spectacular marathon debut, Beriso's next marathon was awaited with much anticipation. However, she finished only 13th with a quite disappointing 2:39:38 in the Boston Marathon. It should be noted that of the top 15 fastest marathon debutantes, only two runners - Paula Radcliffe and Gladys Cherono - have ran faster second marathon. It is said that second marathon could be harder than the first.
Next, she was planning to run the 2016 Berlin Marathon, but pulled out of the race in the last minute. So Tokyo Marathon will be third marathon of her career. It should be noted that only 6 out of 15 fastest marathon debutantes ever improved the personal best recorded in their debut. Will she be the seventh runner to improve her marathon debut time?

プロのスポーツ選手だった父親の勧めでランナーになったアマネ・ベリソが、初めてアフリカ以外でレースを走ったのは2014年コペンハーゲン・ハーフマラソンだった。ベリソは１時間11分51秒で優勝している。翌年にはローマ・オスティア・ハーフマラソンを走り、世界レベルのタイムと言える１時間８分43秒をマークした。

しかし、この段階ではまだベリソは注目されていたわけではない。例えば、初マラソンとなった2016年のドバイのメディアガイドには、ベリソの紹介文は見当たらない。そのドバイでは34kmまで、優勝したティルフィ・ツェガエと争い、２位ながら初マラソン歴代５位となる２時間20分48秒を記録したのである。

初マラソンで素晴らしい記録を叩き出したベリソの次のマラソンは、大いに注目された。しかし、２度目のマラソンとなったボストンでの成績は２時間39分38秒で13位という残念な結果だった。ちなみに初マラソン歴代15位以内の選手の中で、２回目のマラソンで記録を伸ばしたのはポーラ・ラドクリフとグラディス・チェロノの２人に過ぎない。２度目のマラソンは初マラソンより難しいと言われる所以である。

３度目のマラソンは９月のベルリンを計画していたが、土壇場でキャンセルとなった。そのため、東京マラソンが彼女にとって３回目のマラソンとなる。ちなみに、初マラソン歴代15位以内の選手で、その後に自己ベストを更新したのは６人。彼女はその７人目になれるだろうか？

東京マラソン招待選手―海外女子

No. 53 アマネ・ゴベナ (エチオピア)

GOBENA, Amane (ETH)

DOB ：11 Sep. 1982
AGE ：34
Height：165cm
Weight：49kg

▶Personal Bests

5000m	15:19.50	–2004
10000m	33:22:24	–2010
Half marathon	1:08:16	–2009
Marathon	2:21:51	–2016

▶International Championships Highlights

World Cross Country Championships
8th in 2002 and 11th in 2004

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:09:51	2:21:51
2015			1:10:28	2:23:30
2014			1:10:55	2:27:05
2013			1:11:02	2:23:50
2012			1:12:30	2:28:38
2011				2:31:49
2010		33:22:24	1:09:24	2:24:13
2009		/ 32:13	1:08:16	2:26:53
2008		/ 32:53	1:12:16	
2007	15:49.31	/ 32:12		

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:25:58	Saitama	2nd	13-Nov-16
Personal Best	2:21:51	Tokyo	2nd	28-Feb-16
	2:31:58	Istanbul	1st	15-Nov-15
	DNF	Chicago	DNF	11-Oct-15
	2:23:30	Paris	2nd	12-Apr-15
	2:28:46	Istanbul	1st	16-Nov-14
	2:28:29	Toronto	4th	19-Oct-14
	2:27:37	Los Angeles – Santa Monica	1st	10-Mar-14
	2:27:05	Dubai	6th	24-Jan-14
	2:29:36	Paris	7th	7-Apr-13
	2:23:50	Dubai	3rd	25-Jan-13
	2:28:38	Istanbul	2nd	11-Nov-12
	2:37:31	Seoul	10th	20-Mar-11
	2:31:49	Xiamen	1st	2-Jan-11
	2:32:29	Istanbul	3rd	18-Oct-10
	2:24:13	Seoul	1st	21-Mar-10
	2:25:14	Osaka	1st	29-Jan-10
	2:28:31	Toronto	1st	27-Sep-09
	2:26:53	Los Angeles	2nd	25-May-09
	2:32:06	Houston	5th	18-Jan-09

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
13 Nov	Saitama Marathon	Marathon	2nd	2:25:58
31 Jul	Media Marathon Bogota	Half marathon	3rd	1:14:10
24 Apr	Istanbul Half Marathon	Half marathon	3rd	1:09:51
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:21:51

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Nov	Istanbul Marathon	Marathon	1st	2:31:58
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
26 Jul	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	1st	1:13:44
12 Apr	Marathon de Paris	Marathon	2nd	2:23:30

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Nov	Istanbul Marathon	Marathon	1st	2:28:46
19 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	4th	2:28:29
1 Jun	Rock n Roll San Diego Half Marathon	Half Marathon	5th	1:12:20
10 Mar	LA Marathon – Los Angeles to Santa Monica	Marathon	1st	2:27:37
24 Jan	Dubai Marathon	Marathon	6th	2:27:05

Although Amane Gobena finished second in the last year's Tokyo Marathon, she recorded a huge marathon personal best of 2:21:51. She thus improved her previous marathon best of 2:23:30, recorded in the 2015 Paris Marathon, by more than a minute and half. In the 2015 Paris Marathon, Gobena improved her personal best to 2:23:30, improving her previous personal best of 2:23:50 recorded in the 2013 Dubai Marathon. She has not competed in the World Championships or Olympic Games at track or road events, but Gobena ran short course twice in the World Cross Country Championships. She finished eighth in 2002 and eleventh in 2004. Each time Ethiopia won the team gold.
Gobena made her marathon debut in the 2009 Houston Marathon, and finished fifth with 2:32:06. Although it was hardly noticed, a month later in the 2009 RAK Half Marathon, Gobena run 1:08:16, a world class time and four minutes personal best. Gobena finally won the marathon in her third marathon, which was in Toronto. Gobena won the next two marathons in Osaka and Seoul with personal best. In the 2010 Osaka Women's Marathon, Gobena broke away from Marisa Barros, sixth in the 2009 World Championships in Berlin, with 4km to go and improved her personal best by more than a minute and half to 2:25:14. In Seoul, she further improve her marathon best by a minutes to 2:24:13.
She was not able to improve her marathon best in her next four marathons. However, in the 2013 Dubai Marathon, although she was only third, Gobena improved her best to 2:23:50, time that is worthy of a runner with the half marathon best of 1:08:16. Looking back, the 2010 Osaka and the 2016 Tokyo were turning points of her marathon career. Can this year's Tokyo Marathon be her next turning point of her marathon career?

昨年の東京マラソンでは２位だったアマネ・ゴベナだが、２時間21分51秒の大幅自己新をマークしている。2015年パリ・マラソンで記録した２時間23分30秒を１分半以上短縮したのだ。そのパリ・マラソンでは、2013年のドバイ・マラソンで３位に入った時の自己ベスト、２時間23分50秒を２年ぶりに更新している。トラックやロードでの世界大会の出場経験はないが、世界クロスカントリー選手権には２度、ショートの部に出場。2002年には８位、2004年は11位で、ともにエチオピアの団体金メダル獲得に貢献した。

ゴベナの初マラソンは2009年のヒューストン。２時間32分06秒で５位の成績はまったく目立つものではなかったが、その１ヵ月後のラス・アルハイマー・ハーフマラソンで１時間８分16秒と、ハーフの自己ベストを４分も更新した。３度目のマラソンとなったトロントで初優勝。その後、2010年大阪国際女子、ソウルと３大会連続で優勝し、また自己ベストも連続で更新した。大阪国際女子では残り4kmで2009年ベルリン世界選手権６位のバロスを振り切り、自己ベストを１分半以上更新する２時間25分14秒で制覇。ソウルでは２時間24分13秒へと短縮した。

次の４レースでは自己ベストを更新することはできなかったが、2013年のドバイで、３位ながらようやくハーフのベストに見合うマラソンの自己ベストを記録した。今から思い返せば、2010年大阪と、2016年の東京がゴベナにとって転機のマラソンと言えるかもしれない。今年の東京マラソンは、彼女にとって次の転機のレースになるのだろうか？

No. 54 ベルハネ・ディババ (エチオピア)

DIBABA, Birhane (ETH)

DOB ：11 Sep. 1993
AGE ：23
Height：163cm
Weight：43kg

▶Personal Bests

Half Marathon	1:07:47	–2016
Marathon	2:22:30	–2014

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016		/ 31:44	1:07:47	2:23:16
2015				2:23:15
2014		/ 32:59	1:09:34	2:22:30
2013				2:23:01
2012				2:29:22

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:23:58	Berlin	2nd	25-Sep-16
	2:23:16	Tokyo	5th	28-Feb-16
	2:24:24	Chicago	3rd	11-Oct-15
	2:23:15	Tokyo	1st	22-Feb-15
	2:27:02	Chicago	4th	12-Oct-14
Personal Best	2:22:30	Tokyo	2nd	23-Feb-14
	2:23:01	Frankfurt	3rd	27-Oct-13
	2:23:51	Nagoya Women	2nd	10-Mar-13
	2:29:22	Valencia	1st	18-Nov-12
	2:34:58	Sao Paulo	2nd	17-Jun-12
	2:33:07	Barcelona	4th	25-Mar-12

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
4 Dec	Bahir Dar Half Mrathon	Half Mrathon	6th	1:12:34
25 Sep	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:23:58
24 Apr	Yangzhou	Half marathon	2nd	1:07:47
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	5th	2:23:16

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:24:24
26 Jul	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	DNF	DNF
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:23:15

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	4th	2:27:02
1 Jun	Rock n Roll San Diego half marathon	Half marathon	1st	1:09:34
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:22:30

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	3rd	2:23:01
10 Mar	Nagoya Women's Marathon	Marathon	2nd	2:23:51

▶2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Nov	Valencia Marathon	Marathon	1st	2:29:22
17 Jun	Sao Paulo Marathon	Marathon	2nd	2:34:58
25 Mar	Barcelona Marathon	Marathon	4th	2:33:07

Birhane Dibaba has ran the last three Tokyo Marathons and always finished faster than 2:23:20.
In the 2013 Frankfurt Marathon, Dibaba finished third with 2:23:01, which was the fastest marathon by 20 years old. She improved the record for the fastest marathon by 20 years old, previously set by Merima Mohammed when she ran 2:23:14 in the 2013 Paris Marathon. Four month later in the 2014 Tokyo Marathon, Dibaba further improved the single age record for 20 years old to 2:22:30 when she finished second.
Dibaba made a marathon debut at the 2012 Barcelona where she was fourth with 2:33:07. Dibaba improved her marathon personal best in the four consecutive marathons from the 2012 Valencia Marathon to the 2014 Tokyo Marathon. After the Tokyo Marathon in 2014, where she improved her marathon best, Birhane Dibaba improved her personal best for 10km on the road to 32:59 and half marathon best to 1:09:34. In short, she improved the personal bests at all distances in 2014.
However, in the 2014 Chicago Marathon, her marathon personal best streak came to an end, for she was only fourth with 2:27:02. In the 2015 Tokyo Marathon, 21 years old Dibaba had a chance to improve a single age record for 21 years old, which stands at 2:23:11 by Yoko Shibui from the 2001 Osaka Ladies Marathon. She did win the race, but she missed the record by mere four seconds.
Dibaba never finished worse than sixth at the marathon. Last year, she improved her half marathon best by nearly two minutes to 1:07:47, which implies she is faster than ever. In its ten years history of the Tokyo Marathon, no man or woman has won this event more than once. Dibaba can be the first to win the Tokyo Marathon twice.

３年連続東京マラソンを走っているベルハネ・ディババ。３回とも必ず２時間23分20秒以内をマークしている。

2013年10月にフランクフルト・マラソンを走ったディババは、20歳のランナーとしては最速タイムとなる２時間23分01秒で３位に入った。メリマ・モハメド・ハセンが2013年４月のパリで記録した２時間23分14秒を13秒更新したのだ。４ヵ月後、ディババは2014年の東京マラソンを走り、２位ながら２時間22分30秒と20歳最高記録を再び更新した。

ディババの初マラソンは、２時間33分07秒で４位に入った2012年のバルセロナだ。2012年のヴァレンシア・マラソンから2014年の東京まで、４大会連続の自己新。2014年には、ロードの10kmで32分59秒、そしてハーフマラソンで１時間９分34秒と、すべての距離で自己ベストを更新した。

しかし、2014年のシカゴ・マラソンでは２時間27分02秒で４位と、連続自己新がストップ。一昨年の東京マラソンでは、渋井陽子が2001年の大阪国際女子で樹立した21歳の最高記録、２時間23分11秒の更新に期待がかかっていたが、優勝はしたものの、渋井の記録には４秒及ばなかった。

確実に好成績を残すディババは、マラソンで６位以下はない。昨年、ハーフの自己ベストを１時間７分47秒まで更新し、スピードがついたと言える。過去10回の東京マラソンでは、男女ともに２回優勝した選手はいない。ディババが勝てば、初めての複数回優勝者となる。

東京マラソン招待選手―海外女子

No. 55 サラ・チェプチルチル（ケニア）

CHEPCHIRCHIR, Sarah (KEN)

DOB ：27 Jul. 1984
AGE ：32
Height：165cm
Weight：43kg

▶Personal Bests

Half Marathon	1:07:52	–2016
Marathon	2:24:13	–2016

▶International Championships Highlights

Half Marathon
11th in 2010 World Half Marathon Championships
5th in 2011 All Africa Games

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016			1:07:52	2:24:13
2015		/ 32:44	1:10:01	
2014			1:09:38	
2013		/ 32:34	1:10:33	
2012		/ 31:25	1:08:34	
2011		/ 32:07	1:08:07	
2010		/ 31:46	1:09:27	
2009		/ 32:43	1:11:22	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:24:13	Lisboa	1st	2-Oct-16
	2:30:08	Hamburg	7th	17-Apr-16
	DNF (pace)	Nagoya Women	DNF (pace)	13-Mar-16

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 Dec	Xiamen (Haicang) International Half Marathon	Half Marathon	1st	1:07:52
2 Oct	Rock n Roll Lisbon Marathon – Lisboa	Marathon	1st	2:24:13
17 Apr	Haspa Marathon Hamburg	Marathon	7th	2:30:08
13 Mar	Nagoya Women's Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Sep	Semi-Marathon de Lille Metropole	Half marathon	2nd	1:10:01
29 Mar	Warsaw Half Marathon	Half marathon	6th	1:14:49
8 Mar	Semi Marathon de Paris	Half marathon	4th	1:11:44

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Nov	Taule Morlaix Half Marathon	Half marathon	4th	1:20:15
6 Sep	Semi-Marathon de Lille Metropole	Half marathon	4th	1:13:03
2 Mar	Semi-Marathon de Paris	Half marathon	3rd	1:09:38

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Nov	Semi-Marathon de Boulogne-Billancourt	Half marathon	1st	1:10:33
31 Mar	Semi-Marathon de Berkane	Half marathon	5th	1:14:09

Born in Kenya in 1984, Sarah Chepchirchir started to race in European road races starting 2008. She ran three half marathons but her best for the year was only 1:14:49. The following year, in 2009, Chepchirchir improved her half marathon best to 1:11:22. In 2010, Sarah improved her half marathon best to 1:09:27 in Lille in September and then ran the World Half Marathon Championships in October, where she was 11th in Nanning China. In the 2011 All Africa Games, she was 5th in the half marathon.
After improving the half marathon best to 1:08:07 in 2011, and 10km road best to 31:25 in 2012, Sarah ventured into the marathon distance in 2016. Her marathon debut was at the Hamburg Marathon in April where she finished seventh with 2:30:08. Then in October, Sarah improved her marathon personal best by nearly 6 minutes to 2:24:13 when she won the Lisboa Marathon.
Tokyo Marathon will be her third marathon start. Since Chepchirchir recorded a personal best at the half marathon in December, another dramatic improvement in the marathon personal best is expected in Tokyo.

1984年にケニアで生まれたサラ・チェプチルチルは、2008年から欧州のロード・レースを走るようになった。同年にはハーフマラソンを3回走ったが、最高は1時間14分49秒どまり。しかし、翌2009年に自己ベストを1時間11分22秒まで伸ばしたチェプチルチルは、2010年の9月にはリルで1時間9分27秒まで短縮。その1ヵ月後、世界ハーフマラソン選手権に出場し、11位に入っている。2011年のアフリカ選手権のハーフマラソンでは5位に入賞した。
2011年にハーフマラソンの自己ベストを1時間8分07秒に、そして2012年に10kmロードのベストを31分25秒まで縮めたチェプチルチルは、2016年にマラソンへと距離を延ばした。初マラソンは2016年4月のハンブルグで、結果は2時間30分08秒で7位と良くも悪くもない結果だった。そして、10月のリスボン・マラソンでは、その記録を6分近くも短縮する2時間24分13秒で優勝している。
東京マラソンは彼女にとって3回目のマラソンになるが、12月にハーフマラソンの自己ベストを記録した彼女には、東京マラソンで大幅な自己ベストが期待される。

No. 56 ベッツィ・サイナ（ケニア）

SAINA, Betsy (KEN)

DOB ：30 Jun. 1988
AGE ：28
Height：160cm
Weight：47kg

▶Personal Bests

5000m	14:39.49	–2014
10000m	30:07.78	–2016
Half Marathon	1:09:27	–2014

▶International Championships Highlights

10000m
3rd in 2012 African Championships
8th in 2015 World Championships
5th in 2016 Olympic Games

3000m
7th in 2016 World Indoor Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016	14:44.67	30:07.78	*1:07:22	
2015	15:00.48	31:51.35		
2014	14:39.49	30:57.30/ 30:46	1:09:27	

*150m short course

▶Marathon career
Making Marathon Debut

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Oct	Great Scottish Run Half marathon – Glasgow(short)	Half marathon	1st	*1:07:22
12 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	10000m	5th	30:07.78
30 Jun	KEN Olympic Trials – Eldoret	10000m	2nd	32:04.83
20 Mar	World Indoor Champ – Portland	3000m	7th	9:01.86

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Aug	World Championships – Beijing	10000m	8th	31:51.35
31 Jul	KEN Trials for World Championships – Nairobi	10000m	2nd	32:59.2

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	BAA Half Marathon	Half marathon	4th	1:09:27
5 Sep	Memorial Van Damme – Bruxelles	3000m	15th	8:38:01
24 Aug	Birmingham GP	2 Miles	5th	9:16.95
18 Jul	Herculis – Monaco	5000m	5th	14:39.49
3 Jul	Athletissima – Lausanne	3000m	12th	9:00.65
14 Jun	Adidas GP – New York	3000m	2nd	8:40.65
29 May	Prefontaine Classic – Eugene	2 Miles	8th	9:26.63

*150m short course

The marathon debut by Betsy Saina at this year's Tokyo Marathon is awaited with much anticipation, for she was fifth at 10000m in the 2016 Rio Olympic Games. Saina's 10000m personal best, 30:07.78, recorded in Rio, and her half marathon best, 1:07:22 on 150m short course, are quite impressive. In short, Saina is one of the best track and half marathon runners to move up to the marathon.
Among the twelve runners with faster 10000m best than Saina, eight of them have run the marathon. However, only Paula Radcliffe and Sun Yingjie have broken 2:20 for the marathon, and only Tirunesh Dibaba and Berhane Adere came close to 2:20. The fastest debut marathon by Japanese is 2:21:51 by Naoko Sakamoto in the 2003 Osaka Ladies Marathon. The fastest debut marathon by Kenyan is 2:19:34 by Lucy Kabuu in the 2012 Dubai Marathon. They will be the target for Saina, and she might run sub-2:20 marathon on her debut like Kabuu did in Dubai.
Saina was born in Kenya and pursued an education in the US at Iowa State University. In 2012, Saina won the NCAA Indoor Championships at 5000m and later in the year also finished first in the NCAA Cross Country Championships. In the spring of 2013 she won 10000m in the NCAA Championships. After the graduation, Saina stayed in the US, and in 2015 finished eighth at 10000m in the World Championships.

ベッツィ・サイナの今大会での初マラソンには大きな期待がかかっている。なぜならば、彼女はリオ五輪の10000ｍで５位入賞を果たしただけでなく、30分07秒78の好タイムをマークしたからだ。加えて、サイナのハーフマラソンの自己最高は150ｍ距離不足のコースながら１時間７分22秒。つまり、マラソンに初挑戦するランナーの中で、最も速い選手の１人だということだ。

サイナより速い10000ｍの自己ベストを持つ12人のランナーのうち、８人がマラソンに挑戦しているが、２時間20分を切っているのはポーラ・ラドクリフと孫英傑の２人だけ。２時間20分台もティルネシュ・ディババとベルハネ・アデレの２人だ。ちなみに、初マラソンの日本最高は2003年大阪国際女子で坂本直子が記録した２時間21分51秒、ケニアの初マラソン最高記録はルーシー・カブーが2012年のドバイ・マラソンでマークした２時間19分34秒である。サイナにとって東京での目標タイムで、カブーが成し遂げたように、いきなり２時間20分の壁を破るかもしれない。

ケニアで生まれたサイナは、良い教育を求めて米国のアイオワ州立大学に留学。2012年の冬には全米学生室内選手権の5000ｍで優勝、秋には全米学生クロカン選手権も制した。翌年の春には全米学生選手権の10000ｍでも優勝している。卒業後も米国に残り、2015年にはケニア代表として北京世界選手権に出場。10000ｍで８位入賞を果たしている。

東京マラソン招待選手―海外女子

No. 57 サラ・ホール (アメリカ)

HALL, Sara (USA)

DOB ：15 Apr. 1983
AGE ：33
Height：163cm
Weight：50kg

▶Personal Bests

5000m	15:20.88	–2006
10000m	32:35.87	–2015
Half Marathon	1:10:07	–2016
Marathon	2:30:06	–2016

▶International Championships Highlights

World Cross Country Championships
20th in 2015, 26th in 2006
Half Marathon
15th in 2016 World Half Marathon Championships
3000m
8th in 2012, 12th in 2006 in World Indoor Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:12:47	
2016	15:28.25	32:44.48	1:10:07	2:30:06
2015		32:35.87	1:10:49	2:31:14
2014			1:12:26	

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:36:12	New York	9th	6-Nov-16
Personal Best	2:30:06	London	12th	24-Apr-16
	2:31:14	Chicago	10th	11-Oct-15
	2:48:02	Los Angeles	22nd	15-Mar-15

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Jan	Aramco Half Marathon – Houston	Half marathon	11th	1:12:47

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Nov	New York City Marathon	Marathon	9th	2:36:12
2 Oct	Rock n Roll San Jose Half Marathon	Half marathon	2nd	1:12:47
6 Aug	TD Beach to Beacon 10K – Cape Elizabeth	10Km	6th	32:46
17 Jul	Napa-to Sonoma Wine Country Half Marathon	Half marathon	1st	1:12:51
10 Jul	US Olympic Trials – Eugene	5000m	14th	15:54.99
24 Apr	London Marathon	Marathon	12th	2:30:06
26 Mar	World Half Marathon Championships – Cardiff	Half marathon	15th	1:10:58
13 Feb	US Olympic Trials – Los Angeles	Marathon	DNF	DNF
17 Jan	Aramco Half Marathon – Houston	Half marathon	5th	1:10:07

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Nov	US National Road Racing Championships – Alexandria	12Km	2nd	39:02
11 Oct	Bank of America Chicago Marathon	Marathon	10th	2:31:14
13 Sep	Morrisons Great North Run – Newcastle to South Shields	Half marathon	7th	1:15:45
5 Jul	Gold Coast half marathon – Brisbane	Half marathon	2nd	1:10:49
25 Jun	USA Outdoor Track and Field Championships – Eugene	10000m	12th	34:03.25
31 May	Suja Rock n Roll San Diego Half Marathon	Half marathon	3rd	1:11:28
28 Mar	World Cross Country Championships – Guiyang	8Km	20th	28:19
15 Mar	LA Marathon – Los Angeles	Marathon	22nd	2:48:02
18 Jan	Aramco Half Marathon – Houston	Half marathon	4th	1:10:50

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Dec	Metro PCS Dallas Marathon	Half marathon	1st	1:12:26
23 Nov	Gatorade Media Maraton San Jose	Half marathon	1st	1:13:00
25 Oct	Healdsburg Wine Country Half marathon	Half marathon	1st	1:12:54
20 Jul	Napa to Sonoma Wine Country Half Marathon	Half marathon	1st	1:13:16
19 Jan	Aramco Half Marathon – Houston	Half marathon	11th	1:13:38

Sara Hall (formerly Bei) was a well-known high school runner. She won California State Cross Country championships as well as state championships at 1600m and 3200m track races. Her biggest accomplishment as high school runner was a victory at the Footlocker National High School Cross Country Championships. After the high school graduation, Sara entered Stanford University, academic as well as athletics powerhouse. While at Stanford, Sara finished second in the NCAA Indoor 3000m and the NCAA outdoor 5000m (twice). She also finished third at the NCAA Cross Country Championships. After graduation, she ran the 2006 World Cross Country Championships in Fukuoka where she finished 26th.

Her marathon debut was at the 2015 Los Angeles Marathon. Hampered by cramps, Sara finished disappointing 22nd with 2:48:02. In the fall of 2015 she ran the Chicago Marathon and improved her personal best to 2:31:14, and then followed it up with another personal best of 2:30:06 in the 2016 London Marathon. However, in November's New York City Marathon, Sara finished ninth with 2:36:12. In short, after four marathon attempts, she has yet to run a good marathon.

Incidentally, in 2005 Sara married Ryan Hall, a team-mate at the Stanford track team. Ryan's marathon personal best is 2:04:58, the fastest marathon by an American, although it was recorded in the downhill Boston Marathon course. Considering she recorded 1:10:07 half marathon last January in Houston, and has 5000m personal best of 15:20.88, Sara has very good chance to break 2:30 for the marathon with ease. In the Tokyo Marathon, which will be her fifth marathon of her career, massive improvement in her marathon personal best is expected.

サラ・ホール（旧姓ベイ）は高校時代から有名な選手だった。カリフォルニア高校選手権ではクロカン、1600ｍ、3200ｍで優勝、全米クロカン選手権も制している。鳴り物入りで名門スタンフォード大学に進学した彼女は、全米大学選手権で室内3000ｍで１回、屋外5000ｍで２回２位に入り、全米大学クロカン選手権でも３位に入った。卒業後の2006年には福岡で行われた世界クロカン選手権に出場し、26位に入っている。

彼女の初マラソンは2015年春のロサンゼルスだったが、レース中に痙攣を起こし、２時間48分02秒で22位に沈んでしまった。その７ヵ月後にはシカゴ・マラソンを走り、２時間31分14秒と大幅の自己ベストを更新。翌2016年４月のロンドン・マラソンでは２時間30分06秒まで自己記録を順調に縮めた。しかし、11月のニューヨークシティ・マラソンでは２時間36分12秒の９位に終わった。４回のマラソンで未だ会心のレースがない。

スタンフォード大学で知り合ったライアン・ホールと2005年に結婚。標準コースではないボストン・マラソンでの記録だが、ライアンは米国選手最速となる２時間４分58秒で走っている。サラは、昨年１月にヒューストンのハーフマラソンで１時間10分07秒で自己新、5000ｍの自己ベストが15分20秒88であることなどを合わせて考えれば、彼女は２時間30分を確実に切れるはずなのだ。５回目のマラソンとなる東京では、大幅な自己ベストが期待される。

No. 58 マルタ・レマ(エチオピア)

LEMA, Marta (ETH)

DOB ：30 Dec. 1990
AGE ：26
Height：160cm
Weight：45kg

▶Personal Bests

Half Marathon	1:07:58	–2016
Marathon	2:24:32	–2016

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2016		/ 32:14	1:07:58	2:24:32
2015			1:16:58	2:25:59
2014			1:12:12	2:28:06
2013				2:28:02

▶Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:28:02	Praha	4th	8-May-16
Personal Best	2:24:32	Xiamen	2nd	2-Jan-16
	2:25:59	Hengshui	2nd	26-Sep-15
	2:26:20	Paris	5th	12-Apr-15
	2:31:45	Mumbai	3rd	18-Jan-15
	2:41:20	Qinhuangdao	4th	31-Aug-14
	2:31:10	Wien	3rd	13-Apr-14
	2:28:06	Osaka Women	4th	26-Jan-14
	2:28:02	Kosice	2nd	6-Oct-13
	2:31:05	Hannover	3rd	5-May-13
	2:31:01	Mumbai	6th	20-Jan-13

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 May	Prague Marathon – Praha	Marathon	4th	2:28:02
13 Mar	Maratonina Roma to Ostia	Half marathon	4th	1:07:58
2 Jan	Xiamen Marathon	Marathon	2nd	2:24:32

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Sep	Hengshui Lake Marathon	Marathon	2nd	2:25:59
7 Jun	Mattoni Ceske Budejovice Half Marathon	Half marathon	4th	1:16:58
12 Apr	Marathon de Paris	Marathon	5th	2:26:20
18 Jan	Mumbai Marathon	Marathon	3rd	2:31:45

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
31 Aug	Qinhuangdao Marathon	Marathon	4th	2:41:20
13 Apr	Vienna City marathon	Marathon	3rd	2:31:10
26 Jan	Osaka Women's Marathon	Marathon	4th	2:28:06

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Oct	Kosice marathon	Marathon	2nd	2:28:02
5 May	Hannover marathon	Marathon	3rd	2:31:05
20 Jan	Mumbai marathon	Marathon	6th	2:31:01

Marta Lema, who will be running her 12th marathon of her career in Tokyo has never won the marathon but she never finished worse than sixth either. Her marathon performances are quite consistent. Furthermore, in 2016 she has recorded the marathon best of 2:24:32 and the half marathon best of 1:07:58, both quite respectable world class times. That is not all. From the 2015 Paris Marathon onward, Lema improved her marathon best in three consecutive marathons for total of three and half minutes. Another marathon best is expected in Tokyo.
Lema's half marathon best of 1:07:58 is faster than that of Amane Beriso, who has the half marathon best of 1:08:43 and Amane Gobena, who has the half marathon best of 1:08:16. Since Beriso has marathon best under 2:21 and Gobena has a marathon best under 2:22, Lema can expect to improve her marathon best by another two to three minutes.
In the 2014 Osaka Women's Marathon, she recorded near personal best of 2:28:06. Lema also recorded two personal best in the Chinese marathon, and her current marathon best was recorded in the 2016 Xiamen marathon. Lema always has run well in Asia, and thus it is hoped that she will run third consecutive personal best on the Asian soil in Tokyo.

東京が12回目のマラソンとなるマルタ・レマには、マラソンでの優勝経験はないが、7位以下も1度もない。マラソンでは極めて安定した成績を残しているランナーだ。しかも、2016年にはマラソンで2時間24分32秒、ハーフマラソンで1時間7分58秒の世界クラスと言える自己ベストを記録している。それだけではない。2015年4月のパリ・マラソンから、3レース連続の自己新、合計3分半も自己記録を短縮している。今回の東京マラソンでもさらなる自己新が期待される。

なぜならばレマのハーフマラソンの自己ベストは、マラソンで2時間20分台の記録を持つアマネ・ベリソのハーフの自己ベスト1時間8分43秒、同じく2時間21分台の記録を持つアマネ・ゴベナのハーフの自己ベスト1時間8分16秒を上回る。ゆえに、レマにはさらに2、3分の自己記録更新が期待されるのである。

2014年には大阪国際女子マラソンで当時の自己ベストに4秒と迫る2時間28分06秒をマーク。中国でも自己新を2度出している。現在の自己ベストも中国のアモイ・マラソンで記録したもの。レマはアジアでのマラソンで好記録を連発しているのだ。東京では、アジアで3大会連続の自己新を期待したい。

ペースメーカー

Pacemakers

※年齢は大会当日（平成29年2月26日）のものとなります。

ペースメーカー（男子レース）
Pacemakers for MEN

Pace 1 アルフォンス・キゲン（ケニア）
KIGEN, Alfonce (KEN)

Personal Best
レンヌ・フランス　Rennes, France　2:09:49 (2016)

生年月日／ Date of Birth：5 Jan. 1993
年齢・性別／ Age・Sex：24・男子 Men
身長／ Height：178cm
体重／ Weight：61kg

Pace 2 ベルセリウス・キピエゴ（ケニア）
KIPYEGO, Barselius (KEN)

Personal Best
ウースチー・チェコ　Usti Half　59:15 (2016)

生年月日／ Date of Birth：23 Jul. 1993
年齢・性別／ Age・Sex：23・男子 Men
身長／ Height：173cm
体重／ Weight：52kg

Pace 3 アルバート・カンゴゴ（ケニア）
KANGOGO, Albert (KEN)

Personal Best
コペンハーゲン・デンマーク　Copenhagen Half　59:29 (2016)

生年月日／ Date of Birth：16 Aug. 1987
年齢・性別／ Age・Sex：29・男子 Men
身長／ Height：170cm
体重／ Weight：58kg

Pace 4 エドウィン・キプトゥー（ケニア）
KIPTOO, Edwin (KEN)

Personal Best
ブライトン・イギリス　Brighton　2:11:29 (2016)

生年月日／ Date of Birth：28 Dec. 1987
年齢・性別／ Age・Sex：29・男子 Men
身長／ Height：178cm
体重／ Weight：58kg

Pace 5 コスマス・ビレチ（ケニア）
BIRECH, Cosmas (KEN)

Personal Best
リールハーフ　Lille Half　1:00:23 (2015)

生年月日／ Date of Birth：21 Mar. 1986
年齢・性別／ Age・Sex：30・男子 Men
身長／ Height：180cm
体重／ Weight：64kg

Pace 6 佐藤　悠基（東京・日清食品グループ）
SATO, Yuki (JPN)

Personal Best
ロンドン　London　2:12:14 (2016)

生年月日／ Date of Birth：16 Nov. 1986
年齢・性別／ Age・Sex：30・男子 Men
身長／ Height：179cm
体重／ Weight：60kg

Pace 7 サイラス・ジュイ（ケニア・セブスポーツ）
NJUI, Cyrus (KEN)

Personal Best
東京　Tokyo　2:09:10 (2011)

生年月日／ Date of Birth：11 Feb. 1986
年齢・性別／ Age・Sex：31・男子 Men
身長／ Height：171cm
体重／ Weight：52kg

ペースメーカー（女子レース）
Pacemakers for WOMEN

Pace 8 辻　茂樹（徳島・大塚製薬）
TSUJI, Shigeki (JPN)

Personal Best
びわ湖毎日　Otsu　2:13:41 (2014)

生年月日／ Date of Birth：24 Jun. 1986
年齢・性別／ Age・Sex：30・男子 Men
身長／ Height：165cm
体重／ Weight：54kg

Pace 9 髙橋　裕太（徳島・大塚製薬）
TAKAHASHI, Yuta (JPN)

Personal Best
日本学生ハーフ　Tachikawa　1:02:13 (2015)

生年月日／ Date of Birth：4 Apr. 1993
年齢・性別／ Age・Sex：23・男子 Men
身長／ Height：171cm
体重／ Weight：58kg

Pace 10 宇賀地　強（東京・コニカミノルタ）
UGACHI, Tsuyoshi (JPN)

Personal Best
福岡国際　Fukuoka　2:10:50 (2014)

生年月日／ Date of Birth：27 Apr. 1987
年齢・性別／ Age・Sex：29・男子 Men
身長／ Height：164cm
体重／ Weight：50kg

RUN as ONE - Tokyo Marathon

全国の大会と一緒に、マラソンを盛り上げていきます

Promoting a Nationwide Marathon Movement Together with Marathon Races Throughout Japan

全国のマラソン大会と連携し、マラソンムーブメントの全国的な盛り上げに資する取組みとして「Run as ONE - Tokyo Marathon」プログラムを東京マラソン2015よりスタートしました。このプログラムを通じ、東京マラソンに参加する競技者の皆さんに世界トップレベルのレースを体感してもらい、国内の競技力向上やさらなるマラソンファンの増加を目指します。また、東京マラソン2016から新たに海外の競技者を対象とした準エリート（国外）出走枠を設け、海外からもより高いレベルの競技者が東京マラソンに集まることを期待しています。そして、学生マラソンの競技力向上、未来の日本陸上界を担う競技者発掘を目的とし学生競技者にも準エリート（学生）の枠を設け、世界レベルの体験の場を提供しています。

The Run as One – Tokyo Marathon program was introduced at Tokyo Marathon 2015 as way to contribute to the surge in marathon interest nationwide by linking up with other marathon races held throughout Japan. Offering the opportunity to take part in the Tokyo Marathon, this program helps runners experience racing at the world's top level, while striving to boost Japan's athletic capabilities and further expand the number of marathon fans. Starting from Tokyo Marathon 2016, runners from other countries will also be given the opportunity to compete in the Semi-Elite (Overseas) category, and this is expected to attract superior athletes from around the world. In addition, university student runners now have the opportunity of experiencing world-class competition with the establishment of the Semi-Elite (Students) category, which aims to not only foster the athletic capabilities of student marathon runners, but also help discover Japan's future runners and athletes.

“Wild Card Award”の表彰について

準エリートの上位選手は、「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017 “Wild Card Award”」が授与されます。この表彰を通じて、走力の高い競技者や競技志向の市民ランナーからの注目を集め、マラソンへの関心向上や、次世代ランナーのチャレンジを応援していきます。

About the Wild Card Award

As part of the RUN as ONE – Tokyo Marathon 2017 program, the “Wild Card Award” will be presented to top three Semi-Elite athletes. This award was established not only with the goals of promoting advancements in competitiveness and athletic capabilities, and expanding interest in marathon running, but also providing continued support for the challenges of the next generation of upcoming runners.

ネーミングについて

全国のマラソン大会と連携し、マラソンムーブメントの全国のマラソン大会やランナー、ボランティア、観衆が東京マラソンでひとつ（ONE）になるようにとの願いが込められています。

About the Program Name

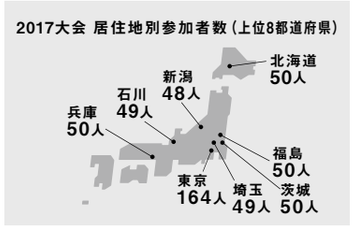
This name arises from a deeply held desire to see all marathon races, runners, volunteers and spectators throughout Japan come together and be united as “ONE”.

「RUN as ONE – Tokyo Marathon 2017」実施概要
RUN as ONE – Tokyo Marathon 2017 Program Information

「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017」出場対象 RUN as ONE – Tokyo Marathon 2017 Eligibility

準エリート Semi-Elite Athletes

国内
国内在住者（国籍は問わない）で、提携する各都道府県陸上競技協会・提携大会が推薦する日本陸上競技連盟（該当陸協）に登録している競技者。
（2017エントリー人数：1,176人）



Japan
Residents of Japan (any nationality) recommended by af filiated track and field associations or associated meets, and registered with the Japan Association of Athletics Federations (1,176 entrants for 2017).

推薦基準タイム Time Standards for Recommendation

マラソン Marathon	男子 Men	2:55:00以内	女子 Women	3:40:00以内
30km	男子 Men	2:00:00以内	女子 Women	2:30:00以内
ハーフ Harf	男子 Men	1:21:00以内	女子 Women	1:45:00以内
10km	男子 Men	35:00以内	女子 Women	40:00以内

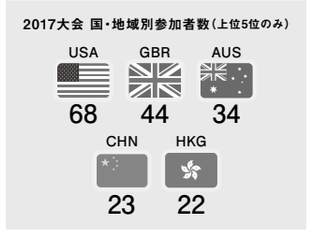
学生
基準記録をクリアした2016年度日本学生陸上競技連合に登録する学生競技者。
2014年11月1日～2016年10月31日までのハーフマラソンの公式記録を対象。
男女比率や推薦方法は日本学生陸上競技連合に委任し
①第19回日本学生ハーフマラソン選手権大会及び第19回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会出場者。
②地区学連を通じ日本学連に推薦のあった学生競技者。
③日本学連強化委員会から推薦のあった学生競技者を対象。
（2017エントリー人数：18人）

Students
Student athletes registered with Inter-University Athletics Union of Japan, who meet the specified time standards.
The official results of half marathons held between November 1, 2014 and October 31, 2016 are considered valid.
The recommendation method including the decision of athletes' gender ratio is delegated to the Inter-University Athletics Union of Japan, while the following athletes are considered eligible:
1.Athletes who participated in the 19th All-Japan Inter-University Half Marathon Championship or the 19th All-Japan Inter-University Ladies' Half Marathon Championship.
2.Students recommended to the Inter-University Athletic Union by district athletics unions.
3.Students recommended by the High Performance Committee of the Inter-University Athletics Union.
(18 entrants for 2017)

推薦基準タイム Time Standards for Recommendation

ハーフ Harf	男子 Men	1:07:00以内
	女子 Women	1:17:00以内

国外
国外在住者（国籍は問わない）で、2015年、2016年に実施された下記対象レースで基準タイムをクリアし、記録を証明するための公式記録（リザルト）を提出できる競技者。
①IAAFのゴールド・シルバー・ブロンズラベルの大会。
②AIMS公認大会
※提出後東京マラソン財団にて厳正なる選考を行い、当落を通知。
（2017エントリー人数：309人）



Overseas
Overseas residents (any nationality) who exceed the specified qualifying time in the following Qualifying Races held in 2015 and 2016 and are able to submit an Official result to certify their record.
Qualifying Races
1) IAAF Gold, Silver and Bronze Label races;
2) AIMS-certified races
* The Tokyo Marathon Foundation performs a strict and fair selection of runners, and provides notification of selection results.
(309 entrants for 2017)

エントリー基準タイム Qualifying Times

マラソン Marathon	男子 Men	2:21:01~2:55:00
	女子 Women	2:52:01~3:40:00

一般 General Runners

国内の各提携大会で2014年11月1日～2016年10月31日に出走実績があり、各提携大会から抽選などで選出されたランナー。
※提携大会は一定の条件を満たす大会を公募

Runners who participated in any of the local races affiliated in this program between Nov. 1, 2014 and Oct. 31, 2016, and selected by the races in drawing, etc. *Affiliated races are selected from among those that fulfill all specified requirements.

RUN as ONE - Tokyo Marathon 2017 提携一覧

準エリート提携大会・提携陸上競技会リスト

都道府県	大会名・陸競名
北海道	函館ハーフマラソン大会
青森	青森陸上競技協会
岩手	一関国際ハーフマラソン大会
宮城	仙台国際ハーフマラソン大会
秋田	田沢湖マラソン
山形	高畠ロードレース
	酒田シティハーフマラソン大会
福島	猪苗代湖ハーフマラソン
	会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会
茨城	かすみがうらマラソン実園際盲人マラソンかすみがうら大会
	つくばマラソン
栃木	大田原マラソン大会
	高根沢町ハーフマラソン大会兼長距離走大会
群馬	ぐんまマラソン
埼玉	上尾シティマラソン 上尾シティハーフマラソン
	ふかやシティハーフマラソン
千葉	佐倉朝日健康マラソン大会
	千葉県民マラソン
新潟	新潟県マラソン選手権大会／しばた女子マラソン競争大会
	新潟シティマラソン
山梨	山梨陸上競技協会

都道府県	大会名・陸競名
東京	青梅マラソン大会
	府中多摩川マラソン大会
	板橋 City マラソン
	江東シーサイドハーフマラソン大会
	いたばしリバーサイドハーフマラソン大会
	世田谷 246 ハーフマラソン
	立川シティーハーフマラソン
	足立フレンドリーマラソン
	新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン
富山	カーター記念黒部名水マラソン
	富山マラソン
石川	金沢ロードレース
	金沢百万石ロードレース
	石川陸上競技協会
福井	福井陸上競技協会
岐阜	岐阜陸上競技協会
三重	中日三重お伊勢さんマラソン
滋賀	あいの土山マラソン大会
大阪	大阪陸上競技協会
兵庫	神戸マラソン
奈良	奈良陸上競技協会

都道府県	大会名・陸競名
和歌山	和歌浦ベイマラソン with ジャズ
	紀州口熊野マラソン
鳥取	鳥取マラソン
島根	島根陸上競技協会
岡山	おかやまマラソン
広島	ヒロシマ MIKAN マラソン
山口	防府読売マラソン
	下関海響マラソン
徳島	とくしまマラソン
香川	丸亀国際ハーフマラソン
愛媛	愛媛マラソン
高知	高知龍馬マラソン
佐賀	さが桜マラソン
	公認鹿島祐徳ロードレース大会
長崎	雲仙小浜 SPA リゾートマラソン
大分	大分陸上競技協会
宮崎	青島太平洋マラソン
鹿児島	鹿児島マラソン
	鹿児島陸上競技協会

一般提携大会一覧

都道府県	大会名・陸競名
北海道	旭川ハーフマラソン
岩手県	イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会
	宮古サーモン・ハーフマラソン大会
秋田県	山田記念ロードレース大会
山形県	白鷹若鮎マラソン大会
福島県	円谷幸吉メモリアルマラソン大会
茨城県	坂東市いわい将門ハーフマラソン大会
群馬県	伊勢崎シティマラソン
	榛名湖マラソン
	前橋・渋川シティマラソン

都道府県	大会名・陸競名
埼玉県	小江戸川越ハーフマラソン
東京都	東京マラソン財団オフィシャルイベント 東京トライアルハーフマラソン
	ハイテクハーフマラソン
	江東シーサイドマラソン大会
神奈川県	よこすかシーサイドマラソン
新潟県	柏崎マラソン
	白根ハーフマラソン
富山県	魚津しんきろうマラソン大会
長野県	上田古戦場ハーフマラソン

都道府県	大会名・陸競名
静岡県	しまだ大井川マラソン in リバティ
島根県	萩・石見空港マラソン全国大会
岡山県	おかやまマラソン
福岡県	筑後川マラソン
	ゆくはしシーサイドハーフマラソン
大分県	仏の里くにさき・とみくじマラソン大会
宮崎県	延岡西日本マラソン
鹿児島県	出水ツルマラソン大会
沖縄県	おきなわマラソン

チャリティランナー

Charity Runners

TOKYO MARATHON 2017 CHARITY

東京マラソン2017を通じて10万円以上寄付をいただいた方の中でご希望者には、チャリティ活動をPRしていただくためにチャリティランナーとして参加していただきます（マラソンのみ先着3,000人まで）。寄付をしてチャリティランナーとして走る、寄付をした上でチャリティランナーに想いを託すなど、参加のカタチはさまざまです。

Among individuals donating 100,000 yen or more, those who wish to participate in the marathon can do so as charity runners (marathon only; up to 3,000 runners on a first-come, first-served basis), representing all supporters by running the Tokyo Marathon, carrying and spreading the message of goodwill.

寄付先16事業別エントリー人数		Numbers of Entrants by Recipient Program
一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業	279	Tokyo Marathon Sports Legacy Program
認定特定非営利活動法人カタリバ	88	Katariba
特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会	204	Japan Association for UNHCR (United Nations High Commissioner for Refugees)
認定特定非営利活動法人育て上げネット	98	Sodateage Net
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	264	Special Olympics Nippon Foundation
公益財団法人そらぷちキッズキャンプ	182	Solaputi Kids' Camp
認定特定非営利活動法人 Teach For Japan	70	Teach For Japan
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団	76	Tokyo Sport Benefits Corporation
公益財団法人東京都農林水産振興財団	87	Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries
公益財団法人東京防災救急協会	96	Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association
公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン	326	Ronald McDonald House Charities Japan
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	206	Japanese Para-Sports Association
認定特定非営利活動法人ファミリーハウス	165	Family House
公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン	82	Plan International Japan
東日本大震災復興支援事業	218	Recovery Support for the Great East Japan Earthquake
熊本地震災害復興支援事業	559	Recovery Support for 2016 Kumamoto Earthquake
Total: 3,000		

東京マラソン 2017 チャリティ事業詳細➡ P166
For details ➡ P166

www.runwithheart.jp

車いす選手紹介
WHEELCHAIR ATHLETES

車いすマラソン　Wheelchair Marathon

車いす招待選手
Invited Wheelchair Athletes

車いすエリート競技者
Elite Wheelchair Athletes

車いす一般
General Wheelchair Participants

※上：男子　下：女子　※Above: Men; Below: Women

車いす10km　10km Wheelchair Race

車いす
Wheelchair

※上：男子　下：女子　※Above: Men; Below: Women

ナンバーカードはヘルメット前方及びレーサーフレーム左右、レーサー後部に着用。
Number cards are put on the helmet and both sides of the racer frame, as well as at the back of the racer.

WHEELCHAIR ATHLETES

www.marathon.tokyo/

82 エリートレース展望／エリート選手リスト
Preview of Elite Race / Elite Athletes List

83 エリートレース募集要項
Elite Race Information

84 レース競技規則
Competition Rules

86 海外招待選手　男子
International Invited Athletes MEN

88 国内招待選手　男子
National Invited Athletes MEN

90 海外招待選手　女子
International Invited Athletes WOMEN

92 国内招待選手　女子
National Invited Athletes WOMEN

WHEELCHAIR ATHLETES

車いすエリートレース展望

Preview of Elite Wheelchair Race

東京マラソン車いすレースディレクター **副島正純**
Tokyo Marathon Wheelchair Race Director **Masazumi Soejima**

昨年より国際化された東京マラソン車いすエリートレース。昨年は、男子2 名、女子2 名の世界のトップ選手が出場、その中で国内選手はリオデジャネイロパラリンピックの選考大会として選考内容をクリアすることを目標に挑みました。結果、洞ノ上浩太選手が男子3 位の1 時間26 分01 秒、土田和歌子選手が女子1位の1時間41分04秒で選考内容を突破し、リオデジャネイロパラリンピック代表推薦枠を獲得しました。

東京マラソン2017大会は、男女共にリオデジャネイロパラリンピック・車いすマラソン金メダリストが出場いたします。海外招待選手男子は、アボット・ワールドマラソンメジャーズの、ボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティ、そしてリオパラリンピックと6大会を優勝しているマルセル・フグ選手（スイス）をはじめに、昨年の東京マラソン2位のエルンスト・バンダイク選手（南アフリカ）、シカゴ・ニューヨークシティマラソンで3位のジョシュア・ジョージ選手（アメリカ）。海外招待選手女子は、リオパラリンピックでアメリカチームを差して金メダルを獲得した鄒麗紅選手（中国）、タチアナ・マクファーデン選手、銅メダリストのアマンダ・マグロリー選手（アメリカ）、ベルリンマラソン優勝のマニュエラ・シャー選手（スイス）、ワールドランキング6位のスザンナ・スカロニ選手（アメリカ）。国内男子としては、昨年の日本人1位で日本記録保持者の洞ノ上浩太選手（福岡）、近年国内・国際大会でも著しい成長を見せている西田宗城選手（大阪）、鈴木朋樹選手（千葉）が出場。女子では、中山和美選手（神奈川）が世界のトップ選手を前にどう仕掛けていくのかが楽しみです。

私がレースディレクターとしてイメージする「世界記録を望む高速レース、東京マラソン」を期待できる選手たちが揃いました。今年は新コース。昨年までの後半の高低差ある橋の上りはなくなり、イメージでは全体的にフラットです。後半も速度を落とすことなくスピード勝負で競い合ってもらいたいと思っています。誰が、どこで、どんな展開を作るのか「42. 195km」全て目が離せない大会です。今年も、スタートからフィニッシュまで選手たちの熱い走りへ、応援をよろしくお願い致します。

The Tokyo Marathon elite wheelchair race turned international last year, and two men and two women athletes from the top echelon of wheelchair racing competed in Tokyo Marathon 2016. The domestic athletes raced for the Rio de Janeiro Paralympic team berth. On the men's side, Kota Hokinoue finished third overall with 1:26:01, while on the women's side Wakako Tsuchida won the women's wheelchair division with 1:41:04 and thus they qualified for the Paralympic team berth.

Both the men and women's gold medalists at the Rio de Janeiro Paralympic wheelchair races have entered the 2017 edition of the Tokyo Marathon wheelchair race. On the men's side invited athletes from abroad include Marcel Hug (SUI), the winner of the Rio de Janeiro Paralympics as well as Abbott World Marathon Majors races at Boston, London, Berlin, Chicago and New York, Ernst Van Dyk (RSA), the second place finisher at the last year's Tokyo Marathon, and Joshua George (USA), third in Chicago and New York City Marathon. On the women's side the invited athletes from abroad include Zou Lihong (CHN), the Rio de Janeiro Paralympic wheelchair marathon gold medalist, Tatyana McFadden (USA), who was edged out for the gold in Rio by Zou, Amanda McGrory (USA), Rio de Janeiro Paralympic wheelchair marathon bronze medalist, Manuela Schar (SUI), the winner of the Berlin Marathon, and Susannah Scaroni (USA), who ranks sixth in the world.

The domestic men's field includes Kota Hokinoue, national record holder and the first Japanese in the last year's Tokyo Marathon, Tomoki Suzuki, who has been steadily improving both domestically and internationally, and Hiroki Nishida. As for the domestic women, it will be fascinating to see how Kazumi Nakayama will battle against the top athletes from abroad.

The outstanding field to realize the race I have dreamed of as a race director - "Fast race to challenge the world record in Tokyo" – is assembled this year. The course has been renewed this year. The up and down hills over the bridges in the closing stages of the marathon are eliminated this year. The course is now relatively flat. So I hope that competitive speed will be kept up all the way to the end of the race. You can hardly take your eyes off the race, for someone can make the move at any point of the race along the 42.195km course. Please keep cheering the athletes from the start to the finish.

車いすエリート選手リスト（男子）　Elite Wheelchair Athletes List (Men)

No.	氏名	Name	国／登録陸協名 Nation	国／クラブ名 Nation ／ Team	年齢 Age	出場資格記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
1001	マルセル・フグ	HUG, Marcel	SUI	スイス	31	1:26:16	2016 リオ	1:20:52
1002	エルンスト・バンダイク	VAN DYK, Ernst	RSA	南アフリカ	43	1:29:53	2016 ベルリン	1:18:27
1003	ジョシュア・ジョージ	GEORGE, Joshua	USA	アメリカ	32	1:31:31	2015 ロンドン	1:22:55
1004	洞ノ上　浩太	HOKINOUE, Kota	福岡	ヤフー	42	1:26:01	2016 東京	1:20:52
1005	西田　宗城	NISHIDA, Hiroki	大阪	バカラパシフィック	32	1:25:16	2015 大分	1:25:16
1006	鈴木　朋樹	SUZUKI, Tomoki	千葉	関東パラ陸上競技協会	22	1:26:03	2016 大分	1:26:03
1021	山本　浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	福岡		50	1:26:02	2016 大分	1:23:16
1022	久保　恒造	KUBO, Kozo	北海道	日立ソリューションズ	35	1:29:24	2016 大分	1:23:24
1023	吉田　竜太	YOSHIDA, Ryota	東京	SUS	35	1:29:53	2016 ベルリン	1:27:38
1024	廣道　純	HIROMICHI, Jun	大分	プーマジャパン	43	1:30:39	2016 大分	1:23:23
1025	吉田　高志	YOSHIDA, Takashi	大阪	奥アンツーカ	38	1:30:40	2016 大分	1:30:40
1026	安岡　チョーク	YASUOKA, Choke	東京	リーフラス	44	1:41:43	2016 大分	1:22:17
1027	渡辺　勝	WATANABE, Sho	福岡	TOPPAN	25	1:33:05	2016 ソウル	1:30:51

車いすエリート選手（男子）出場選手数：13名　海外招待選手3名、国内招待選手3名含む / Total Number of Elite Wheelchair Athlete: 13; International Invited: 3; National Invited: 3

車いすエリート選手（女子）　Elite Wheelchair Athletes (Women)

No.	氏名	Name	国／登録陸協名 Nation	国／クラブ名 Nation ／ Team	年齢 Age	出場資格記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
1101	タチアナ・マクファーデン	MCFADDEN, Tatyana	USA	アメリカ	27	1:38:44	2016 リオ	1:35:06
1102	鄒　麗紅	ZOU, Lihong	CHN	中国	33	1:38:44	2016 リオ	1:38:44
1103	アマンダ・マグロリー	MCGRORY, Amanda	USA	アメリカ	30	1:38:45	2016 リオ	1:36:39
1104	マニュエラ・シャー	SCHAR, Manuela	SUI	スイス	32	1:38:46	2016 リオ	1:38:07
1105	スザンナ・スカロニ	SCARONI, Susannah	USA	アメリカ	25	1:38:47	2016 リオ	1:38:33
1106	中山　和美	NAKAYAMA, Kazumi	神奈川	アクセンチュア	33	1:56:58	2016 東京	1:52:14
1121	喜納　翼	KINA, Tsubasa	沖縄	沖縄県身体障害者陸上競技協会	26	1:44:56	2016 大分	1:44:56

車いすエリート選手（女子）出場選手数：7名　海外招待選手5名、国内招待選手1名含む / Total Number of Elite Wheelchair Athlete: 7; International Invited: 5; National Invited: 1

東京マラソン2017車いすエリートレース募集要項

Wheelchair Elite Race Information

特別協賛	東京メトロ
日程	2017年2月26日(日) 9:05スタート
コース	東京マラソンコース（日本陸上競技連盟・IAAF / AIMS公認コース） 東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行幸通り
参加資格	⑴ 次の①・②・③の条件を満たす競技者 ① 大会当日(2017年2月26日)現在満19歳以上の者 ② 2016年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ2017年World Para Athletics※登録予定者で大会当日までに登録を完了し、World Para Athletics国際クラス（T53・T54）を所有している者 ※2016年11月30日より組織名変更 ③ World Para Athletics公認大会で、2014年2月1日以降申込期日までに男子1時間50分以内、女子2時間00分以内の公認記録を有する者 ⑵ 日本パラ陸上競技連盟が推薦し、大会が招待する国内・国外の競技者
対象クラス	T53/T54（World Para Athletics国際クラスに準ずる。なお、今大会ではクラス分けは行わない。）
競技規則	2016-2017 World Para Athletics競技規則（大会開催日に適用される最新のWorld Para Athletics競技規則）及び本大会規定による。なお、World Para Athleticsの規則により、ドーピング検査を実施する。また、参加する全ての選手にWorld Para Athletics競技規則の広告に関する規程が適用される。
定員	男女計30人（招待選手含む）
参加料	10,800円※申し込み後の参加取り消しについては返金しない。
参加申込	⑴ 期間　2016年12月12日(月)から2017年1月10日(火)17:00必着 ⑵ 方法　氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2017@tokyo42195.orgへ「車いすエリート参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。
出場者決定	1月26日(木)以降、参加案内、ナンバーカード引換証とともに出場決定通知を送付する。
表彰	「東京マラソン2017車いすマラソン」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
賞金	1位1,000,000円、2位500,000円、3位300,000円、4位100,000円、5位80,000円、6位60,000円、 7位　40,000円、8位 20,000円 世界記録1,000,000円（男女1位のみ） 日本記録500,000円（男女国内1位のみ） 大会記録 200,000円（男女1位のみ） ※賞金対象は、車いすエリートレースの参加者。　※金額はいずれも税込み。
選手受付	2月25日(土)　13:00 ～ 16:00　京王プラザホテル 2月26日(日)　6:30 ～ 7:00　〃
テクニカルミーティング	※希望者のみ 2月25日(土)　17:00 ～　京王プラザホテル
個人情報の取り扱いについて	主催者及び日本パラ陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本パラ陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
その他	⑴ 主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加料の返金は一切行わない。 ⑵ 主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。 ⑶ 競技中に発生した事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。 ⑷ ドーピングコントロール 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。 ⑸ＴＵＥ申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例（TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ（http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html）、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ（http://www.playtruejapan.org/）を確認すること。 ⑹ 未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得 2015年1月1日より、世界アンチ･ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ･ドーピング規程が改定され、未成年（20歳未満）競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。 ①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書はhttp://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdfからダウンロード出来る。 ②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR（大会医事代表）に提出すること。提出は未成年時に１回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。 ⑺ 大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。 ⑻ 賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。 ⑼ 本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。

※大会名称などその他の情報➡ P6

東京マラソン2017車いすレース競技規則

1	本大会は、2016-2017 World Para Athletics* 競技規則（大会開催日に適用となる最新のWorld Para Athletics競技規則）及び大会規定により実施する。 *2016年11月30日より組織名変更
2	全ての選手は、衣類及び車いすについて、World Para Athletics競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。
3	競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
4	本大会では、性別の異なる選手の背後を５m以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。
5	競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
6	競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。
7	競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。競技役員以外の者から助力を受けた場合は、失格とすることがある。
8	競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。
9	競技者は、走行中、医師及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。
10	競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
11	競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなくてはならない。
12	クラスについては、下記の国際クラス分け表による。
13	本大会では、ドーピング検査を実施する。
14	関門の制限時間を次のとおり設ける。 5. 6km地点　20分00秒 9. 9km地点　35分00秒※ 14. 6km地点　45分00秒 30. 1km地点　1時間35分00秒 41. 0km地点　2時間07分00秒 フィニッシュ地点　2時間10分00秒 ※ 9. 9Kmは、車いす10Kmレース制限時間。車いすマラソンもこの時間を超えてレース続行できない。
15	給水所を次の通り設ける。 5㎞、7㎞、10km、12km、15km、17km、22km、25km、27km、30㎞、32km、35km、38km、40㎞地点付近
16	車いすについては、次のとおりとする。 ⑴ 車いすは最低でも2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。 ⑵ 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ていてはならず、また2つの後輪の車軸を結んだ幅より広く突き出ていてはならない。車いす本体の地面からの高さは最高50cmとする。 ⑶ 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ていてはならない。 ⑷ 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んで、後輪70cm・前輪50cmを超えてはならない。 ⑸ 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。 ⑹ 電動車いすおよび車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーを取り付けた車いすを使用してはならない。 ⑺ ミラーの使用を禁止する。 ⑻ 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。 ⑼ 競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。 ⑽ フェアリングの使用または空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。 ⑾ 車いすは招集場で測定され、競技開始前にその場を離れることはできない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。 ⑿ 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。

国際クラス分け表

T53	このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋または下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベルT1-7と同等の活動制限がある。
T54	このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。 車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。 脊髄損傷の神経残存レベルT8-S4レベルと同等の活動制限がある。

（※）上記は、World Para Athletics ClassificationRules and Regulations 2016.1.4 改定版【日本語翻訳版】から抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照ください。
http://jaafd.org/pdf/committee3/c3_2016_ipc-class-manual_jp.pdf

Competion Rules

1	This marathon will be held in compliance with the World Para Athletics Rules and Regulations for 2016-2017*. *Used to be known as IPC Athletics.
2	All participating athletes must follow World Para Athletics Rules and Regulations regarding advertising and displays on clothes and wheelchairs during World Para Athletics Recognized Competitions.
3	Athletes must follow the designated lanes in the course from start to finish.
4	Drafting behind an athlete from gender within a distance of 5m or less is prohibited.
5	Any athletes who intentionally interfere with, or touch other athletes during the race will be disqualified.
6	Wearing a helmet is required.
7	Only the race officials are permitted to assist an athlete in case of crash or tumble during the race. Athletes will be disqualified if he/she is assisted in any manner influential to the better race result.
8	Only the race officials are allowed to assist the repair of wheels and wheelchairs during the race.
9	Athletes must retire immediately from the race when so ordered by the medical officials or the race officials.
10	Athletes must obey the directions of the race officials and police officers.
11	Athletes must ensure that no part of their lower limbs touch the ground or track during the event.
12	Classification: Please refer to the CLASSIFICATION SYSTEM GOVERNING RULES below.
13	Doping Control will be conducted at Tokyo Marathon 2017.
14	Athletes must reach the following checkpoints within the given times: 5.6km checkpoint　20 min 00 sec 9.9km checkpoint　35 min 00 sec * 14.6km checkpoint　45 min 00 sec 30.1km checkpoint　1 hour 35 min 00 sec 41.0km checkpoint　2 hour 07 min 00 sec Finish　2 hour 10 min 00 sec *9.9km checkpoint is Finish of wheelchair 10km race If any athletes fail to arrive at any checkpoint in time, he / she will be forcibly picked up.
15	Drinks will be provided at the following points. 5km, 7km, 10km, 12km, 15km, 17km, 22km, 25km, 27km, 30km, 32km, 35km, 38km, 40km
16	Regulations for wheelchairs are as follows: (1)At World Para Athletics Competitions the wheelchair shall have two (2) large wheels and one (1) small wheel In other Recognized Competitions the wheelchair may have two(2) large wheels and a maximum of two (2) small wheels. In all competitions the small wheel (s) must be at the front of the chair. (2)Wheelchair Dimensions. No part of the main body (defined as the vertical plane of the back edge and wheels including the seat) of the wheelchair may extend forwards beyond the hub of the front wheel and be wider than the inside of the hubs of the two rear wheels. The maximum height from the ground of the main body of the wheelchair shall be 50 cm. (3)No part of the wheelchair may protrude behind the vertical plane of the back edge of the rear tyres. (4)Wheel Dimensions The maximum diameter of the large wheel including the inflated tire shall not exceed 70 cm.The maximum diameter of the small wheel including the inflated tire shall not exceed 50 cm. (5)Only one plain, round, push-rims allowed for each large wheel. (6)No mechanical gears or levers are allowed to propel the wheelchair. (7)The use of mirrors is not permitted in wheelchair track or road races. (8)Only hand operated, mechanical steering devices are allowed. (9)The athlete must be able to turn the front wheel (s) manually both to the left and to the right. (10)The use of fairings or similar devices specifically designed to improve the aerodynamic performance of the athlete in the wheelchair are not permitted. (11)Wheelchairs will be measured and inspected in the Call Room and once inspected must not be taken from the competition area before the start of the event. Wheelchairs can be re-examined by the officials before or after the event. (12)It is the responsibility of the athlete to ensure that no part of their lower limbs can fall from their wheelchair to the ground or track during the event.

CLASSIFICATION SYSTEM GOVERNING RULES

T53	･These athletes will have normal arm muscle power with no abdominal or lower spinal muscle activity. Use different techniques to compensate for lack of abdominal musculature including lying horizontal. In general when acceleration occurs, the trunk rises off the legs due to a lack of abdominal muscles to hold the trunk down; there is no active downward movement of the trunk to assist with propulsion. Usually have to interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T1-7
T54	･These athletes will have normal arm muscle power with a range of trunk muscle power extending from partial trunk control to normal trunk control. Athletes who compete in this group may have significant leg muscle power.These athletes have reasonable to normal trunk control which allows them to hold their trunk down when the propulsion force is applied to the push rim. Usually do not interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Can shift direction of the wheelchair by sitting up and applying a trunk rotational force to the wheelchair. Equivalentactivity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T8-S4. Athletes competing in this class must meet one or more of the MDC presented in Section 2.1.4 (limb deficiency) , 2.1.5 (impaired PROM) and 2.1.6 (impaired muscle power) or 2.1.7 (leglength difference) .

** For further information, please refer to the following World Para Athletics website.
http://www.paralympic.org/Athletics/Rulesandregulations/Classifi cation

東京マラソン車いす招待選手―海外男子

Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes − International MEN

No. 1001 マルセル・フグ(スイス)

HUG, Marcel (SUI)

プロフィール／ PROFILE
DOB ：16 Jan. 1986
AGE ：31

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:26:16	リオパラリンピック (Rio)	1	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:20:52	ソウル (Seoul)	1	2013

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:24:06	ボストン (Boston)	1st	2016

生まれつき二分脊椎症で歩くことができなかったマルセル・フグは、10歳頃から車いすレースに出場。最初の大きな国際大会は2004年アテネ・パラリンピックで、800ｍと1500ｍで銅メダルを獲得。2012年ロンドン・パラリンピックでは800ｍとマラソンで銀メダルを獲得した。究極の目標だったパラリンピックでの金メダルは、リオで実現した。マラソンと800ｍでついに金メダルを獲得したのだ。ボストン、ロンドン、シカゴ、ベルリン、ニューヨークシティ、とアボット・ワールドマラソンメジャーズの５大会を制しているフグ。今回の東京で優勝し、メジャーズ完全制覇なるか？

Born with spina bifida Marcel Hug was unable to walk from the birth. Hug started to race on the wheelchair as a 10 years old. His first big international race was at the 2004 Athens Paralympics. Hug won bronze medals at both 800m and 1500m. In the 2012 London Paralympics he won silver medals at both 800m and marathon. Hug's ultimate goal was to win the gold medal in the Paralympics, which he finally realized in the 2016 Rio de Janeiro Paralympics. Hug won goldmedal in both 800m and marathon. In 2016 Hug won five Abbott World Marathon Majors races. If he wins the Tokyo Marathon Hug will complete the sweep of all six Abbott World Marathon Majors.

No. 1002 エルンスト・バンダイク(南アフリカ)

VAN DYK, Ernst (RSA)

プロフィール／ PROFILE
DOB ：4 Apr. 1973
AGE ：43

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:29:53	ベルリン (Berlin)	2	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:18:27	ボストン (Boston)	1	2004

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:30:11	リオパラリンピック (Rio)	6	2016

ボストン・マラソンでは2001年～06年、2008年～10年、2014年と10回も優勝しているエルンスト・バンダイク。生まれつき脚がないバンダイクだが、両親の薦めで最初は水泳を、その後は車いすの競技を始める。1992年のバルセロナ・パラリンピックでは両種目に出場したが、その後は車いすの種目に集中。2000年のシドニー・パラリンピックでは400ｍで銅メダルを、４年後アテネ・パラリンピックでは800ｍと1500ｍで銀メダルを獲得。そして、2008年北京パラリンピックではマラソンで銅メダルを獲得している。リオ・パラリンピックでは60kmのロードレースを制した。

Ernst van Dyk is the ten-time Boston Marathon Champion, having won from 2001 to 2006, 2008 to 2010 and 2014. He was born with congenital absence of both legs in South Africa. Encouraged by his parents, Van Dyk competed first in swimming and then wheelchair events. He competed in both events in the 1992 Barcelona Paralympics. Thereafter Van Dyk concentrated in wheelchair events. He won bronze medal at 400m in the 2000 Sydney Paralympics, and silver at both 800m and 1500m in the 2004 Athens Paralympics. In 2008 Beijing Paralympics, he won bronze in the wheelchair marathon. In the 2016 Paralympics, he won 60km road race H5.

No. 1003 ジョシュア・ジョージ(アメリカ)
GEORGE, Joshua (USA)

プロフィール／ PROFILE
DO　：18 Mar. 1984
AGE　：32

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:31:31	ロンドン (London)	1	2015

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:22:55	グランマズ (Duluth, MN)	1	2012

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:39:01	ニューヨークシティ (NYC)	3	2016

４歳の時に12階の窓から落下したジョシュア・ジョージだったが、車いす生活を余儀なくされたものの命は取りとめた。両親はジョージにできる限り普通の生活を送らせると決意、ジョージはあらゆるスポーツに取り組む。

準地元であるシカゴ・マラソンで４回優勝し、2008年の北京パラリンピックでは100ｍで金メダルに輝いた。ＩＰＣ世界選手権では2006年に100ｍ、200ｍ、400ｍ、800ｍの４冠に輝くと、2013年には800ｍ、2015年にはマラソンで金メダルを獲得している。人々に勇気と自信を与えるための講演活動も、積極的に行っている。

Although Joshua George survived the fall from a twelfth story window when he was four years old, unfortunately he became wheelchair bound. However, his parents were determined that Joshua will have full and active normal life. He started to participate in all kinds of sports.
Joshua won the Chicago Marathon four-times. In the 2008 Paralympics, he won gold medal 100m. In the IPC World Championships, he won gold medals at 100m, 200m, 400m and 800m. He also won gold at 800m in 2013, and marathon in 2015. Josh also works as a motivational speaker.

東京マラソン車いす招待選手―国内男子

No.1004 洞ノ上　浩太 (福岡・ヤフー)
HOKINOUE, Kota (JPN)

プロフィール／ PROFILE
DOB　：30 Mar. 1974
AGE　：42

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:26:01	東京 (Tokyo)	3	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:20:52	ソウル国際車いす (Seoul)	2	2013

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:30:11	リオパラリンピック (Rio)	7	2016

2000年にオートバイ事故で車いす生活を余儀なくされた洞ノ上浩太。友人のアドバイスで2002年から車いすレースに参加するようになった。

2008年北京パラリンピックでは5000ｍとマラソンで５位に入賞。5000ｍは日本人初の決勝進出だった。2010年６月には5000ｍ（９分55秒04）と10000ｍ（19分51秒80）の両種目で日本記録を樹立。その年の12月にはアジア・パラ・ゲームズ広州大会のマラソンで金メダルを獲得している。2007年から毎年出場している東京マラソンでは優勝１回、２位が４回、３位が５回と毎回好成績を残している。

Kota Hokinoue was confined to wheelchair after the motorcycle accident in 2000. Following an advice from his friend, Hokinoue started to compete in wheelchair races in 2002. He competed at both 5000m and marathon in the 2008 Beijing Paralympics and finished fifth in both events. In 5000m, he qualified for the final, first by Japanese athlete. In June of 2010 he set the national records at both 5000m (9:55.04) and 10000m (19:51.80); in December, at the Asian Para Games, he won marathon. Hokinoue competed in every Tokyo Marathon ever contested and won once in 2015, finished second four times and third five-times.

No.1005 西田　宗城 (大阪・バカラパシフィック)
NISHIDA, Hiroki (JPN)

プロフィール／ PROFILE
DOB　：11 Mar. 1984
AGE　：32

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:25:16	大分国際 (Oita)	4	2015

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:25:16	大分国際 (Oita)	4	2015

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:29:53	ベルリン (Berlin)	3	2016

小学校から野球が好きだった西田宗城は、大学３年生の時の交通事故で車いす生活を余儀なくされた。その頃に、テレビで車いすレースを観て一目ぼれし、2006年から車いす陸上に参加。ＩＰＣ世界選手権ではマラソンで2013年は10位、2015年は17位に入っている。リオ・パラリンピックの選考会となった2016年の東京マラソンは６位で日本代表入りを逃した。その後、2016年のロンドン・マラソンでも６位、９月のベルリン・マラソンでは優勝したマルセル・フグからわずか２秒遅れの３位に食い込んだ。今回の東京マラソンではその再現がなるだろうか？

Until he was injured in the auto accident and confined to the wheelchair, Hiroki Nishida played baseball. Later, he watched the wheelchair race on the TV, and fell in love with the sports. He started to compete in the wheelchair races starting 2006. In the 2013 IPC World Championships, he was 10th at the Marathon. In 2015, he was 17th. In the 2016 Tokyo Marathon, qualifying race for the Rio Paralympics, he was only sixth and thus missed making the team. Later in the 2016 London Marathon, he was sixth. However, in the 2016 Berlin Marathon, he finished third only two seconds behind the winner Marcel Hug. With Hug and van Dyk along with Nishida in the Tokyo Marathon field, will we see the replay of the epic battle in Berlin and can Nishida finish higher in Tokyo?

No. 1006 鈴木　朋樹（千葉・関東パラ陸上競技協会）
SUZUKI, Tomoki

プロフィール／ PROFILE
DOB　：14 Jun. 1994
AGE　：22

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:26:03	大分国際 (Oita)	2	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:26:03	大分国際 (Oita)	2	2016

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:26:11	東京 (Tokyo)	5	2016

生後間もない８ヵ月の時に交通事故で脊髄を損傷した鈴木朋樹は、物心ついたときから車いす生活となっていた。小学５年生の時に2012年パラリンピック車いすマラソン５位の花岡伸和と出会い、本格的に車いすレースに参加。2015年の東京で初マラソンに挑み、１時間30分36秒で２位に入った。10月のＩＰＣ世界選手権では800ｍ、1500ｍともに決勝に進めなかったが、果敢なレースぶりは大きく評価された。

一昨年12月の日産カップのハーフマラソンでは47分00秒で優勝。リオ・パラリンピック代表選考レースだった昨年の東京マラソンは５位に終わって代表から漏れたが、その後の大分国際では自己新の１時間26分03秒で２位に食い込んでいる。

Soon after his birth, eight month old Tomoki Suzuki injured his spinal cord in the traffic accident, and thus became wheelchair bound. When he was in fifth grade, Suzuki met with Nobukazu Hanaoka, who was fifth at the wheelchair marathon in the 2012 Paralympics, and he started to compete seriously in the wheelchair races. Suzuki made his marathon debut in the 2015 Tokyo Marathon and finished second with 1:30:23. In October, Suzuki competed at the IPC World Championships, but failed to advance to the final in both 800m and 1500m. However, his aggressive racing style was highly praised.

In December of 2015, he won the Nissan Cup, half marathon race, with 47:00. He was fifth in the Tokyo Marathon 2016, the qualifying race for the Rio de Janeiro Paralympics Marathon, and thus missed making the team. However, he was second with his personal best of 1:26:03 in Oita International marathon in October.

東京マラソン車いす招待選手―女子

No. 1101 タチアナ・マクファーデン（アメリカ）
MCFADDEN, Tatyana (USA)

プロフィール／ PROFILE
DOB ：21 Apr. 1989
AGE ：27

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:44	リオ・パラリンピック (Rio)	2	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:35:06	ボストン (Boston)	1	2014

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:42:28	シカゴ (Chicago)	1	2016

ソビエトのレニングラード（現在のサンクト・ペテルブルグ）で生まれたタチアナ・マクファーデンは、脊椎披裂で下半身麻痺だったため、生みの母に孤児院に入れられた。転機は、米国保険局の身体障害者理事のデボラ・マクファーデンに出会ったこと。彼女に連れられてボルチモアに引っ越したタチアナは、８歳から車いすレースに参加。パラリンピックでは2004年アテネでは銀（100m）と銅（200m）、2008年北京は３個の銀メダルを獲得。2012年ロンドンでは400ｍから1500ｍ、そして2016年リオでは400ｍから5000ｍまでの全種目で金メダルに輝いた。

2009年からマラソンにも参加し、メジャー大会を何度も制覇。2014年には母国ロシアのソチで開かれた冬季パラリンピックにも参加し、銀メダルを獲得。昨年の東京マラソンは２位、今年は雪辱戦となる。

Born in Leningrad Soviet Union with spina bifida, Tatyana Mcfadden was paralyzed from the waist down. Her mother abandoned her in an orphanage. Turning point of her life came when she met Deborah McFadden, a commissioner of disabilities for the US Health Department. Tatyana was adopted by Deborah, and moved to Baltimore. Tatyana began racing at the age of eight. In Paralympics, she won two medals in the 2004 and three silver medals in the 2008. Furthermore, she won all events from 400m to 1500m in 2012 and 400m to 5000m in the 2016.

Tatyana started to compete in the marathon from 2009, and won the major marathons many times. In 2014 Tatyana also competed in the Sochi Paralympic Games. Tatyana was second last year, thus going for the first win in Tokyo.

No. 1102 鄒　麗紅（中国）
ZOU, Lihong (CHN)

プロフィール／ PROFILE
DOB ：26 Feb. 1984
AGE ：33

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:44	リオ・パラリンピック (Rio)	1	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:44	リオ・パラリンピック (Rio)	1	2016

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:52:42	ロンドン (London)	5	2016

1984年に中国の大理市で生まれた鄒麗紅は、子供の頃に小児麻痺で下半身が不自由になってしまった。2010年広州アジア・パラリンピックでシニアデビューした彼女は、200ｍで銅メダルを獲得。2012年ロンドン・パラリンピックでは、800ｍで銅メダルを獲得した。ＩＰＣ世界選手権では、2015年ドーハ大会で出場した４種目（400ｍ、800ｍ、5000ｍ、4×400ｍリレー）のうち、銀メダルだった400ｍ以外はすべて金メダルに輝いた。2016年リオ・パラリンピックのマラソンでは、400ｍから5000ｍまでの４種目を制したタチアナ・マクファーデンを僅差で敗り、金メダルを獲得している。

リオでの優勝の後、秋マラソンは走っていない鄒麗紅。今回の東京では真価が問われる。

Zou Lihong, who was born in Dali in 1984, was infected with polio in her childhood and confined to a wheelchair. In her international championships debut at the 2010 Asian Paralympics, Zou won a bronze medal at 200m. In the 2012 London Paralympics, she competed in four events, and won a bronze medal in the 800m. In the 2015 Doha IPC World Championships, Zou medaled in all four events (400m, 800m, 5000m and 4x400mR) she contested. In fact, Zou won gold medals in all events except for the 400m, where she won a silver. In the 2016 Rio de Janeiro Paralympics Marathon, Zou won the gold medal by narrowly defeating Tatyana McFadden, who won four events from 400m to 5000m in Rio.

After Rio, Zou has not competed in the fall marathon. With McFadden also in the race, Zou's true character will be tested in Tokyo.

No. 1103 アマンダ・マグロリー (アメリカ)
MCGRORY, Amanda (USA)

プロフィール／ PROFILE
DOB ：9 Jun. 1986
AGE ：30

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:45	リオ・パラリンピック (Rio)	3	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:36:39	グランマズ (Duluth)	1	2012

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:47:55	シカゴ (Chicago)	3	2016

５歳の時、アマンダ・マグロリーの人生は暗転した。横断性脊髄炎で下半身不随になってしまったのだ。しかし、10歳の時に両親が彼女を車いすスポーツのプログラムに登録。ここから彼女の車いすレースのキャリアが始まったのである。

最初は自分はスプリンターだと思っていたマグロリー。しかし、元マラソン・チャンピオンであるスコット・ホーロンベックは、彼女はマラソンに適していると思ったのである。2006年ＩＰＣ世界選手権では800ｍで優勝したが、同年のニューヨークシティ・マラソンも制した。2008年には北京パラリンピックの5000ｍで金メダルを獲得。その後は、2009年のロンドンをはじめ、メジャー・マラソンを何度も制覇。東京マラソンは、４位に終わった昨年に続く出場になる。

At the age of five, Amanda McGrory was diagnosed with transverse myelitis, leaving her paralyzed from the waist down. However, at the age of 10, her parents enrolled her in a wheelchair sports program, and thus began her career in wheelchair racing.

Initially, she thought herself as a sprinter. However, former marathon champion Scot Hollonbeck thought Amanda would be a good marathoner. Scot turned out to be correct. She won the 800m in the 2006 IPC World Championships, but also won the 2006 New York City Marathon. In 2008 Beijing Paralympics she won the 5000m. From 2009, McGrory won several major marathons including London, New York City, Paris and Chicago Marathons. She was fourth in the Tokyo Marathon last year.

No. 1104 マニュエラ・シャー (スイス)
SCHAR, Manuela (SUI)

プロフィール／ PROFILE
DOB ：5 Dec. 1984
AGE ：32

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:46	リオパラリンピック (Rio)	6	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:07	大分国際 (Oita)	1	2013

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:43:00	ベルリン (Berlin)	1	2016

1984年にスイスで生まれたマニュエラ・シャーは、1993年の事故で脊髄を損傷。その後、車いすスポーツに参加するようになった。2004年アテネ・パラリンピックでは100ｍで銅メダル、200ｍで銀メダルを獲得。2008年の北京パラリンピックでは200ｍで銅メダルを獲得している。

主にスプリント種目で活躍してきたシャーだが、2013年のＩＰＣ世界選手権では400m、800m、1500m、マラソンに出場、マラソンでは金メダルに輝いている。昨年はロンドン、ボストン、シカゴ、そしてニューヨークシティ・マラソンではタチアナ・マクファーデンに次いで２位のシャーだが、マクファーデンが出場していないベルリンを制した。東京ではマクファーデンにひと泡吹かせたいところだ。

Born in Switzerland in 1984, Manuel Schar injured her spinal cord in the accident in 1993. Later she started to compete in the wheelchair sports. In the 2004 Athens Paralympics she won a bronze medal at 100m and a silver medal at 200m. In the 2008 Beijing Paralympics she won a bronze medal in 200m.

Although she competed as a sprinter in the major international races until then, in the 2013 IPC World Athletics Championships, she competed in 400m, 800m, 1500m, and the marathon. She won the gold medal in marathon. In 2016 Schar finished second to Tatyana McFadden in London, Boston, Chicago and New York City Marathons, but won the Berlin Marathon where McFadden did not compete. Can she upset McFadden in the Tokyo Marathon?

東京マラソン車いす招待選手―女子

Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes − WOMEN

No. 1105 スザンナ・スカロニ（アメリカ）

SCARONI, Susannah (USA)

プロフィール／ PROFILE
DOB ：16 May. 1991
AGE ：25

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:47	リオ・パラリンピック (Rio)	7	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:33	ボストン (Boston)	3	2014

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:46:53	ボストン (Boston)	4	2016

2016年リオ・パラリンピックのマラソンで７位に入賞したスザンナ・スカロニは、高校時代は車いすレースと車いすバスケットボールの選手だった。その頃はパフォーマンスの向上には身体を絞ることが不可欠と考えていたが、名門イリノイ大学ウルバナ・シャンペーン校で栄養学を専攻したことで、食事の大切さを知ったという。

2014年、2015年のボストン・マラソンでは３位。2016年にはボストンとニューヨークシティ・マラソンで４位、シカゴ・マラソンでは５位、ロンドン・マラソンでは７位に入っているが、大きなレースでの優勝はまだない。

Susannah Scaroni, who finished seventh at marathon in the 2016 Rio de Janeiro Paralympics, competed in the wheelchair racing as well as wheelchair basketball in high school. In her high school days, Scaroni thought it is important to be extremely thin to be fast. However, after majoring in dietetics in the prestigious University of Illinois at Urbana-Champaign, Scaroni realized that it is important to eat wholesome foods.

Scaroni was third in the 2014 and 2015 Boston Marathon, fourth in 2016 Boston and New York City Marathon, fifth in the 2016 Chicago Marathon and seventh in the 2016 London Marathon. However, she is yet to win a major race.

No. 1106 中山　和美（神奈川・アクセンチュア）

NAKAYAMA, Kazumi (JPN)

プロフィール／ PROFILE
DOB ：22 Jun. 1983
AGE ：33

▶資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:56:58	東京 (Tokyo)	3	2016

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:52:14	東京 (Tokyo)	2	2013

▶備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
52:50	大分国際ハーフ (Oita Half)	2	2016

学生時代はバスケットボール部のキャプテンを務め、卒業後はホテル勤務を経て全日空のキャビン・アテンダントになった中山和美だが、１年後の2007年に脊髄梗塞を発症、両下肢麻痺となる。リハビリ中に医師に勧められ、車いす陸上を始めた。

2013年のＩＰＣ世界選手権では100ｍで４位に入賞。2014年のアジア・パラリンピックでは200ｍと400ｍで銀メダルを獲得した。100ｍから800ｍまで４種目の日本記録を保持する中山は、800ｍを最も得意としている。2016年のリオ・パラリンピックでは400ｍ、800ｍ、1500ｍに出場したが、いずれも予選敗退。マラソンでは、2014年名古屋ウィメンズと東京でいずれも２位に入っている。昨年の東京マラソンは３位に入っている。

Kazumi Nakayama, who was the captain of her school basketball team, worked in a hotel after graduation but later joined ANA as a flight attendant. One year later, in 2007, she suffered from spinal cord infarction, and thus lost control of her lower limbs. During the rehabilitation, with the recommendation by a doctor, she started to compete in wheelchair racing.

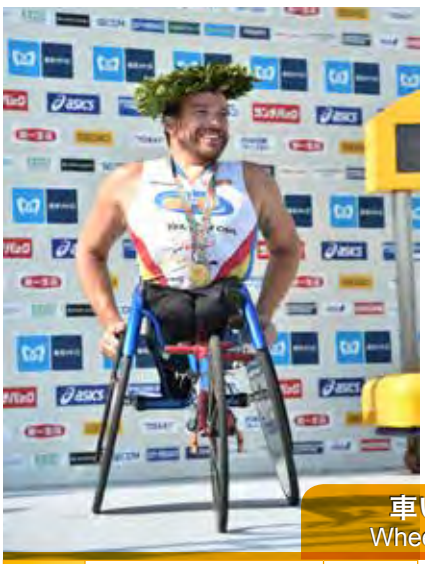
In the 2013 IPC World Championships, Nakayama finished fourth at 100m. In the 2014 Asian Paralympics, she won silver medals at 200m and 400m. Nakayama holds national records four events from 100m to 800m, but her best event is 800m. In the 2016 Rio de Janeiro Paralympics, she competed at 400m, 800m and 1500m, but failed to qualify for the final in all events. In the Marathon, She finished second in both the 2014 Tokyo and Nagoya Women's Marathon, and third in the last year's Tokyo Marathon.

TOKYO MARATHON 2017

大会記録 Course Records

マラソン Marathon

男子 Men	ディクソン・チュンバ（ケニア） CHUMBA, Dickson (KEN)	2:05:42 (2014大会)
女子 Women	ヘラー・キプロプ（ケニア） KIPROP, Helah (KEN)	2:21:27 (2016大会)



車いすマラソン Wheelchair Marathon

男子 Men	クート・フェンリー（オーストラリア） FEARNLEY, Kurt (AUS)	1:26:00 (2016大会)
女子 Women	土田 和歌子（日本） TSUCHIDA, Wakako (JPN)	1:41:04 (2016大会)

参加記念Tシャツ
Participant T-shirt

参加記念Tシャツ
Charity Runner T-shirt

計時チップ
Timing Chip

フィニッシャータオル
Finisher Towel

アルミシート
Heat Sheet

完走メダル
Finisher Medal

STATISTICS & RESULTS

www.marathon.tokyo/

96 世界歴代パフォーマンストップ50
All-Time Top 50 World Marathon Performances

98 日本歴代パフォーマンストップ50
All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances

100 アボット・ワールドマラソンメジャース歴代トップ50
Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50

102 日本国内パフォーマンストップ50
Japan All Comers Top 50 Marathon Performances

104 東京マラソンパフォーマンストップ25
All-Time Top 50 Tokyo Marathon Performances

105 順位別最高記録
Best Marks for Places

106 世界主要マラソン大会結果
Results of World's Primary Marathons

108 東京マラソン大会結果
Tokyo Marathon Results

世界歴代パフォーマンストップ50　男子

All-Time Top 50 World Marathon Performances MEN

★ 2017 大会出場選手

	Performance Time 記録		Name 名前		Nation 国	Date 日付	Venue 大会名
	1 2:02:57	1	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014. 09. 28	Berlin
	2 2:03:03	2	BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2016. 09. 25	Berlin
	3 2:03:05	3	KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2016. 04. 24	London
	4 2:03:13	4	MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014. 09. 28	Berlin
★	4 2:03:13	4	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2016. 09. 25	Berlin
	6 2:03:23		KIPSANG, Wilson			2013. 09. 29	Berlin
	7 2:03:38	6	MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011. 09. 25	Berlin
	8 2:03:42		KIPSANG, Wilson			2011. 10. 30	Frankfurt
	9 2:03:45		KIMETTO, Dennis			2013. 10. 13	Chicago
	10 2:03:51	7	BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2016. 04. 24	London
	11 2:03:52		MUTAI, Emmanuel			2013. 10. 13	Chicago
	12 2:03:59	8	GEBRSELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシェ	ETH	2008. 09. 28	Berlin
	13 2:04:00		KIPCHOGE, Eliud			2015. 09. 27	Berlin
	14 2:04:05		KIPCHOGE, Eliud			2013. 09. 29	Berlin
	15 2:04:11		KIPCHOGE, Eliud			2014. 10. 12	Chicago
	15 2:04:11	9	TOLA, Tamirat	タミラト・トラ	ETH	2017. 01. 20	Dubai
	17 2:04:15	10	MUTAI, Geoffrey	ジョフリー・ムタイ	KEN	2012. 09. 30	Berlin
	18 2:04:16		KIMETTO, Dennis			2012. 09. 30	Berlin
	19 2:04:23	11	ABSHERO, Ayele	アエレ・アブシェロ	ETH	2012. 01. 27	Dubai
	20 2:04:24	12	ABERA, Tesfaye	テスファエ・アベラ	ETH	2016. 01. 22	Dubai
	21 2:04:26		GEBRSELASSIE, Haile			2007. 09. 30	Berlin
	22 2:04:27	13	KIBET, Duncan	ダンカン・キベト	KEN	2009. 04. 05	Rotterdam
	22 2:04:27	13	KWAMBAI, James	ジェームズ・クワンバイ	KEN	2009. 04. 05	Rotterdam
	24 2:04:28	15	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014. 10. 12	Chicago
	25 2:04:29		KIPSANG, Wilson			2014. 04. 13	London
	26 2:04:32	16	MEKONNEN, Tsegaye	ツェガエ・メコネン	ETH	2014. 01. 24	Dubai
★	26 2:04:32	16	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2014. 10. 12	Chicago
	28 2:04:33	18	BERHANU, Lemi	レミ・ベルハヌ	ETH	2016. 01. 22	Dubai
★	29 2:04:38	19	KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012. 10. 07	Chicago
	30 2:04:40		MUTAI, Emmanuel			2011. 04. 17	London
	31 2:04:42		KIPCHOGE, Eliud			2015. 04. 26	London
	32 2:04:44		KIPSANG, Wilson			2012. 04. 22	London
	33 2:04:45	20	DESISA, Lelisa	レリサ・デシサ	ETH	2013. 01. 25	Dubai
	34 2:04:46		MEKONNEN, Tsegaye			2016. 01. 22	Dubai
	35 2:04:47		KIPSANG, Wilson			2015. 04. 26	London
	36 2:04:48		MAKAU, Patrick			2010. 04. 11	Rotterdam
	36 2:04:48	21	TSEGAY, Yemane	イエマネ・ツェガエ	ETH	2012. 04. 15	Rotterdam
	36 2:04:48	21	SHIFERAW, Berhanu	ベルハヌ・シフェラウ	ETH	2013. 01. 25	Dubai
★	39 2:04:49	23	TOLA, Tadese	タデセ・トラ	ETH	2013. 01. 25	Dubai
	40 2:04:50	24	SEFIR, Dino	ディノ・セフィル	ETH	2012. 01. 27	Dubai
	40 2:04:50	24	FELEKE, Getu	ゲトゥ・フェレケ	ETH	2012. 04. 15	Rotterdam
	42 2:04:52	26	LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	2012. 10. 07	Chicago
	42 2:04:52	26	NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH	2013. 01. 25	Dubai
	44 2:04:53		GEBRSELASSIE, Haile			2008. 01. 18	Dubai
★	44 2:04:53	28	KOECH, Bernard	バーナード・コエチ	KEN	2013. 01. 25	Dubai
	46 2:04:54	29	GENETI, Markos	マルコス・ゲネテ	ETH	2012. 01. 27	Dubai
	47 2:04:55	30	TERGAT, Paul	ポール・テルガト	KEN	2003. 09. 28	Berlin
	47 2:04:55		MUTAI, Geoffrey			2010. 04. 11	Rotterdam
	47 2:04:55		BIWOTT, Stanley			2014. 04. 13	London
	50 2:04:56	31	KORIR, Sammy	サミー・コリル	KEN	2003. 09. 28	Berlin
	50 2:04:56	31	MAIYO, Jonathan	ジョナサン・マイヨ	KEN	2012. 01. 27	Dubai

※2017年2月3日現在／As of February 3, 2017

世界歴代パフォーマンストップ50　女子

All-Time Top 50 World Marathon Performances WOMEN

★ 2017 大会出場選手

	Performance Time 記録		Name 名前		Nation 国	Date 日付	Venue 大会名
	1 2:15:25	1	RADCLIFFE, Paula	ポーラ・ラドクリフ	GBR	2003. 04. 13	London
	2 2:17:18		RADCLIFFE, Paula			2002. 10. 13	Chicago
	3 2:17:42		RADCLIFFE, Paula			2005. 04. 17	London
	4 2:18:37	2	KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2012. 04. 22	London
	5 2:18:47	3	NDEREBA, Catherine	キャサリン・ヌデレバ	KEN	2001. 10. 07	Chicago
	6 2:18:56		RADCLIFFE, Paula			2002. 04. 14	London
	7 2:18:58	4	GELANA, Tiki	ティキ・ゲラナ	ETH	2012. 04. 15	Rotterdam
	8 2:19:12	5	NOGUCHI, Mizuki	野口　みずき	JPN	2005. 09. 25	Berlin
	9 2:19:19	6	MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008. 09. 28	Berlin
	9 2:19:19		KEITANY, Mary			2011. 04. 17	London
	11 2:19:25	7	CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2015. 09. 27	Berlin
	12 2:19:26		NDEREBA, Catherine			2002. 10. 13	Chicago
	13 2:19:31	8	MERGIA, Aselefech	アセレフェチ・メルギア	ETH	2012. 01. 27	Dubai
★	14 2:19:34	9	KABUU, Lucy	ルーシー・カブー	KEN	2012. 01. 27	Dubai
	15 2:19:36	10	KASTOR, Deena	ディーナ・カスター	USA	2006. 04. 23	London
	16 2:19:39	11	SUN, Yingjie	孫　英傑	CHN	2003. 10. 19	Beijing
	17 2:19:41	12	SHIBUI, Yoko	渋井　陽子	JPN	2004. 09. 26	Berlin
	17 2:19:41	12	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2016. 01. 22	Dubai
	19 2:19:44	14	KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キプラガト	KEN	2011. 09. 25	Berlin
	20 2:19:46	15	TAKAHASHI, Naoko	高橋　尚子	JPN	2001. 09. 30	Berlin
	21 2:19:50	16	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キプラガト	KEN	2012. 04. 22	London
	22 2:19:51	17	ZHOU, Chunxiu	周　春秀	CHN	2006. 03. 12	Seoul
	23 2:19:52	18	DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2012. 01. 27	Dubai
	23 2:19:52		DIBABA, Mare			2015. 01. 03	Xiamen
	25 2:19:55		NDEREBA, Catherine			2003. 04. 13	London
	26 2:19:57	19	JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2013. 10. 13	Chicago
	27 2:20:02		MERGIA, Aselefech			2015. 01. 23	Dubai
	28 2:20:03		CHERONO, Gladys			2015. 01. 23	Dubai
	29 2:20:14	20	JEPTOO, Priscah	プリスカ・ジェプトゥー	KEN	2012. 04. 22	London
	30 2:20:15		JEPTOO, Priscah			2013. 04. 21	London
	31 2:20:18		TSEGAYE, Tirfi			2014. 09. 28	Berlin
	32 2:20:21		KIPLAGAT, Edna			2014. 04. 13	London
	32 2:20:21		KABUU, Lucy			2015. 01. 23	Dubai
	34 2:20:24		KIPLAGAT, Florence			2014. 04. 13	London
	35 2:20:27	21	TADESE, Feyse	フェイセ・タデセ	ETH	2014. 09. 28	Berlin
	36 2:20:30	22	BEKELE, Bezunesh	ベズネッシュ・ベケレ	ETH	2012. 01. 27	Dubai
	36 2:20:30	22	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	2012. 09. 30	Berlin
	38 2:20:33		KEBEDE, Aberu			2012. 01. 27	Dubai
	39 2:20:35	24	DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2014. 04. 13	London
	40 2:20:38		ZHOU, Chunxiu			2007. 04. 22	London
	41 2:20:42	25	ADERE, Berhane	ベルハネ・アデレ	ETH	2006. 10. 22	Chicago
	42 2:20:43	26	LOROUPE, Tegla	テグラ・ロルーペ	KEN	1999. 09. 26	Berlin
	42 2:20:43	26	OKAYO, Margaret	マーガレット・オカヨ	KEN	2002. 04. 15	Boston
	44 2:20:45		KEBEDE, Aberu			2016. 09. 25	Berlin
	45 2:20:46		KIPLAGAT, Edna			2011. 04. 17	London
	46 2:20:47		LOROUPE, Tegla			1998. 04. 19	Rotterdam
	46 2:20:47	28	BOGOMOLOVA, Galina	ガリーナ・ボゴモロワ	RUS	2006. 10. 22	Chicago
	48 2:20:48	29	SUMGONG, Jemima Jelagat	ジェミマ・ジェラガト・スムゴング	KEN	2013. 10. 13	Chicago
	48 2:20:48		KEBEDE, Aberu			2015. 09. 27	Berlin
★	48 2:20:48	29	BERISO, Amane	アマネ・ベリソ	ETH	2016. 01. 22	Dubai

※ 2017 年 2 月 3 日現在／ As of February 3, 2017

日本歴代パフォーマンストップ50　男子

All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances MEN

★ 2017大会出場選手

	Performance Time 記録		名前	Name	Team 所属	Date 日付	Venue 大会名
	1 2:06:16	1	高岡　寿成	TAKAOKA, Toshinari	カネボウ	2002. 10. 13	シカゴ
	2 2:06:51	2	藤田　敦史	FUJITA, Atsushi	富士通	2000. 12. 03	福岡国際
	3 2:06:57	3	犬伏　孝行	INUBUSHI, Takayuki	大塚製薬	1999. 09. 26	ベルリン
	4 2:07:13	4	佐藤　敦之	SATO, Atsushi	中国電力	2007. 12. 02	福岡国際
	5 2:07:35	5	児玉　泰介	KODAMA, Taisuke	旭化成	1986. 10. 19	北京
★	6 2:07:39	6	今井　正人	IMAI, Masato	トヨタ自動車九州	2015. 02. 22	東京
	7 2:07:40	7	谷口　浩美	TANIGUCHI, Hiromi	旭化成	1988. 10. 16	北京
	8 2:07:41		高岡　寿成		カネボウ	2005. 02. 13	東京国際
★	9 2:07:48	8	藤原　新	FUJIWARA, Arata	東京陸協	2012. 02. 26	東京
	10 2:07:50		高岡　寿成		カネボウ	2004. 10. 10	シカゴ
	11 2:07:52	9	油谷　繁	ABURAYA, Shigeru	中国電力	2001. 03. 04	びわ湖毎日
	11 2:07:52	9	国近　友昭	KUNICHIKA, Tomoaki	エスビー食品	2003. 12. 07	福岡国際
	13 2:07:55	11	諏訪　利成	SUWA, Toshinari	日清食品	2003. 12. 07	福岡国際
	14 2:07:57	12	伊藤　国光	ITO, Kunimitsu	鐘　紡	1986. 10. 19	北京
	15 2:07:59	13	森下　由輝	MORISHITA, Yoshiteru	旭化成	2001. 03. 04	びわ湖毎日
	15 2:07:59		高岡　寿成		カネボウ	2003. 12. 07	福岡国際
★	17 2:08:00	14	前田　和浩	MAEDA, Kazuhiro	九電工	2013. 02. 24	東京
	18 2:08:05	15	三木　弘	MIKI, Hiroshi	旭化成	1999. 02. 14	東京 NY
	19 2:08:07	16	早田　俊幸	HAYATA, Toshiyuki	アラコ	1997. 12. 07	福岡
	20 2:08:09	17	松村　康平	MATSUMURA, Kohei	三菱重工長崎	2014. 02. 23	東京
	21 2:08:12	18	藤原　正和	FUJIWARA, Masakazu	中　大	2003. 03. 02	びわ湖毎日
	22 2:08:14	19	川内　優輝	KAWAUCHI, Yuki	埼玉県庁	2013. 03. 17	ソウル国際
	23 2:08:15	20	中山　竹通	NAKAYAMA, Takeyuki	ダイエー	1985. 04. 14	ワールドカップ
	23 2:08:15		川内　優輝		埼玉県庁	2013. 02. 03	別府大分毎日
	25 2:08:16		犬伏　孝行		大塚製薬	2000. 02. 13	東京国際
	26 2:08:18	21	小島　忠幸	OJIMA, Tadayuki	旭化成	2004. 03. 07	びわ湖毎日
	26 2:08:18		中山　竹通		ダイエー	1987. 12. 06	福岡国際
	28 2:08:21		中山　竹通		ダイエー	1986. 10. 05	アジア大会
	29 2:08:24	22	堀端　宏行	HORIBATA, Hiroyuki	旭化成	2012. 12. 02	福岡国際
	30 2:08:27	23	瀬古　利彦	SEKO, Toshihiko	エスビー食品	1986. 10. 26	シカゴ
	31 2:08:28	24	清水　康次	SHIMIZU, Koji	ＮＴＴ西日本	2003. 03. 02	びわ湖毎日
	32 2:08:35	25	武井　隆次	TAKEI, Ryuji	エスビー食品	2002. 03. 03	びわ湖毎日
	32 2:08:35	25	中本　健太郎	NAKAMOTO, Kentaro	安川電機	2013. 02. 03	別府大分毎日
	34 2:08:36	27	大崎　悟史	OSAKI, Satoshi	ＮＴＴ西日本	2008. 03. 02	びわ湖毎日
	34 2:08:36		佐藤　敦之		中国電力	2004. 03. 07	びわ湖毎日
	36 2:08:37	28	尾方　剛	OGATA, Tsuyoshi	中国電力	2003. 12. 07	福岡国際
	36 2:08:37		川内　優輝		埼玉陸協	2011. 02. 27	東京
	38 2:08:38		前田　和浩		九電工	2012. 02. 26	東京
	38 2:08:38		瀬古　利彦		エスビー食品	1983. 02. 13	東京 NY
	40 2:08:40		藤原　新		ＪＲ東日本	2008. 02. 17	東京
	41 2:08:43	29	小島　宗幸	OJIMA, Muneyuki	旭化成	1998. 03. 01	びわ湖毎日
	41 2:08:43		中山　竹通		ダイエー	1986. 02. 09	東京国際
	43 2:08:44	30	山本　亮	YAMAMOTO, Ryo	佐川急便	2012. 03. 04	びわ湖毎日
	44 2:08:45	31	西田　隆維	NISHIDA, Takayuki	エスビー食品	2001. 02. 04	別府大分毎日
	45 2:08:46		小島　宗幸		旭化成	1999. 04. 18	ロッテルダム
	45 2:08:46		大崎　悟史		ＮＴＴ大阪	2004. 02. 08	東京国際
	47 2:08:47	32	佐保　希	SAHO, Nozomi	旭化成	1997. 12. 07	福岡国際
	48 2:08:48	33	佐藤　信之	SATO, Nobuyuki	旭化成	1998. 12. 06	福岡国際
	48 2:08:48		小島　忠幸		旭化成	2003. 12. 07	福岡国際
	50 2:08:49	34	奥谷　亘	OKUTANI, Wataru	SUBARU	2006. 12. 03	福岡国際

※2017年2月3日現在／As of February 3, 2017

日本歴代パフォーマンストップ50　女子

All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances WOMEN

Performance Time 記録		名前	Name	Team 所属	Date 日付	Venue 大会名
1	2:19:12	1 野口　みずき	NOGUCHI, Mizuki	グローバリー	2005. 09. 25	ベルリン
2	2:19:41	2 渋井　陽子	SHIBUI, Yoko	三井住友海上	2004. 09. 26	ベルリン
3	2:19:46	3 高橋　尚子	TAKAHASHI, Naoko	積水化学	2001. 09. 30	ベルリン
4	2:21:18	野口　みずき		グローバリー	2003. 01. 26	大阪国際女子
5	2:21:22	渋井　陽子		三井住友海上	2002. 10. 13	シカゴ
6	2:21:37	野口　みずき		シスメックス	2007. 11. 18	東京国際女子
7	2:21:45	4 千葉　真子	CHIBA, Masako	豊田自動織機	2003. 01. 26	大阪国際女子
8	2:21:49	高橋　尚子		積水化学	2002. 09. 29	ベルリン
9	2:21:51	5 坂本　直子	SAKAMOTO, Naoko	天満屋	2003. 01. 26	大阪国際女子
10	2:22:12	6 山口　衛里	YAMAGUCHI, Eri	天満屋	1999. 11. 21	東京国際女子
11	2:22:17	7 福士　加代子	FUKUSHI, Kayoko	ワコール	2016. 01. 31	大阪国際女子
12	2:22:19	高橋　尚子		積水化学	2000. 03. 12	名古屋国際女子
13	2:22:46	8 土佐　礼子	TOSA, Reiko	三井住友海上	2002. 04. 14	ロンドン
14	2:22:48	9 前田　彩里	MAEDA, Sairi	ダイハツ	2015. 03. 08	名古屋ウィメンズ
15	2:22:56	10 弘山　晴美	HIROYAMA, Harumi	資生堂	2000. 01. 30	大阪国際女子
16	2:23:11	渋井　陽子		三井海上	2001. 01. 28	大阪国際女子
17	2:23:14	高橋　尚子		積水化学	2000. 09. 24	オリンピック
18	2:23:19	11 田中　智美	TANAKA, Tomomi	第一生命	2016. 03. 13	名古屋ウィメンズ
19	2:23:20	12 小原　怜	OHARA, Rei	天満屋	2016. 03. 13	名古屋ウィメンズ
20	2:23:23	13 重友　梨佐	SHIGETOMO, Risa	天満屋	2012. 01. 29	大阪国際女子
21	2:23:26	弘山　晴美		資生堂	2006. 03. 12	名古屋国際女子
21	2:23:26	14 大南　博美	OMINAMI, Hiromi	ＵＦＪ銀行	2004. 09. 26	ベルリン
23	2:23:30	15 小﨑　まり	OZAKI, Mari	ノーリツ	2003. 01. 26	大阪国際女子
23	2:23:30	16 尾崎　好美	OZAKI, Yoshimi	第一生命	2008. 11. 16	東京国際女子
25	2:23:34	17 木﨑　良子	KIZAKI, Ryoko	ダイハツ	2013. 03. 10	名古屋ウィメンズ
26	2:23:42	渋井　陽子		三井住友海上	2009. 01. 25	大阪国際女子
27	2:23:43	18 大南　敬美	OMINAMI, Takami	ＵＦＪ銀行	2002. 04. 21	ロッテルダム
28	2:23:48	19 原　裕美子	HARA, Yumiko	京セラ	2007. 01. 28	大阪国際女子
29	2:23:56	尾崎　好美		第一生命	2011. 02. 20	横浜国際女子
30	2:23:57	土佐　礼子		三井住友海上	2004. 03. 14	名古屋国際女子
31	2:23:58	渋井　陽子		三井住友海上	2006. 03. 12	名古屋国際女子
32	2:23:59	小﨑　まり		ノーリツ	2005. 01. 30	大阪国際女子
33	2:24:05	野口　みずき		シスメックス	2013. 03. 10	名古屋ウィメンズ
34	2:24:09	20 赤羽　有紀子	AKABA, Yukiko	ホクレン	2011. 04. 17	ロンドン
35	2:24:14	尾崎　好美		第一生命	2012. 03. 11	名古屋ウィメンズ
35	2:24:14	野口　みずき		グローバリー	2003. 08. 31	世界選手権
37	2:24:19	原　裕美子		京セラ	2005. 03. 13	名古屋国際女子
38	2:24:20	原　裕美子		京セラ	2005. 08. 14	世界選手権
40	2:24:21	福士　加代子		ワコール	2013. 01. 27	大阪国際女子
41	2:24:25	21 大島（田中）めぐみ	OSHIMA, Megumi	しまむら	2005. 03. 13	名古屋国際女子
41	2:24:25	福士　加代子		ワコール	2015. 10. 11	シカゴ
43	2:24:27	22 加納　由理	KANO, Yuri	ＳＷＡＣ	2008. 11. 16	東京国際女子
44	2:24:28	23 中里　麗美	NAKAZATO, Remi	ダイハツ	2012. 03. 11	名古屋ウィメンズ
45	2:24:29	中里　麗美		ダイハツ	2011. 02. 20	横浜国際女子
46	2:24:32	24 清田　真央	KIYOTA, Mao	スズキ浜松ＡＣ	2016. 03. 13	名古屋ウィメンズ
47	2:24:33	25 松岡　理恵	MATSUOKA, Rie	天満屋	2002. 04. 07	パリ
47	2:24:33	25 森本　友	MORIMOTO, Tomo	天満屋	2006. 05. 07	ウィーン
49	2:24:34	弘山　晴美		資生堂	2002. 01. 27	大阪国際女子
49	2:24:36	土佐　礼子		三井海上	2000. 03. 12	名古屋国際女子
50	2:24:38	福士　加代子		ワコール	2011. 10. 09	シカゴ
50	2:24:38	27 岩出　玲亜	IWADE, Reia	ノーリツ	2016. 03. 13	名古屋ウィメンズ

※2017年２月３日現在／As of February 3, 2017

アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50　男子

Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 MEN

Performance Time 記録		Name 名前		Team 所属	Date 日付	Venue 大会名
1	2:02:57	1 KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014. 09. 28	Berlin
2	2:03:02	2 MUTAI, Geoffrey	ジョフリー・ムタイ	KEN	2011. 04. 18	Boston
3	2:03:03	3 BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2016. 09. 25	Berlin
4	2:03:05	4 KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2016. 04. 24	London
5	2:03:06	5 MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2011. 04. 18	Boston
6	2:03:13	6 MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014. 09. 28	Berlin
6	2:03:13	6 KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2016. 09. 25	Berlin
8	2:03:23	KIPSANG, Wilson			2013. 09. 29	Berlin
9	2:03:38	8 MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011. 09. 25	Berlin
10	2:03:45	KIMETTO, Dennis			2013. 10. 13	Chicago
11	2:03:51	9 BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2016. 04. 24	London
12	2:03:52	MUTAI, Emmanuel			2013. 10. 13	Chicago
13	2:03:59	10 GEBRSELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2008. 09. 28	Berlin
14	2:04:00	KIPCHOGE, Eliud			2015. 09. 27	Berlin
15	2:04:05	KIPCHOGE, Eliud			2013. 09. 29	Berlin
16	2:04:11	KIPCHOGE, Eliud			2014. 10. 12	Chicago
17	2:04:15	MUTAI, Geoffrey			2012. 09. 30	Berlin
18	2:04:16	KIMETTO, Dennis			2012. 09. 30	Berlin
19	2:04:26	GEBRSELASSIE, Haile			2007. 09. 30	Berlin
20	2:04:28	11 KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014. 10. 12	Chicago
21	2:04:29	KIPSANG, Wilson			2014. 04. 13	London
22	2:04:32	12 CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2014. 10. 12	Chicago
23	2:04:38	13 KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012. 10. 07	Chicago
24	2:04:40	MUTAI, Emmanuel			2011. 04. 17	London
25	2:04:42	KIPCHOGE, Eliud			2015. 04. 26	London
26	2:04:44	KIPSANG, Wilson			2012. 04. 22	London
27	2:04:47	KIPSANG, Wilson			2015. 04. 26	London
28	2:04:52	14 LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	2012. 10. 07	Chicago
29	2:04:53	15 GEBREMARIAM, Gebregziabher	ゲブレグジャベル・ゲブレマリアム	ETH	2011. 04. 18	Boston
30	2:04:55	BIWOTT, Stanley			2014. 04. 13	London
31	2:04:58	16 HALL, Ryan	ライアン・ホール	USA	2011. 04. 18	Boston
32	2:05:06	MUTAI, Geoffrey			2011. 11. 06	New York
33	2:05:08	MAKAU, Patrick			2010. 09. 26	Berlin
34	2:05:10	17 WANJIRU, Samuel	サムエル・ワンジル	KEN	2009. 04. 26	London
34	2:05:10	MUTAI, Geoffrey			2010. 09. 26	Berlin
36	2:05:15	18 LEL, Martin	マーティン・レル	KEN	2008. 04. 13	London
37	2:05:16	KITWARA, Sammy			2013. 10. 13	Chicago
38	2:05:19	KEBEDE, Tsegaye			2010. 04. 25	London
39	2:05:20	KEBEDE, Tsegaye			2009. 04. 26	London
40	2:05:21	19 KIPTANUI, Eliud	エリウド・キプタヌイ	KEN	2015. 09. 27	Berlin
41	2:05:24	WANJIRU, Samuel			2008. 04. 13	London
42	2:05:25	20 WORKU, Bazu	バズ・ウォルク	ETH	2010. 09. 26	Berlin
43	2:05:27	21 GHARIB, Jaouad	ジャウアド・ガリブ	MAR	2009. 04. 26	London
43	2:05:27	21 REGASSA, Tilahun	ティラウン・レガサ	ETH	2012. 10. 07	Chicago
45	2:05:30	23 GOUMRI, Abderrahim	アブデラヒム・グムリ	MAR	2008. 04. 13	London
46	2:05:31	24 CHEBET, Evans	エバンス・チェベト	KEN	2016. 09. 25	Berlin
47	2:05:36	25 KWAMBAI, James	ジェームズ・クワンバイ	KEN	2008. 09. 28	Berlin
48	2:05:37	MOSOP, Moses			2011. 10. 09	Chicago
49	2:05:41	WANJIRU, Samuel			2009. 10. 11	Chicago
50	2:05:42	CHUMBA, Dickson			2014. 02. 23	Tokyo

※ 2006 年以降のワールドマラソンメジャーズでの記録を対象
※ List starts from 2006 when World Marathon Majors were inaugurated

アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50　女子

Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50　WOMEN

Performance Time 記録		Name 名前			Team 所属	Date 日付	Venue 大会名
1	2:18:37	1	KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2012. 04. 22	London
2	2:19:19	2	MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008. 09. 28	Berlin
2	2:19:19		KEITANY, Mary			2011. 04. 17	London
4	2:19:25	3	CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2015. 09. 27	Berlin
5	2:19:36	4	KASTOR, Deena	ディーナ・カスター	USA	2006. 04. 23	London
6	2:19:44	5	KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キプラガト	KEN	2011. 09. 25	Berlin
7	2:19:50	6	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キプラガト	KEN	2012. 04. 22	London
8	2:19:57	7	JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2013. 10. 13	Chicago
9	2:19:59	8	DEBA, Buzunesh	ブズネシュ・ディバ	ETH	2014. 04. 21	Boston
10	2:20:14	9	JEPTOO, Priscah	プリスカ・ジェプトゥー	KEN	2012. 04. 22	London
11	2:20:15		JEPTOO, Priscah			2013. 04. 21	London
12	2:20:18	10	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2014. 09. 28	Berlin
13	2:20:21		KIPLAGAT, Edna			2014. 04. 13	London
14	2:20:24		KIPLAGAT, Florence			2014. 04. 13	London
15	2:20:27	11	TADESE, Feyse	フェイセ・タデセ	ETH	2014. 09. 28	Berlin
16	2:20:30	12	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	2012. 09. 30	Berlin
17	2:20:35	13	DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2014. 04. 13	London
17	2:20:35	14	DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2014. 04. 21	Boston
19	2:20:38	15	ZHOU, Chanxiu	周　春秀	CHN	2007. 04. 22	London
20	2:20:41	16	SUMUGONG, Jemima	ジェミマ・ジェラガト	KEN	2014. 04. 21	Boston
21	2:20:42	17	ADERE, Berhane	ベルハネ・アデレ	ETH	2006. 10. 22	Chicago
22	2:20:45		KEBEDE, Aberu			2016. 09. 25	Berlin
23	2:20:46		KIPLAGAT, Edna			2011. 04. 17	London
24	2:20:47	18	BOGOMOLOVA, Galina	ガリーナ・ボゴモロワ	RUS	2006. 10. 22	Chicago
25	2:20:48		SUMUGONG, Jemima			2013. 10. 13	Chicago
24	2:20:48		KEBEDE, Aberu			2015. 09. 27	Berlin
27	2:20:57		KIPLAGAT, Florence			2012. 04. 22	London
28	2:21:13		KIPLAGAT, Florence			2013. 09. 29	Berlin
29	2:21:14	19	FLANAGAN, Shalane	シャレーン・フラナガン	USA	2014. 09. 28	Berlin
30	2:21:19		TSEGAYE, Tirfi			2012. 09. 30	Berlin
31	2:21:27	20	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロプ	KEN	2016. 02. 28	Tokyo
32	2:21:28	21	MELKAMU, Meselech	メセレク・メルカム	ETH	2014. 04. 21	Boston
33	2:21:29	22	PETROVA, Lyudmila	リュドミラ・ペトロワ	RUS	2006. 04. 23	London
33	2:21:29	23	DULIBA, Aleksandra	アレクサンドラ・デュリバ	BLR	2014. 04. 21	Boston
35	2:21:31	24	TAFA, Askale	アスカレ・タファ	ETH	2008. 09. 28	Berlin
36	2:21:32		KIPLAGAT, Edna			2013. 04. 21	London
36	2:21:32		KIPLAGAT, Florence			2016. 10. 09	Chicago
38	2:21:34	25	WAMI, Gete	ゲテ・ワミ	ETH	2006. 09. 24	Berlin
39	2:21:42		TADESE, Feyse			2014. 04. 13	London
40	2:21:45		WAMI, Gete			2007. 04. 22	London
41	2:21:46	26	CHEPKEMEI, Susan	スーザン・チェプケメイ	KEN	2006. 04. 23	London
42	2:21:51	27	GOBENA, Amane	アマネ・ゴベナ	ETH	2016. 02. 28	Tokyo
43	2:21:52		ADERE, Berhane			2006. 04. 23	London
44	2:21:58		BOGOMOLOVA, Galina			2006. 04. 23	London
45	2:22:02		FLANAGAN, Shalane			2014. 04. 21	Boston
46	2:22:03	28	BAYSA, Atsede	アツェデ・バイッサ	ETH	2012. 10. 07	Chicago
47	2:22:04		JEPTOO, Rita			2012. 10. 07	Chicago
48	2:22:09	29	DIBABA, Ejegayehu	エジェガエフ・ディババ	ETH	2011. 10. 09	Chicago
49	2:22:11		MIKITENKO, Irina			2009. 04. 26	London
50	2:22:18		MIKITENKO, Irina			2011. 09. 25	Berlin

※ 2006 年以降のワールドマラソンメジャーズでの記録を対象
※ List starts from 2006 when World Marathon Majors were inaugurated

日本国内パフォーマンストップ50 男子

Japan All Comers Top 50 Marathon Performances MEN

Performance Time 記録		Name 名前		Nation 国	Place 順位	Venue 大会名	Date 日付
1	2:05:18	KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	1	Fukuoka	2009. 12. 06
2	2:05:42	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	1	Tokyo	2014. 02. 23
3	2:05:57	TOLA, Tadese	タデセ・トラ	ETH	2	Tokyo	2014. 02. 23
4	2:06:00	NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH	1	Tokyo	2015. 02. 22
5	2:06:10	KEBEDE, Tsegaye			1	Fukuoka	2008. 12. 07
6	2:06:13	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	1	Otsu (Lake Biwa)	2011. 03. 06
7	2:06:30	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	3	Tokyo	2014. 02. 23
8	2:06:33	THYS, Gert	ゲルト・タイス	RSA	1	Tokyo	1999. 02. 14
8	2:06:33	KIPROTICH, Stephen	ステファン・キプロティチ	UGA	2	Tokyo	2015. 02. 22
10	2:06:34	CHUMBA, Dickson			3	Tokyo	2015. 02. 22
11	2:06:39	WANJIRU, Samuel	サムエル・ワンジル	KEN	1	Fukuoka	2007. 12. 02
12	2:06:50	EJIGU, Deriba Merga	デリバ・メルガ	ETH	2	Fukuoka	2007. 12. 02
12	2:06:50	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	1	Tokyo	2013. 02. 24
14	2:06:51	FUJITA, Atsushi	藤田　敦史	JPN	1	Fukuoka	2000. 12. 03
15	2:06:52	GEBRSELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	1	Fukuoka	2006. 12. 03
16	2:06:56	LILESA, Feyisa	フェイサ・リレラ	ETH	1	Tokyo	2016. 02. 28
17	2:06:58	GITAU, Joseph	ジョセフ・ギタウ	KEN	1	Fukuoka	2012. 12. 02
17	2:06:58	KIPYEGO, Michael	マイケル・キピエゴ	KEN	2	Tokyo	2013. 02. 24
17	2:06:58	KIPYEGO, Michael			4	Tokyo	2014. 02. 23
20	2:07:04	NDUNGU, Samuel	サムエル・ドゥング	KEN	1	Otsu (Lake Biwa)	2012. 03. 04
21	2:07:05	SOME, Peter	ピーター・ソメ	KEN	5	Tokyo	2014. 02. 23
22	2:07:13	SATO, Atsushi	佐藤　敦之	JPN	3	Fukuoka	2007. 12. 02
23	2:07:15	KOSGEI, Japhet	ジャフェット・コスゲイ	KEN	1	Tokyo	2000. 02. 13
23	2:07:15	BARANOVSKIY, Dmitriy	ドミトリー・バラノフスキー	UKR	2	Fukuoka	2006. 12. 03
25	2:07:16	MATHATH, Martin	マーティン・マサシ	KEN	1	Fukuoka	2013. 12. 01
26	2:07:19	GHARIB, Jaouad	ジャウアド・ガリブ	MAR	3	Fukuoka	2006. 12. 03
27	2:07:20	BONG-JU, Lee	李　鳳柱	KOR	2	Tokyo	2000. 02. 13
27	2:07:20	DECHASA, Shumi	シュミ・デチャサ	BRN	4	Tokyo	2015. 02. 22
29	2:07:22	SOME, Peter			5	Tokyo	2015. 02. 22
30	2:07:23	RöTHLIN, Viktor	ビクトル・ロスリン	SUI	1	Tokyo	2008. 02. 18
31	2:07:25	GENETI, Markos	マルコス・ゲネティ	ETH	6	Tokyo	2015. 02. 22
32	2:07:28	THUGWANE, Josiah	ジョサイア・チュグワネ	RSA	1	Fukuoka	1997. 12. 07
33	2:07:33	KIPYEGO, Bernard	バーナード・キピエゴ	KEN	2	Tokyo	2016. 02. 28
34	2:07:34	PEñA, Antonio	アントニオ・ペーニャ	ESP	1	Otsu (Lake Biwa)	2001. 03. 04
34	2:07:34	CHUMBA, Dickson			3	Tokyo	2016. 02. 28
36	2:07:35	MEKONNEN, Hailu	ハイル・メコネン	ETH	1	Tokyo	2011. 02. 27
37	2:07:36	NDAMBIRI, Josphat	ジョセファト・ダビリ	KEN	1	Fukuoka	2011. 12. 04
38	2:07:37	KIPYEGO, Michael			1	Tokyo	2012. 02. 26
38	2:07:37	KIPSANG, Geoffrey	ジェオフォリー・キプサング	KEN	6	Tokyo	2014. 02. 23
40	2:07:39	KOSGEI, Japhhet			1	Otsu (Lake Biwa)	2003. 03. 02
40	2:07:39	SZOST, Henryk	ヘンリク・ゾスト	POL	2	Otsu (Lake Biwa)	2012. 03. 04
40	2:07:39	IMAI, Masato	今井　正人	JPN	7	Tokyo	2015. 02. 22
43	2:07:40	CHIMSA, Deressa	デレサ・チムサ	ETH	7	Tokyo	2014. 02. 23
44	2:07:41	TAKAOKA, Toshinari	高岡　寿成	JPN	1	Tokyo	2005. 02. 13
45	2:07:42	RIOS, Jose	ホセ・リオス	ESP	1	Otsu (Lake Biwa)	2004. 03. 07
46	2:07:46	KIPROTICH, Stephen			4	Tokyo	2016. 02. 28
47	2:07:48	FUJIWARA, Arata	藤原　新	JPN	2	Tokyo	2012. 02. 26
48	2:07:50	KIPROTICH, Stephen			3	Tokyo	2012. 02. 26
49	2:07:52	LEONE, Giacomo	ジャコモ・レオーネ	ITA	2	Otsu (Lake Biwa)	2001. 03. 04
49	2:07:52	ABURAYA, Shigeru	油谷　繁	JPN	3	Otsu (Lake Biwa)	2001. 03. 04
49	2:07:52	KUNICHIKA, Tomoaki	国近　友昭	JPN	1	Fukuoka	2003. 12. 07
49	2:07:52	TEKESTE, Kebede	ケベデ・テケステ	ETH	2	Fukuoka	2009. 12. 06

※2017年2月3日現在／As of February 3, 2017

日本国内パフォーマンストップ50 女子

Japan All Comers Top 50 Marathon Performances WOMEN

Performance Time 記録		Name 名前		Nation 国	Place 順位	Venue 大会名	Date 日付
1	2:21:18	NOGUCHI, Mizuki	野口　みずき	JPN	1	Osaka	2003. 01. 26
2	2:21:27	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロプ	KEN	1	Tokyo	2016. 02. 28
2	2:21:37	NOGUCHI, Mizuki			1	Tokyo	2007. 11. 18
4	2:21:45	CHIBA, Masako	千葉　真子	JPN	2	Osaka	2003. 01. 26
5	2:21:51	SAKAMOTO, Naoko	坂本　直子	JPN	3	Osaka	2003. 01. 26
5	2:21:51	GOBENA, Amane	アマネ・ゴベナ	ETH	2	Tokyo	2016. 02. 28
7	2:22:08	KIRWA, Eunice	ユニス・キルワ	BRN	1	Nagoya	2015. 03. 08
8	2:22:12	YAMAGUCHI, Eri	山口　衛里	JPN	1	Tokyo	1999. 11. 21
9	2:22:17	FUKUSHI, Kayoko	福士　加代子	JPN	1	Osaka	2016. 01. 31
10	2:22:19	TAKAHASHI, Naoko	高橋　尚子	JPN	1	Nagoya	2000. 03. 12
11	2:22:22	KIPLAGAT, Lornah	ローナ・キプラガト	KEN	4	Osaka	2003. 01. 26
12	2:22:23	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	1	Tokyo	2014. 02. 23
13	2:22:30	DIBABA, Berhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2	Tokyo	2014. 02. 23
14	2:22:36	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キプラガト	KEN	3	Tokyo	2016. 02. 28
15	2:22:40	KIRWA, Eunice			1	Nagoya	2016. 03. 13
16	2:22:48	MAEDA, Sairi	前田　彩里	JPN	2	Nagoya	2015. 03. 08
17	2:22:54	SIMON, Lidia	リディア・シモン	ROM	1	Osaka	2000. 01. 30
18	2:22:56	HIROYAMA, Harumi	弘山　晴美	JPN	2	Osaka	2000. 01. 30
19	2:22:56	PROKOPCUKA, Jelena	エレナ・プロコプツカ	LAT	1	Osaka	2005. 01. 30
20	2:23:01	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	4	Tokyo	2016. 02. 28
21	2:23:07	CHEROMEI, Lydia	リディア・チェロメイ	KEN	1	Yokohama	2012. 11. 18
22	2:23:11	SHIBUI, Yoko	渋井　陽子	JPN	1	Osaka	2001. 01. 28
23	2:23:15	DIBABA, Berhane			1	Tokyo	2015. 02. 22
24	2:23:16	DIBABA, Berhane			5	Tokyo	2016. 02. 28
25	2:23:18	DANIEL, Flomena	フロメナ・ダニエル	KEN	1	Saitama	2016. 11. 13
26	2:23:19	TANAKA, Tomomi	田中　智美	JPN	2	Nagoya	2016. 03. 13
27	2:23:20	OHARA, Rei	小原　怜	JPN	3	Nagoya	2016. 03. 13
28	2:23:23	SHIGETOMO, Risa	重友　梨佐	JPN	1	Osaka	2012. 01. 29
29	2:23:24	SIMON, Lidia			1	Osaka	1999. 01. 31
30	2:23:26	HIROYAMA, Harumi			1	Nagoya	2006. 03. 12
31	2:23:30	OZAKI, Mari	小﨑　まり	JPN	5	Osaka	2003. 01. 26
31	2:23:30	OZAKI, Yoshimi	尾崎　好美	JPN	1	Tokyo	2008. 11. 16
33	2:23:31	WANJIRU, Esther	エスタ・ワンジロ	KEN	3	Osaka	2000. 01. 30
33	2:23:31	KOSGEI, Salina	サリナ・コスゲイ	KEN	2	Tokyo	2007. 11. 18
35	2:23:34	KIZAKI, Ryoko	木﨑　良子	JPN	1	Nagoya	2013. 03. 10
36	2:23:42	SHIBUI, Yoko			1	Osaka	2009. 01. 25
37	2:23:46	LOROUPE, Tegla	テグラ・ロルーペ	KEN	2	Osaka	1999. 01. 31
38	2:23:48	HARA, Yumiko	原　裕美子	JPN	1	Osaka	2007. 01. 28
39	2:23:51	ONDIEKI, Lisa	リサ・オンディエキ	AUS	1	Osaka	1988. 01. 31
39	2:23:51	DIBABA, Berhane			2	Nagoya	2013. 03. 10
41	2:23:52	MAYOROVA, Albina	アルビナ・マヨロワ	RUS	1	Nagoya	2012. 03. 11
42	2:23:55	KIPLAGAT, Lornah			1	Osaka	2002. 01. 27
43	2:23:56	OZAKI, Yoshimi			1	Yokohama	2011. 02. 20
44	2:23:57	TOSA, Reiko	土佐　礼子	JPN	1	Nagoya	2004. 03. 14
45	2:23:58	SHIBUI, Yoko			2	Nagoya	2006. 03. 12
46	2:23:59	OZAKI, Mari			2	Osaka	2005. 01. 30
47	2:24:02	CHEPCHUMBA, Joyce	ジョイス・チェプチュンバ	KEN	1	Tokyo	2000. 11. 19
48	2:24:03	KIPROP, Helah			2	Tokyo	2015. 02. 22
49	2:24:05	NOGUCHI, Mizuki			3	Nagoya	2013. 03. 10
50	2:24:07	PROKOPCUKA, Jelena			1	Nagoya	2014. 03. 09
50	2:24:07	PROKOPCUKA, Jelena			1	Osaka	2015. 01. 25

※2017年2月3日現在／As of February 3, 2017

東京マラソン パフォーマンストップ25

All-Time Top 25 Tokyo Marathon Performances

男子 Men

	Performance Time 記録	Name 名前		Nation 国	Place 順位	Date 日付
1	2:05:42	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	1	2014. 02. 23
2	2:05:57	TOLA, Tadese	タデセ・トラ	ETH	2	2014. 02. 23
3	2:06:00	NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH	1	2015. 02. 22
4	2:06:30	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	3	2014. 02. 23
5	2:06:33	KIPROTICH, Stephen	スティーブン・キプロティチ	UGA	2	2015. 02. 22
6	2:06:34	CHUMBA, Dickson			3	2015. 02. 22
7	2:06:50	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	1	2013. 02. 24
8	2:06:56	LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	1	2016. 02. 28
9	2:06:58	KIPYEGO, Michael	マイケル・キピエゴ	KEN	2	2013. 02. 24
9	2:06:58	KIPYEGO, Michael			4	2014. 02. 23
11	2:07:05	SOME, Peter	ピーター・ソメ	KEN	5	2014. 02. 23
12	2:07:20	DECHASA, Shumi	シュミ・デチャサ	BRN	4	2015. 02. 22
13	2:07:22	SOME, Peter			5	2015. 02. 22
14	2:07:23	ROTHLIN, Viktor	ビクトル・ロスリン	SUI	1	2008. 02. 17
15	2:07:25	GENETI, Markos	マルコス・ゲネティ	ETH	6	2015. 02. 22
16	2:07:33	KIPYEGO, Bernard	バーナード・キピエゴ	KEN	2	2016. 02. 28
17	2:07:34	CHUMBA, Dickson			3	2016. 02. 28
18	2:07:35	MEKONNEN, Hailu	ハイル・メコネン	ETH	1	2011. 02. 27
19	2:07:37	KIPYEGO, Michael			1	2012. 02. 26
19	2:07:37	KIPSANG, Geoffrey	ジョフリー・キプサング	KEN	6	2014. 02. 23
21	2:07:39	IMAI, Masato	今井　正人	JPN	7	2015. 02. 22
22	2:07:40	CHIMSA, Deressa	デレサ・チムサ	ETH	7	2014. 02. 23
23	2:07:46	KIPROTICH, Stephen			4	2016. 02. 28
24	2:07:48	FUJIWARA, Arata	藤原　新	JPN	2	2012. 02. 26
25	2:07:50	KIPROTICH, Stephen			3	2012. 02. 26

※2017年2月3日現在／As of February 3, 2017

女子 Women

	Performance Time 記録	Name 名前		Nation 国	Place 順位	Date 日付
1	2:21:27	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロプ	KEN	1	2016. 02. 28
2	2:21:51	GOBENA, Amane	アマネ・ゴベナ	ETH	2	2016. 02. 28
3	2:22:23	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	1	2014. 02. 23
4	2:22:30	DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2	2014. 02. 23
5	2:22:36	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キプラガト	KEN	3	2016. 02. 28
6	2:23:01	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	4	2016. 02. 28
7	2:23:15	DIBABA, Birhane			1	2015. 02. 22
8	2:23:16	DIBABA, Birhane			5	2016. 02. 28
9	2:24:03	KIPROP, Helah			2	2015. 02. 22
10	2:24:16	KABUU, Lucy	ルーシー・カブー	KEN	3	2014. 02. 23
11	2:24:26	GELANA, Tiki	ティキ・ゲラナ	ETH	3	2015. 02. 22
12	2:24:35	ROTICH, Caroline	キャロライン・ロティチ	KEN	4	2014. 02. 23
13	2:25:04	DEMISE, Shure	シュレ・デミセ	ETH	6	2016. 02. 28
14	2:25:28	HABTAMU, Atsede	アツェデ・ハブタム	ETH	1	2012. 02. 26
15	2:25:34	KEBEDE, Aberu		ETH	1	2013. 02. 24
16	2:25:38	NASUKAWA, Mizuho	那須川　瑞穂	JPN	1	2009. 03. 22
17	2:25:50	DIDO, Ashete	アシェテ・ディド	ETH	7	2016. 02. 28
18	2:26:00	ESAYIAS, Yeshi	イエシ・イセイアス	ETH	2	2012. 02. 26
19	2:26:01	ESAYIAS, Yeshi		ETH	2	2013. 02. 24
20	2:26:02	KIROP, Helena	ヘレナ・キロップ	KEN	3	2012. 02. 26
21	2:26:03	RONO, Janet	ジャネット・ロノ	KEN	5	2014. 02. 23
22	2:26:08	OKUBO, Eri	大久保　絵里	JPN	4	2012. 02. 26
23	2:26:41	MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	3	2013. 02. 24
24	2:26:43	CHEPYEGO, Kaptich	カプチッチ・チェピエゴ	KEN	4	2015. 02. 22
25	2:26:46	ARKHIPOVA, Tatiana	タチアナ・アルヒポワ	RUS	5	2012. 02. 26

※2017年2月3日現在／As of February 3, 2017

順位別最高記録

Best Marks for Places

※2017年2月3日時点/ As of February 3, 2017

日本国内順位別最高記録（男子） Best Marks for Places in Japan (Men)

順位 Place	記録 Time	氏名	Name	国 Nation	日付 Date	大会名 Venue
1	2:05:18	ツェガエ・ケベデ	KEBEDE, Tsegaye	ETH	2009. 12. 6	Fukuoka
2	2:05:57	タデセ・トラ	TOLA, Tadese	ETH	2014. 2. 23	Tokyo
3	2:06:30	サミー・キトワラ	KITWARA, Sammy	KEN	2014. 2. 23	Tokyo
4	2:06:58	マイケル・キピエゴ	KIPYEGO, Michael	KEN	2014. 2. 23	Tokyo
5	2:07:05	ピーター・ソメ	SOME, Peter	KEN	2014. 2. 23	Tokyo
6	2:07:25	マルコス・ゲネティ	GENETI, Markos	ETH	2015. 2. 22	Tokyo
7	2:07:39	今井　正人	IMAI, Masato	JPN	2015. 2. 22	Tokyo
8	2:07:58	ツェガエ・ケベデ	KEBEDE, Tsegaye	ETH	2015. 2. 22	Tokyo

日本国内順位別最高記録（女子） Best Marks for Places in Japan (Women)

順位 Place	記録 Time	氏名	Name	国 Nation	日付 Date	大会名 Venue
1	2:21:18	野口　みずき	NOGUCHI, Mizuki	JPN	2003. 1. 26	Osaka
2	2:21:45	千葉　真子	CHIBA, Masako	JPN	2003. 1. 26	Osaka
3	2:21:51	坂本　直子	SAKAMOTO, Naoko	JPN	2003. 1. 26	Osaka
4	2:22:22	ローナ・キプラガト	KIPLAGAT, Lornah	KEN	2003. 1. 26	Osaka
5	2:23:16	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	2016. 2. 28	Tokyo
6	2:25:04	シュレ・デミセ	DEMISE, Shure	ETH	2016. 2. 28	Tokyo
7	2:25:29	竹地　志帆	TAKECHI, Shiho	JPN	2016. 3. 13	Nagoya
8	2:26:08	赤羽　有紀子	AKABA, Yukiko	JPN	2012. 3. 11	Nagoya

世界順位別最高記録（男子） Best Marks for Places All Competitions (Men)

順位 Place	記録 Time	氏名	Name	国 Nation	日付 Date	大会名 Venue
1	2:02:57	デニス・キメット	KIMETTO, Dennis	KEN	2014. 9. 28	Berlin
2	2:03:06*	モーゼス・モソップ	MOSOP, Moses	KEN	2011. 4. 18	Boston
	2:03:13	エマニュエル・ムタイ	MUTAI, Emmanuel	KEN	2014. 9. 28	Berlin
	2:03:13	ウィルソン・キプサング	KIPSANG, Wilson	KEN	2016. 9. 25	Berlin
3	2:04:32	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	2014. 10. 12	Chicago
4	2:04:52	エンデショー・ネゲセ	NEGESSE, Endeshaw	ETH	2013. 1. 25	Dubai
5	2:04:53	バーナード・コエチ	KOECH, Bernard	ETH	2013. 1. 25	Dubai
6	2:05:41	ヤミ・ダディ	DADI, Yami	ETH	2012. 1. 27	Dubai
7	2:05:42	アブドラ・シャミ	SHAMI, Abdullah	ETH	2012. 1. 27	Dubai
8	2:05:42	デレサ・チムサ	CHIMSA, Deressa	ETH	2012. 1. 27	Dubai

*Boston Marathon is an unapproved course of IAAF.　*ボストンマラソンはIAAFの非公認コース

世界順位別最高記録（女子） Best Marks for Places All Competitions (Women)

順位 Place	記録 Time	氏名	Name	国 Nation	日付 Date	大会名 Venue
1	2:15:25	ポーラ・ラドクリフ	RADCLIFFE, Paula	GBR	2003. 4. 13	London
2	2:19:26	キャサリン・ヌデレバ	NDEREBA, Catherine	KEN	2002. 10. 13	Chicago
3	2:19:52	マレ・ディババ	DIBABA, Mare	ETH	2012. 1. 27	Dubai
4	2:20:30	ベズネッシュ・ベケレ	BEKELE, Bezunesh	ETH	2012. 1. 27	Dubai
5	2:20:33	アベル・ケベデ	KEBEDE, Aberu	ETH	2012. 1. 27	Dubai
6	2:21:30	リディア・チェロメイ	CHEROMEI, Lydia	KEN	2012. 1. 27	Dubai
7	2:22:39	シャロン・チェロップ	CHEROP, Sharon	KEN	2012. 1. 27	Dubai
8	2:23:13	アツェデ・バイッサ	BAYSA, Atsede	ETH	2012. 1. 27	Dubai

世界主要マラソン大会 結果

Resuits of World's Primary Marathons

2016年3月〜2017年1月／ March, 2016 – January, 2017

パリ / Paris 2016. 04.03

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	シプリアン・コツト	KOTUT, Cyprian	KEN　ケニア	2:07:11
	2	ラバン・コリル	KORIR, Laban	KEN　ケニア	2:07:29
	3	ステファン・チェムラニー	CHEMLANY, Stephen	KEN　ケニア	2:07:37
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ヴィシリン・ジェプケショ	JEPKESHO, Visiline	KEN　ケニア	2:25:53
	2	チャラ・グルメ	GULUME, Chala	ETH　エチオピア	2:26:14
	3	ディンクネシュ・メカシャ	MEKASH, Dinkinesh	ETH　エチオピア	2:28:11

ボストン / Boston (AbbottWMM) 2016. 04.18

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	レミ・ベルハヌ	BERHANU, Lemi	ETH　エチオピア	2:12:45
	2	レリサ・デシサ	DESISA, Lelisa	ETH　エチオピア	2:13:32
	3	イエマネ・ツェガエ	TSEGAY, Yemane	ETH　エチオピア	2:14:02
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	アツェデ・バイッサ	BAYSA, Atsede	ETH　エチオピア	2:29:19
	2	ティルフィ・ツェガエ	TSEGAYE, Tirfi	ETH　エチオピア	2:30:03
	3	ジョイス・チェプキルイ	CHEPKIRUI, Joyce	KEN　ケニア	2:30:50

ロンドン / London (AbbottWMM) 2016. 04.24

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エリウド・キプチョゲ	KIPCHOGE, Eliud	KEN　ケニア	2:03:05
	2	スタンレー・ビウォット	BIWOTT, Stanley	KEN　ケニア	2:03:51
	3	ケネニサ・ベケレ	BEKELE, Kenenisa	ETH　エチオピア	2:06:36
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ジェミマ・ジェラガト・スムゴング	SUMGONG, Jemima Jelagat	KEN　ケニア	2:22:58
	2	ティギスト・トゥファ	TUFA, Tigist	ETH　エチオピア	2:23:03
	3	フローレンス・キプラガト	KIPLAGAT, Florence	KEN　ケニア	2:23:39

リオデジャネイロ五輪 / Games of the XXXI Olympiad 2016. 08.21(Men)　2016. 08.14（Women）

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エリウド・キプチョゲ	KIPCHOGE, Eliud	KEN　ケニア	2:08:44
	2	フェイサ・リレサ	LILESA, Feyisa	ETH　エチオピア	2:09:54
	3	ゲーレン・ラップ	RUPP, Galen	USA　アメリカ	2:10:05
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ジェミマ・ジェラガト・スムゴング	SUMGONG, Jemima Jelagat	KEN　ケニア	2:24:04
	2	ユニス・キルワ	KIRWA, Eunice	BRN　バーレーン	2:24:13
	3	マレ・ディババ	DIBABA, Mare	ETH　エチオピア	2:24:30

ベルリン / Berlin (AbbottWMM) 2016. 09.25

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ケネニサ・ベケレ	BEKELE, Kenenisa	ETH　エチオピア	2:03:03
	2	ウィルソン・キプサング	KIPSANG, Wilson	KEN　ケニア	2:03:13
	3	エヴァンス・チェベト	CHEBET, Evans	KEN　ケニア	2:05:31
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	アベル・ケベデ	KEBEDE, Aberu	ETH　エチオピア	2:20:45
	2	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH　エチオピア	2:23:58
	3	ルティ・アガ	AGA, Ruti	ETH　エチオピア	2:24:41

シカゴ / Chicago (AbbottWMM) 2016. 10.09

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	アベル・キルイ	KIRUI, Abel	KEN　ケニア	2:11:23
	2	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN　ケニア	2:11:26
	3	ギデオン・キプケテル	KIPKETER, Gideon	KEN　ケニア	2:12:20
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	フローレンス・キプラガト	KIPLAGAT, Florence	KEN　ケニア	2:21:32
	2	エドナ・キプラガト	KIPLAGAT, Edna	KEN　ケニア	2:23:28
	3	バレンタイン・キプケテル	KIPKETER, Valentine	KEN　ケニア	2:23:41

ニューヨークシティ / New York City (AbbottWMM) 2016. 11.06

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ギルメイ・ゲブレスラシエ	GHEBRESLASSIE, Ghirmay	ERI　エリトリア	2:07:51
	2	ルーカス・ロティチ	ROTICH, Lucas	KEN　ケニア	2:08:53
	3	アブディ・アブディラフマン	ABDIRAHMAN, Abdi	USA　アメリカ	2:11:23
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	メアリー・ケイタニー	KEITANY, Mary	KEN　ケニア	2:24:26
	2	サリー・キピエゴ	KIPYEGO, Sally	KEN　ケニア	2:28:01
	3	モリー・ハドル	HUDDLE, Molly	USA　アメリカ	2:28:13

ドバイ / Dubai 2017. 01.20

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	タラミト・トーラ	TOLA, Tamirat	ETH　エチオピア	2:04:11
	2	ムレ・ワシフン	WASIHUN, Mule	ETH　エチオピア	2:06:46
	3	シセイ・レンマ	LEMMA, Sisay	ETH　エチオピア	2:08:04
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ウォックネシュ・デゲファ	DEGEFA, Worknesh	ETH　エチオピア	2:22:36
	2	シュレ・デミセ	DEMISE, Shure	ETH　エチオピア	2:22:57
	3	エブグアル・メレセ	MELESE, Yebrgual	ETH　エチオピア	2:23:13

【Japan】びわ湖毎日 / Lake Biwa Mainichi 2016. 03.06

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ルーカス・ロティチ	ROTICH, Lucas	KEN　ケニア	2:09:11
	2	北島　寿典	KITAJIMA, Hisanori	JPN/安川電機	2:09:16
	3	フェリクス・シンブ	SIMBU, Felix	TAN　タンザニア	2:09:19

【Japan】名古屋ウィメンズ / Nagoya Women's 2016. 03. 13

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ユニス・キルワ	KIRWA, Eunice	BRN　バーレーン	2:22:40
	2	田中　智美	TANAKA, Tomomi	JPN/第一生命	2:23:19
	3	小原　怜	OHARA, Rei	JPN/天満屋	2:23:20

【Japan】北海道 / Hokkaido 2016. 08. 28

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	木滑　良	KINAME, Ryo	JPN/MHPS	2:13:16
	2	サイラス・ジュイ	NJUI, Cyrus	KEN/セブスポーツ	2:14:39
	3	小板橋　海渡	KOITABASHI, Kaito	JPN/コニカミノルタ	2:15:03
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	吉田　香織	YOSHIDA, Kaori	JPN/TEAM R×L	2:32:33
	2	水口　侑子	MIZUGUCHI, Yuko	JPN/デンソー	2:33:46
	3	竹本　由佳	TAKEMOTO, Yuka	JPN/キヤノンAC九州	2:36:42

【Japan】さいたま国際 / Saitama Int. 2016. 11. 13

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	チェイエチ・ダニエル	DANIEL, Cheyech	KEN　ケニア	2:23:18
	2	アマネ・ゴベナ	GOBENA, Amane	ETH　エチオピア	2:25:58
	3	モニカ・ジェプコエチ	JEPKOECH, Monica	KEN　ケニア	2:28:56

【Japan】福岡国際 / Fukuoka Int. 2016. 12. 04

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	イエマネ・ツェガエ	TSEGAY, Yemane	ETH　エチオピア	2:08:48
	2	パトリック・マカウ	MAKAU, Patrick	KEN　ケニア	2:08:57
	3	川内　優輝	KAWAUCHI, Yuki	JPN/埼玉県庁	2:09:11

【Japan】大阪国際女子 / Osaka Int. Women's 2017. 01. 29

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	重友　梨佐	SHIGETOMO, Risa	JPN/天満屋	2:24:22
	2	堀江　美里	HORIE, Misato	JPN/ノーリツ	2:25:44
	3	田中　華絵	TANAKA, Hanae	JPN/第一生命グループ	2:26:19

東京マラソン2016 大会結果

10km：Net Time
CR：Course Record

▶マラソン男子　Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	フェイサ・リレサ	LILESA, Feyisa	ETH	エチオピア	2:06:56	
2	バーナード・キピエゴ	KIPYEGO, Bernard	KEN	ケニア	2:07:33	
3	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	2:07:34	
4	スティーブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA	ウガンダ	2:07:46	
5	アベル・キルイ	KIRUI, Abel	KEN	ケニア	2:08:06	
6	エリウド・キプタヌイ	KIPTANUI, Eliud	KEN	ケニア	2:08:55	
7	エマニュエル・ムタイ	MUTAI, Emmanuel	KEN	ケニア	2:10:23	
8	高宮　祐樹	TAKAMIYA, Yuki	JPN	東京・ヤクルト	2:10:57	

▶マラソン女子　Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	ヘラー・キプロプ	KIPROP, Helah	KEN	ケニア	2:21:27	CR
2	アマネ・ゴベナ	GOBENA, Amane	ETH	エチオピア	2:21:51	CR
3	エドナ・キプラガト	KIPLAGAT, Edna	KEN	ケニア	2:22:36	
4	アベル・ケベデ	KEBEDE, Aberu	ETH	エチオピア	2:23:01	
5	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	2:23:16	
6	シュレ・デミセ	DEMISE, Shure	ETH	エチオピア	2:25:04	
7	アシェテ・ディド	DIDO, Ashete	ETH	エチオピア	2:25:50	
8	マヤ・ノイエンシュワンダー	NEUENSCHWANDER, Maja	SUI	スイス	2:27:36	

▶車いすマラソン男子　Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	クート・フェンリー	FEARNLEY, Kurt	AUS	オーストラリア	1:26:00	CR
2	エルンスト・バンダイク	VAN DYK, Ernst	RSA	南アフリカ	1:26:01	
3	洞ノ上　浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡・ヤフー	1:26:01	
4	副島　正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	長崎・ソシオ SOEJIMA	1:26:02	
5	鈴木　朋樹	SUZUKI, Tomoki	JPN	千葉・関東パラ陸協	1:26:11	
6	西田　宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪・パカラパシフィック	1:26:43	
7	山本　浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:29:13	
8	久保　恒造	KUBO, Kozo	JPN	北海道・日立ソリューションズ	1:31:25	

※ IPC 公認レース（2016 大会以降）での記録を CR 対象としています。
**Only IPC-sanctioned race records from 2016 onward qualify as Course Records.

▶車いすマラソン女子　Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	土田　和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・八千代工業	1:41:04	CR ★
2	タチアナ・マクファーデン	MCFADDEN, Tatyana	USA	アメリカ	1:41:14	
3	中山　和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN	神奈川・アクセンチュア	1:56:58	
4	アマンダ・マグロリー	MCGRORY, Amanda	USA	アメリカ	2:10:55	

★＝９年連続優勝／ 9-time winner

※ IPC 公認レース（2016 大会以降）での記録を CR 対象としています。
**Only IPC-sanctioned race records from 2016 onward qualify as Course Records.

▶マラソン準エリート男子　Marathon : Semi - Elite (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	橋本　崚	HASHIMOTO, Ryo	JPN	大分・青山学院大学	2:14:38	
2	西山　凌平	NISHIYAMA, Ryouhei	JPN	三重・神奈川大学	2:15:42	
3	渡邉　利典	WATANABE, Toshinori	JPN	宮城・青山学院大学	2:16:01	

▶マラソン準エリート女子　Marathon : Semi - Elite (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	ルース・シャーロット・クロフト	CROFT, Ruth Charlotte	NZL	ニュージーランド	2:40:59	
2	加藤　美紀	KATO, Miki	JPN	東京・東京陸協	2:48:33	
3	三浦　可奈美	MIURA, Kanami	JPN	東京・東京陸協	2:52:05	

▶10kmジュニア& ユース男子　10km : Junior&Youth (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	藤井　優吾	FUJII, Yugo	JPN	東京	34:07	
2	早坂　拓人	HAYASAKA, Takuto	JPN	宮城	34:28	
3	玉應　希築	TAMAO, Kizuki	JPN	福島	34:49	

▶10kmジュニア& ユース女子　10km : Junior&Youth (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	門間　由来	MOMMA, Yura	JPN	宮城	38:39	
2	平賀　祥子	HIRAGA, Shoko	JPN	千葉	38:47	
3	矢澤　紀咲	YAZAWA, Kie	JPN	宮城	39:11	

▶10km 車いす男子　10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	佐藤　友祈	SATO, Tomoki	JPN	静岡	24:33	
2	嶋崎　康介	SHIMAZAKI, Kosuke	JPN	東京	28:01	
3	櫻井　雄太	SAKURAI, Yuuta	JPN	東京	36:33	

▶10km 車いす女子　10km : Wheelchair (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	安川　祐里香	YASUKAWA, Yurika	JPN	神奈川	27:04	
2	山口　晴加	YAMAGUCHI, Haruka	JPN	東京	34:02	

▶10km 視覚障害者男子　10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	鈴木　卓	SUZUKI, Taku	JPN	新潟	40:01	
2	舟橋　剛二	FUNABASHI, Kouji	JPN	静岡	44:30	
3	吉田　英世	YOSHIDA, Hideyo	JPN	茨城	46:17	

▶10km 視覚障害者女子　10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	金野　由美子	KONNO, Yumiko	JPN	東京	49:01	
2	宮城　好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN	埼玉	51:38	
3	宮島　敬子	MIYAJIMA, Keiko	JPN	東京	1:14:03	

▶10km 知的障害者男子　10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	小島　弘暉	KOJIMA, Hiroki	JPN	埼玉	39:24	
2	大橋　哲	OHASHI, Tetsu	JPN	神奈川	41:18	
3	渡辺　崚佑	WATANABE, Ryosuke	JPN	東京	42:21	

▶10km 知的障害者女子　10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	澤　麻衣子	SAWA, Maiko	JPN	滋賀	43:15	
2	藤本　絵里子	FUJIMOTO, Eriko	JPN	東京	55:04	
3	大脇　真悠	OWAKI, Mayu	JPN	埼玉	1:05:34	

▶10km 移植者男子　10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	長谷川　秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN	兵庫	41:11	
2	吉川　秀志	YOSHIKAWA, Hideshi	JPN	東京	50:14	
3	長田　雅孝	OSADA, Masataka	JPN	静岡	50:30	

▶10km 移植者女子　10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	小林　信江	KOBAYASHI, Nobue	JPN	東京	48:20	
2	桑原　あゆみ	KUWABARA, Ayumi	JPN	東京	53:50	
3	乾　麻理子	INUI, Mariko	JPN	東京	56:34	

東京マラソン2015 大会結果

10km：Net Time
CR：Course Record

▶マラソン男子　Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	エンデショー・ネゲセ	NEGESSE, Endeshaw	ETH	エチオピア	2:06:00	
2	スティーブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA	ウガンダ	2:06:33	
3	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	2:06:34	
4	シュミ・デチャサ	DECHASA, Shumi	BRN	バーレーン	2:07:20	
5	ピーター・ソメ	SOME, Peter	KEN	ケニア	2:07:22	
6	マルコス・ゲネティ	GENETI, Markos	ETH	エチオピア	2:07:25	
7	今井　正人	IMAI, Masato	JPN	福岡・トヨタ自動車九州	2:07:39	
8	ツェガエ・ケベデ	KEBEDE, Tsegay	ETH	エチオピア	2:07:58	

▶マラソン女子　Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	2:23:15	
2	ヘラー・キプロプ	KIPROP, Helah	KEN	ケニア	2:24:03	
3	ティキ・ゲラナ	GELANA, Tiki	ETH	エチオピア	2:24:26	
4	カプチッチ・チェピエゴ	CHEPYEGO, Kaptich	KEN	福岡・九電工	2:26:43	
5	チェイエチ・ダニエル	DANIEL, Cheyech	KEN	ケニア	2:26:54	
6	イエシ・イセイアス	ESAYIAS, Yeshi	ETH	エチオピア	2:30:15	
7	扇　まどか	OGI, Madoka	JPN	長崎・十八銀行	2:30:25	
8	アルビナ・マヨロワ	MAYOROVA, Albina	RUS	ロシア	2:34:21	

▶車いすマラソン男子　Wheelchair Marathon(Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	洞ノ上　浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡	1:30:23	
2	鈴木　朋樹	SUZUKI, Tomoki	JPN	千葉	1:30:36	
3	吉田　竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京	1:30:36	
4	副島　正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	長崎	1:32:06	
5	久保　恒造	KUBO, Kozo	JPN	北海道	1:32:10	
6	西田　宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪	1:33:23	
7	山本　浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:37:01	
8	吉田　高志	YOSHIDA, Takashi	JPN	大阪	1:40:38	

▶車いすマラソン女子　Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	土田　和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・八千代工業	1:46:30	★

★＝ 8 年連続優勝／ 8-time winner

▶マラソン準エリート男子　Marathon : Semi - Elite (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	猪浦　舜	INOURA, Shun	JPN	埼玉・駒澤大学	2:17:54	
2	松本　匠	MATSUMOTO, Takumi	JPN	徳島	2:22:17	
3	片山　弘之	KATAYAMA, Hiroyuki	JPN	徳島・徳島市陸協	2:22:22	

▶マラソン準エリート女子　Marathon : Semi - Elite (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	大和田　啓実	OOWADA, Hiromi	JPN	東京	2:46:39	
2	酒見　範子	SAKEMI, Noriko	JPN	佐賀	2:50:55	
3	桑原　絵理	KUWAHARA, Eri	JPN	福島	2:51:13	

▶10kmジュニア& ユース男子　10km : Junior&Youth (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	佐藤　亜星	SATO, Asei	JPN	宮城	32:53	
2	佐藤　忠俊	SATO, Tadatoshi	JPN	福島	33:02	
3	石井　海	ISHII, Kai	JPN	宮城	33:07	

▶10kmジュニア& ユース女子　10km : Junior&Youth (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	原田　紗枝	HARADA, Sae	JPN	千葉	37:14	
2	榊原　遥	SAKAKIBARA, Haruka	JPN	宮城	37:27	
3	中原　奈美	NAKAHARA, Nami	JPN	福島	37:56	

▶10km 車いす男子　10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	嶋崎　康介	SHIMAZAKI, Kosuke	JPN	東京	27:07	
2	松尾　充浩	MATSUO, Mitsuhiro	JPN	大阪	35:21	
3	櫻井　雄太	SAKURAI, Yuuta	JPN	東京	36:13	

▶10km 車いす女子　10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子　10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	鈴木　卓	SUZUKI, Taku	JPN	新潟	41:38	
2	吉田　英世	YOSHIDA, Hideyo	JPN	茨城	48:28	
3	安藤　久志	ANDO, Hisashi	JPN	岡山	52:36	

▶10km 視覚障害者女子　10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	近藤　寛子	KONDO, Hiroko	JPN	滋賀	47:18	
2	金野　由美子	KONNO, Yumiko	JPN	東京	47:20	
3	宮城　好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN	埼玉	51:19	

▶10km 知的障害者男子　10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	萩原　和輝	HAGIWARA, Kazuki	JPN	東京	40:27	
2	大橋　哲	OHASHI, Tetsu	JPN	神奈川	41:34	
3	新垣　正範	SHINGAKI, Masanori	JPN	沖縄	41:56	

▶10km 知的障害者女子　10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	村上　あゆみ	MURAKAMI, Ayumi	JPN	東京	45:06	
2	濱村　幸子	HAMAMURA, Sachiko	JPN	東京	51:42	
3	大脇　真悠	OWAKI, Mayu	JPN	埼玉	55:55	

▶10km 移植者男子　10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	長谷川　秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN	兵庫	42:51	
2	奥村　公朗	OKUMURA, Kimio	JPN	愛知	44:53	
3	関　哲也	SEKI, Tetsuya	JPN	神奈川	47:35	

▶10km 移植者女子　10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	乾　麻理子	INUI, Mariko	JPN	東京	53:31	
2	桑原　あゆみ	KUWABARA, Ayumi	JPN	東京	56:45	
3	猪坂　徳子	INOSAKA, Noriko	JPN	兵庫	57:29	

東京マラソン2014 大会結果

10km：Net Time
CR：Course Record

▶マラソン男子　Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	2:05:42	CR
2	タデセ・トラ	TOLA, Tadese	ETH	エチオピア	2:05:57	CR
3	サミー・キトワラ	KITWARA, Sammy	KEN	ケニア	2:06:30	CR
4	マイケル・キピエゴ	KIPYEGO, Michael	KEN	ケニア	2:06:58	
5	ピーター・ソメ	SOME, Peter	KEN	ケニア	2:07:05	
6	ジョフリー・キプサング	KIPSANG, Geoffrey	KEN	ケニア	2:07:37	
7	デレサ・チムサ	CHIMSA, Deressa	ETH	エチオピア	2:07:40	
8	松村　康平	MATSUMURA, Kohei	JPN	長崎・三菱重工長崎	2:08:09	

▶マラソン女子　Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	ティルフィ・ツェガエ	TSEGAYE, Tirfi	ETH	エチオピア	2:22:23	CR
2	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	2:22:30	CR
3	ルーシー・カブー	KABUU, Lucy	KEN	ケニア	2:24:16	CR
4	キャロライン・ロティチ	ROTICH, Caroline	KEN	ケニア	2:24:35	CR
5	ジャネット・ロノ	RONO, Janet	KEN	ケニア	2:26:03	
6	アルビナ・マヨロワ	MAYOROVA, Albina	RUS	ロシア	2:28:18	
7	伊藤　舞	ITO, Mai	JPN	徳島・大塚製薬	2:28:36	
8	新宅　里香	SHINTAKU, Rika	JPN	埼玉・しまむら	2:31:15	

▶車いすマラソン男子　Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	山本　浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:30:43	
2	副島　正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	長崎・シーズアスリート	1:30:44	
3	洞ノ上　浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡	1:34:45	
4	西田　宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪	1:34:46	
5	吉田　竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京	1:38:55	
6	Senbeta James	SENBETA, James	USA	アメリカ	1:39:01	
7	西原　宏明	NISHIHARA, Hiroaki	JPN	京都	1:39:27	
8	高原　圭司	TAKAHARA, Keiji	JPN	岡山	1:44:24	

▶車いすマラソン女子　Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	土田　和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・サノフィ	1:48:08	★
2	中山　和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN	神奈川	2:04:05	
3	高嵜　瑞貴	TAKASAKI, Mizuki	JPN	東京	2:07:35	

★＝7年連続優勝／7-time winner

▶10kmU-18 男子　10km : U-18 (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	黒田　雄紀	KURODA, Yuki	JPN	神奈川	32:41	
2	水口　敬斗	MIZUGUCHI, Keito	JPN	福島	33:22	
3	酒井　洋輔	SAKAI, Yosuke	JPN	福島	33:25	

▶10kmU-18 女子　10km : U-18 (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	千葉　悠里奈	CHIBA, Yurina	JPN	宮城	37:31	
2	室田　知美	MUROTA, Tomomi	JPN	福島	37:57	
3	工藤　茉子	KUDO, Machiko	JPN	宮城	38:11	

▶10km 車いす男子　10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	弘岡　正樹	HIROOKA, Masaki	JPN	神奈川	26:40	
2	佐藤　友祈	SATO, Tomoki	JPN	静岡	29:13	
3	初海　達也	HATSUUMI, Tatsuya	JPN	神奈川	31:10	

▶10km 車いす女子　10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子　10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	鈴木　卓	SUZUKI, Taku	JPN	新潟	40:18	
2	内田　勝久	UCHIDA, Katsuhisa	JPN	東京	50:30	
3	船橋　勝	FUNABASHI, Masaru	JPN	東京	54:30	

▶10km 視覚障害者女子　10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	青木　洋子	AOKI, Yoko	JPN	東京	51:11	
2	山田　敦子	YAMADA, Atsuko	JPN	兵庫	51:27	
3	石井　喜美江	ISHII, Kimie	JPN	東京	53:17	

▶10km 知的障害者男子　10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	小礒　夏樹	KOISO, Natsuki	JPN	東京	35:25	
2	矢島　一也	YAJIMA, Kazuya	JPN	神奈川	37:23	
3	齋藤　新樹	SAITO, Araki	JPN	東京	41:34	

▶10km 知的障害者女子　10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	幸長　菜央	YUKINAGA, Nao	JPN	埼玉	44:35	
2	濱村　幸子	HAMAMURA, Sachiko	JPN	東京	51:44	
3	岩附　千陽	IWATSUKI, Chiharu	JPN	埼玉	56:25	

▶10km 移植者男子　10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	長谷川　秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN	兵庫	41:05	
2	佐藤　良憲	SATO, Yoshinori	JPN	東京	43:01	
3	平山　経政	HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN	神奈川	44:53	

▶10km 移植者女子　10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	ベッカーマン　直美	BECKERMAN, Naomi	JPN	神奈川	50:09	
2	山本　恵子	YAMAMOTO, Keiko	JPN	兵庫	55:58	
3	乾　麻理子	INUI, Mariko	JPN	東京	57:22	

東京マラソン2013 大会結果

10km：Net Time
CR：Course Record

▶マラソン男子　Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	デニス・キメット	KIMETTO, Dennis	KEN	ケニア	2:06:50	CR
2	マイケル・キピエゴ	KIPYEGO, Michael	KEN	ケニア	2:06:58	CR
3	バーナード・キピエゴ	KIPYEGO, Bernard	KEN	ケニア	2:07:53	
4	前田　和浩	MAEDA, Kazuhiro	JPN	福岡・九電工	2:08:00	
5	ジェームズ・クワンバイ	KWAMBAI, James	KEN	ケニア	2:08:02	
6	ギルバート・キルワ	KIRWA, Gilbert	KEN	ケニア	2:08:17	
7	フェイサ・ベケレ	BEKELE, Feyisa	ETH	エチオピア	2:09:05	
8	ディノ・セフィル	SEFIR, Dino	ETH	エチオピア	2:09:13	

▶マラソン女子　Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	アベル・ケベデ	KEBEDE, Aberu	ETH	エチオピア	2:25:34	
2	イエシ・イセイアス	ESAYIAS, Yeshi	ETH	エチオピア	2:26:01	
3	イリーナ・ミキテンコ	MIKITENKO, Irina	GER	ドイツ	2:26:41	
4	アルビナ・マヨロワ	MAYOROVA, Albina	RUS	ロシア	2:26:51	
5	尾崎　好美	OZAKI, Yoshimi	JPN	東京・第一生命	2:28:30	
6	ヘラリア・ジョアンネス	JOHANNES, Helalia	NAM	ナミビア	2:29:20	
7	吉川　美香	YOSHIKAWA, Mika	JPN	神奈川・パナソニック	2:30:20	
8	ナスタシア・スタラボイタワ	STARAVOITAVA, Nastassia	BLR	ベラルーシ	2:30:45	

▶車いすマラソン男子　Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	副島　正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	福岡・シーズアスリート	1:27:53	
2	山本　浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:29:07	
3	洞ノ上　浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡・エイベックス・マーケティング	1:34:42	
4	吉田　竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京	1:37:56	
5	島田　一彦	SHIMADA, Kazuhiko	JPN	茨城	1:38:36	
6	西田　宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪	1:40:07	
7	吉野　誠二	YOSHINO, Seiji	JPN	兵庫	1:44:00	
8	真下　和也	MASHITA, Kazuya	JPN	京都	1:48:28	

▶車いすマラソン女子　Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	土田　和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・サノフィ	1:48:29	★
2	中山　和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN	神奈川	1:52:14	

★＝6年連続優勝／6-time winner

▶10kmU-18 男子　10km : U-18 (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	藤　飛翔	FUJI, Tsubasa	JPN	福島	34:34	
2	根本　夏生	NEMOTO, Natsuo	JPN	福島	36:06	
3	小川　広	OGAWA, Hiro	JPN	福島	36:31	

▶10kmU-18 女子　10km : U-18 (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	胡口　奈穂	KOGUCHI, Nao	JPN	福島	42:21	
2	柿沼　美羽	KAKINUMA, Miu	JPN	福島	43:01	
3	猪狩　美咲	IGARI, Misaki	JPN	福島	43:21	

▶10km 車いす男子　10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	山口　充弘	YAMAGUCHI, Mitsuhiro	JPN	神奈川	26:22	☆
2	初海　達也	HATSUUMI, Tatsuya	JPN	神奈川	30:05	
3	佐藤　友祈	SATO, Tomoki	JPN	静岡	30:59	

☆＝2年連続優勝／2-time winner

▶10km 車いす女子　10km : Wheelchair (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	兼子　未希	KANEKO, Miki	JPN	東京	34:06	

▶10km 視覚障害者男子　10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	鈴木　卓	SUZUKI, Taku	JPN	新潟	44:34	
2	吉田　英世	YOSHIDA, Hideyo	JPN	茨城	51:10	
3	菊池　儀	KIKUCHI, Takashi	JPN	埼玉	51:28	

▶10km 視覚障害者女子　10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	宮城　好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN	埼玉	55:19	
2	山田　敦子	YAMADA, Atsuko	JPN	兵庫	57:16	
3	石井　喜美江	ISHII, Kimie	JPN	東京	1:01:06	

▶10km 知的障害者男子　10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	渡辺　崚佑	WATANABE, Ryosuke	JPN	東京	42:40	
2	中島　健太	NAKAJIMA, Kenta	JPN	神奈川	45:35	
3	鈴木　恭平	SUZUKI, Kyohei	JPN	東京	46:19	

▶10km 知的障害者女子　10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	樋口　敦子	HIGUCHI, Atsuko	JPN	新潟	51:06	
2	宮地　菜摘	MIYAJI, Natsumi	JPN	埼玉	1:01:33	
3	大脇　真悠	OWAKI, Mayu	JPN	埼玉	1:03:41	

▶10km 移植者男子　10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	星川　望	HOSHIKAWA, Nozomu	JPN	東京	51:46	
2	和地　孝三	WACHI, Kozo	JPN	東京	53:12	
3	楠　修次	KUSU, Nobuji	JPN	東京	53:38	

▶10km 移植者女子　10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	小林　信江	KOBAYASHI, Nobue	JPN	大阪	55:14	☆
2	柳下　利子	YAGISHITA, Toshiko	JPN	神奈川	1:07:25	
3	乾　麻理子	INUI, Mariko	JPN	東京	1:09:25	

☆＝2年連続優勝／2-time winner

東京マラソン2012 大会結果

10km：Net Time
CR：Course Record

▶マラソン男子　Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	マイケル・キピエゴ	KIPYEGO, Michael Kipkorir	KEN	ケニア	2:07:37	
2	藤原　新	FUJIWARA, Arata	JPN	東京・東京陸協	2:07:48	
3	スティーブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA	ウガンダ	2:07:50	
4	ハイレ・ゲブレシラシエ	GEBRSELASSIE, Haile	ETH	エチオピア	2:08:17	
5	ビクトル・ロスリン	ROTHLIN, Viktor	SUI	スイス	2:08:32	
6	前田　和浩	MAEDA, Kazuhiro	JPN	福岡・九電工	2:08:38	
7	松宮　隆行	MATSUMIYA, Takayuki	JPN	東京・コニカミノルタ	2:09:28	
8	ハイル・メコネン	MEKONNEN, Hailu	ETH	エチオピア	2:09:59	

▶マラソン女子　Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	アツェデ・ハブタム	HABTAMU, Atsede	ETH	エチオピア	2:25:28	CR
2	イエシ・イセイアス	ESAYIAS, Yeshi	ETH	エチオピア	2:26:00	
3	ヘレナ・キロップ	KIROP, Helena	KEN	ケニア	2:26:02	
4	大久保　絵里	OKUBO, Eri	JPN	東京・SWAC	2:26:08	
5	タチアナ・アルヒポア	ARKHIPOVA, Tatiana	RUS	ロシア	2:26:46	
6	リシャン・ドゥラ	DULA, Lishan	BRN	バーレーン	2:28:22	
7	イエルサレム・クマ	KUMA, Eyerusalem	ETH	エチオピア	2:28:36	
8	カテリナ・ステツェンコ	STETSENKO, Kateryna	UKR	ウクライナ	2:28:38	

▶車いすマラソン男子　Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	山本　浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:29:26	
2	洞ノ上　浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡・チームサンディスク	1:29:31	
3	副島　正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	福岡・C's Athlete	1:30:37	
4	廣道　純	HIROMICHI, Jun	JPN	大分	1:31:38	
5	吉田　竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京	1:32:48	
6	西田　宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪	1:34:51	
7	塩田　清高	SHIOTA, Kiyotaka	JPN	埼玉	1:41:33	
8	橋爪　淳	HASHIZUME, Atsushi	JPN	神奈川	1:48:52	

▶車いすマラソン女子　Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	土田　和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・サノフィ	1:48:31	★
2	中山　和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN	神奈川	1:58:43	
3	高嵜　瑞貴	TAKASAKI, Mizuki	JPN	東京	2:13:32	

★＝5 年連続優勝／ 5-time winner

▶10kmU-18 男子　10km : U-18 (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	齋藤　将輝	SAITO, Masaki	JPN	福島	33:43	
2	佐久間　祥	SAKUMA, Sho	JPN	福島	33:54	
3	中川　大誠	NAKAGAWA, Taisei	JPN	福島	34:42	

▶10kmU-18 女子　10km : U-18 (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	鴫原　優子	SHIGIHARA, Yuko	JPN	福島	41:34	
2	矢野　汐織	YANO, Shiori	JPN	福島	41:47	
3	大久保　七海	OKUBO, Nanami	JPN	福島	42:05	

▶10km 車いす男子　10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	山口　充弘	YAMAGUCHI, Mitsuhiro	JPN	神奈川	26:59	
2	弘岡　正樹	HIROOKA, Masaki	JPN	神奈川	27:41	
3	関口　武志	SEKIGUCHI, Takeshi	JPN	東京	35:00	

▶10km 車いす女子　10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子　10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	重田　雅敏	SHIGETA, Masatoshi	JPN	東京	53:02	
2	栄　聡一郎	SAKAE, Soichiro	JPN	神奈川	54:24	
3	舟橋　剛二	FUNABASHI, Koji	JPN	静岡	56:34	

▶10km 視覚障害者女子　10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	山田　敦子	YAMADA, Atsuko	JPN	兵庫	58:23	
2	細川　早苗	HOSOKAWA, Sanae	JPN	東京	1:07:53	
3	吉村　瞳	YOSHIMURA, Hitomi	JPN	東京	1:08:08	

▶10km 知的障害者男子　10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	佐藤　嵩仁	SATO, Takahito	JPN	神奈川	41:43	
2	小礒　夏樹	KOISO, Natsuki	JPN	東京	43:24	
3	川邊　正弥	KAWABE, Masaya	JPN	東京	44:30	

▶10km 知的障害者女子　10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	田口　恵	TAGUCHI, Megumi	JPN	東京	1:02:34	
2	吉川　美保	YOSHIKAWA, Miho	JPN	東京	1:04:58	
3	鈴木　梢	SUZUKI, Kozue	JPN	東京	1:05:58	

▶10km 移植者男子　10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	関　哲也	SEKI, Tetsuya	JPN	神奈川	46:12	
2	小堤　進	OTSUZUMI, Susumu	JPN	茨城	51:32	
3	谷村　多晶	TANIMURA, Kazuaki	JPN	東京	52:30	

▶10km 移植者女子　10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	小林　信江	KOBAYASHI, Nobue	JPN	大阪	54:52	
2	乾　麻理子	INUI, Mariko	JPN	東京	1:05:43	
3	大久保　八恵	OKUBO, Yae	JPN	東京	1:12:26	

東京マラソン2011 大会結果

10km：Net Time
CR：Course Record

▶マラソン男子　Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	ハイル・メコネン	MEKONNEN, Hailu	ETH	エチオピア	2:07:35	
2	ポール・ビウォット	BIWOTT, Paul	KEN	ケニア	2:08:17	
3	川内　優輝	KAWAUCHI, Yuki	JPN	埼玉・埼玉陸協	2:08:37	
4	尾田　賢典	ODA, Yoshinori	JPN	愛知・トヨタ自動車	2:09:03	
5	サイラス・ジュイ	NJUI, Cyrus Gichobi	JPN	茨城・日立電線	2:09:10	
6	フェリックス・リモ	LIMO, Felix	KEN	ケニア	2:10:50	
7	幸田　高明	KODA, Takaaki	JPN	宮崎・旭化成	2:11:08	
8	サリム・キプサング	KIPSANG, Salim	KEN	ケニア	2:11:25	

▶マラソン女子　Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	樋口　紀子	HIGUCHI, Noriko	JPN	京都・ワコール	2:28:49	
2	タチアナ・ペトロワ	PETROVA, Tatiana	RUS	ロシア	2:28:56	
3	渋井　陽子	SHIBUI, Yoko	JPN	東京・三井住友海上	2:29:03	
4	勝又　美咲	KATSUMATA, Misaki	JPN	東京・第一生命	2:31:10	
5	鈴木　澄子	SUZUKI, Sumiko	JPN	北海道・ホクレン	2:32:02	
6	山崎　里菜	YAMAZAKI, Rina	JPN	神奈川・パナソニック	2:32:51	
7	宮崎　翔子	MIYAZAKI, Syoko	JPN	千葉・豊田自動織機	2:33:10	
8	平田　裕美	HIRATA , Yumi	JPN	東京・資生堂	2:33:14	

▶車いすマラソン男子　Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	副島　正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	福岡・C's Athlete	1:25:38	CR
2	洞ノ上　浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡	1:26:13	CR
3	山本　浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:30:17	
4	安岡　チョーク	YASUOKA, Choke	JPN	東京	1:32:55	
5	廣道　純	HIROMICHI, Jun	JPN	大分	1:32:56	
6	Brett Mcarthur	MCARTHUR, Brett	AUS	オーストラリア	1:32:57	
7	吉田　高志	YOSHIDA, Takashi	JPN	大阪	1:32:57	
8	吉田　竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京	1:32:58	

▶車いすマラソン女子　Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	土田　和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・サノフィ・アベンティス	1:40:08	CR ★

★＝4年連続優勝／4-time winner

▶10km 一般男子　10km (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	三野　貴史	MINO, Takashi	JPN	千葉	32:18	
2	Germain Jacq	JACQ, Germain	FRA	フランス	33:40	
3	島本　涼平	SHIMAMOTO, Ryohei	JPN	東京	34:28	

▶10km 一般女子　10km (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	伊豫田　歩	IYOTA, Ayumi	JPN	茨城	43:38	
2	Pui yan chow	CHOW, Pui Yan	HKG	香港	43:50	
3	鈴木　亜希	SUZUKI, Aki	JPN	東京	44:53	

▶10km 車いす男子　10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	庄司　和浩	SHOJI, Kazuhiro	JPN	茨城	24:29	CR
2	野村　寛	NOMURA, Hiroshi	JPN	茨城	26:32	
3	弘岡　正樹	HIROOKA, Masaki	JPN	神奈川	28:14	

▶10km 車いす女子　10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子　10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	八木　陽平	YAGI, Yohei	JPN	東京	46:35	
2	佐野　一貴	SANO, Kazuki	JPN	東京	49:10	
3	福本　真秀	FUKUMOTO, Masahide	JPN	神奈川	50:27	

▶10km 視覚障害者女子　10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	宮城　好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN	埼玉	52:26	CR
2	山田　敦子	YAMADA, Atsuko	JPN	大阪	1:05:44	
3	石井　喜美江	ISHII, Kimie	JPN	東京	1:06:28	

▶10km 知的障害者男子　10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	高田　泰志	TAKADA, Taishi	JPN	埼玉	37:20	CR
2	小礒　夏樹	KOISO, Natsuki	JPN	東京	37:25	
3	柴山　幸樹	SHIBAYAMA, Kouki	JPN	神奈川	37:42	

▶10km 知的障害者女子　10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	幸長　菜央	YUKINAGA, Nao	JPN	埼玉	45:37	CR
2	澤　麻衣子	SAWA, Maiko	JPN	滋賀	47:29	
3	山中　のぞみ	YAMANAKA, Nozomi	JPN	千葉	48:38	

▶10km 移植者男子　10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	守屋　英海	MORIYA, Hidemi	JPN	東京	44:04	
2	平山　経政	HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN	神奈川	47:39	
3	小泉　武嗣	KOIZUMI, Takeshi	JPN	高知	51:19	

▶10km 移植者女子　10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名		Nation 国 or 所属		Time タイム	Remarks 備考
1	乾　麻理子	INUI, Mariko	JPN	東京	1:01:49	
2	大久保　八恵	OKUBO, Yae	JPN	東京	1:23:00	
3	坂本　美里	SAKAMOTO, Misato	JPN	山梨	1:29:07	